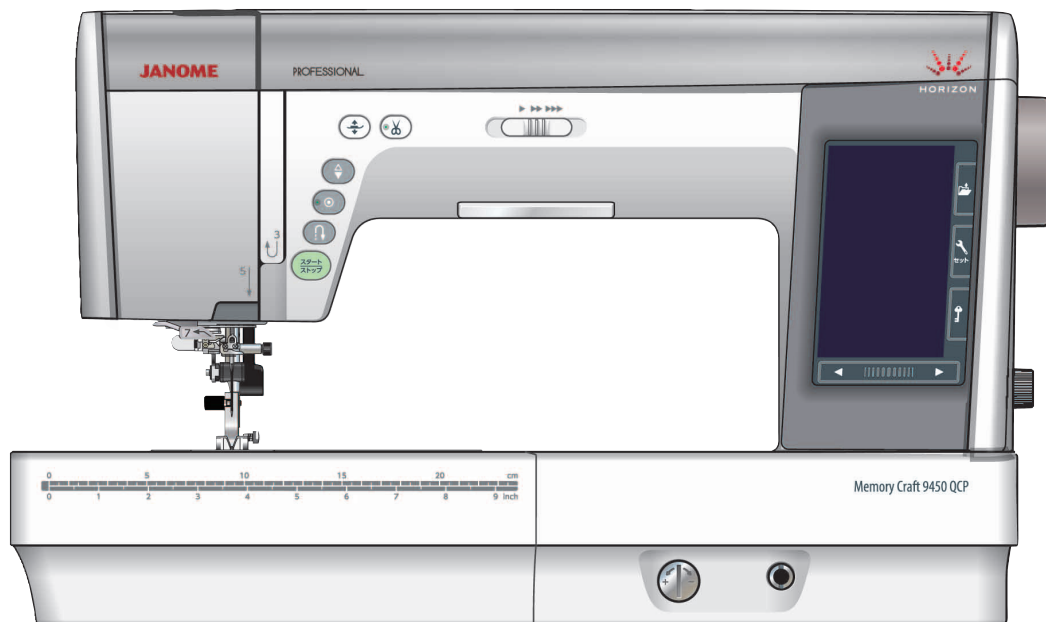




取扱説明書













JANOME






安全上のご注意














- ◆ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、お使いになる方やほかの人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- ◆お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- ◆このミシンは、日本国内向け家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY.

危害・損害の程度を表わす表示	 警告 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	 注意 この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
-----------------------	---	---

本文中の図記号の意味		▲ 記号は、気を付けていただきたい「注意」の内容です。図の中には具体的な注意内容を表示しています。(左図の場合は一般的な注意)
		⊘ 記号は、行ってはいけない「禁止」の内容です。図の中には具体的な禁止内容を表示しています。(左図の場合は分解禁止)
		● 記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。図の中には具体的な指示内容を表示しています。(左図の場合は一般的な強制)

	警告 感電・火災の原因となります。
	禁止 ストップ、アイロンの近くなど温度の高いところでは使用しないでください。 ミシンの使用温度は5℃～35℃です。
	禁止 スプレー製品などを使用した部屋や、引火しやすい物の近くでは使用しないでください。
	禁止 電源コードやフットコントローラーのコードについて、以下の行為は行わないでください。 <ul style="list-style-type: none"> • 傷つける • 加工する • はさみ込む • たばねる • 引っ張る • 無理に曲げたり、ねじったりする • 重い物をのせる • 高温部に近づける 電源コード、フットコントローラーのコードおよびプラグが破損した場合は、使用しないでください。
	必ず実行 一般家庭用、交流電源 100 V でご使用ください。
	必ず実行 電源プラグは定期的に乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。
	必ず電源プラグを抜く 以下のようなときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。 <ul style="list-style-type: none"> • ミシンのそばを離れるとき • ミシンを使用したあと • ミシン使用中に停電したとき

	注意 感電・火災・けがの原因となります。
	分解禁止 分解はしないでください。
	接触禁止 ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針・はずみ車・天秤などすべての動いている部分に手を近づけないでください。
	禁止 曲がった針や先のつぶれた針は、ご使用にならないでください。
	禁止 ミシンの通風口はふさがらないでください。

	注意 感電・火災・けがの原因となります。
	禁止 めい途中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。
	禁止 このミシンを使用するときは、付属の専用電源コードを使用してください。 付属の専用電源コードは、このミシン以外の電気製品には使用しないでください。
	禁止 フットコントローラーの上に物をのせないでください。また、ご使用の際は、周辺に糸くずやほこりがないことを確認してください。
	注意 お子様でご使用になるときや、お子様の近くでご使用される場合は、特に安全に注意してください。
	注意 直線めい用針板が取り付けられている場合、および取り付けられている押さえの種類によっては、電源スイッチを切った状態でははずみ車をまわすと、針が針板や押さえにあたる場合がありますので、注意してください。
	必ず実行 ミシンを持ち運ぶときは、片手で手さげハンドルを持ち、必ずもう一方の手でミシンをささえてください。
	必ず実行 プラグ受けに、糸くずやほこりがたまらないようにしてください。
	必ず実行 針および押さえは、確実に固定してください。また、押さえは、めいに合ったものをご使用ください。
	必ず実行 電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らず電源プラグを持って抜いてください。
	必ず実行 以下のことを行うときは、ロックキーを押してミシンをロック状態にしてください。 <ul style="list-style-type: none"> • 押さえ、アタッチメントを交換するとき • 上糸、下糸をセットするとき • 針、針板を交換するとき
	必ず電源プラグを抜く ミシンのお手入れを行うときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
	必ず電源プラグを抜く ミシンに以下の異常があるときは速やかに使用を停止し、まず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にて点検・修理・調整をお受けください。 <ul style="list-style-type: none"> • 正常に作動しないとき • 水にぬれたとき • 落下などにより破損したとき • 異常な臭い・音がするとき • 電源コード・プラグ類が破損、劣化したとき

目次

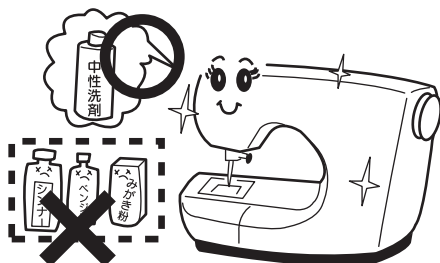
◎ お取り扱いについてのお願い.....	4	● じつようぬいの調整値の保存.....	43
◎ 各部のなまえ.....	5 ~ 6	● 直線ぬい.....	44 ~ 45
◎ 標準付属品と収納場所.....	6 ~ 12	★ 直線ぬい（中針位置）でぬう場合.....	44 ~ 45
● 標準付属品.....	6 ~ 8	● 針板ガイド.....	46
● 標準付属品収納場所.....	8	● コーナーリングガイド.....	46
● 補助テーブル.....	9	● 直線ぬい用針板の使い方.....	47
● フリーアームの使い方.....	9	● 直線ぬいの種類.....	48 ~ 50
● フットコントローラーと糸切りフット スイッチ.....	10 ~ 11	★ じつようぬい 1：直線ぬい（中針位置）.....	48
★ フットコントローラーと糸切りフット スイッチの取り付け位置変更.....	10	★ じつようぬい 2：自動返しぬい.....	48
★ 糸切りフットスイッチの位置調整.....	11	★ じつようぬい 3：自動止めぬい.....	48
● ワイドクリアテーブルの組み立て方と使い方.....	12	★ じつようぬい 4：直線ぬい（左針位置）.....	49
◎ 操作方法.....	13 ~ 31	★ じつようぬい 5：三重ぬい.....	49
● 電源のつなぎ方.....	13	★ じつようぬい 6、7：伸縮ぬい（ニットステッチ）... ..	49
★ スタート/ストップボタンを使用する場合.....	13	★ じつようぬい 11：しつけぬい.....	50
★ フットコントローラーを使用する場合.....	13	● 上送り押さえの使い方.....	50 ~ 52
● 糸切りフットスイッチのつなぎ方.....	14	★ プロフェッショナル上送り押さえ HP2の使い方... ..	52
● 速さの調整.....	15	● プロフェッショナル直線押さえ HP・プロフェッショ ナル直線ぬい用針板（左針位置専用）の使い方.....	53
★ スピードコントロールつまみ.....	15	● ジグザグぬい.....	54
★ フットコントローラー.....	15	★ じつようぬい 8、9：ジグザグぬい.....	54
● 操作ボタン.....	16 ~ 17	★ じつようぬい 10：つくろいぬい.....	54
● 画面（タッチパネル）.....	18 ~ 21	● ふちかがりぬい.....	55 ~ 56
★ 模様グループ選択キー.....	20 ~ 21	★ じつようぬい 10：トリコットぬい.....	55
● 押さえの外し方、付け方.....	22	★ じつようぬい 13：かがりぬい 1.....	55
● 押さえホルダーの外し方、付け方.....	23	★ じつようぬい 14：ニットステッチ.....	55
● 上送り押さえの付け方、外し方.....	24	★ じつようぬい 15：かがりぬい 2.....	56
● その他押さえの交換.....	25 ~ 27	★ じつようぬい 16：かがりぬい 3.....	56
★ フリーキルト押さえ PD-H / フリーキルト 押さえ PD-H（前あき）.....	25	● その他のじつようぬい.....	57 ~ 58
★ プロフェッショナル直線押さえ HP.....	26	◎ ボタンホール・特殊模様.....	59 ~ 74
★ ルーラーワーク押さえ QR.....	27	● ボタンホール・特殊模様の画面.....	59
● 針板の外し方、付け方.....	28	● ボタンホールの種類と用途.....	59 ~ 60
● 針の取りかえ方.....	29	● ボタンホール 1：スクエアボタンホール.....	61 ~ 64
● 布に適した糸や針を選ぶ目安.....	29	★ ボタンホールの調整画面.....	64
● 押さえ上げ.....	30	● ボタンホール安定板の使い方.....	65
● ニーリフト.....	30	● ボタンホール 2：メモリーボタンホール （スクエアボタンホール）.....	66 ~ 67
● 送り歯ドロップつまみ.....	31	● その他のボタンホール.....	68
● 格納式手元照明.....	31	★ ボタンホール 3、4：片ラウンド、 両ラウンドボタンホール.....	68
● 布ガイドの使い方.....	31	★ ボタンホール 5 ~ 7：キーホールボタンホール... ..	68
◎ ぬう前の準備.....	32 ~ 37	★ ボタンホール 8、10：ニットボタンホール.....	68
● 下糸の準備.....	32 ~ 34	★ ボタンホール 9：ニットボタンホール.....	68
★ ボビンの取り出し.....	32	● ボタンホール 11：たまぶちボタンホール... ..	69 ~ 70
★ 糸こまのセット.....	32	● 芯入りボタンホール.....	71
★ 補助糸立て棒の使い方.....	32	● 特殊ぬい.....	72 ~ 74
★ 下糸巻き.....	33	★ ボタンホール 13：つくろいぬい （ダーニング）.....	72 ~ 73
★ ボビンのセット.....	34	★ ボタンホール 15：フライステッチ （かんぬき止め）.....	73
● 上糸かけ.....	35	★ ボタンホール 16 ~ 18：アイレット.....	74
● 糸通し.....	36	◎ 飾りぬい.....	75 ~ 90
● 下糸を針板の上に引き出す場合.....	37	● 飾りぬいの画面.....	75 ~ 81
◎ じつようぬい.....	38 ~ 58	● かざりもよう 1 グループ.....	81 ~ 82
● じつようぬいの画面.....	38 ~ 39	★ スカラップ.....	81
★ 設定キー.....	38 ~ 39	★ スモッキング.....	82
● じつようぬいの調整画面.....	40 ~ 42	★ ファゴティング.....	82
● ピボットぬい設定.....	42		

●キルトグループ.....	83	●キルティング.....	132 ~ 141
★キルティングガイドの使い方.....	83	★直線ぬい（上送り押さえ使用）.....	132
★キルト模様 1 ~ 3.....	83	★とじぬい.....	133
★針板角度目盛りの使い方.....	83	★フリーキルト.....	134
★キルト模様 71 ~ 74：手ぬい風キルト.....	83	★各種フリーキルト押さえの特長.....	134
●サテングループ.....	84	★フリーキルト「直線ぬい 1」のぬい方.....	135
★模様の長さ調整機能（エロンゲーション）.....	84	★フリーキルト押さえ QC（丸穴） /	
●模様の先端を細くする（テーパリング）.....	85 ~ 89	フリーキルト押さえ QO（前あき） /	
●ユーザー作成模様グループ.....	90	フリーキルト押さえ QV（透明）の取り付け方 ...	135
◎ 模様組み合わせモード.....	91 ~ 100	★フリーキルト「直線ぬい 2」のぬい方.....	136
●模様組み合わせモードの画面.....	91	★フリーキルト「ジグザグぬい 2」のぬい方.....	137
●模様組み合わせぬいの例.....	92	★1 針停止ぬい.....	138
●反転キーの使い方.....	93 ~ 94	★フリーキルト押さえ高さの調整.....	138
★左右・上下反転のぬい方		★刺し子風ステッチ.....	138
（組み合わせモード時）.....	93	★手ぬい風キルトぬい.....	139
★左右・上下反転のぬい方（通常モード時）.....	94	★バリアブル ZZ（可変ジグザグ）.....	139 ~ 140
●つなぎもようグループの使い方.....	95	★ジグザグのぬい幅の上限を設定.....	140
●模様の編集機能.....	96	★ルーラーワーク.....	141
●模様頭出しキーの使い方.....	97	◎ 2 本針ぬい.....	142 ~ 143
●プレビュー機能.....	98	◎ ミシンの設定.....	144 ~ 151
●組み合わせ模様の長さの確認.....	99 ~ 100	●ミシン設定モード.....	144
◎ 文字ぬい.....	101 ~ 106	●共通設定.....	144 ~ 147
●文字ぬいの画面.....	101 ~ 102	●通常ぬい設定.....	148 ~ 150
★模様選択画面.....	102	●言語設定.....	151
●文字ぬいの例.....	103 ~ 104	◎ ミシンのお手入れ.....	152 ~ 153
●文字ぬい時の糸調子調整.....	105	●かまと送り歯、糸切り部の掃除.....	152
★文字ごとに糸調子調整を行う.....	105	●糸ガイド内側の掃除.....	153
★全ての文字に同じ糸調子の値を適応する		◎ メッセージ画面一覧.....	154
（統一糸調子調整）.....	105	◎ ミシンの調子が悪いときの直し方.....	155 ~ 159
●文字高さの縮小.....	105	●模様の形の調整（送り調整ねじ）.....	159
●スペース模様.....	106	◎ 模様一覧表.....	160 ~ 163
◎ 模様データの保存・呼び出し.....	106 ~ 110	●文字ぬい.....	162 ~ 163
●模様データの保存.....	106 ~ 108		
●模様データの呼び出し.....	109 ~ 110		
◎ 用途ぬい.....	111 ~ 141		
●用途ぬいの模様選択画面.....	111		
●用途ぬいの種類.....	111 ~ 112		
●地ぬい.....	112		
●ふちかがり.....	113		
●まつりぬい.....	114 ~ 115		
●シェルタック.....	116		
●三つ巻きぬい.....	117		
●ファスナー付け.....	118 ~ 120		
●コンシールファスナー付け			
（押さえオプション）.....	120 ~ 122		
●ギャザー.....	123		
●しつけ.....	123 ~ 124		
●ボタンつけ.....	124 ~ 126		
★普通のボタンつけのぬい方.....	125		
★根巻きボタンつけのぬい方.....	126		
●かんぬき止め.....	127		
●アップリケ.....	128 ~ 129		
●パッチワーク.....	130 ~ 131		
★針板角度目盛りの使い方.....	131		

◎お取り扱いについてのお願い

◇ ご使用の前に

- ① ほこりや油などでぬう布を汚さないように、使う前に乾いたやわらかい布でよくふいてください。
- ② シンナー・ベンジン・ミガキ粉は絶対に使用しないでください。

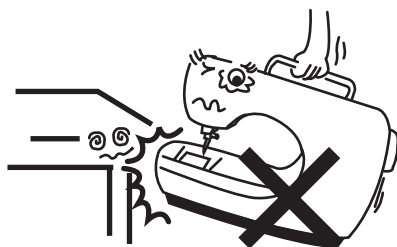


◇ いつまでもご愛用いただくために

- ① 長時間日光に当てないでください。
- ② 湿気やほこりの多いところは避けてください。



- ③ 落としたり、ぶつけるなど衝撃を与えないでください。
ミシンを持ち運ぶときは、片手で手さげハンドルを持ち、必ずもう一方の手でミシンをささえてください。



◇ 修理・調整についてのご案内

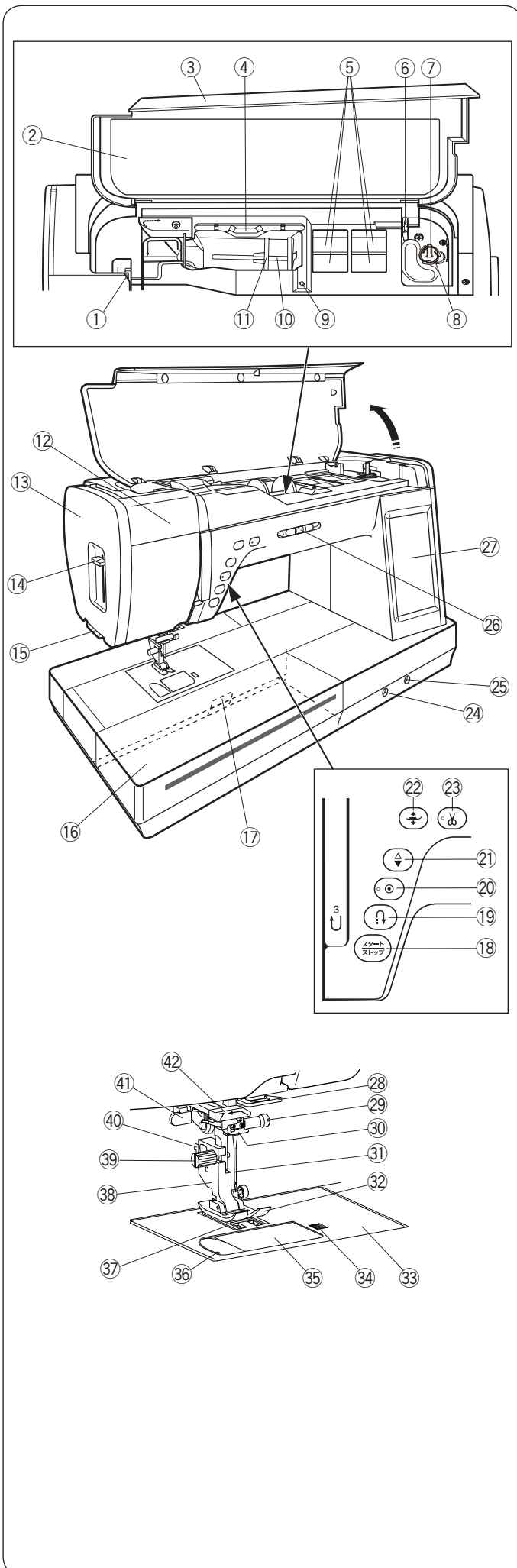
万一不調になったり故障が生じたりしたときは、「ミシンの調子が悪いときの直し方」(155～158ページ)によって、点検・調整を行ってください。

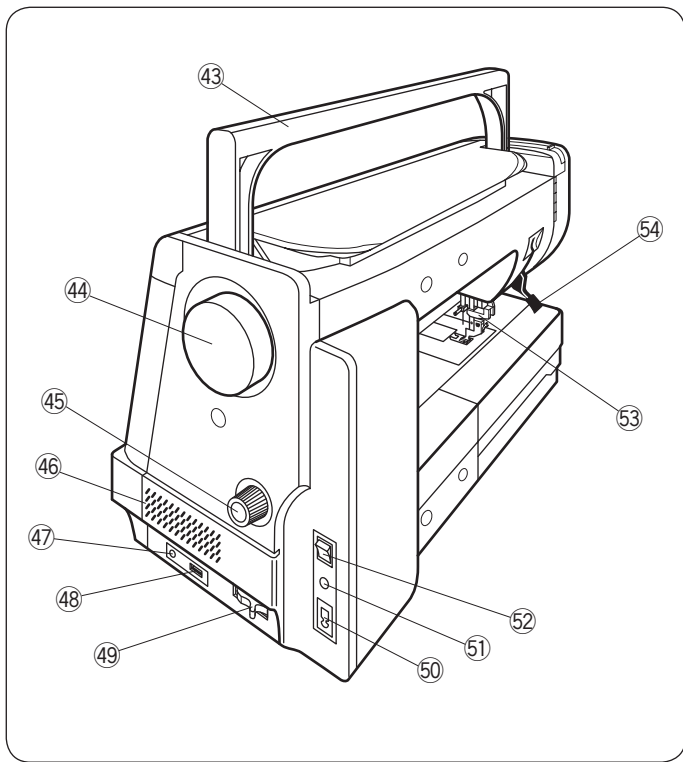
◎各部のなまえ

- ① 天びん
- ② 早見板
- ③ 天板
- ④ タッチペンホルダー
- ⑤ 小物収納場所
- ⑥ 糸切り（下糸巻き用）
- ⑦ 糸巻き軸
- ⑧ 糸切りホルダー
- ⑨ 補助糸立て棒取り付け穴
- ⑩ 糸立て棒
- ⑪ 糸こま押さえ（大）
- ⑫ 格納式手元照明
- ⑬ 面板
- ⑭ 糸通しレバー
- ⑮ 糸切り・糸押さえ
- ⑯ 補助テーブル（アクセサリー入れ）
- ⑰ 針板開放レバー
- ⑱ スタート/ストップボタン
- ⑲ 返しぬいボタン
- ⑳ 止めぬいボタン
- ㉑ 上下停針ボタン
- ㉒ 押さえ上下移動ボタン
- ㉓ 糸切りボタン
- ㉔ 送り調整ねじ
- ㉕ ニーリフト取り付け穴
- ㉖ スピードコントロールつまみ
- ㉗ 画面（タッチパネル）
- ㉘ アーム糸案内
- ㉙ 針止めねじ
- ㉚ 針棒糸かけ
- ㉛ 針（14番）
- ㉜ 基本押さえ A
- ㉝ 針板
- ㉞ 角板開放ボタン
- ㉟ 角板
- ㊱ カッター（下糸切り用）
- ㊲ 送り歯
- ㊳ 押さえホルダー
- ㊴ 押さえホルダー止めねじ
- ㊵ レバー
- ㊶ ボタンホール切りかえレバー
- ㊷ 糸ガイド

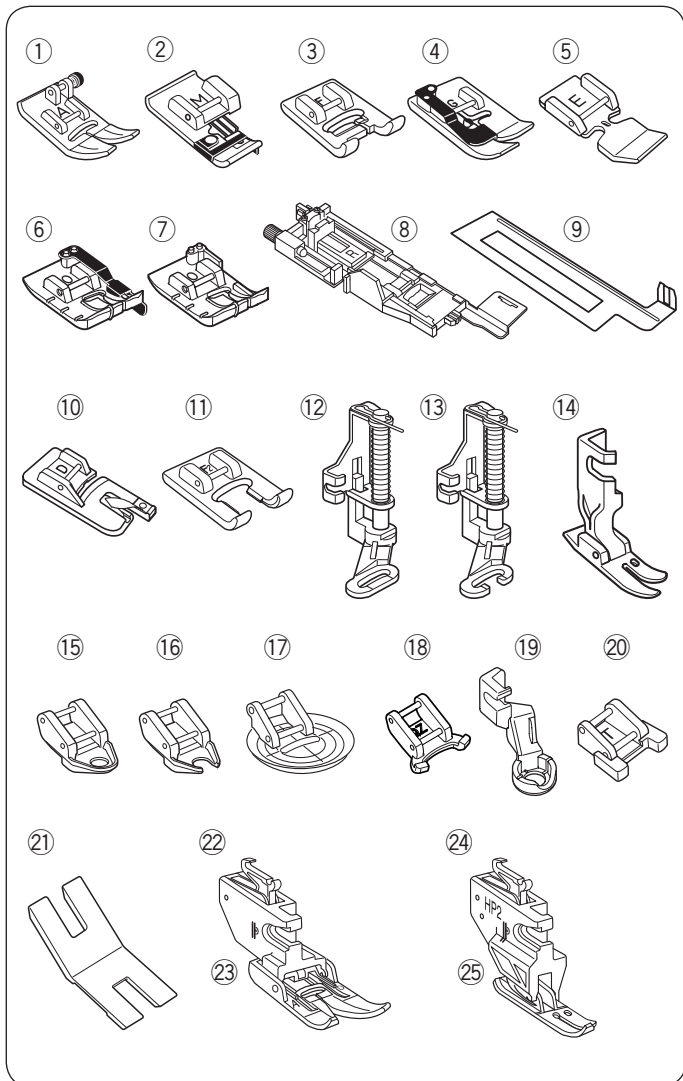
メモ：

- ミシンを持つときは、片手で手さげハンドルを持ち、必ずもう片方の手でミシンをささえてください。
- 仕様や形状を予告なく変更する場合があります。





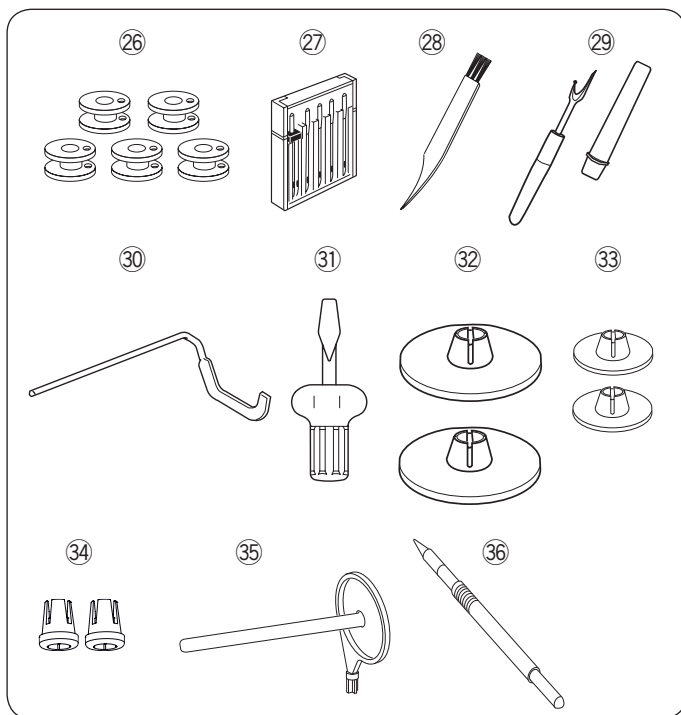
- ④③ 手さげハンドル
- ④④ はずみ車
- ④⑤ 上送り調節ダイヤル
- ④⑥ 通風口
- ④⑦ 糸切りフットスイッチ端子
- ④⑧ USB 差し込み口 (タイプ A)
- ④⑨ 送り歯ドロップつまみ
- ⑤⑩ プラグ受け
- ⑤① フットコントローラープラグ受け
- ⑤② 電源スイッチ
- ⑤③ 上送り装置
- ⑤④ 押さえ上げ



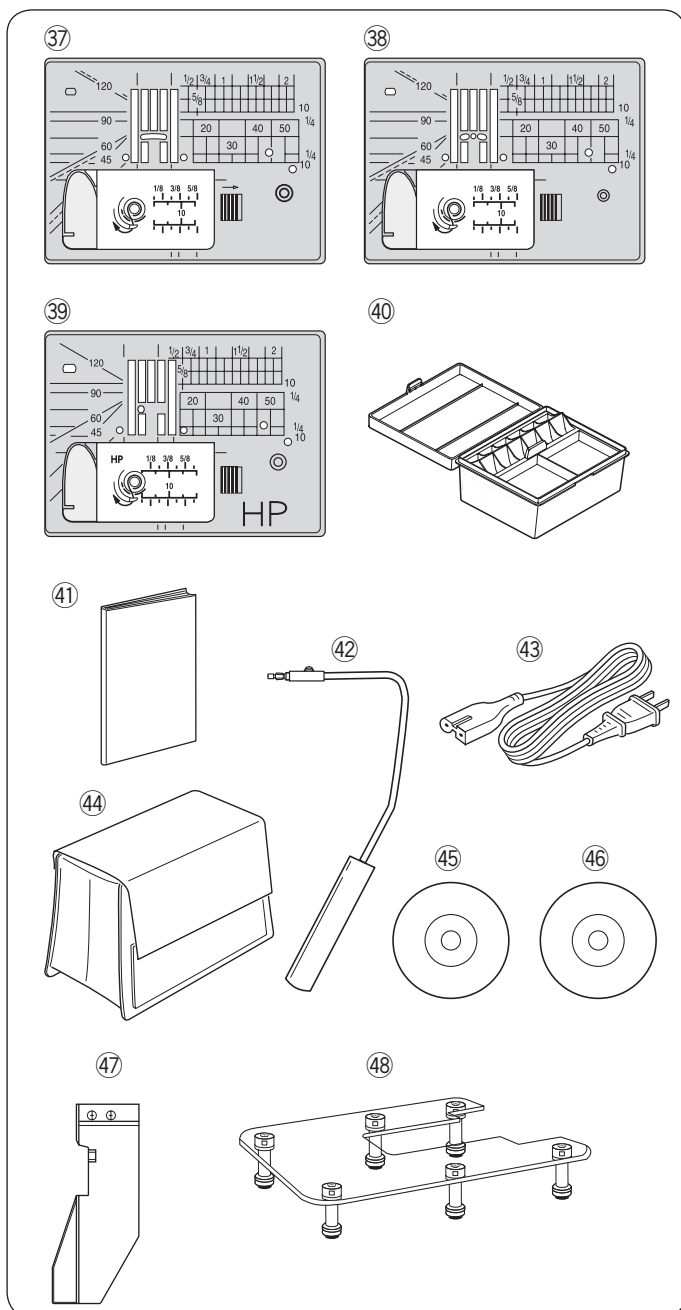
◎ 標準付属品と収納場所

● 標準付属品

- ① 基本押さえ A
※ミシンの押さえホルダーに付いています。
- ② ふちかがり押さえ M
- ③ サテン押さえ F
- ④ まつりぬい押さえ G
- ⑤ ファスナー押さえ E
- ⑥ パッチワーク押さえ O
- ⑦ パッチワーク押さえ O (ガイドなし)
- ⑧ ボタンホール押さえ R
- ⑨ ボタンホール安定板
※ ⑧、⑨ は補助テーブルに収納されています。
- ⑩ 三つ巻き押さえ D
- ⑪ クラフト押さえ F2
- ⑫ フリーキルト押さえ PD-H
- ⑬ フリーキルト押さえ PD-H (前あき)
- ⑭ プロフェッショナル直線押さえ HP
- ⑮ フリーキルト押さえ QC (丸穴)
- ⑯ フリーキルト押さえ QO (前あき)
- ⑰ フリーキルト押さえ QV (透明)
- ⑱ バリアブルジグザク押さえ QZ (前あき)
- ⑲ ルーラーワーク押さえ QR
- ⑲ ボタンつけ押さえ T
- ⑲ ボタンつけプレート
- ⑲ 上送り押さえホルダー (標準)
- ⑲ 上送り押さえ AD (標準)
- ⑲ プロフェッショナル上送り押さえホルダー
- ⑲ プロフェッショナル上送り押さえ HP2
※ ⑲ ~ ⑲ は補助テーブルに収納されています。



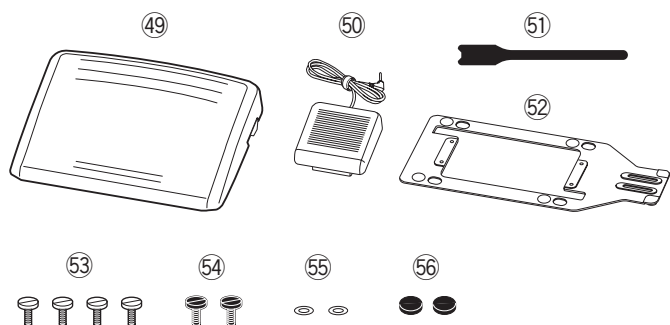
- ②⑥ ボビン (5 個)
※ 1 つはミシンに付いています。
- ②⑦ 針ケース
 - ブルー針〔11 番〕(2 本)
 - レッド針〔14 番〕(1 本)
 - パープル針〔14 番〕(1 本)
 - 2 本針 (1 本)
- ②⑧ ミシンブラシ
- ②⑨ シームリッパー
- ③⑩ キルティングガイド
- ③⑪ ドライバー
- ③⑫ 糸こま押さえ (大) (2 個)
※ 1 つはミシンに付いています。
- ③⑬ 糸こま押さえ (小) (2 個)
- ③⑭ 糸こま押さえ (特殊) (2 個)
- ③⑮ 補助糸立て棒
- ③⑯ タッチペン



- ③⑦ 針板
※ ミシンに付いています。
- ③⑧ 直線ぬい用針板
- ③⑨ プロフェッショナル直線ぬい用針板 (左針位置専用)
- ④⑩ アクセサリーケース
- ④⑪ 取扱説明書
- ④⑫ ニーリフト
- ④⑬ 電源コード
- ④⑭ ミシンカバー
- ④⑮ 説明 DVD
- ④⑯ スティッチコンポーザー CD-ROM
- ④⑰ 布ガイド
- ④⑱ ワイドクリアテーブル

【フットコントローラー/糸切りフットスイッチ セット】

※ モデルによってオプションになります。



● 標準付属品

- ④9 フットコントローラー
- ⑤0 糸切りフットスイッチ
- ⑤1 ケーブルタイ
- ⑤2 ベース
- ⑤3 フットコントローラー取り付けねじ (4 個)
- ⑤4 糸切りフットスイッチ取り付けねじ (2 個)
- ⑤5 ワッシャー (2 個)
- ⑤6 ゴム座 (2 個)

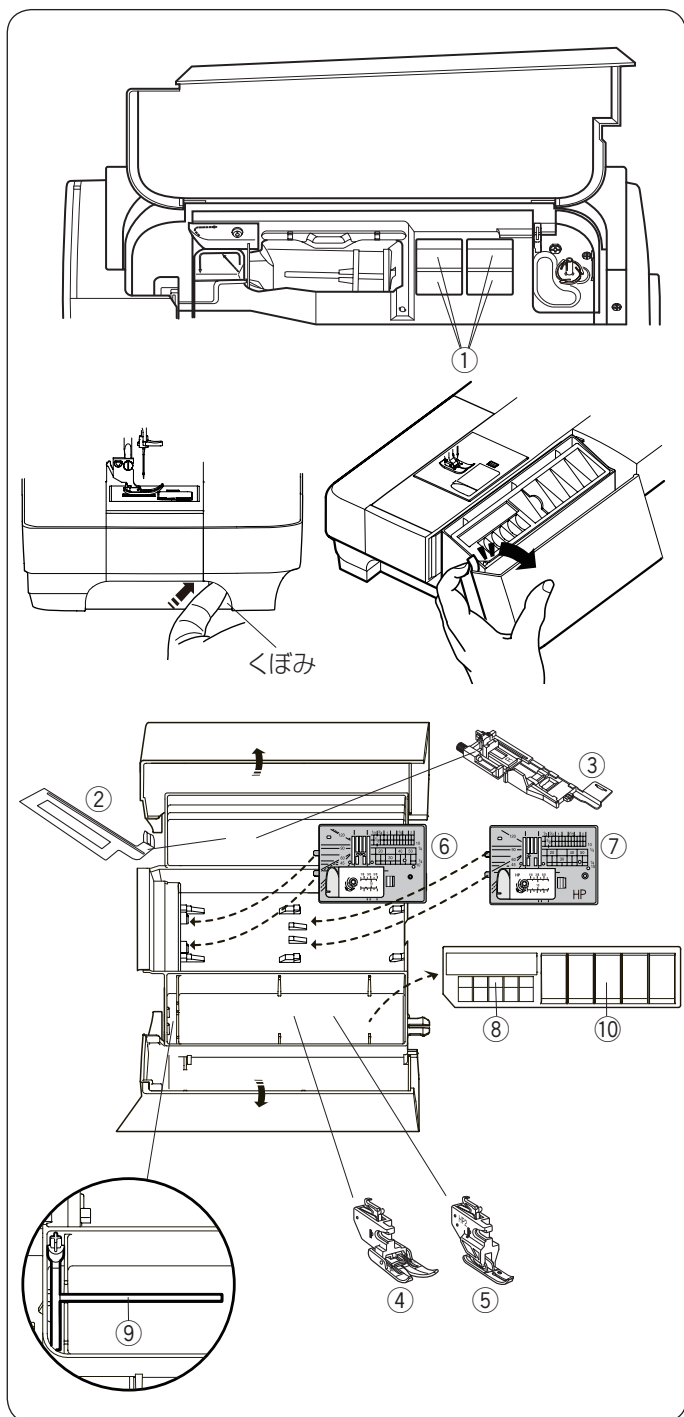
● 標準付属品収納場所

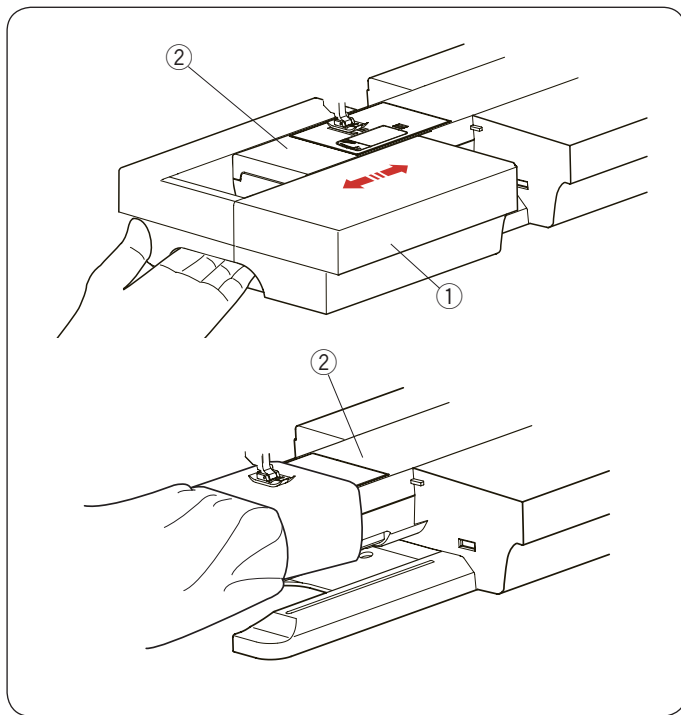
押さえや付属品は、天板内の小物収納場所や、補助テーブルの中に収納できます。

補助テーブル内のアクセサリ入れを使用する場合、補助テーブルの左側のくぼみに指をかけ、手前に引いて開けます。

- ① 小物収納場所
- ② ボタンホール安定板
- ③ ボタンホール押さえ R
- ④ 上送り押さえ AD (標準)
- ⑤ プロフェッショナル上送り押さえ HP2
- ⑥ 直線ぬい針板
- ⑦ プロフェッショナル直線ぬい針板 (左針位置専用)
- ⑧ ボビン収納場所
- ⑨ 補助糸立て棒
- ⑩ 押さえ収納場所

※ 他のアクセサリは補助テーブルの中に収納できます。





● 補助テーブル

フリーアーム ② を使うときは、補助テーブル ① を左に引き簡単に取り外すことができます。

補助テーブルの外し方：

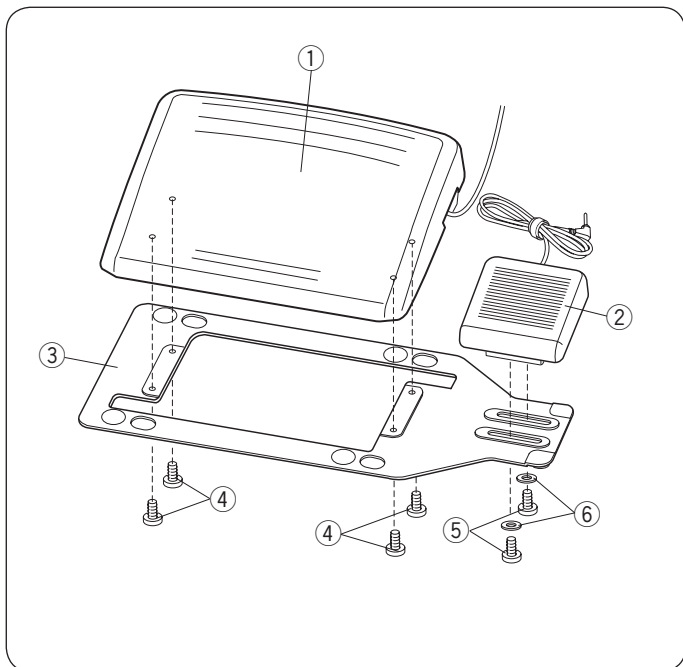
補助テーブル ① の下側に手をかけ、左に引いて外します。

補助テーブルの取り付け方：

フリーアーム ② に沿わせて、補助テーブルを右に押し込んで取り付けます。

● フリーアームの使い方

補助テーブルを外すと、フリーアーム ② になります。そで口やすそなどをぬう場合や、袋物のくち端の始末に利用できます。



● フットコントローラーと糸切りフットスイッチ

※ フットコントローラーの取り付けには、付属のドライバーを使用します。

図のようにフットコントローラー①と糸切りフットスイッチ②をベース③に取り付けます。

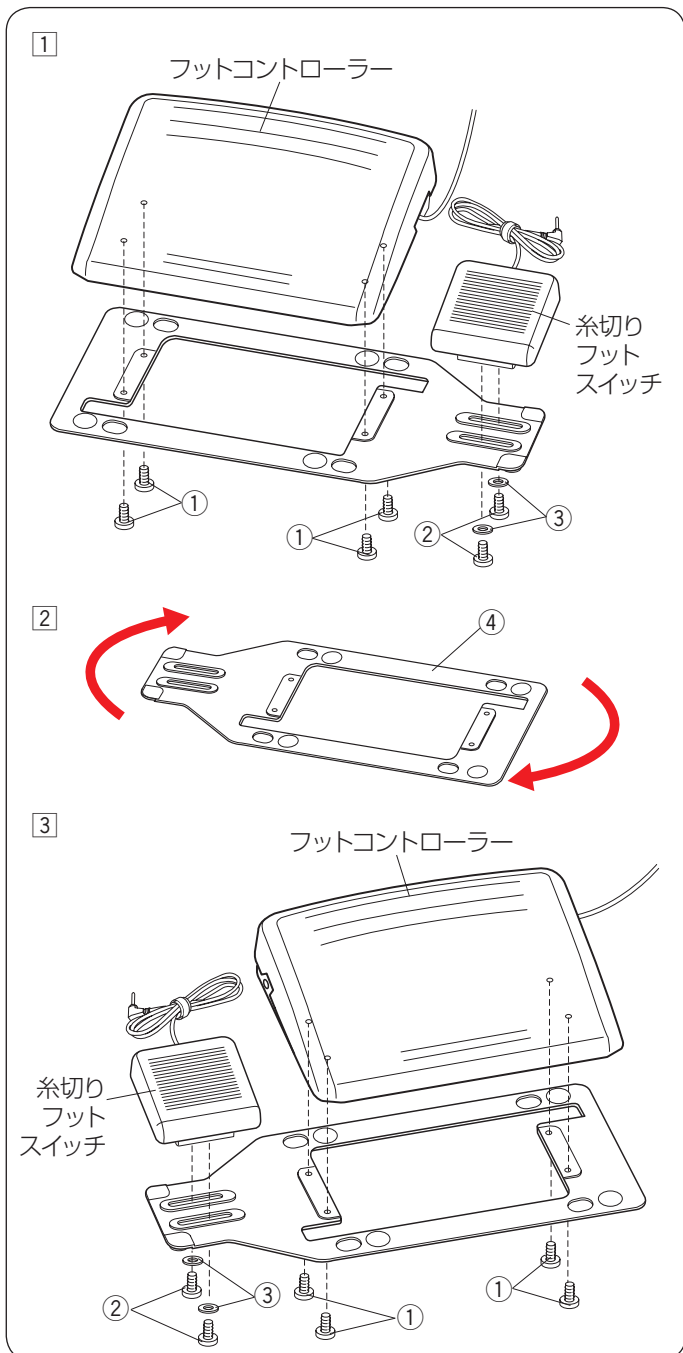
糸切りフットスイッチ②は、使用状況に合わせて、フットコントローラーの左右どちらにも取り付けられます。

フットコントローラーの取り付け

フットコントローラー取り付けねじ（4個）④でフットコントローラー①をベース③に取り付けます。

糸切りフットスイッチの取り付け

糸切りフットスイッチ取り付けねじ（2個）⑤とワッシャー（2個）⑥で糸切りフットスイッチ②をベース③に取り付けます。



★ フットコントローラーと糸切りフットスイッチの取り付け位置変更

【糸切りフットスイッチを左に取り付ける】

糸切りフットスイッチは、使用状況に合わせて、フットコントローラーの左右どちらにも取り付けられます。

- ① フットコントローラー取り付けねじ（4個）①、糸切りフットスイッチ取り付けねじ（2個）②とワッシャー（2個）③をドライバーで外します。

- ② ベース④を180度回転させます。

- ③ フットコントローラー取り付けねじ（4個）①でフットコントローラーを取り付けます。

糸切りフットスイッチを糸切りフットスイッチ取り付けねじ（2個）②とワッシャー（2個）③でベースの左側に取り付けます。

★ 糸切りフットスイッチの位置調整

【糸切りフットスイッチの水平位置の調整】

糸切りフットスイッチを左右に移動させたい場合、下記手順で調整します。

- ① 糸切りフットスイッチ取り付けねじ（2個）①をゆるめます。

- ② 糸切りフットスイッチ②をお好みの位置に移動させ、糸切りフットスイッチ取り付けねじ（2個）①をドライバーでしめて、希望の位置に固定します。

【糸切りフットスイッチの上下位置の調整】

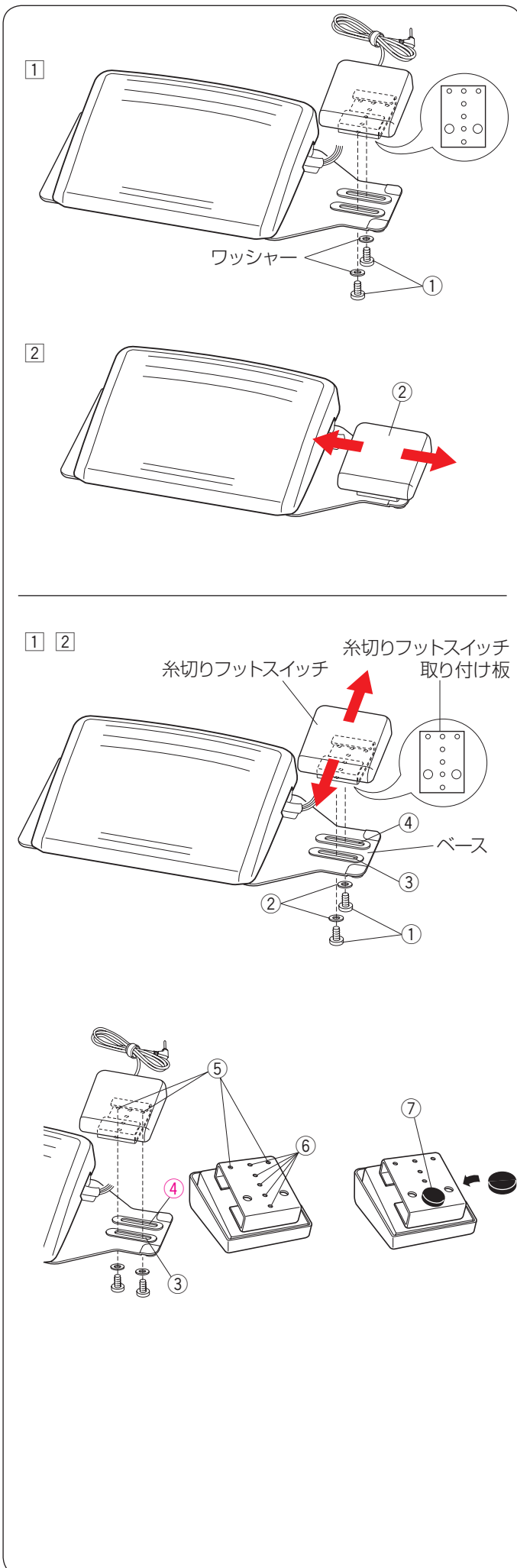
糸切りフットスイッチを上下に移動させたい場合、下記手順で調整します。

- ① 糸切りフットスイッチ取り付けねじ（2個）①とワッシャー②を外します。

- ② 糸切りフットスイッチ取り付け板のねじ穴をずらしてベースの取り付け穴③、④に取り付けます。

- 糸切りフットスイッチ取り付け板のねじ穴⑥をベースの取り付け穴④と③のねじ穴（2か所）を合わせ取り付けます。
- 最も手前（下）の位置に取り付けたい場合、糸切りフットスイッチ取り付け板のねじ穴⑤（2か所）を使い、ベースの取り付け穴③に取り付けます。

※ ねじ穴⑤とベースの取り付け穴③を使って糸切りフットスイッチを取り付けた場合、図の位置にゴム座⑦を貼ってください。ガタつき防止効果があります。
糸切りフットスイッチの位置を変更する場合はゴム座⑦は取り外してください。



● ワイドクリアテーブルの組み立て方と使い方



ワイドクリアテーブルをアイロン台など他の目的に使用しないでください。けがの原因となります。

ワイドクリアテーブルはカーテンやテーブルクロスなど大きな布地をぬうときに使用すると、布が安定してまっすぐぬえるので便利です。

- ① 調節ねじ ① をテーブル脚 ② にねじ込みます。
- ② すべり止め ③ からはく離紙をはがし、テーブル脚 ② の底に貼り付けます。
- ③ ワイドクリアテーブル ⑤ の 6 か所の取り付け穴に、テーブル脚を皿ねじ ④ で取り付けます。

- ④ ミシンから補助テーブル ⑥ を外します。

- ⑤ 組み立てたワイドクリアテーブル ⑤ を両手で持ち、ミシンのフリーアーム ⑦ にはめ込むように上からセットします。

- ⑥ ワイドクリアテーブル ⑤ の高さがフリーアーム ⑦ の高さと同じになるように、6 か所の補助脚 ⑧ をまわして高さを調節します。

取り外す場合：

ワイドクリアテーブルから脚を取り外すには、皿ねじ ④ をゆるめる必要はありません。

テーブル脚 ② を左 (loosen の矢印の方向) に回して脚をテーブルから外します。

テーブル脚 ② を再び取り付ける場合、アタッチメント ⑨ の凹部 ⑩ とテーブル脚 ② の凸部 ⑪ をあわせて取り付け、右 (tighten の矢印の方向) に止まるまで回します。

◎ 操作方法

● 電源のつなぎ方



- 電源は、一般家庭用交流電源 100 V で使用してください。
ミシンを使わないときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電・火災の原因となります。
- 電源プラグは定期的に乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。
ほこりなどが付着していると湿気などによって絶縁不良となり火災の原因となります。

★ スタート/ストップボタンを使用する場合

- 1 電源スイッチ ① を「OFF」(切) にします。
- 2 電源コードのプラグ ② をプラグ受け ③ に差し込みます。
- 3 電源プラグ ④ をコンセント ⑤ に差し込みます。
- 4 電源スイッチ ① を「ON」(入) にします。

※ 電源スイッチを入れると、ミシンの準備のための初期設定が数秒間行われます。初期設定中は針などが動きますので、ミシンに触れないでください。

※ 必ず付属の電源コードを使用してください。

※ 電源スイッチの「ON」(入)、「OFF」(切) の操作は 5 秒以上間かくをあけてください。

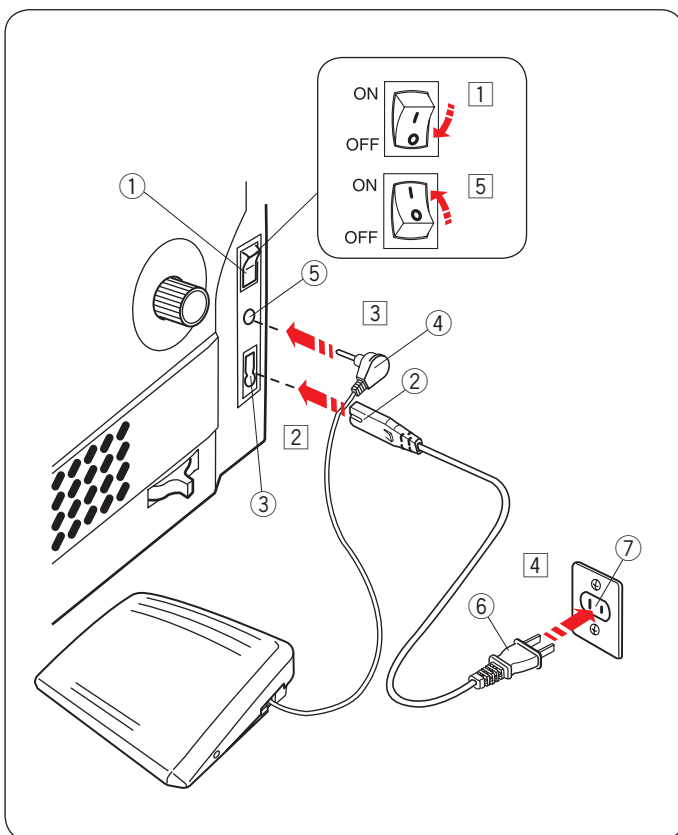
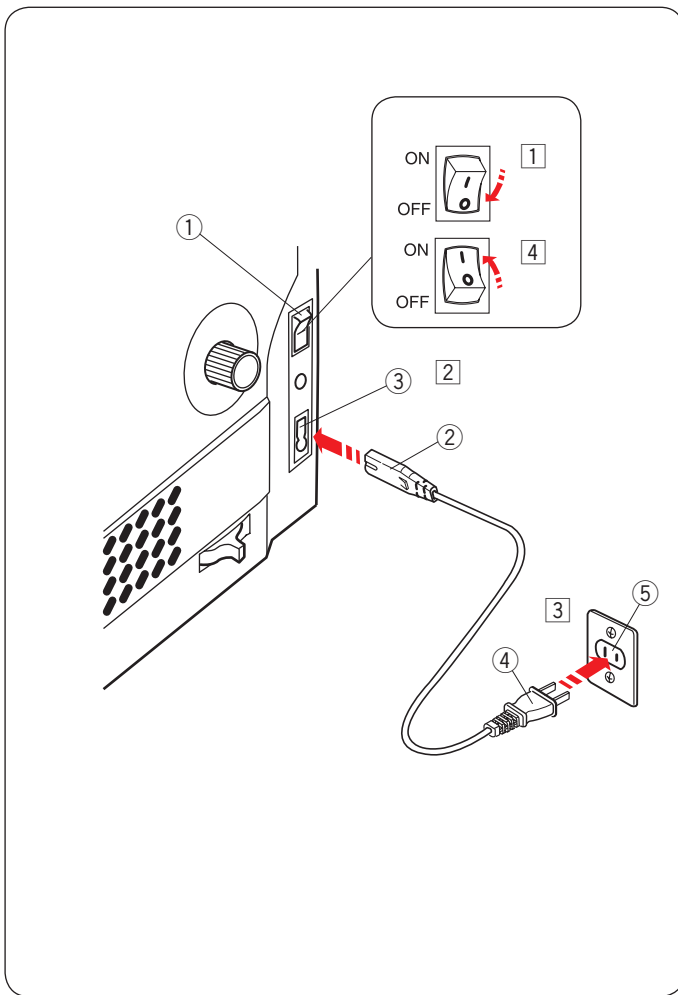
★ フットコントローラーを使用する場合

- 1 電源スイッチ ① を「OFF」(切) にします。
- 2 電源コードのプラグ ② をプラグ受け ③ に差し込みます。
- 3 フットコントローラープラグ ④ をフットコントローラープラグ受け ⑤ に差し込みます。
- 4 電源プラグ ⑥ をコンセント ⑦ に差し込みます。
- 5 電源スイッチ ① を「ON」(入) にします。

※ フットコントローラーのコードの取り出し方と収納方法は 15 ページをごらんください。

※ フットコントローラーを接続している場合、スタート/ストップボタンは使用できません。

※ フットコントローラーは、モデルによってオプションになります。



● 糸切りフットスイッチのつなぎ方

糸切りフットスイッチを使用する場合、ミシンの糸切りフットスイッチ端子にプラグを差し込みます。



注意

糸切りフットスイッチのプラグを糸切りフットスイッチ端子に差し込むときには、必ず電源スイッチを「OFF」(切)にしてから、プラグを差し込んでください。けがの原因になります。

- ① 電源スイッチ ① を「OFF」(切) にします。
- ② ケーブルタイ ② をケーブルから取り外します。
- ③ 電源コードのプラグ ③ をプラグ受け ④ に差し込みます。
- ④ 糸切りフットスイッチのプラグ ⑤ を糸切りフットスイッチ端子 ⑥ に差し込みます。
- ⑤ 電源プラグ ⑦ をコンセント ⑧ に差し込みます。
- ⑥ 電源スイッチ ① を「ON」(入) にします。

ぬい終わってから糸切りフットスイッチ ⑨ を 0.5 秒以上ふむと、上糸と下糸が切られます。

スタート/ストップボタン ⑩ が緑色に変わるまで糸切りフットスイッチ ⑨ をふまないでください。

糸切り後、針は上位置に移動します。

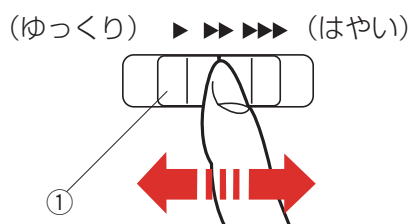
次にぬうとき下糸を引き上げなくても続けてぬうことができます。

※ 必要に応じて、ケーブルタイ ⑪ を使ってケーブルを束ねます。

※ 糸切り中と糸切り直後には、フットコントローラーや針上下移動ボタンの操作はできません。

糸切りの注意事項：

- 以下の場合、糸切りフットスイッチは機能しません。
 - － 電源をつけた直後。
 - － 押さえを押さえ上げてあげたとき。
 - － 糸切りフットスイッチを 3 回連続でふんだとき。
- 30 番および 30 番より太い糸や特殊な糸を切る場合、2 本針ぬいで糸を切る場合、ミシンの面板に付いている糸切りを使用してください。(45 ページ「面板の糸切りの使い方」参照)
- 糸残りが少ない糸こまは使用しないでください。糸がらみの原因となります。
- 糸切り部の掃除をとときどき行ってください。糸切り部に糸くずがたまると故障の原因となります。(152 ページ参照)
- 糸が切れず糸がからんでしまった場合、ロックキーでミシンをロックしてから針板を外し、からんでいる糸を取り除いてください。(152 ページ参照)



● 速さの調整

ぬう速さは、スピードコントロールつまみやフットコントローラーで調整します。

★ スピードコントロールつまみ

スピードコントロールつまみ①は、スタート/ストップボタン使用時のぬう速さを調整できます。

つまみの位置が右側になるほど速くなります。

※ フットコントローラー使用時は、フットコントローラーをいっぱい踏み込んだときの最高速度を調整できます。

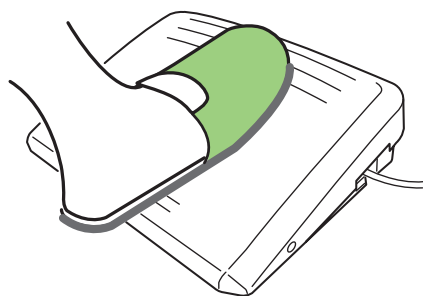
※ 最高速度は、模様のぬい目のあらかさ、および模様の種類によって変化します。

★ フットコントローラー

※ フットコントローラーは、モデルによってオプションになります。

フットコントローラーのふみかげんで、ミシンの速さを調整します。

フットコントローラーを深くふむほど、ぬいの速度が速くなります。

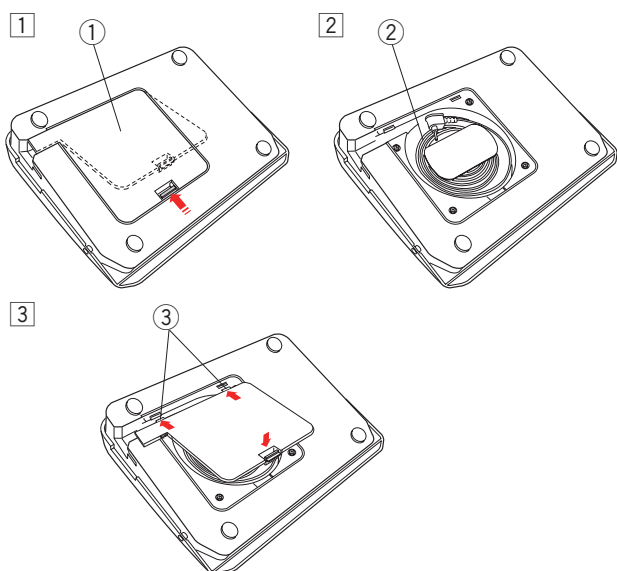


メモ：

- フットコントローラーを一番深くふみこんだときのミシンの最高速度は、スピードコントロールつまみで調整します。
- スピードコントロールつまみは、通常、いちばん右側の位置（最高速）にして、ふみかげんで速さを調整してください。
- 初心者の方が細かいものをぬうときなどは、スピードコントロールつまみを低速側にしておくと、フットコントローラーをいっぱい踏み込んででもスピードが出ないので使いやすくなります。
- ミシンに大きな負荷がかかった場合、安全装置が働き自動的に停止するしくみになっています。画面に表示されるメッセージに従ってください。（154 ページ参照）

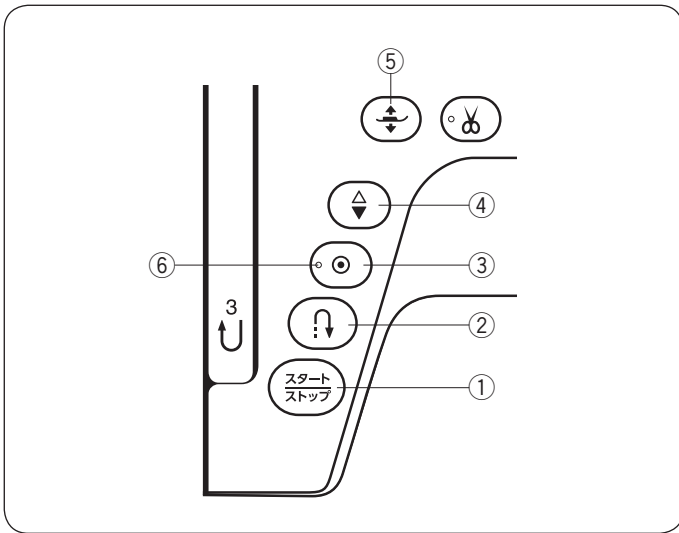
⚠ 注意

- フットコントローラーの上に物を置かないようにしてください。けがや故障の原因となります。
- フットコントローラーを使用する場合、周辺に糸くずやほこりがないことを確認してください。動作不良を起こし、けが・故障の原因となります。



【コードの取り出し方と収納方法】

- ① 底のカバー①を外してコード②を取り出します。
- ② コード②を収納する場合、底のカバー①を外してコードを巻き付けて収納します。
- ③ カバー①は、先に2カ所のつめ③を押し込んでから取り付けます。



● 操作ボタン

① スタート/ストップボタン

スタート/ストップボタンを押すと、ミシンはゆっくり動きはじめてからスピードコントロールつまみでセットした速さになります。(スロースタート機能)

もう一度押すとミシンは停止します。通常は針が下の位置で停止します。

メモ：

- ぬい途中でこのボタンを長押しするとミシンは低速になり、ボタンを離すと止まります。
- ボタンのランプ色は、ミシン停止中は緑、運転中は赤になります。
- ボタンを押してスタートさせるときおよび停止させるとき、指をはなさないで押し続けているあいだは低速で動きます。
- フットコントローラーを接続している場合、スタート/ストップボタンは使用できません。
- 動きはじめの速度(スロースタート機能)は、かえることができます。(148 ページ「スロースタート調節」参照)
- ミシンを停止したとき、通常は針が下の位置で停止しますが、上の位置で停止にも設定できます。(148 ページ「針停止位置」参照)

② 返しぬいボタン

•じつようぬい 、キルト

アップリケ 、つなぎもよう

かざりもよう 2 の が選択されている場合 (直線ぬい
用針板模様含む)：

《ミシン停止中》(フットコントローラーを接続していないときのみ)

ボタンを押しているあいだは低速で返しぬいを行い、指をはなすとミシンは停止します。

《ミシン運転中》

ボタンを押しているあいだは返しぬいを行い、指をはなすと前進ぬいにもどります。

•その他の模様を選択されている場合：

ぬい途中で返しぬいボタンを押すと、その位置でほつれ止めの止めぬいを行い、自動的にミシンが停止します。ミシンが停止しているときに押すと、運転再開後、その位置でほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

メモ：

じつようぬい 、ボタンホール を選択

した場合、返しぬいボタンは特殊な使い方になります。(48、66、72、127 各ページを参照)

③ 止めぬいボタン

•じつようぬい 、キルト

アップリケ 、つなぎもよう

かざりもよう 2 の が選択されている場合 (直線ぬい
用針板模様含む)：

ぬい途中でボタンを押すと、その位置でほつれ止めの止めぬいをしてミシンが自動的に停止します。

ミシンが停止しているときに押すと、LED ⑥ が点滅します。ミシンをスタートさせると、その場でほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

LED ⑥ が点灯しているときは使用できません。

•その他の模様を選択されている場合：

ぬい途中でボタンを押すと、模様を完成させたあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

ミシンが停止しているときに押すと、LED ⑥ が点滅します。ミシンをスタートさせると、模様を完成させたあと、止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

※ぬう前にボタンを押しておく、模様を1つだけぬったあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。LED ⑥ が点滅します。

「通常ぬいオートストップ時の糸切り」を「ON」に設定すると、ほつれ止めの止めぬいをしたあと、自動的に糸を切ります。(150 ページ参照)

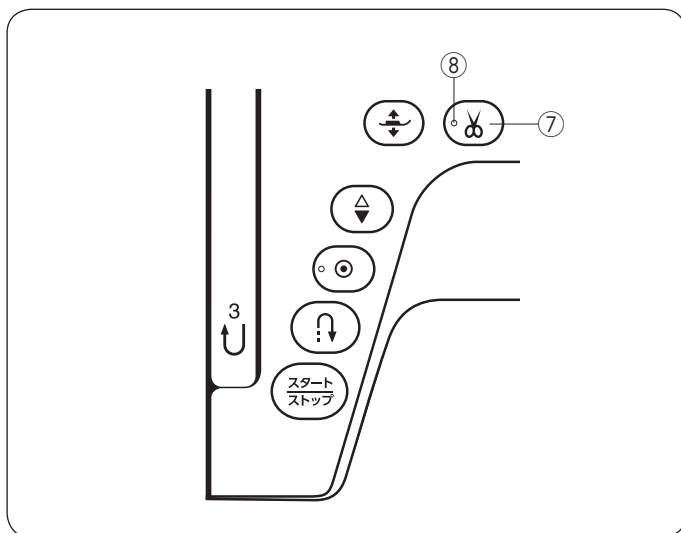
④ 上下停針ボタン

ミシンが停止しているときにボタンを押すと針の位置が上にあるときは下へ、下にあるときは上へ移動させることができます。

※ミシンを停止したときの針位置の設定は、148 ページ「針停止位置」をごらんください。

⑤ 押さえ上下移動ボタン

ミシンが停止しているときに、押さえをあげたり下げたりします。



⑦ 糸切りボタン

ぬい終わったあとボタンを押すと、上糸と下糸を自動的に切ります。(自動糸切り)

糸を切ったあと、針は自動的に上の位置に移動します。
(45 ページ【ぬい終わり】参照)

糸切り後は下糸を針板の上に引きあげないで、そのままの状態ですぐに縫うことができます。

糸切り中は、LED ⑧ が点滅します。

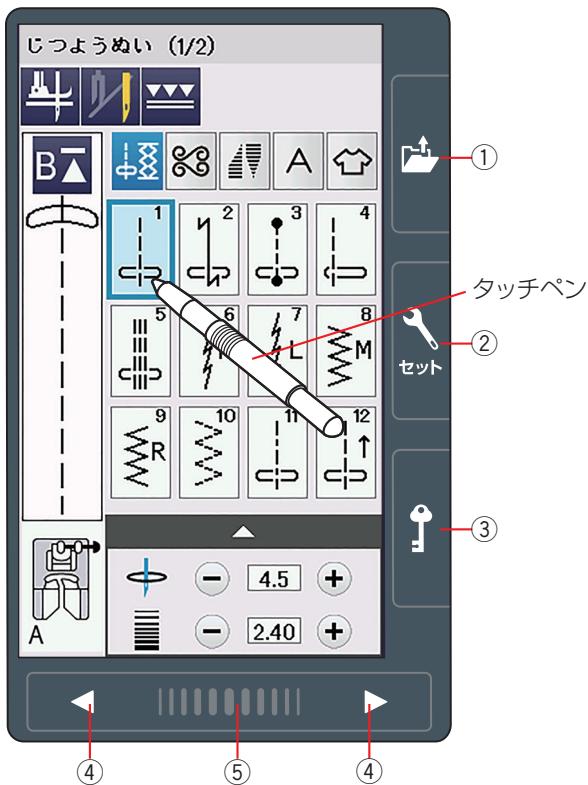
LED ⑧ が点灯しているときは使用できません。

※ 通常は、ぬい終わったあと糸切りボタンを押して上糸と下糸を切りますが、「通常ぬいオートストップ時の糸切り」を「ON」に設定すると、糸切りボタンを使用しないで、ぬい終わると同時に自動的に糸を切ることもできます。(150 ページ参照)

糸切りの注意事項：

- 以下の場合など LED ⑧ が点灯していないとき、糸切りボタンは使用できません。
 - － 電源をつけた直後。
 - － 押さえを押さえ上げであげたとき。
 - － 糸切りボタンを 3 回連続で押したとき。
- 30 番および 30 番より太い糸や特殊な糸を切る場合、2 本針ぬいで糸を切る場合、ミシンの面板上に付いている糸切りを使用してください。
(45 ページ「面板上の糸切りの使い方」参照)
- 糸残りが少ない糸こまは使用しないでください。
糸がらみの原因となります。
- 糸切り部の掃除をときどき行ってください。
糸切り部に糸くすがたまると故障の原因となります。
(152 ページ参照)
- 糸が切れず糸がからんでしまった場合、ロックキーでミシンをロックしてから針板を外し、からんでいる糸を取り除いてください。(152 ページ参照)

〔電源投入時のじつようぬい画面〕



● 画面（タッチパネル）



注意

画面のキーは付属のタッチペンか指で押してください。画面を鉛筆、ドライバーなどの硬いものや先の尖ったもので押さないでください。タッチペンを使うことをおすすめします。

① ファイルオープンキー

ミシン本体や USB メモリに保存してある模様データを呼び出します。（109～110 ページ参照）

② セットキー

ミシンの設定を変更できます。

共通設定（144～147 ページ参照）、通常ぬい設定（148～150 ページ参照）、言語設定（151 ページ参照）があります。

③ ロックキー

押さえや針などの部品交換時、糸のセットを行うときなどに使います。ロックキーを押すと、押さえがさかった状態になります。

すべて（押さえ上下移動ボタンは除く）のボタンやキーの操作ができなくなり、ミシンも動きません。

現在設定されている状態を保持したまま安全に押さえや針の交換、糸のセットなどを行うことができます。

ロックを解除するにはもう一度ロックキーを押します。

※ 押さえや針、針板の交換、糸のセットなどを行うときに、ロック状態にしないで、電源スイッチを切った状態で行うと、押さえ上げで押さえのあげ下げができない場合があります。

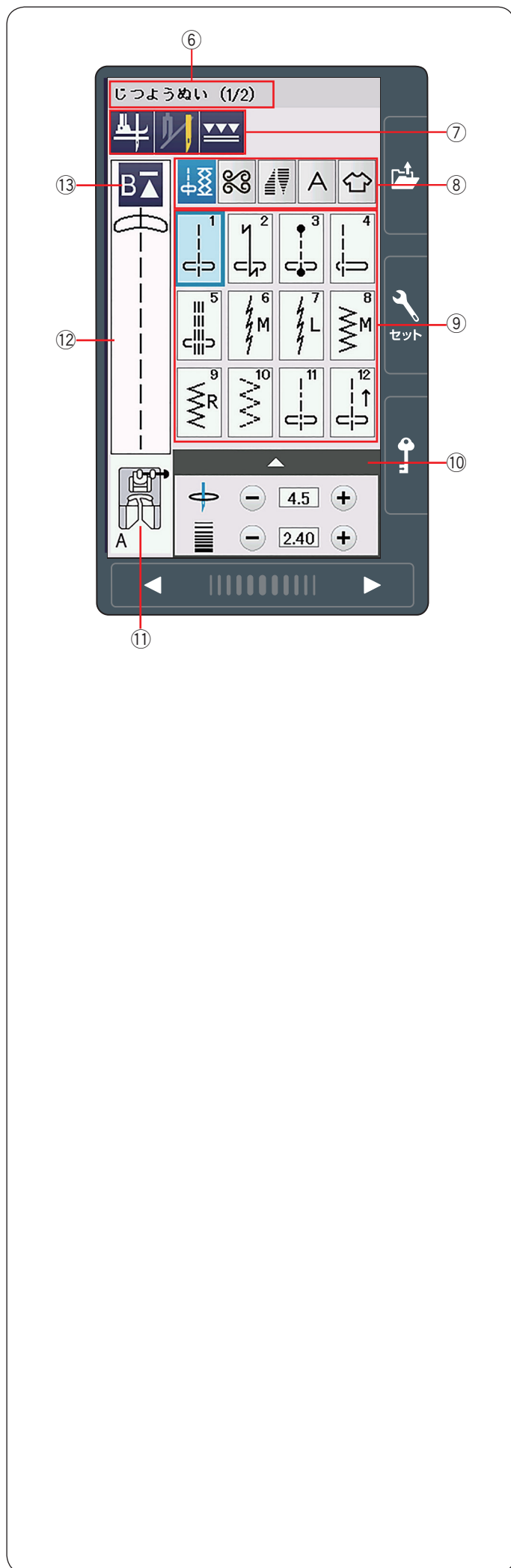
④ ページキー

▶ キーを押すと次のページ、◀ キーを押すと前のページに移動します。

ページキーを押し続けるとページが連続でめくれます。

⑤ タッチバー

タッチバーを押しながら右側にスライドさせると次のページ、左側にスライドさせると前のページにかえることができます。



⑥ 模様グループ名称とページ

選ばれている模様グループの名称とページが表示されます。

⑦ 設定キー

選ばれている模様を設定されているぬい条件をお好みのぬい条件に変更できます。(38～39 ページ参照)

⑧ 模様グループ選択キー

目的の模様が属している模様グループを選びます。(20～21 ページ参照)

⑨ 模様選択キー

模様を直接選んでぬうことができます。

⑩ 調整キー

選ばれている模様のぬい目の幅、あらかさ、糸調子、押さえ圧の変更ができます。

模様によって、調整項目は異なります。(40～42 ページ参照)

⑪ 押さえの表示

選択した模様の代表的なぬいに適した押さえが表示されます。

ぬい目的によって、使用する押さえは異なります。

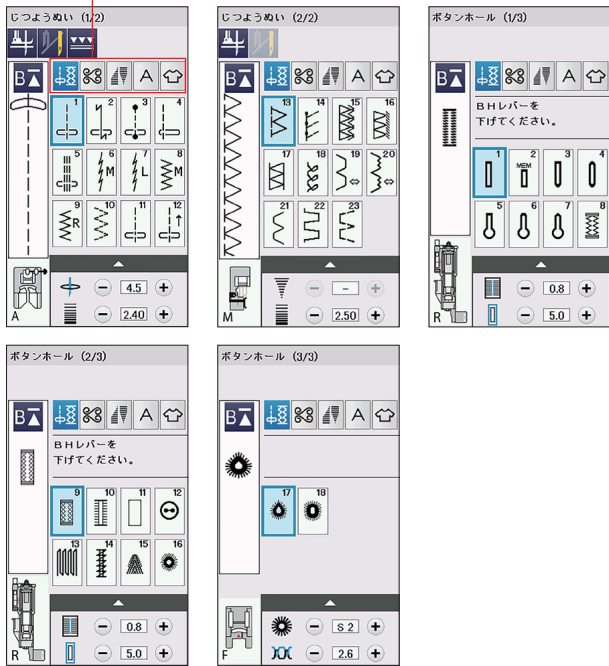
⑫ イメージ表示部

選択した模様のぬいイメージが表示されます。

⑬ 模様頭出しキー

模様をぬっている途中でミシンを止めた場合、次にぬうときにその模様の最初からぬうことができます。(97 ページ参照)

① 模様グループ選択キー
模様グループ選択キー



★ 模様グループ選択キー

模様グループは、以下5のつのグループに分かれています。

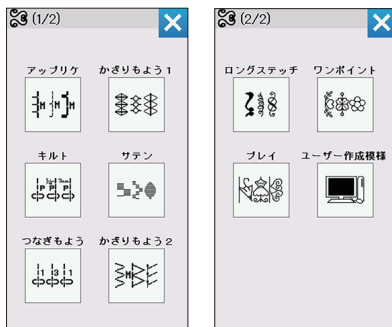
- ① じつようぬい、ボタンホールと特殊模様
- ② 飾りぬい、キルト模様
- ③ テーパリング
- ④ 文字ぬい
- ⑤ 用途選択

模様グループ選択キーのアイコンキーを押し、模様グループを選びます。

① じつようぬい、ボタンホールと特殊模様

じつようぬい、ボタンホールと特殊模様のグループを選ぶことができます。

② 模様グループ選択キー

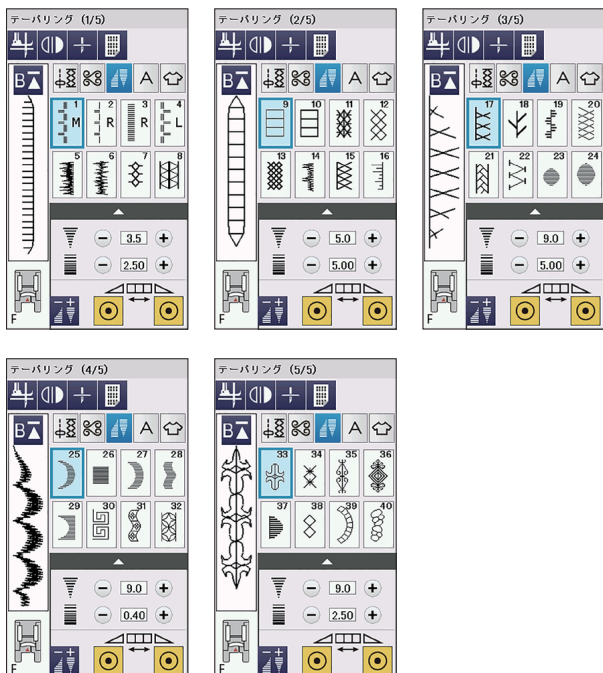


② 飾りぬい、キルト模様

この模様グループには、以下の10のグループがあります。

- アップリケ
- かざりもよう1
- キルト
- サテン
- つなぎもよう
- かざりもよう2
- ロングステッチ
- ワンポイント
- プレイ
- ユーザー作成模様

③ 模様グループ選択キー

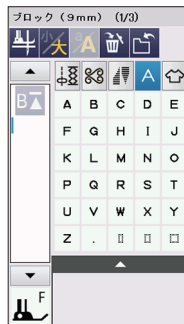
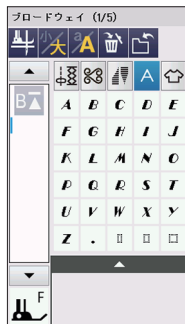
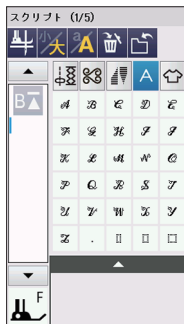
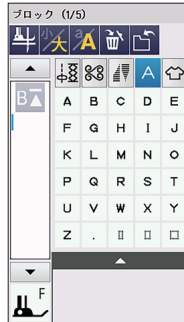
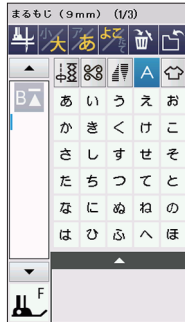
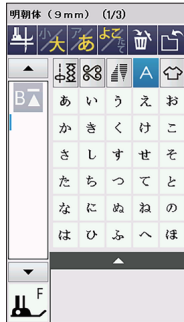


③ テーパリング

飾りぬい模様の最初と最後を先細りにして、模様先端やコーナーを細くするテーパリングが可能な模様です。

④

A

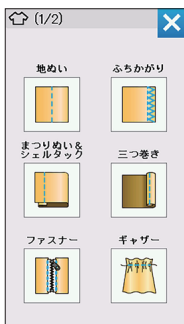


④ 文字ぬい

以下の6種類の文字からお好みの書体を選択し、文字や文字の組み合わせをプログラムすることができます。

- 明朝体 (9 mm)
- まるもじ (9 mm)
- ブロック
- スクリプト
- ブロードウェイ
- ブロック (9 mm)

⑤



⑤ 用途選択

この模様グループでは、様々なぬい用途や布の種類に適したぬい模様を選ぶことができます。

● 押さえの外し方、付け方



注意

- 押さえを交換する場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。
- 押さえは模様にあったものを使用してください。押さえが合っていないと針が押さえにあたり、けがの原因となります。

【押さえの外し方】

- 1 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン①を押して針をあげます。
ロックキー②を押してミシンをロックします。

- 2 押さえ上げ③をあげます。

※ 押さえ上下移動ボタンで押さえをあげると、このあと押さえ上げ③で押さえをさげることができません。

- 3 押さえホルダー④のレバー⑤をうしろ側から手前に押し、押さえ⑥を外します。



注意

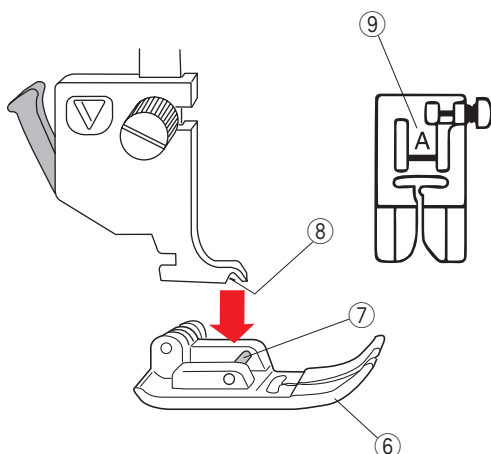
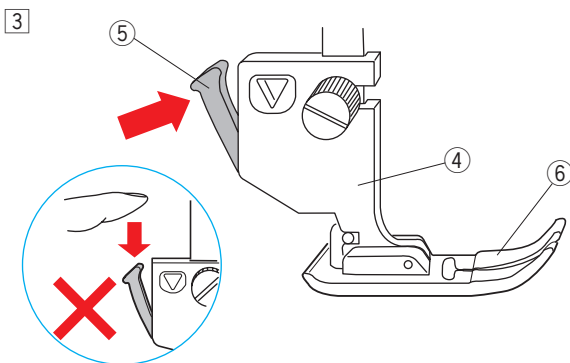
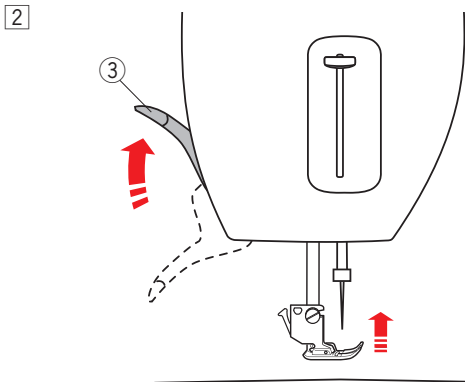
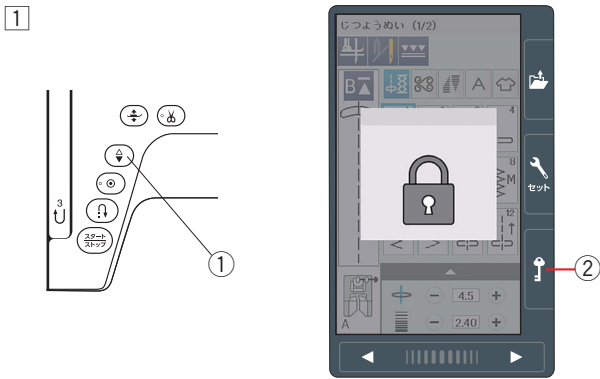
レバー⑤を上から押さないでください。
故障の原因となります。

【押さへの付け方】

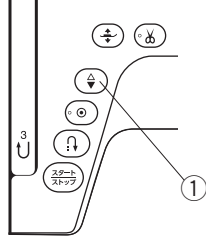
交換する押さへのピン⑦を、押さえホルダーのみぞ⑧に合うように真下へおきます。

押さえ上げをゆっくりさげ、押さえ⑥を取り付けます。

※ 押さえは、模様にあったものを使用してください。
押さえには押さえ記号⑨が付いています。

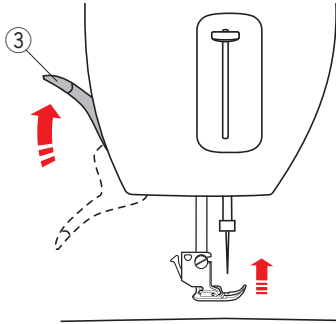


1

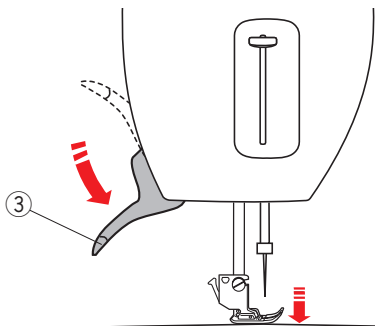
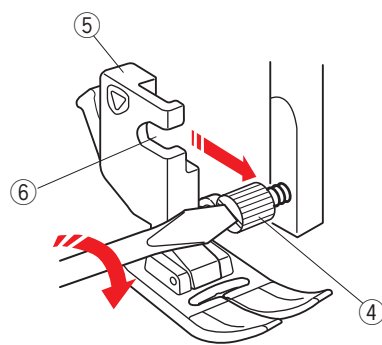
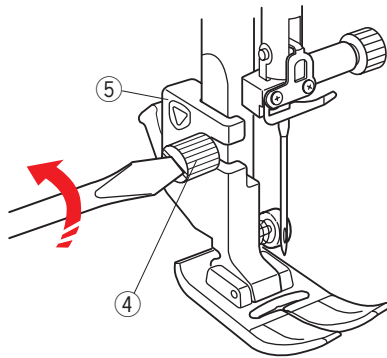


②

2



3



● 押さえホルダーの外し方、付け方

上送り押さえ、フリーキルト押さえ PD-H やフリーキルト押さえ PD-H (前あき) などを使用する場合、押さえホルダーを外します。



注意

押さえホルダーの取り付け、取り外しを行う場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。

【押さえホルダーの外し方】

① 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン ① を押して針をあげます。

ロックキー ② を押してミシンをロックします。

② 押さえ上げ ③ をあげます。

③ ドライバーで押さえホルダー止めねじ ④ を左にまわしてゆるめ、押さえホルダー ⑤ を外します。

【押さえホルダーの付け方】

※ 押さえホルダーは、押さえが付いた状態で取り付けてください。押さえが付いていないと正常な取り付けができません。

電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン ① を押して針をあげます。

ロックキー ② を押してミシンをロックし、押さえ上げ ③ をあげます。

※ 押さえ上下移動ボタンで押さえをあげると、このあと押さえ上げで押さえをさげることができません。

押さえホルダーのみぞ ⑥ を、うしろ側から押さえホルダー止めねじ ④ に合わせ、押さえホルダー ⑤ を仮止めします。

押さえ上げ ③ をゆっくり下げます。はずみ車を手前にまわし、針をいちばん下まで下げます。

押さえホルダー止めねじ ④ を一度少しゆるめてから、押さえが針板に押し付けられた状態で押さえホルダー止めねじ ④ を右にまわしてドライバーでしっかりしめます。

● 上送り押さえの付け方、外し方



上送り押さへの取り付け、取り外しを行う場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。

※ 上送り押さえホルダーは、押さえが付いた状態で取り付けてください。押さえが付いていないと正常な取り付けができません。

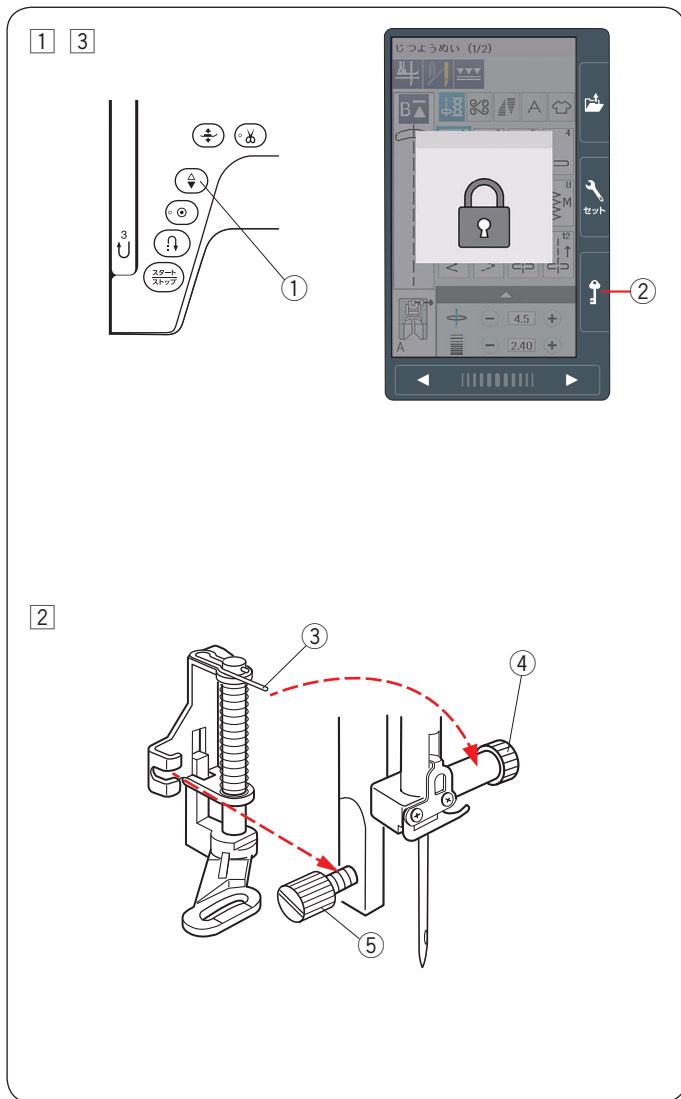
【上送り押さへの付け方】

- 1 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン①を押して針をあげます。
ロックキー②を押してミシンをロックし、押さえ上げ⑧をあげます。
※ 押さえ上下移動ボタンで押さえをあげると、このあと手順④で押さえあげで押さえをさげることができません。
ドライバーで押さえホルダー止めねじ④を左にまわしてゆるめ、押さえホルダーを外します。
(23 ページ参照)
- 2 上送り押さえホルダーのみぞ③を押さえホルダー止めねじ④に合わせ、押さえホルダー止めねじ④を上送り押さえホルダー⑤にふれる位置まで指で右にまわし、上送り押さえホルダー⑤を仮止めします。
- 3 上送り押さえホルダー⑤のフック部⑥をうしろ側から手前に「カチン」と音がして止まるまでしっかりと押し付けます。
※ 上送り押さえホルダー⑤のフック部⑥が上送り取り付けピン⑦にしっかりと押し付けられた状態になっていないと、上送りが正常にはたらかしません。
- 4 押さえ上げ⑧をゆっくりさげます。
はずみ車を手前にまわし、針をいちばん下までさげます。

- 5 押さえホルダー止めねじ④を一度少しゆるめ、上送り押さえが針板に押し付けられた状態で、ドライバーでしっかりしめます。

【上送り押さへの外し方】

上送り押さえホルダーを外すときは、通常の押さえホルダーを外す場合と同じ方法(23 ページ【押さえホルダーの外し方】参照)で針と押さえを上げ、押さえホルダー止めねじをゆるめてから上送り押さえホルダーをうしろ側に引いて外してください。



● その他押さえの交換



注意

押さえの取り付け、取り外しを行う場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。

★ フリーキルト押さえ PD-H / フリーキルト押さえ PD-H (前あき)

※ イラストはフリーキルト押さえ PD-H の例

- ① 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン①を押して針をあげます。
 ロックキー②を押してミシンをロックし、押さえ上げをあげます。
 ドライバーで押さえホルダー止めねじ⑤を左にまわしてゆるめ、押さえホルダーを外します。
 (23 ページ参照)
 - ② 針と押さえ上げがあがっている状態で、フリーキルト押さえ PD-H のピン③を針止め④の上ののせます。
 押さえのみぞを、うしろ側から押さえホルダー止めねじ⑤に合わせ、ドライバーでしっかりしめます。
 ※ 取り付け後、押さえが傾いていないことを確認してください。針が押さえにあたり、けがの原因となります。
 - ③ ロックキー②を押して、ロック状態を解除します。
- ※ 取り外すときは、電源スイッチを入れた状態でロックキーを押してミシンをロックします。
 針と押さえ上げをあげ、押さえホルダー止めねじをドライバーでゆるめ、押さえを取り外します。

★ プロフェッショナル直線押さえ HP

- ① 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン①を押して針をあげます。
ロックキー②を押してミシンをロックし、押さえ上げ⑤をあげます。
- ② ドライバーで押さえホルダー止めねじ③を左にまわしてゆるめ、押さえホルダーを外します。
(23 ページ参照)

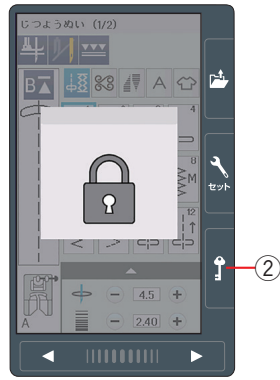
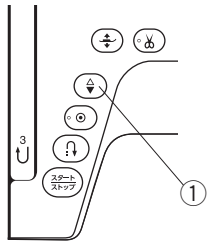
- ③ 押さえ棒④にプロフェッショナル直線押さえ HP を図のように取り付けます。
押さえホルダー止めねじ③を軽くしめ、押さえを仮止めしておきます。

- ④ 押さえ上げ⑤をゆっくりさげます。
はずみ車を手前にまわし、針をいちばん下までさげます。

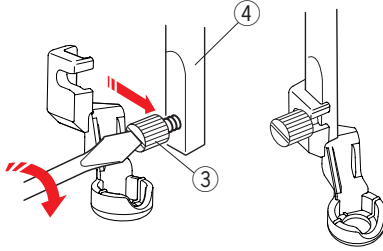
- ⑤ 押さえホルダー止めねじ③を一度少しゆるめます。
押さえが針板に押し付けられた状態で、押さえホルダー止めねじ③をドライバーでしっかりしめます。
- ⑥ ロックキー②を押して、ロック状態を解除します。

※ 取り外すときは、電源スイッチを入れた状態でロックキー②を押してミシンをロックします。
針と押さえ上げ⑤をあげ、押さえホルダー止めねじ③をドライバーでゆるめ、押さえを取り外します。

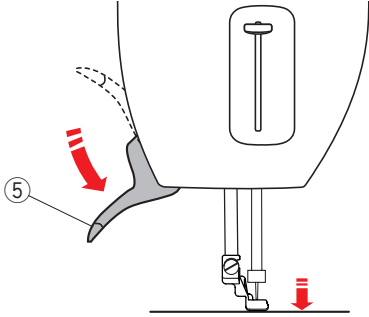
1



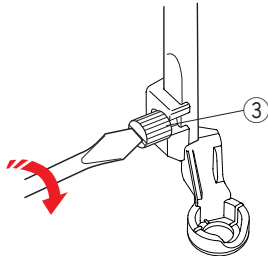
3



4



5



★ ルーラーワーク押さえ QR

- ① 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン①を押して針をあげます。
ロックキー②を押してミシンをロックし、押さえ上げ⑤をあげます。
- ② ドライバーで押さえホルダー止めねじ③を左にまわしてゆるめ、押さえホルダーを外します。
(23 ページ参照)

- ③ 押さえ棒④にルーラーワーク押さえ QR を図のように取り付けます。
押さえホルダー止めねじ③を軽くしめ、押さえを仮止めしておきます。

- ④ 押さえ上げ⑤をゆっくり下げます。
はずみ車を手前にまわし、針をいちばん下まで下げます。

- ⑤ 押さえホルダー止めねじ③を一度少しゆるめます。
押さえが針板に押し付けられた状態で、押さえホルダー止めねじ③をドライバーでしっかりしめます。

- ⑥ ロックキー②を押して、ロック状態を解除します。

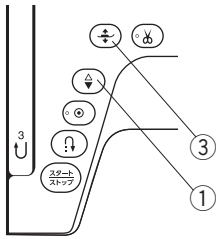
※ 取り外すときは、電源スイッチを入れた状態でロックキー②を押してミシンをロックします。
針と押さえ上げ⑤をあげ、押さえホルダー止めねじ③をドライバーでゆるめ、押さえを取り外します。



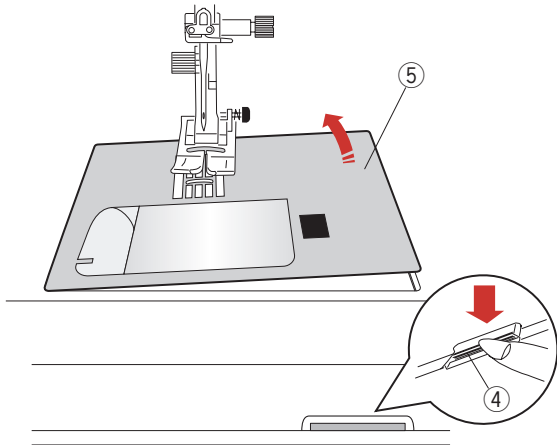
注意

ルーラーワーク押さえ QR を取り付け糸通しを使用する場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。(36 ページ参照)
糸通しが押さえにあたる場合があります。

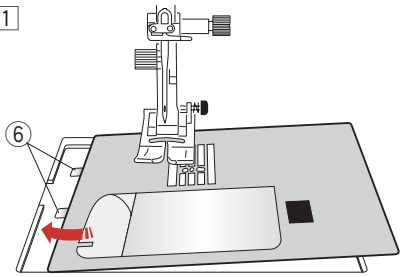
1



2



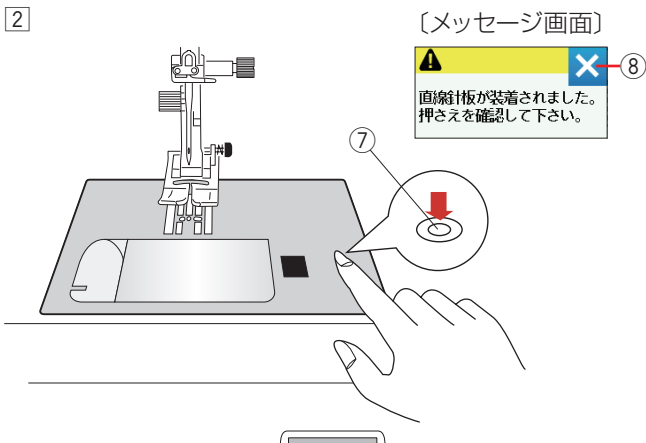
1



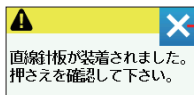
【警告メッセージ】



2



【メッセージ画面】



● 針板の外し方、付け方

**注意**

針板の交換を行う場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。

- ※ 直線ぬい用針板を取り付けると、直線ぬい用針板でぬえない模様は選択できなくなります。
- ※ プロフェッショナル直線ぬい用針板（左針位置専用）は、付属のHP：プロフェッショナル直線押さえと一緒に使います。（53 ページ参照）

【針板の外し方】

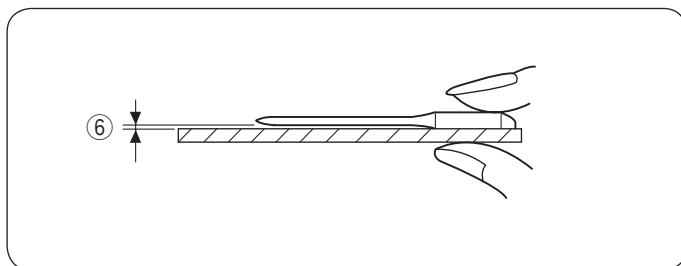
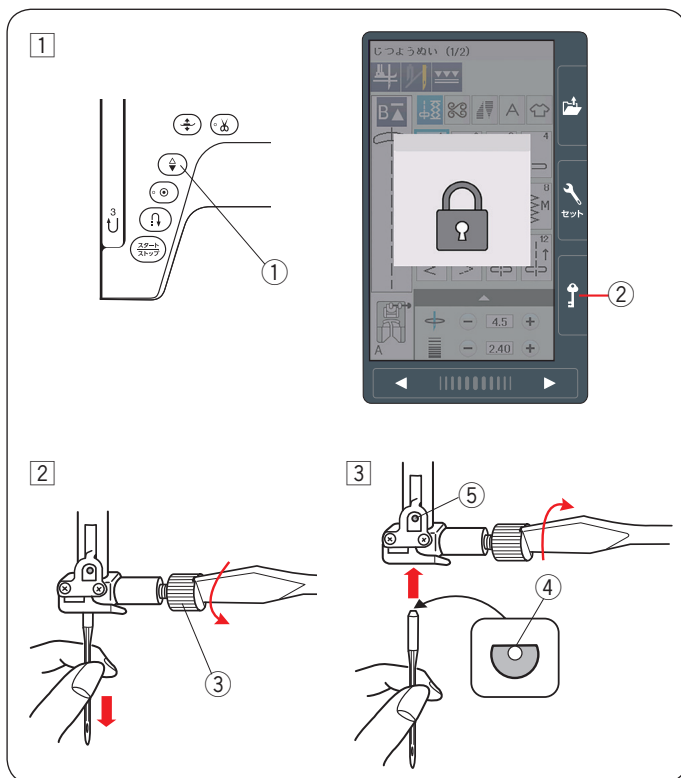
- 1 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン①を押して針をあげます。
ロックキー②を押してミシンをロックします。
押さえ上下移動ボタン③を押し、押さえをあげます。
※ 押さえをあげるとき、押さえ上げであげるよりも押さえ上下移動ボタン③であげるほうが高く上がり、針板が取り外しやすくなります。
- 2 補助テーブルを左に引いて外します。
フリーアーム中央の下にある針板開放レバー④をさげて、針板⑤を外します。

【針板の付け方】

- 1 ミシンの針板取り付け部左側に針板の2つのガイド⑥を入れます。
※ ミシンの電源スイッチが入っている場合、針板が外れているあいだ、針板が外れていることを示す警告メッセージ画面が表示されます。
針板を取り付けたとき、警告メッセージ画面が消えることを確認してください。消えない場合、もう一度取り付け直してください。
- 2 針板右側にある「◎」マーク⑦が付いている場所を「パチン」と音がするまで指でしっかりと押しつけて、針板を固定します。
※ 針板を取り付け後、押さえ確認のメッセージ画面が表示されます。押さえを確認したあと、閉じるキー⑧を押します。また、はずみ車を手で手前にゆっくりまわして、針が針板にあたらないことを確認してください。
※ メッセージ画面が消えたら、ロックキー②を押してロックを解除します。

**注意**

ミシンの運転中、針板開放レバーは絶対に押さないでください。



● 針の取りかえ方



針を交換する場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。

- ① 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン①を押して針をあげます。
ロックキー②を押してミシンをロックします。
押さえは、さがった状態のままにしておきます。
- ② 針止めねじ③を手前に1～2回まわしてゆるめ、針を外します。
- ③ 交換する針の平らな面④を向こう側に向け、差し込みます。
差し込むとき、針を停止ピン⑤にあたるまで押しあげます。針止めねじをドライバーでまわし、針をしっかり止めます。

※ 正しく針が付けられていないと、糸通しができないだけでなく、針がゆるんで針折れして危険です。

【針の調べ方】

針の状態を見るには、針の平らな面を針板などの平らなものに乗せます。

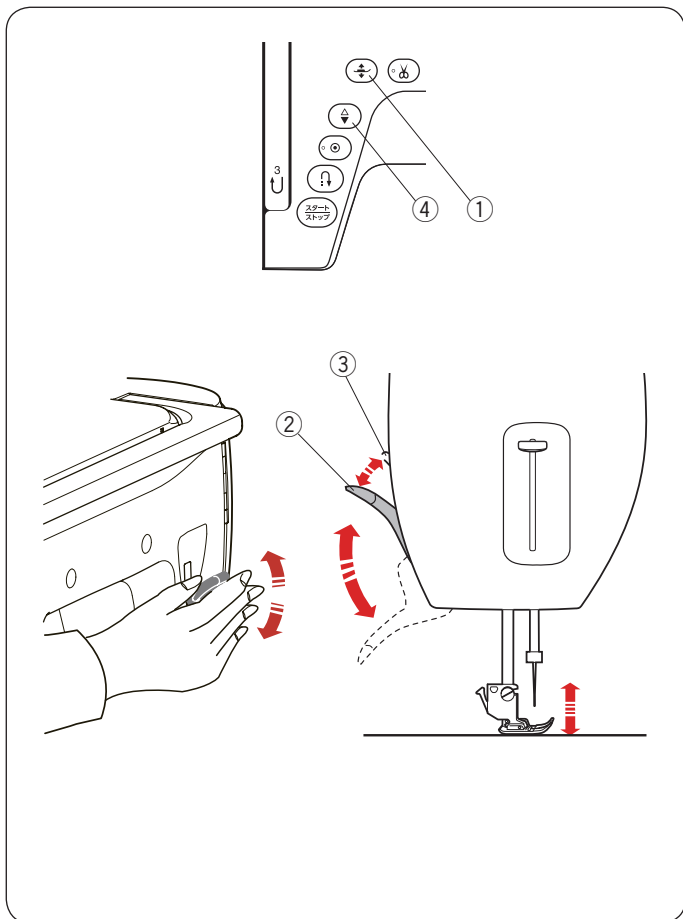
針と平らな面のすきま⑥が針先まで均等に見えるのが良い針です。

針先が曲がったり、つぶれたりしているものは使わないでください。

● 布に適した糸や針を選ぶ目安

布の種類		糸	針
うすい布	ローン ジョーゼット トリコット	ポリエステル90番	9番～11番 または ブルー針
普通の布	シーチング ジャージー 一般ウール地	綿糸60番、 ポリエステル、ナイ ロン50番～90番	11番～14番 または ブルー針、レッド針、 パープル針
		綿糸50番	14番 または レッド針、パープル針
厚い布	デニム ツイード コート地	綿糸40番～50番 ポリエステル40番 ～50番	14番～16番 または レッド針、パープル針
		ポリエステル30番、 綿糸30番	16番

- ※ ブルー針〔11番〕、レッド針〔14番〕、パープル針〔14番〕は、標準付属品の針ケースに入っています。
- ※ 一般的に、うすい布には細い糸と細い針を、厚い布には太い糸と太い針を使用します。この表を目安に糸と針を選び、試しぬいをしてください。
- ※ 通常は、上糸と下糸は同じものを使用してください。
- ※ ブルー針（柄の部分が青色の針）およびパープル針（柄の部分が紫色の針）は、目とび防止の効果があります。



● 押さえ上げ

押さえ上げ②は、押さえを交換するときや、厚い布を入れるときなどに使います。

押さえ上下移動ボタン①、押さえ上げ②、もしくはニーリフトで、押さえのあげさをを行います。

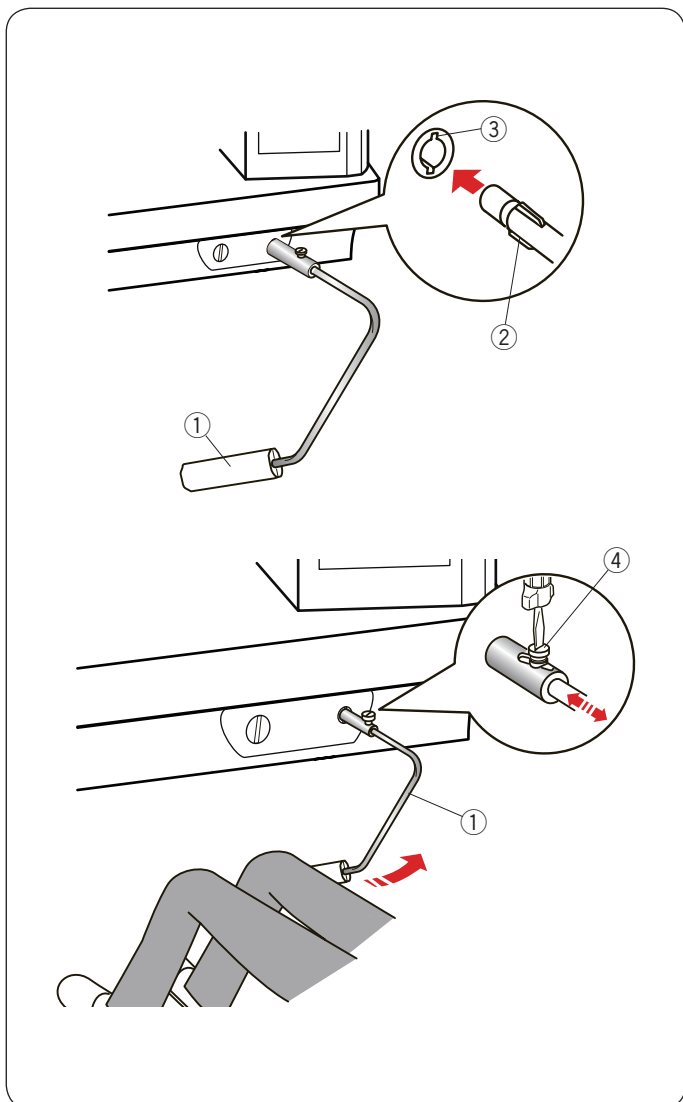
ニーリフトや押さえ上げ②を使用すると、押さえ上げを普通にあげて止まる位置②より7mm高くあげる③ことができます。

厚い布が入れやすくなります。

※ 押さえ上下移動ボタン①で押さえをあげた場合、押さえ上げ②で押さえをおろすことはできません。一度、押さえ上下移動ボタン①を押して押さえを下げると、押さえ上げ②で押さえを上下できるようになります。

※ 通常、押さえのあげさげには、押さえ上下移動ボタン①を使用します。押さえ上げ②を使用すると、ミシンがスタートしなかったり、自動糸切りができなかったりする場合があります。

※ 押さえを一番高くあげた状態ではすみ車をまわしたり、上下停針ボタン④を押したりしないでください。



● ニーリフト

ニーリフトを取り付けると、押さえ上下移動ボタンを使わず、ひざで押さえのあげさげができます。

パッチワークや、キルトをぬうときにとても便利です。

ニーリフトを使用したバリエابل ZZ (可変ジグザグ) は 139 ~ 140 ページをごらんください。

【ニーリフトの取り付け】

ニーリフト①の凸部②を取り付け穴の凹部③に合わせ、差し込みます。

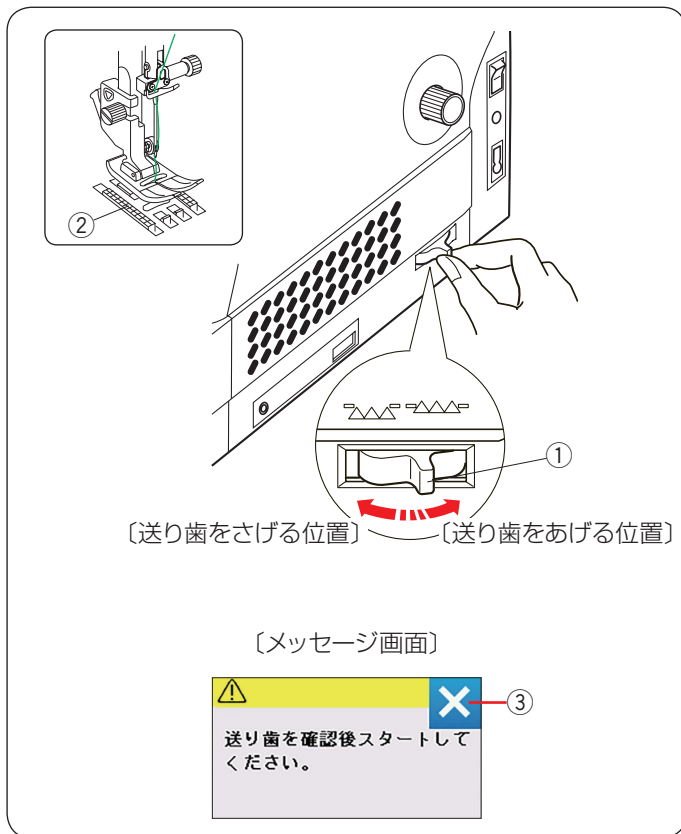
【ニーリフトの角度調整】

ねじ④をゆるめて、ニーリフト①を出し入れし、角度を調整します。ねじ④をしめ、お好みの角度でニーリフト①を固定してください。

【ニーリフトの使い方】

ニーリフトをひざで右側に押しと押さえがあがり(2段階)、もどすと押さえがさがります。

※ ぬっている途中、ニーリフトには触れないよう注意してください。

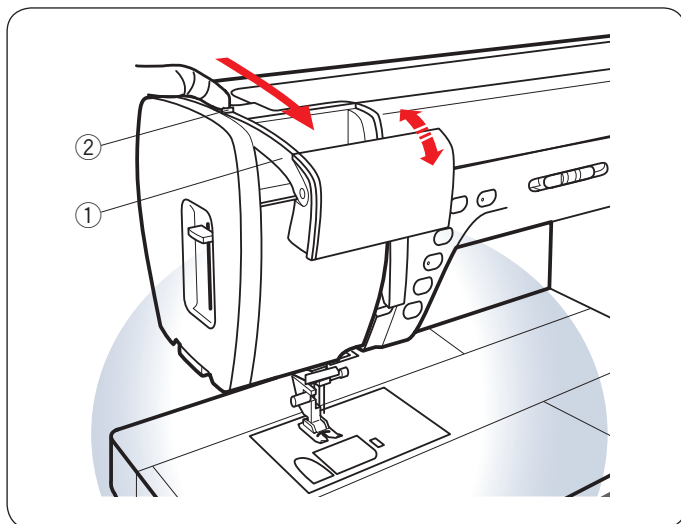


● 送り歯ドロップつまみ

送り歯ドロップつまみで送り歯を常時さげた状態にし、布送り機能をなしにすることができます。
しつけぬいやボタンつけ、フリーキルティングなどを行うときに使用します。
送り歯 ② をさげるには、送り歯ドロップつまみ ① を手前の方向に引きます。
送り歯 ② をあげるには、送り歯ドロップつまみ ① を〔送り歯をあげる位置〕にもどします。

※ 送り歯をさげた場合、ぬい終わったら送り歯ドロップつまみ ① を〔送り歯をあげる位置〕にもどし、はずみ車を手で手前にまわして送り歯があがることを確認してください。

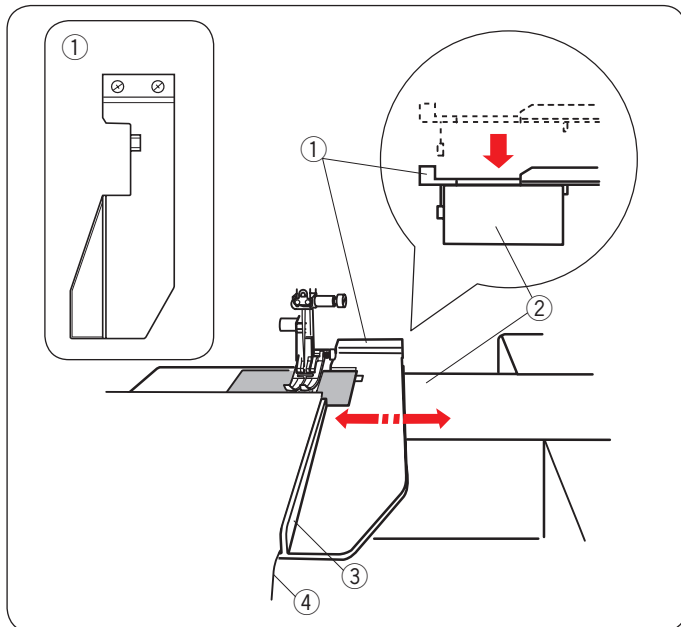
※ 送り歯をさげてミシンをスタートさせると画面にメッセージ画面が表示されます。
送り歯を確認したあと、閉じるキー ③ を押してミシンをスタートさせると、送り歯をさげた状態で運転することができます。



● 格納式手元照明

指を突起 ② に引っかけてアーム ① を手前にスライドさせます。ライトが点灯して手元を明るくすることができます。
アーム ① を格納するとライトは消えます。
※ 照明角度を調節できます。お好みの位置でご利用ください。

	注意
アーム ① に強い力を加えたり、物をぶつけたりしないでください。 伸ばしたときに破損する恐れがあります。	



● 布ガイドの使い方

布ガイドを使用すると布端 ④ から好みの位置を正確にぬうことができます。
ミシンから補助テーブルを外し、ワイドクリアテーブルを取り付けます。(12 ページ参照)
布ガイド ① をミシンのフリーアーム ② にはめ込むように上からセットします。
布ガイド ① をスライドさせ、ガイドの位置 ③ を決めます。
布端 ④ をガイド ③ にあててぬいます。

◎ぬう前の準備

●下糸の準備

★ボビンの取り出し

押さえ上げをあげ、角板開放ボタン①を右へずらして角板②を外します。

ボビン③を取り出します。

お願い：

- ボビンは当社専用のプラスチックボビンを使用してください。(お買い上げの販売店へご相談ください。)
- ナイロン透明糸およびメタリック糸を、下糸に使用しないでください。
- 金属ボビンは使用しないでください。釜にマグネットが使用されているため、糸調子の不具合や、故障の原因となります。

★糸こまのセット

糸立て棒③をおこします。糸の端④が糸こま②の下から手前に出るように糸こま②を糸立て棒③に入れます。糸こま押さえ(大)①を糸こま②にしっかりと押しつけ、糸こまを押さえます。

普通の糸こまには糸こま押さえ(大)①を、小さい糸こまには、糸こま押さえ(小)⑤を使います。

※レジロンなど伸縮性の糸を使用する場合、市販の糸こまネット⑥の使用をおすすめします。糸外れや糸のよじれ防止効果があります。糸こまネットは、糸こまの大きさに合わせて折り曲げるか、切って使用してください。

下記の長さの糸こまを固定する場合、特殊糸こま押さえ⑦を使用します。

サイズは以下の通りです：

糸こまの芯の直径が9.5 mm ~ 10.5 mmで、糸こまの長さが70 mm ~ 75 mm。

糸こまの芯の穴の中に特殊糸こま押さえ⑦を図のようにしっかりと入れ、糸こまを押さえます。

※糸こまと糸こま押さえ(特殊)⑦のあいだには、すきまがないようにしてください。

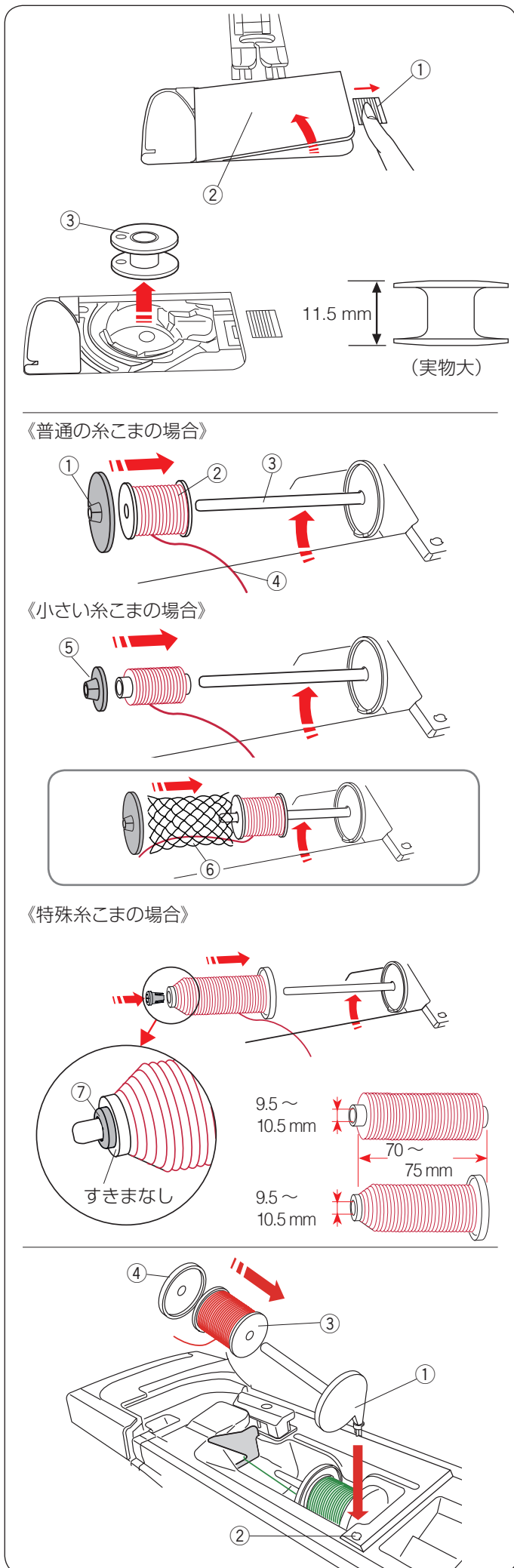
★補助糸立て棒の使い方

ぬいの途中で下糸巻きを行いたい場合、補助糸立て棒①を使います。(33ページ参照)

補助糸立て棒①を補助糸立て棒取り付け穴②に差し込みます。(正しい位置に差し込むと、補助糸立て棒①は回転せず、固定されます。)

糸こま③を補助糸立て棒①に取り付け、糸こま押さえ(大)④で固定します。

※補助糸立て棒①は2本針ぬいをする場合にも使用します。(142ページ参照)



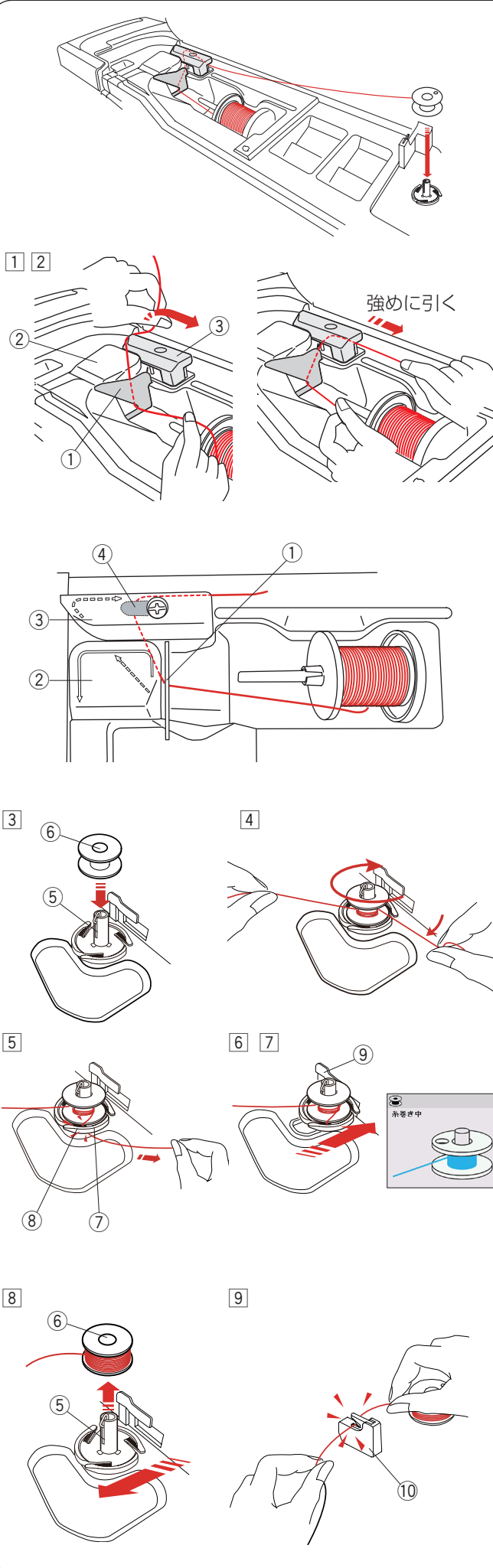
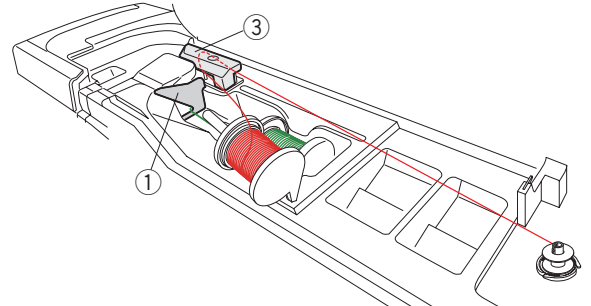
★ 下糸巻き

メモ：

下糸巻きの際は、スピードコントロールつまみを、最高速（いちばん右側の位置）にしてください。（15 ページ参照）

補助糸立て棒使用時の下糸巻き

補助糸立て棒を使用する場合、糸は糸かけ板①にかかけず糸案内カバー（B）③にかかけます。



- ① 糸こまから糸を引き出します。

糸を両手で持ち、糸かけ板①にかかけます。

- ② 糸案内カバー（A）②の上から糸案内カバー（B）③の左うしろに糸をまわし、必ず強めに右に引き出します。

※ 糸を補助ばね④の下へ確実に通すために、糸こま側の糸を左手で持ち、引き出した糸を右手で強めに引いてください。補助ばね④の下を通していないと、糸巻き不良の原因となります。

- ③ 糸巻き軸⑤にボビン⑥を差し込みます。

- ④ 右に引き出した糸を左手で押さえ、右手で糸の端をボビンに右まわり（時計まわり）に4～5回巻きます。

- ⑤ ボビンに巻いた糸を糸切りホルダー⑦のみぞ⑧に入れて引き、糸を切ります。みぞ⑧は3カ所あり、中にカッターが内蔵されています。

- ⑥ ボビンをボビン押さえ⑨の方に押しつけます。画面が「糸巻き中」の表示になります。

- ⑦ ミシンをスタートさせます。

- ⑧ ボビンが巻き終わると、自動的に回転が止まります。ミシンを止め、ボビンを左側に押しもとの位置にもどします。

- ⑨ 糸巻き軸⑤からボビン⑥を外し、糸を糸切り（下糸巻き用）⑩で切ります。

メモ：

- 安全のため、ミシンは下糸巻きが始まってから約1分30秒後に自動的に止まります。
- ボビン（糸巻き軸）は必ずミシンを停止してから元の位置にもどしてください。

★ ボビンのセット



ボビンを内がまにセットする場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。

- 電源スイッチを入れた状態でロックキー①を押し、ミシンをロックします。
針がさがっている場合、はずみ車を手で手前にまわして針をあげ、押さえ上げをあげます。
ボビンから出る糸の端②が反時計まわりになるようにし、図のようにボビンを内がま③に入れます。
(ボビンから引き出される糸の状態の図が角板④に表示されています。)

- ボビンが回転しないように、右手で押さえます。
糸の端を内がまの手前のみぞ⑤にかけます。
糸を左に引き、つもの⑥の下をくぐらせます。

※ 糸を各部に確実にかけるため、手順④が終わるまで右手でボビンを押さえおきます。

- つもの下をくぐらせた糸を、矢印1の方向に引きあげて矢印1の右側のみぞ⑦に入れます。
糸が左側のみぞ⑧から出ているのを確認してください。

メモ：

手順②で、内がまの手前のみぞ⑤に糸がかかっていると、内がまの板ばね⑨のあいだに糸が入らず、ボビンから直接1と書いてある矢印の右側のみぞ⑦に通ってしまいます。(左図B参照)

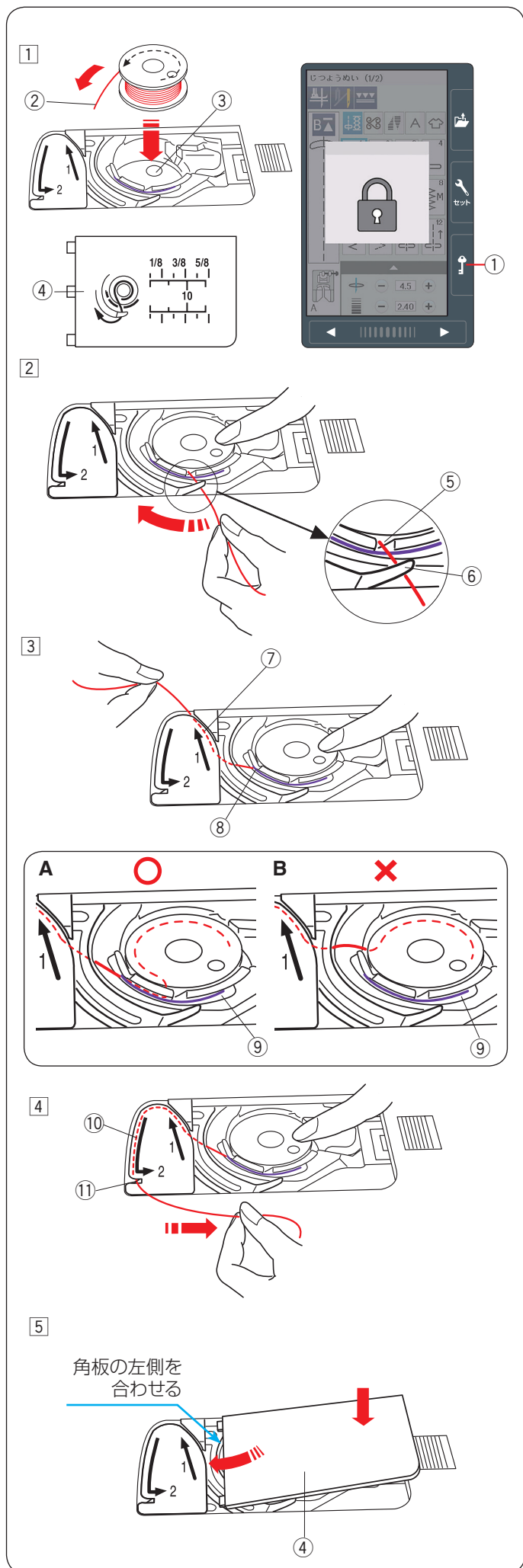
その場合は手順②からかけ直してください。正しくかけられていないと、ぬい不良の原因となります。

- みぞ⑩に沿って矢印2の方向に糸を通し、下側の Cutter (下糸切り用) ⑪にかけて右に水平に引いて糸を切ります。

- 角板④を左側から合わせて取り付けます。
角板を下へ押しミシンに取り付けます。

メモ：

- 通常は下糸を引き出さずにぬい始めることができます。
- ぬい始めに下糸を針板の上に引き出す必要がある場合、37ページをごらんください。



● 上糸かけ



糸をかけるときは、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。

メモ：

- 糸こまが外れるのを防ぐため、必ず糸こま押さえを使用してください。
- 上糸かけは、糸を各部に確実にかけるために、常に右手で糸こま側の糸を押さえながら、左手で強めに引いてかけてください。

電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタンを押し、針と天びんを上にあげます。

ロックキー①を押してミシンをロックします。

押さえはさげた状態になります。

※ ミシンがロックされていないと、糸が正しくかけられず、ぬい不良の原因となります。

糸を①から⑦の順にかけます。

① 糸こまから糸を引き出します。

糸を両手で持ち、糸かけ板②にかけます。

② 右手で糸こま側の糸を押さえ、糸案内カバー③にかけます。

右のみぞ④に沿って糸をしっかりと引きます。

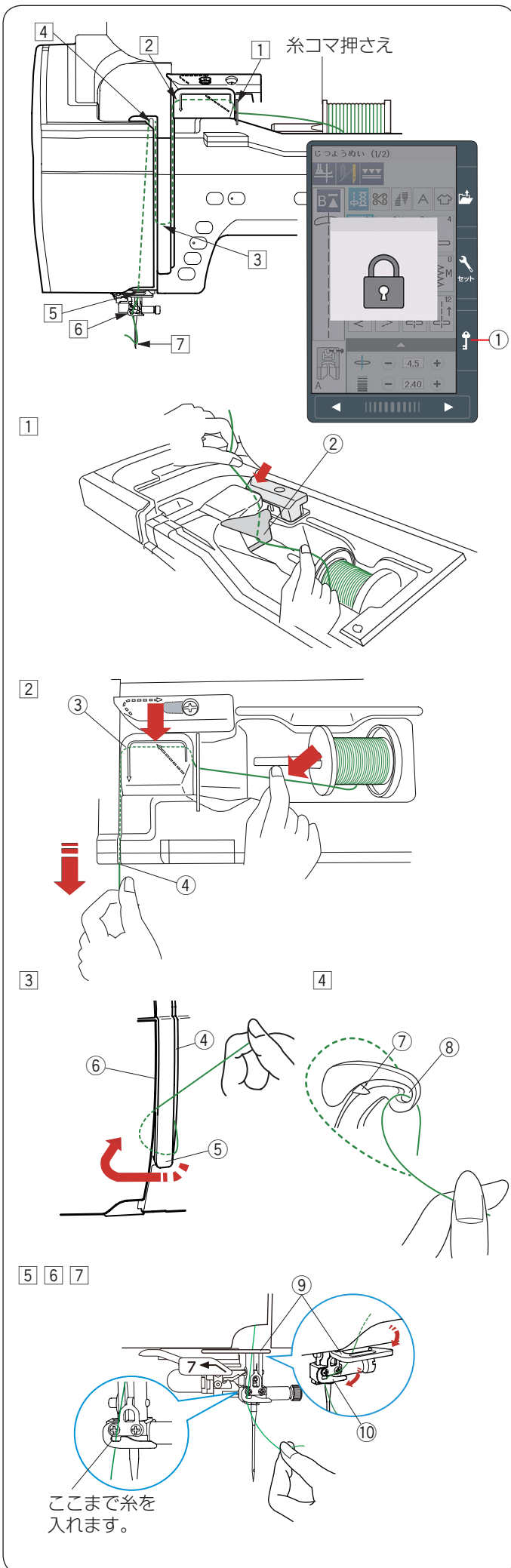
③ 糸を右のみぞ④から糸案内板⑤の下へくぐらせます。糸を引き上げて左のみぞ⑥に通します。

④ 糸こま側の糸を押さえながら、天びんの右からうしろへまわして手前に引き、ばね⑦を通過させて糸穴⑧に入れ、まっすぐ下へおろします。

⑤ 糸をアーム糸案内⑨に右からかけます。

⑥ 糸を針棒糸かけ⑩に右からかけます。

⑦ 糸通しを使い、針穴に糸を通します。
(36 ページ参照)



● 糸通し



注意

糸通しを使用する場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。

メモ：

- 糸通しを使用する場合、針は 11 ～ 16 番を、糸の太さは 50 ～ 90 番を使用してください。
- 30 番より太い糸は使用しないでください。
- 2 本針の場合、糸通しは使用できません。

- 1 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン ① を押して針をあげます。
ロックキー ② を押し、ミシンをロックします。
押さえはさがった状態になります。
- 2 糸を糸ガイド ③ の上を通し、左に引きあげます。
※ 糸が糸通しのみぞ ④ を通っていることを確認します。

- 3 引き上げた糸を、面板についている糸切り ⑤ に手前側から向こう側にかけて切ります。
糸が糸押さえ ⑥ で保持されます。

- 4 糸通しレバー ⑦ を止まるまでさげます。

- 5 糸通しレバー ⑦ を静かにもどすと、糸の輪 ⑧ が引きあげられます。

- 6 糸の輪 ⑧ を糸通しから外し、糸の輪を向こう側に引いて、針穴から糸の端を引き出します。

メモ：

糸の輪 ⑧ ができず、フックに引っかかってしまう場合、そのまま糸をうしろに引き出してください。

● 下糸を針板の上に引き出す場合

自動糸切り後やボビンを内がまにセットしたあとは、下糸を引きあげずにぬいをスタートすることができます。ただし、ギャザーやスモッキングなどをぬう場合に、ぬい始めの下糸を長くする必要があるときは、下記手順で下糸を針板の上に引き出します。

- ① 電源スイッチを入れた状態で、ロックキー ① を押し、ミシンをロックします。
針がさがっている場合、はずみ車を手で手前にまわして針をあげ、押さえ上げをあげます。
ボビンを取り出します。
ボビンをもう一度内がまに入れ、34 ページの手順 ①～③と同じ方法で下糸 ② を矢印 1 の方向に引きあげてみぞに入れたら、そのまま 10 cm ほど向こう側に引き出しておき、角板 ③ を取り付けます。

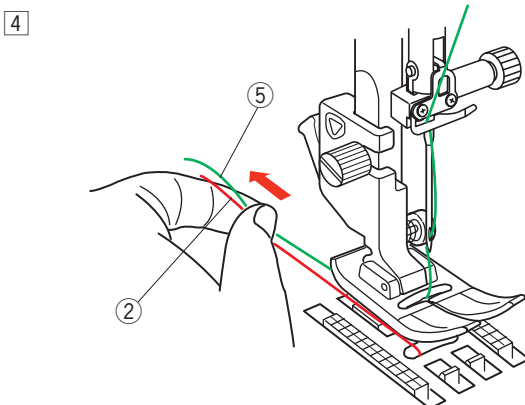
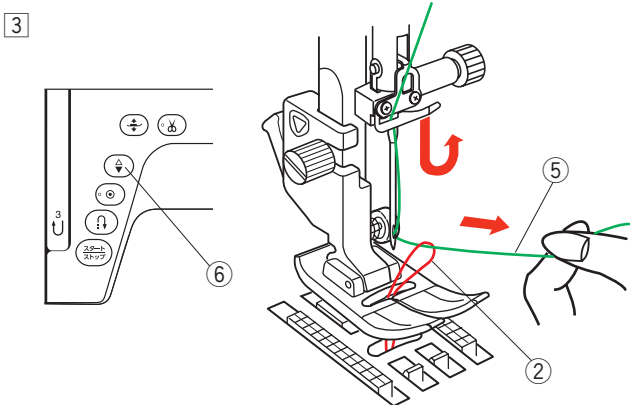
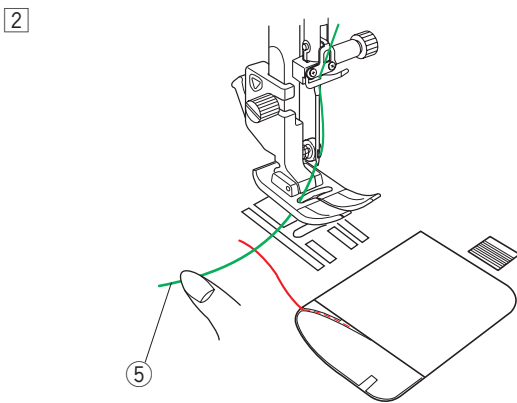
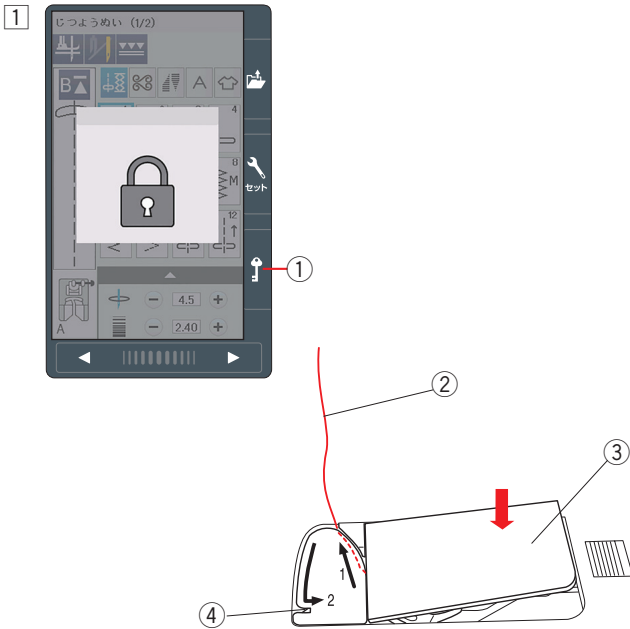
メモ：

下糸はカッター（糸切り）④ で切らないでください。

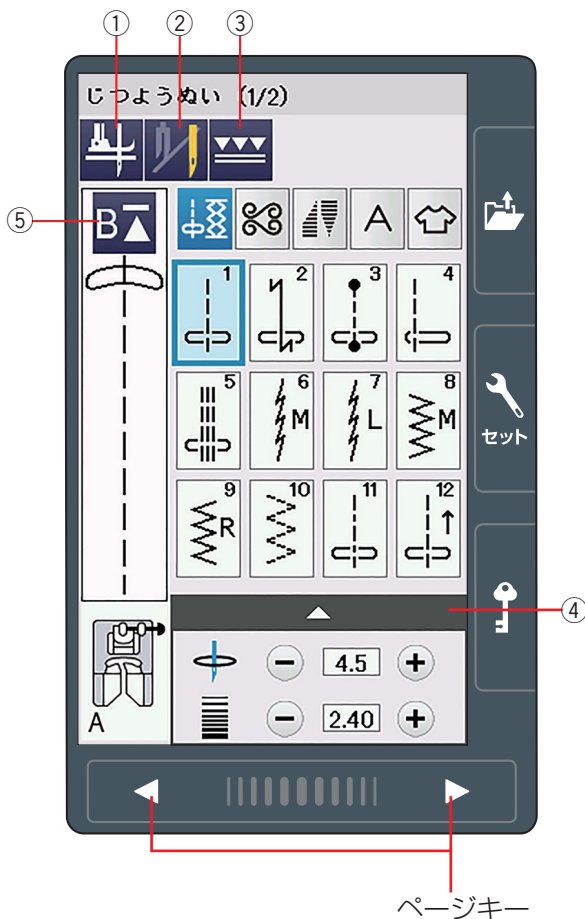
- ② 針に上糸 ⑤ を通し、押さえ上げをあげた状態で、上糸 ⑤ の端を指で押さえます。

- ③ ロックキー ① を押しロックを解除します。
上下停針ボタン ⑥ を押して針をさげ、もう一度押して針をあげます。
上糸 ⑤ を軽く引くと下糸 ② の輪が引き出されます。

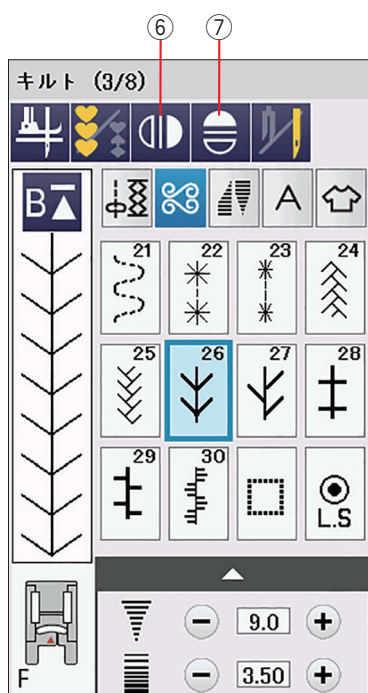
- ④ 上糸 ⑤ と下糸 ② を押さえの下からうしろ側に約 10 cm ほど引き出して、そろえておきます。



〔じつようぬい模様選択画面〕 (1/2 ページ)



〔キルトグループ模様選択画面〕 (3/8 ページ)



◎ じつようぬい

● じつようぬいの画面

電源投入時はじつようぬい、ボタンホールと特殊模様の模様選択画面が表示されます。

じつようぬい、ボタンホールと特殊模様のグループは、じつようぬいの 23 個の模様が 2 つのページ (画面) に、ボタンホールと特殊模様の 18 個の模様が 3 つのページ (画面) の合計 5 ページ (画面) に分かれています。

※ ページキーで選択します。

じつようぬいグループの画面は、模様選択キー・設定キー・模様頭出しキーなどのキーと、選ばれている模様のぬい情報や設定状態が表示されています。

※ ぬい情報や設定状態の表示は、18 ~ 19 ページをごらんください。

★ 設定キー

模様を設定されているぬい条件をお好みのぬい条件に変更します。

選ばれている模様によっては、グレーになっていて使用できない設定キーがあります。

① ピボットぬい設定キー

ピボットぬいを行う場合に押します。(42 ページ参照)

ピボットぬい設定をすると、ミシンを止めたときに針が布にささり、押さえがあがった状態になります。

ぬい方向をかえてぬうときに、自分で押さえをあげる必要がなく、ぬい位置もずれず、きれいにぬうことができます。

② 2本針ぬい切りかえキー

付属の 2 本針を使用して 2 本針ぬいを行う場合に押します。(142 ~ 143 ページ参照)

③ 上送りぬい切りかえキー

付属の上送り押さえを使用して上送りぬいを行う場合に押し、上送りぬいに設定します。

(50 ~ 52 ページ参照)

④ 調整キー

調整キーを押すと調整画面が全体表示されます。調整画面では、ぬい目の幅 (直線状模様の場合は針位置)、ぬい目のあかさ、糸調子の設定値の変更や、押さえ圧の設定などを行うことができます。(40 ~ 42 ページ参照)

⑤ 模様頭出しキー

模様をぬっている途中でミシンを止めた場合、次にぬうときにその模様の最初からぬうことができます。

一度押しと現在ぬいかけの模様を最初からぬい直します。

二度押しと現在ぬっている組み合わせ模様の先頭の模様からぬい直します。(97 ページ参照)

⑥ 左右反転キー

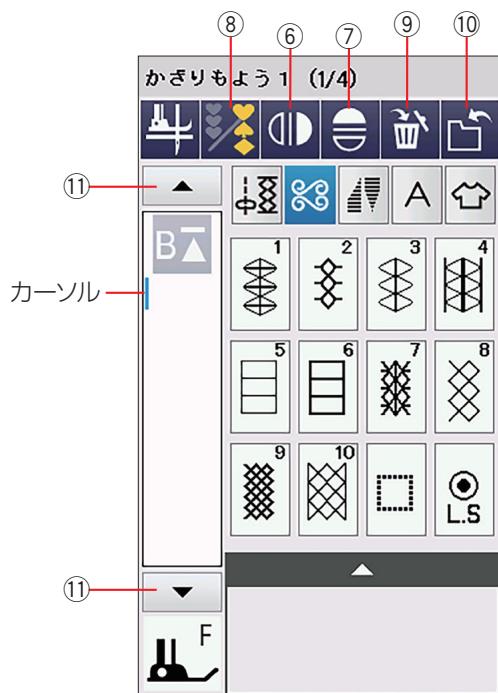
選択した模様を左右反転させてぬうことができます。(93 ~ 94 ページ参照)

⑦ 上下反転キー

選択した模様を上下反転させてぬうことができます。

上下反転できない模様のキーはグレーになり選択できなくなります。(93 ~ 94 ページ参照)

〔かざりもよう 1 模様選択画面〕 (1/4 ページ)
(模様組み合わせモード)



⑧ 模様組み合わせせき

お好みの模様を組み合わせせてぬう場合に押します。模様組み合わせモードとなります。(91 ページ参照)
左右反転キー ⑥、上下反転キー ⑦、削除キー ⑨、保存キー ⑩、カーソル移動キー ⑪ が表示されます。

⑨ 削除キー

カーソルの付いている模様を削除します。カーソルはカーソル移動キー ⑪ で移動させます。模様を組み合わせた状態でカーソルが最後の模様の外側にある場合、最後の模様が削除されます。(96 ページ参照)

⑩ 保存キー

組み合わせた模様をマシンや USB メモリに保存できます。(106 ~ 107 ページ参照)

⑪ カーソル移動キー

カーソルを移動させて、組み合わせた模様の中から変更したい模様(場所)を選ぶことができます。(96 ページ参照)

〔文字ぬい ブロック体の模様選択画面〕 (1/5 ページ)



⑫ 文字高さ切りかえキー

文字の高さを約 2/3 にし、文字を小さく(低く)することができます。(105 ページ参照)

⑬ 大文字・小文字切りかえキー

大文字と小文字を切りかえます。模様選択キーの表示も同時に切りかわります。(102 ページ参照)

〔文字ぬい 明朝体の模様選択画面〕 (1/3 ページ)



メモ:

ひらがな・カタカナ切りかえキー ⑭ と横書き・縦書き切りかえキー ⑮ は明朝体(9mm)、まるもじ(9mm)を選択した場合には表示されます。

⑭ ひらがな・カタカナ切りかえキー

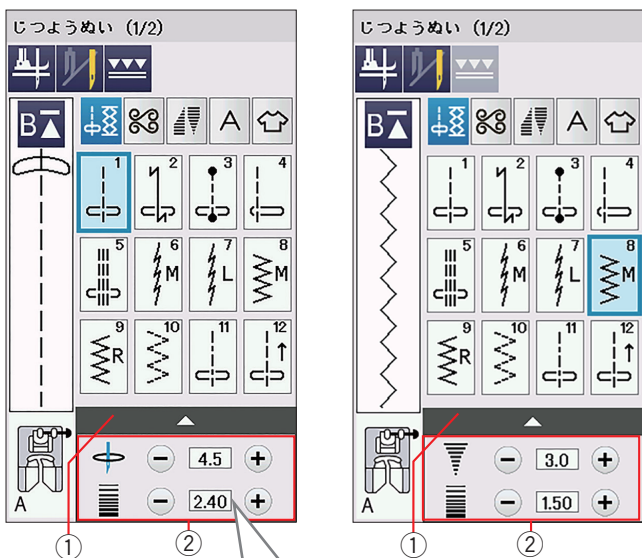
ひらがなとカタカナを切りかえます。模様選択キーの表示も同時に切りかわります。(102 ページ参照)

⑮ 横書き・縦書き切りかえキー

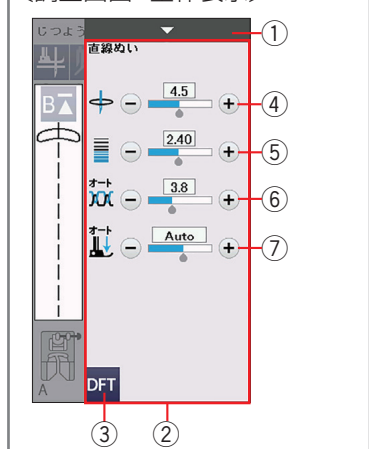
横書きと縦書きを切りかえます。(102 ページ参照)

〔調整画面：直線模様の例〕

〔調整画面：ジグザグ模様の例〕

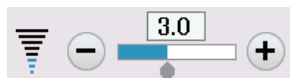
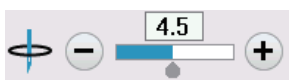


〔調整画面：全体表示〕



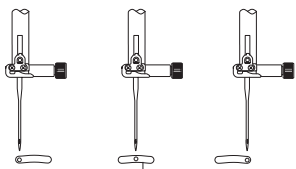
④ 直線ぬいの場合

④ ジグザグぬいの場合

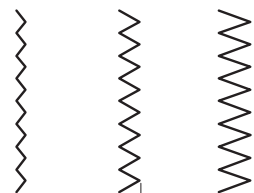


(-) (4.5) (+)

(-) (3.0) (+)





針板の穴



ぬい目の幅

模様  の例
(左針位置基準)

模様  の例
(中針位置基準)

模様  の例
(右針位置基準)



● じつようぬいの調整画面

模様選択画面の調整キー①を押すと、調整画面②が全体表示されます。ぬい目の幅（直線状模様の場合は針位置）④、ぬい目のあかさ⑤、糸調子⑥、押さえ圧⑦を変更できます。

変更したい項目の「+」もしくは「-」キーを押します。

初期化キー③を押すと初期の設定値にもどります。

調整キー①をもう一度押すと調整画面②が小さくなります。

④ ぬい目の幅の調整キー

【直線ぬいの場合】

針位置をかえることができます。

- 「+」キーを押すと針が右に移動します。
- 「-」キーを押すと針が左に移動します。

※ 直線状模様の場合、画面の数値は、左の針位置からの距離の目安が表示されています。(単位：mm)

左針位置が「0.0」、中針位置が「4.5」、右針位置が「9.0」になります。

※ 初期化キー③を押すと、オート値（電源を入れたときに自動的に設定されている値）にもどすことができます。

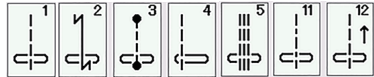
【ジグザグぬいの場合】


ぬい目の幅をかえることができます。

- 「+」キーを押すとぬい目の幅が広くなります。
- 「-」キーを押すとぬい目の幅がせまくなります。

※ 画面の数値は、ぬい目の幅の目安が表示されています。(単位：mm)

メモ：

• じつようぬい模様  の調整可能値は 0.0 ~ 9.0 です。

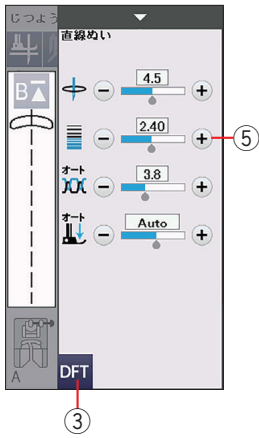
• じつようぬい模様  の調整可能値は 0.0 ~ 7.0 です。

ぬい目の幅の基準位置

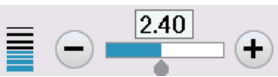
ミシン天板の早見板や模様選択キーのイラストの右に書かれている「L」、「M」、「R」は、ぬい目の幅をかえたときの基準位置です。

- 「L」：ぬい目の幅をかえたとき、左針位置を基準（固定）に右に幅が変化します。
- 「M」：ぬい目の幅をかえたとき、中針位置（中央）を基準（固定）に左右に幅が変化します。
- 「R」：ぬい目の幅をかえたとき、右針位置を基準（固定）に左に幅が変化します。

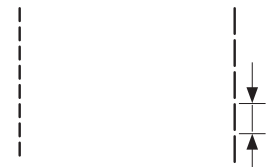
〔調整画面：全体表示〕



⑤ 直線ぬいの場合

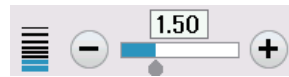


(-) (+)



ぬい目のあかさ

⑤ ジグザグぬいの場合



(-) (+)



ぬい目のあかさ

⑤ ぬい目のあかさの調整キー

ぬい目のあさをかえることができます。

- 「+」キーを押すとぬい目があらかくなります。
- 「-」キーを押すとぬい目が細かくなります。




※ 初期化キー③を押すと、オート値（電源を入れたときに自動的に設定されている値）にもどすことができます。

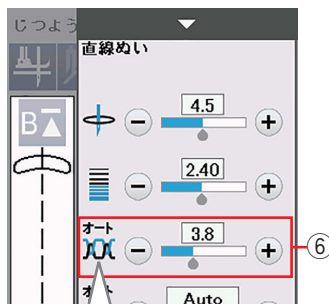
※ ぬい目のあさは、布や糸によってかわります。画面の数値は、ぬい目のあさの目安が表示されています。（単位：mm）

メモ：

じつようぬい模様  の調整可能値は 0.0 ～ 5.0、

じつようぬい模様  の調整可能値は 1.0 ～ 5.0、

じつようぬい模様    の調整可能値は 0.0 ～ 5.0 です。



糸調子が自動の場合



糸調子を調整した場合



⑥ 糸調子の調整キー

糸調子は選択した模様に合わせて、上糸と下糸がバランスよくぬえるよう自動的に設定されています。

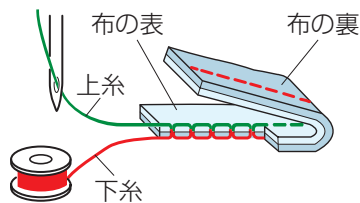
糸や布の種類、ぬい方などによって自動設定のままでは糸調子のバランスがとれない場合、糸調子調整キー⑥で調整します。

メモ：

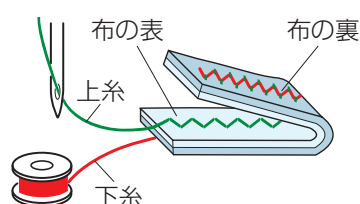
- 糸調子が正しく調整されていないと、ぬい目がきたなくなったり、布にしわがよったり、糸が切れたりします。
- 糸調子調整キーで調整した場合、画面のアイコン表示が「オート」から「マニュアル」にかわります。
- 模様ごとに自動セットされる糸調子（オート値）をすべての模様に対して全体的に強くしたり、弱くしたりできます。（148 ページ「糸調子」参照）

〔バランスのとれた糸調子〕

《直線ぬいの例》



《ジグザグぬいの例》

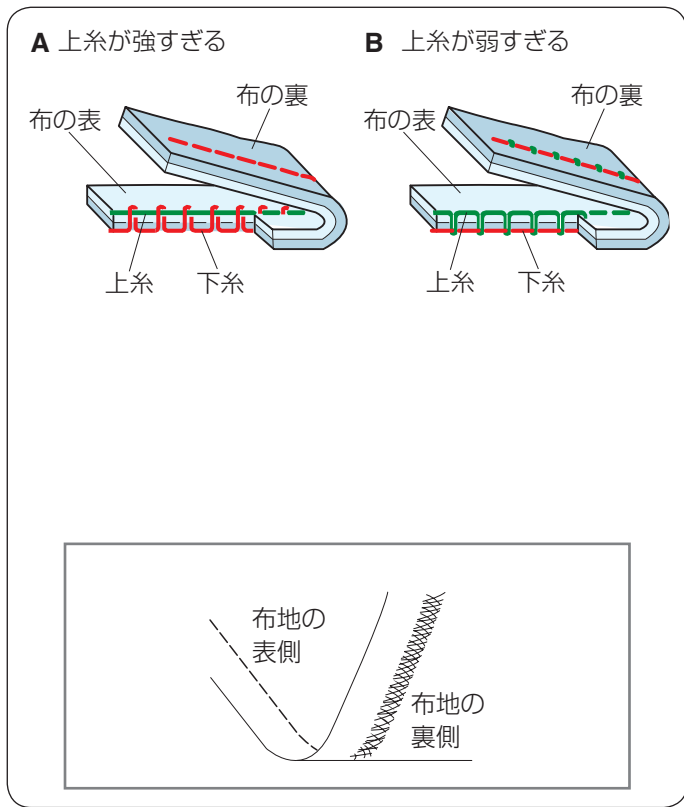


【バランスのとれた糸調子】

直線ぬいの場合、上糸と下糸が布のほぼ中央で交わりま

す。

ジグザグぬいの場合、布の裏側に上糸が少し出るくらいになります。



【上糸が強すぎる場合の調整】

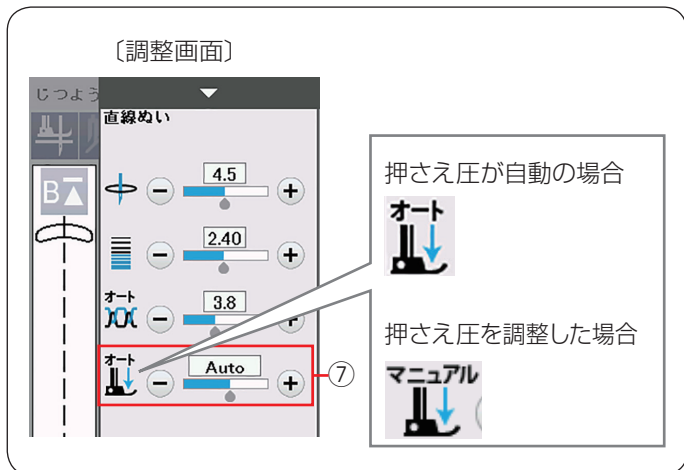
A 上糸が強すぎると下糸が布の表に引き出されます。
糸調子調整キーの「-」を押して数値を小さくします。

【上糸が弱すぎる場合の調整】

B 上糸が弱すぎると上糸が布の裏に引き出されます。
上糸が布の表でたるんだり、輪になったりする場合があります。
糸調子調整キーの「+」を押して数値を大きくします。

布地の裏がタオル地のような場合

図のように布地の表側は普通にぬえて、裏側がタオル地のようなになるのは、上糸の調子が弱い、上糸のかけ方がまちがっています。
上記で上糸を調整するか、上糸を正しくかけ直してください。(「上糸かけ」35 ページ参照)



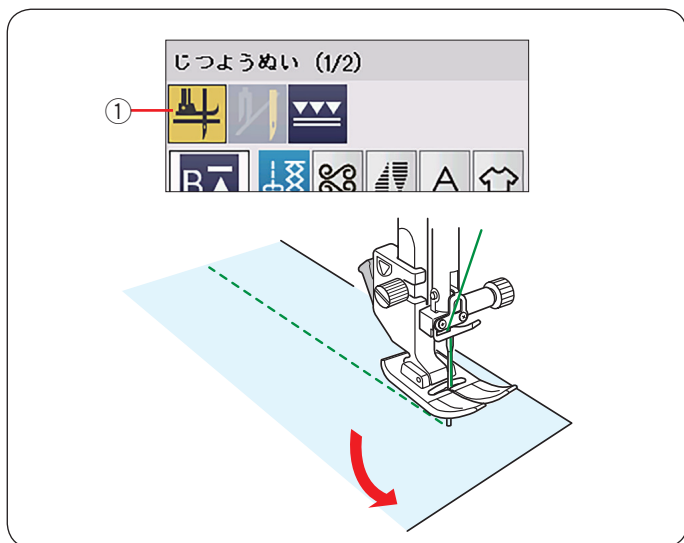
⑦ 押さえ圧調整キー

押さえ圧は選択した模様に合わせて自動的に設定されます。(「オート」表示)

布送りがスムーズでないときや、特殊なぬい方や布地の厚さによっては、「+」か「-」キーで押さえ圧を調整してください。

メモ：

- 一般的な押さえ圧が「Auto」と表示されている場合、普通地、厚物地は「Auto + 1 ~ + 4」、薄物地や伸縮性の布地は「Auto - 1 ~ - 5」の範囲で調整してください。
- 押さえ圧調整キーで調整した場合、画面のアイコン表示が「オート」から「マニュアル」にかわります。



● ピボットぬい設定

ピボットぬい設定をすると、ミシンを止めたときに針が布にささり、押さえがあがった状態になります。

ぬい方向をかえてぬうときに、自分で押さえをあげる必要がなく、ぬい位置もずれずにきれいにぬうことができます。

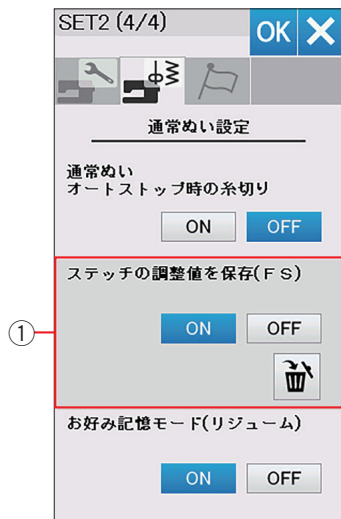
ピボットぬい設定キー①で、ピボットぬい設定のオン/オフを行います。

メモ：

通常ぬい設定モードで、ピボットぬい設定時の押さえの高さを調整することができます。(149 ページ「押さえ上げ高さ (ピボット)」参照)

1

〔通常ぬい設定画面〕 (4/4 ページ)

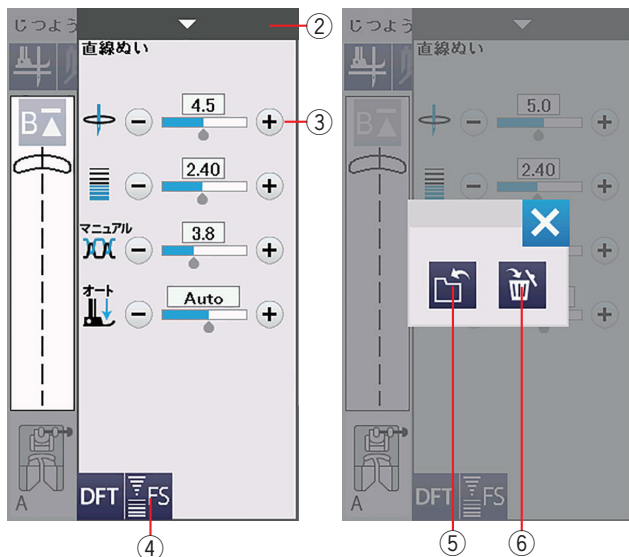


2 〔調整画面〕

「ステッチの調整値を保存 (FS)」が「ON」に設定されている場合

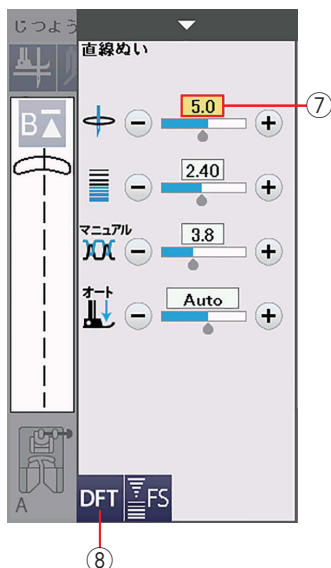
3

〔保存・削除画面〕



4

〔調整画面〕



● じつようぬいの調整値の保存

調整した、ぬい目の幅（針位置）、ぬい目のあらかさ、糸調子、押さえ圧など、選択した模様による設定内容をお好みのステッチ調整値（FS）として保存することができます。

「ステッチの調整値を保存（FS）」を「ON」①（150 ページ参照）に設定すると、ぬい目の幅（針位置）、ぬい目のあらかさ、糸調子、押さえ圧のオート値（電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値）をお好みの値に変更して保存することができます。

オート値をお好みの値に変更して保存しておく、その模様を選ぶだけで、保存した値でぬうことができます。

メモ：

- お好みステッチ調整は、ユーザー作成模様には適用することはできません。
- お好みステッチ調整は、文字ぬいモード時は使用できません。

変更した調整値の保存・削除方法

【保存する】

例：針位置の値を 4.5 から 5.0 に変更する。

- ① セットキーで「ステッチの調整値を保存 (FS)」① を「ON」に設定します。（150 ページ参照）

※ 初期の（購入時の設定）状態は「OFF」に設定されています。

- ② じつようぬい模様  を選びます。

調整キー ② を押し、調整画面を全体表示させます。お好みステッチ調整キー（FS）④ が調整画面に表示されます。

ぬい目の幅の調整キー ③ の「+」キーを押し、針位置を「4.5」から「5.0」に変更します。

お好みステッチ調整キー（FS）④ を押します。

- ③ もとの画面の上に重ねて保存・削除画面が表示されます。保存キー ⑤ を押し、お好みのステッチ調整値を保存します。

- ④ お好みステッチ調整で保存した調整値は、黄色 ⑦ で表示され、初期の状態から変更されていることを示します。

【削除する】

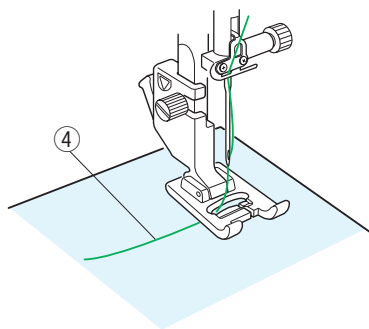
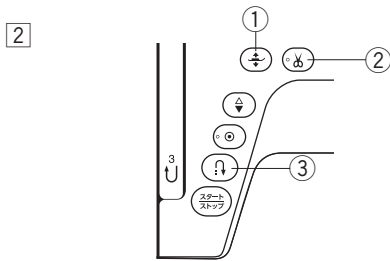
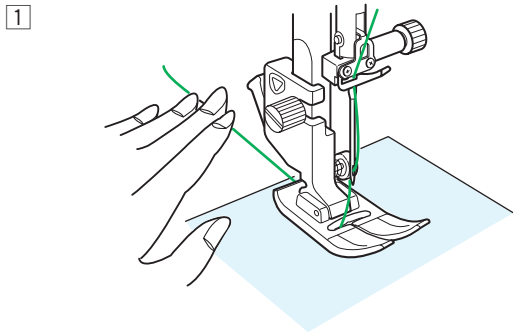
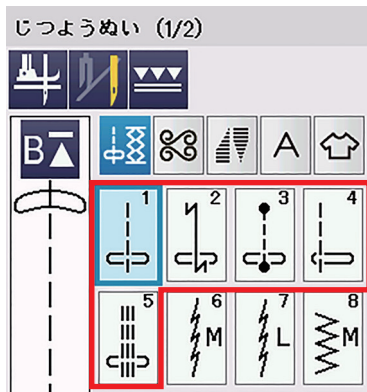
保存した調整値を削除するにはお好みステッチ調整キー（FS）④ を押し、保存・削除画面で削除キー ⑥ を押します。調整画面に切りかわり、数値を囲む黄色枠が消えます。

※ 調整値をオート値にもどす場合、初期化キー ⑧ を押します。

【変更した調整値の一括削除】

変更した全模様の調整値を一括して初期の状態（購入時の設定状態）にもどす方法は、150 ページ「ステッチの調整値を保存（FS）」をごらんください。

【じつようぬい模様選択画面】(1/2 ページ)



● 直線ぬい

じつようぬいの模様 1～5 は直線ぬいです。
模様選択キーを押してお好みの模様を選びます。

★ 直線ぬい (中針位置) でぬう場合



【ぬい始め】

① 上糸を押さえの下から向こう側に引き出した状態で布を入れ、糸と布を左手で押さえ、はずみ車を手で手前にまわして最初のぬい位置に針をさします。

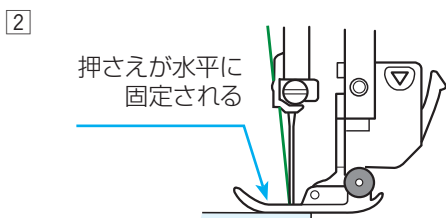
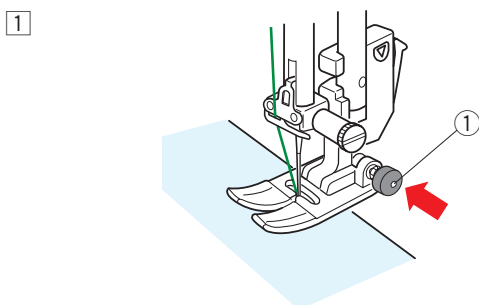
② 押さえ上下移動ボタン①で押さえをさげ、ミシンをスタートさせ、ぬいます。

※ 下糸(ボビン)をセットした直後および糸切りボタン②を使用して糸を切ったあとのぬい始めは、下糸を針板の上に引き出す必要はありませんが、上糸は必ず向こう側に引いて、押さえで押さえてください。

※ ぬい始めのほつれ止めは、返しぬいボタン③を押します。

ぬい始めの糸の引き出し方

サテン押さえ F、クラフト押さえ F2 やボタンホール押さえ R などのように、押さえる向こう側(うしろ側)の底があがっていて、糸を押さえる部分がない押さえの場合、ぬい始めの上糸④は横方向に引き出して押さえてください。(イラストはサテン押さえ F)



【厚手の布端のぬい始め】

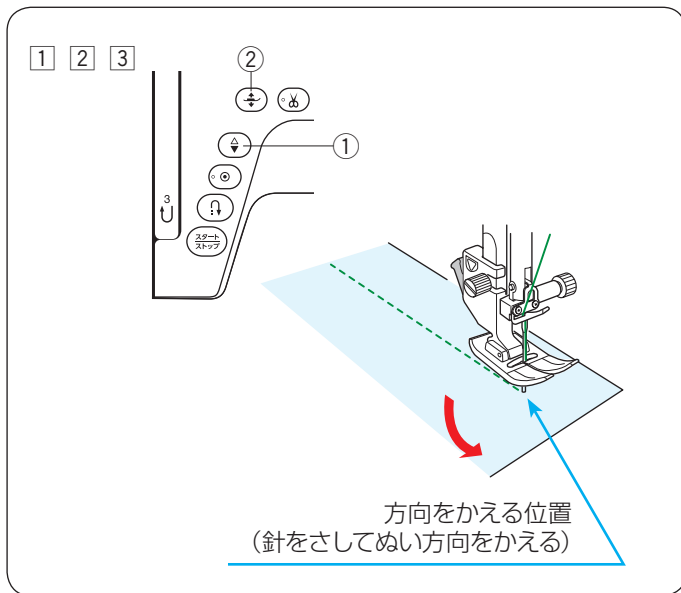
基本押さえ A の黒ボタン①を押した状態で押さえをさげると押さえが水平に固定されます。段差のある布をぬうときや、布の折り返しをぬうときに便利です。

① 最初のぬい位置に針をさし、基本押さえ A の黒ボタン①を押し込みます。

② 黒ボタン①を押したまま、押さえをさげます。押さえが水平に固定され、段差をスムーズにぬい始めることができます。

黒ボタン①から手をはなし、ぬい始めます。

※ ぬい始めると黒ボタンがもどり、押さえはもとの自由に動く状態になります。

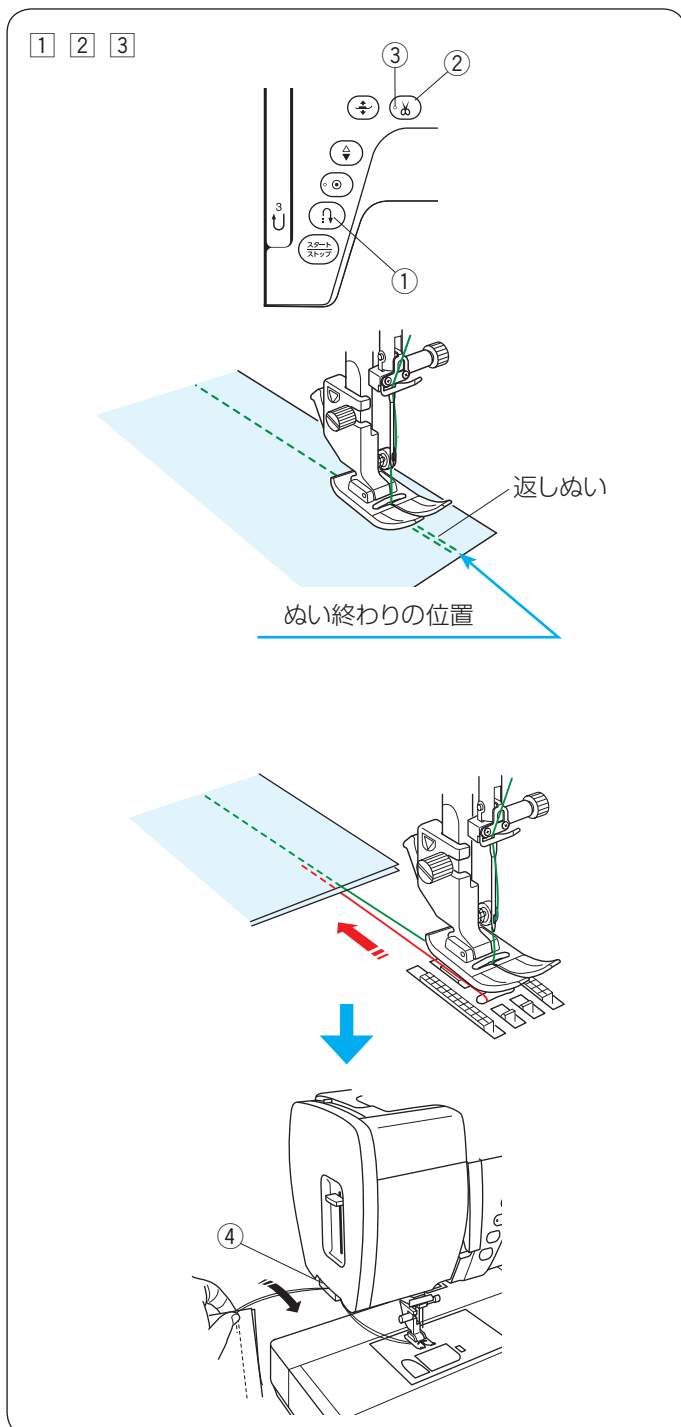


【ぬい方向の変更】



- ① 布の方向をかえる位置でミシンを停止します。
- ② 布に針がささっていない場合、上下停針ボタン①を押して針を布にさし、押さえ上下移動ボタン②で押さえをあげます。
※ 通常はミシンを停止すると、針が布にささった状態になっています。上の位置で停止にも設定できます。(148 ページ「針停止位置」参照)
- ③ 針を布にさしたままぬい方向をかえ、押さえ上下移動ボタン②で押さえをさげてぬい始めます。
※ ぬい位置がずれず、きれいにぬうことができます。

メモ：

ピボットぬい設定をすると、ミシンを止めたときに針が布にささり、押さえがあがった状態になります。(42 ページ参照)



【ぬい終わり】

- ① ぬい終わりの位置で返しぬいボタン①を押して数針返しぬいを行い、ミシンを停止します。
- ② 糸切りボタン②を押して糸を切ります。
※ 針と押さえがさがった状態のままでも、糸切りボタン②を押すと針と押さえは上の位置に移動します。
- ③ 布を向こう側に引き出します。
※ ぬい始めとぬい終わりのほつれ止めを自動的に
行う自動返しぬい模様 、自動止めぬい模様  でぬっている場合、ぬい終わりの位置にきたら、返しぬいボタンを一度押すと、ミシンは返しぬいまたは止めぬいをして自動で止まります。(48 ページ参照)

メモ：

LED③が消えている場合、糸切りボタン②は使えません。

【面板の糸切りの使い方】

- 30番および30番より太い糸や特殊な糸を切る場合、ミシンの面板に付いている糸切り④を使用してください。
- 針と押さえ上げをあげ、布を向こう側に引き出してから手前に返すようにして糸を切ります。

● 針板ガイド

針板には、布のぬい位置を決めるための便利なガイドが表示されています。布端をガイドラインに合わせると、布端から正確な位置をぬうことができます。

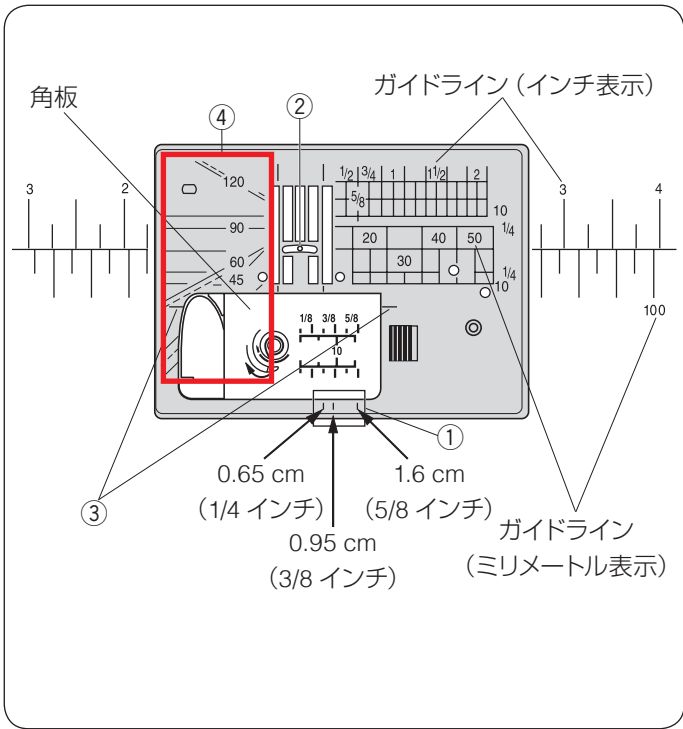
ガイドラインは角板およびミシンのフリーアームにも表示されています。

針板手前にはそれぞれ 0.65 cm (1/4 インチ)、0.95 cm (3/8 インチ)、1.6 cm (5/8 インチ) のところにガイドライン①があります。

ガイドラインの数字は、ぬい位置(針穴の中央②)からガイドラインまでの距離を「インチ」と「ミリメートル」で表示しています。

コーナリングガイド 1.6 cm (5/8 インチ) ③ は布を直角に回転させるのに非常に便利です。(下記「コーナリングガイド」参照)

角度目盛り④はパッチワークをするときに便利です。(83、131 ページ参照)

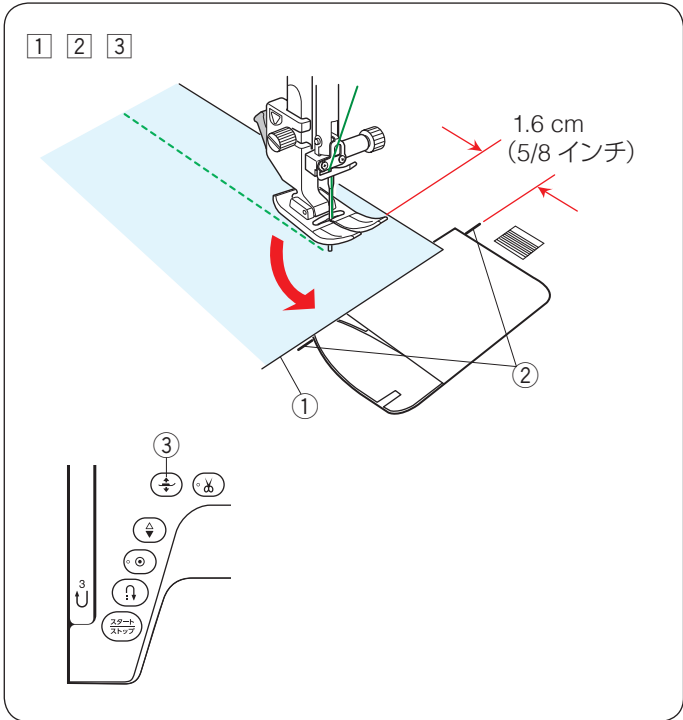


● コーナリングガイド

布端から 1.6 cm (5/8 インチ) のところで直角にぬい方向をかえるときに利用します。




ぬい方向をかえたあと布端から 1.6 cm (5/8 インチ) の位置をぬうことができます。

- ① 布端①がコーナリングガイド②のところに来たらミシンを停止します。
- ② 針を布にさした状態で押さえ上下移動ボタン③で押さえをあげ、布を直角に回転させます。布端が針板右側のガイドライン 1.6 cm (5/8 インチ) の位置に合います。
- ③ 押さえ上下移動ボタン③で押さえを下げ、ミシンをスタートさせます。



● 直線ぬい用針板の使い方

直線ぬい用針板は、針の入る場所が3個の丸穴①になっています。針板の穴が小さい「直線ぬい用針板」を使用すると、針が布にささるときのばたつきがおさえられ、ぬい目が美しく仕上がります。

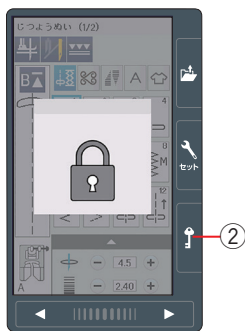
直線ぬいの場合、じつようぬい    の模様を選び、直線ぬい用針板でぬうことをおすすめします。

メモ：

- 針板の交換方法は、28ページをごらんください。
- ミシンの早見板の「直線針板（SS針板）上送り」の模様は、じつようぬいグループとキルトグループにある模様と同じ模様です。

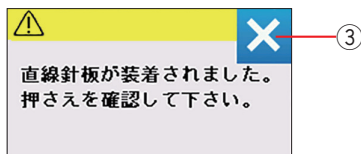


1



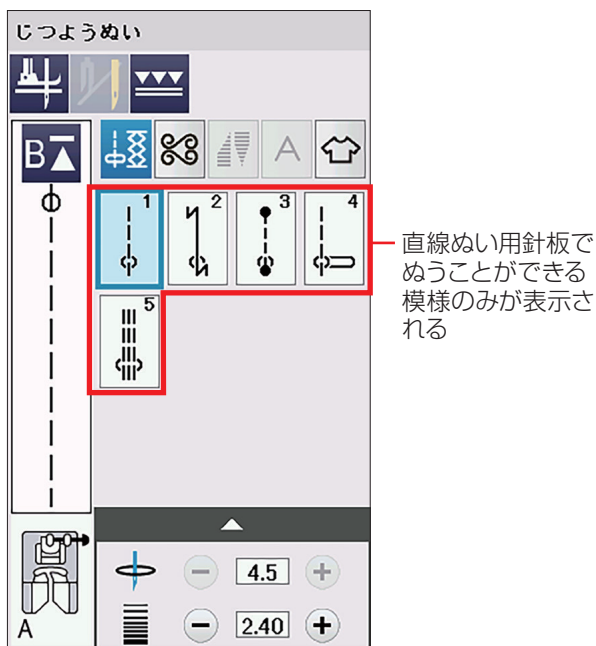
〔メッセージ画面〕

2



〔模様選択画面〕

3





- 1 ロックキー②を押し、ミシンをロックして直線ぬい用針板に交換します。
(28ページ「針板の外し方、付け方」参照)

- 2 メッセージ画面が表示されます。
正しい押さえが取り付けられているか確認し、メッセージ画面の閉じるキー③を押します。

- 3 再度ロックキー②を押し、ロックを解除すると模様選択画面にもどり、ぬうことができます。
※ 模様選択画面には直線ぬい用針板で使用できる模様のみが表示されます。

メモ：

- 直線ぬい用針板が取り付けられているあいだは、じつようぬいグループ、キルトグループおよび用途選択グループの一部の模様しか選択できません。
- 用途選択グループは、111ページ「用途ぬい」をごらんください。
- 直線ぬい用針板が取り付けられているあいだ、キルトグループの   以外は調整画面のぬい目の幅調整キーで針位置を変更することはできません。

● 直線ぬいの種類

★ じつようぬい 1：直線ぬい（中針位置）

ぬい合わせや三つ巻きぬいに使用します。

★ じつようぬい 2：自動返しぬい

ぬい始めとぬい終わりにしっかりしたほつれ止め（返しぬい）を自動的に行うときに使います。

•ぬい始め

ミシンをスタートさせると、ぬい始めに自動的に数針返しぬいを行います。

•ぬい終わり（スタート/ストップボタン使用時）

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し（または運転したまま）、返しぬいボタン①を一度押します。

その位置から自動的に数針返しぬいを行ってミシンが停止します。

•ぬい終わり（フットコントローラー使用時）

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し（または運転したまま）、返しぬいボタン①を一度押します。

ミシンを停止してから返しぬいボタン①を押した場合、再度フットコントローラーを踏むと、その位置から自動的に数針返しぬいを行ってミシンが停止します。

運転したまま返しぬいボタン①を押した場合、その位置から自動的に数針返しぬいを行ってミシンが停止します。

★ じつようぬい 3：自動止めぬい

ぬい始めとぬい終わりに目立たないほつれ止め（止めぬい）を自動的に行うときに使います。

•ぬい始め

ミシンをスタートさせると、ぬい始めに自動的に数針止めぬいを行います。

•ぬい終わり（スタート/ストップボタン使用時）

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し（または運転したまま）、返しぬいボタン①を一度押します。

その位置で自動的に数針止めぬいを行ってミシンが停止します。

•ぬい終わり（フットコントローラー使用時）

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し（または運転したまま）、返しぬいボタン①を一度押します。

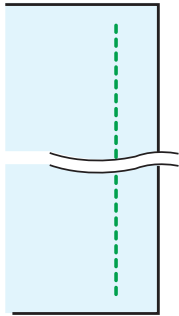
ミシンを停止してから返しぬいボタン①を押した場合、再度フットコントローラーを踏むと、その位置で自動的に数針止めぬいを行ってミシンが停止します。

運転したまま返しぬいボタン①を押した場合、その位置で自動的に数針止めぬいを行ってミシンが停止します。

模様.....



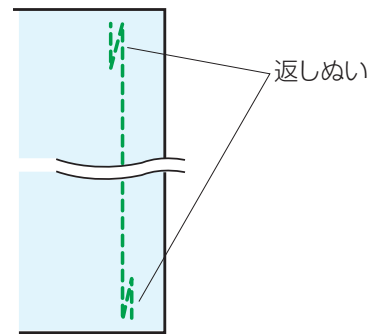
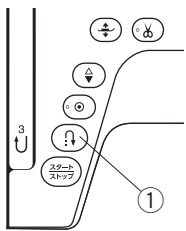
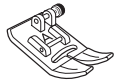
押さえ 基本押さえ A



模様.....



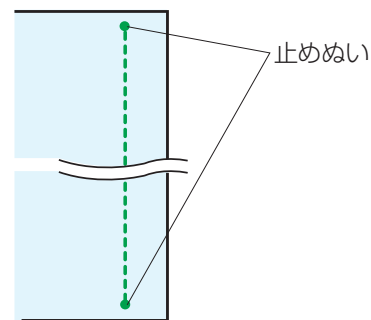
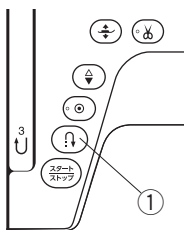
押さえ 基本押さえ A



模様.....



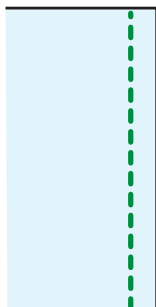
押さえ 基本押さえ A



模様.....



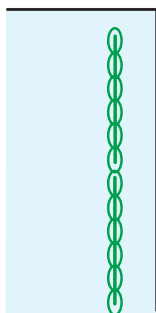
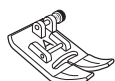
押さえ 基本押さえ A



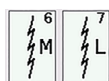
模様.....



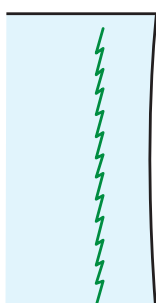
押さえ 基本押さえ A



模様.....



押さえ 基本押さえ A



★ じつようぬい4：直線ぬい（左針位置）

端ぬいや、薄物ぬいに使います。

★ じつようぬい5：三重ぬい


伸縮性と強さの両方を合わせもつ丈夫なぬい目です。
厚い布や袋物、ズボンなどしっかりとぬい合わせたい場
所に使います。

★ じつようぬい6、7：伸縮ぬい（ニットステッチ）

布が伸びても糸が切れにくい伸縮性のあるぬい目で、ニッ
ト地のぬい合わせなどに使います。



布のぬい縮みやひきつれを防ぐことができます。

ぬいしろをきれいに割りたい場合にも使用できます。

じつようぬい  は伸縮性のある布地や、薄い布地をぬ
い合わせるのに使います。

じつようぬい  は厚い布の場合に使います。

メモ：

- じつようぬい   の場合、調整画面のぬい目
の幅調整キーでの調整は、他の直線状模様と異なり、
ぬい位置（針位置）ではなく、ぬい目の幅の調整に
なります。
- ぬい目のイラストの右に書かれている「M」、「L」は、
ぬい目の幅をかえたときの基準位置です。
(40 ページ参照)

★ じつようぬい 11：しつけぬい

しつけぬいの模様は、ミシンをスタートさせても布は送られずに、1針ぬって停止します。（フットコントローラーの場合も、踏み続けていても1針ぬって停止します。）
ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。

お好みの間かくを、1針ずつ手で布を移動させてぬうことができます。

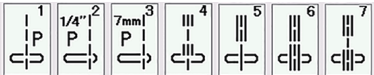
ぬい方は 124 ページ「●しつけ」の「マニュアル」の項目をごらんください。

● 上送り押さえの使い方

ポリ塩化ビニールなどでコーティングしてある素材など、上布と下布でずれやすい布地や革製品など送りにくい布地をぬう場合、上送り押さえを使用するときれいにぬうことができます。

また重ね合わせた布地がずれるのを防ぎます。

じつようぬい模様 、キルト模様

、用途ぬいの「地ぬい」、

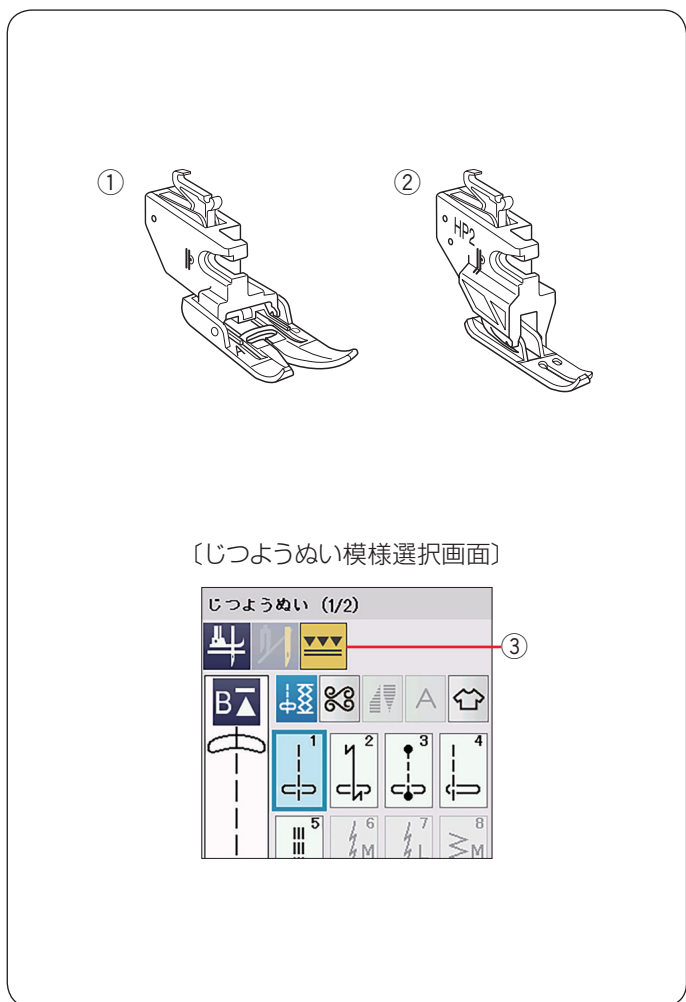
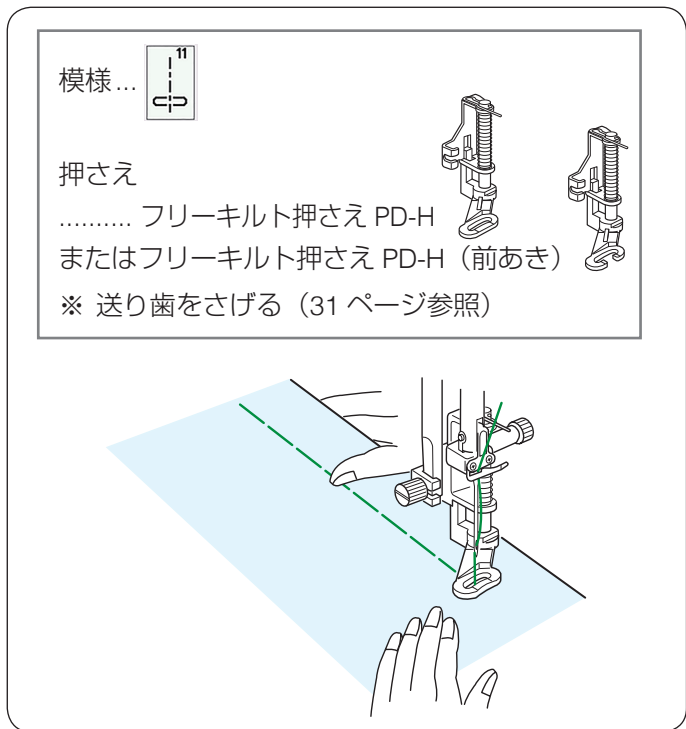
「ファスナー」、「パッチワーク」、「キルトティング」の一部の模様は上送り押さえでぬうことができます。

以下の2種類の上送り押さえが付属しています。

- ① **上送り押さえ AD（標準）：**
標準的なぬいに使用します。
- ② **プロフェッショナル上送り押さえ HP2：**
カーブをぬう場合やトップステッチに使用します。
（52 ページ参照）

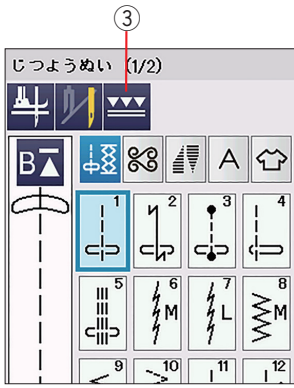
メモ：

- 上送りぬい切りかえキー ③ が押されている場合、上送り押さえに適さない模様はグレーになり、選択できません。
- 上送り押さえに適さない模様を選択している場合、上送りぬい切りかえキー ③ はグレーになり、押せません。

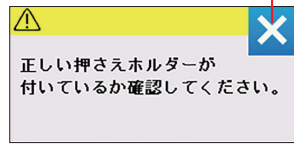


1

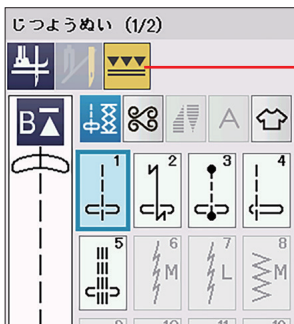
〔じつようぬい模様選択画面〕



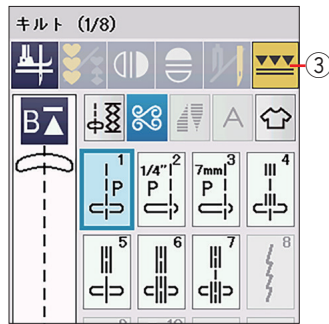
〔メッセージ画面〕



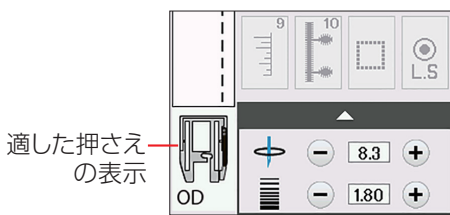
〔じつようぬい模様選択画面〕



〔模様選択画面：キルト〕



〔模様選択画面：キルト〕



【準備】

- 上送りぬい切りかえキー③を押します。
メッセージ画面が表示されます。閉じるキー④を押します。
上送りぬい切りかえキー③が黄色になります。
- 上送り押さえホルダーと上送り押さえ AD (標準) を取り付けます。
※ 上送り押さえホルダーの取り付けは、24 ページをごらんください。
※ 上送りぬいに設定されているあいだ、

じつようぬい模様 、

キルト模様 、

用途ぬいの「地ぬい」、「ファスナー」、「パッチワーク」、「キルトイング」の一部の模様以外を選ぶことができません。

- ※ 上送りぬいを解除する場合、上送りぬい切りかえキー③を押します。

- ※ 上送りぬいで、キルト模様の を選んだ場合、模様選択画面左下の適した押さえの表示が、上送りパッチワーク押さえ OD となりますが、上送りパッチワーク押さえ OD は別売り (オプション) です。

【ぬい方】

上糸を押さえの下へ通して向こう側に引き出し、ぬい始めます。

- ※ しま模様や格子じま、プリント地をぬうときは、布地の端と最初のしまをぬい始めのところできちんとそろえ、ぬい目の線に直角にピンを止め、ぬいます。

【上布と下布がずれる場合】

上布①と下布②がずれる場合、上送り調節ダイヤル③をまわして調整します。

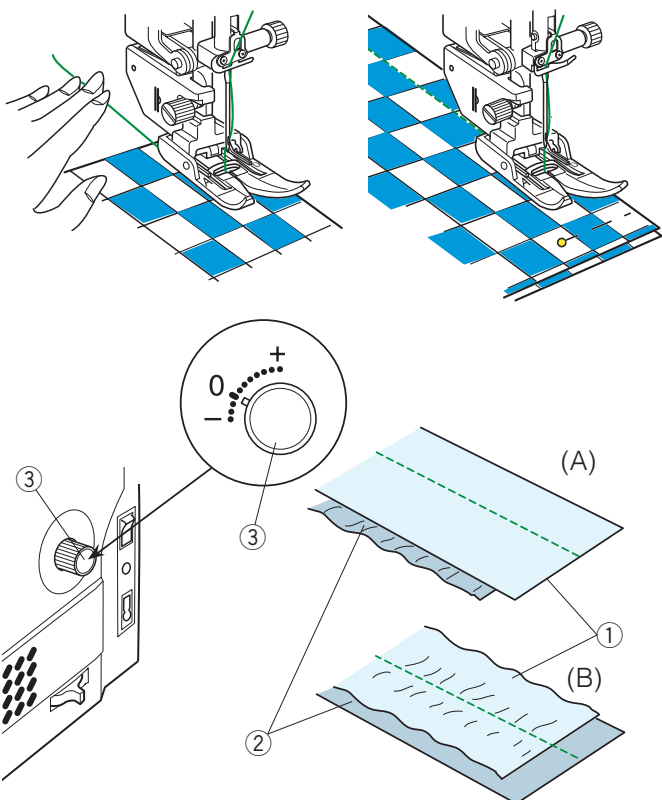
上送り調節ダイヤル③は「0」が基準ですが、布の種類に合わせて調整の変更が必要な場合があります。

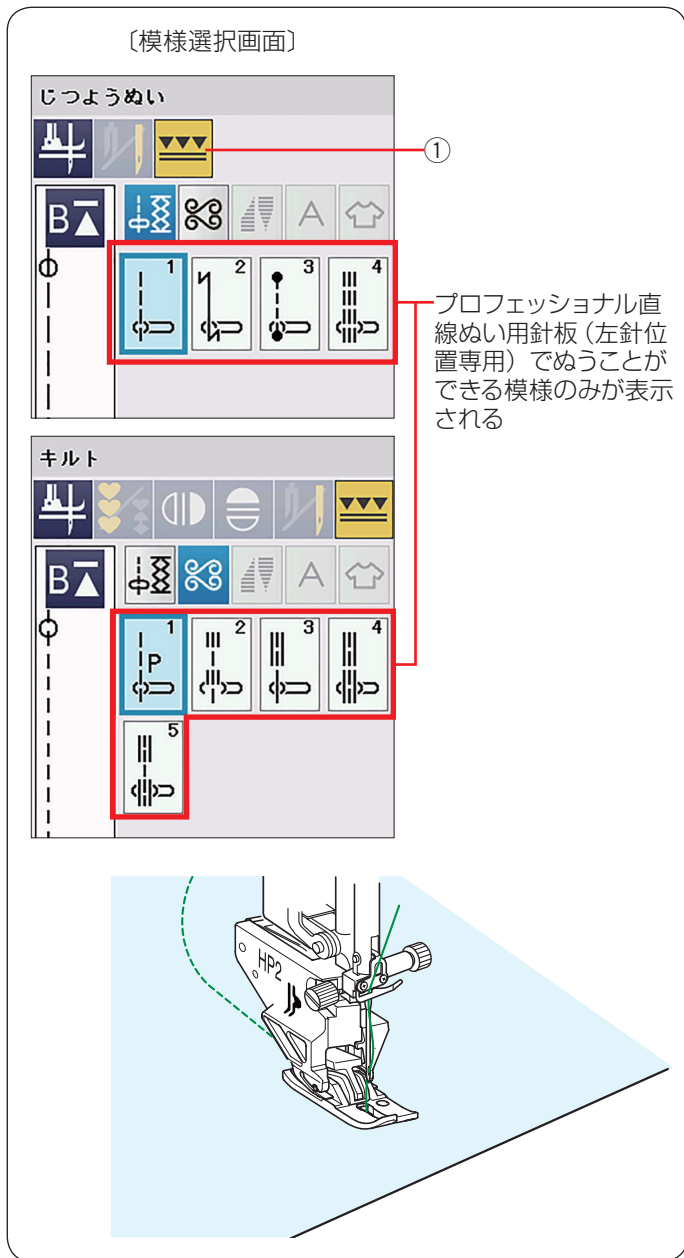
使用する布の切れ端を使用して、送りバランスを確認します。

- 下布②にしわがよる場合、上送り調節ダイヤル③を「+」方向にまわします。
- 上布①にしわがよる場合、上送り調節ダイヤル③を「-」方向にまわします。

メモ：

上送り押さえを使用しないときは、必ず上送り調節ダイヤルを「0」の位置にもどしてください。





★ プロフェッショナル上送り押さえ HP2 の使い方

押さえの歯とミシンの送り歯が連動して、しっかりと布地を送ります。

押さえの幅が細いので小回りに優れ、曲線ぬいやトップステッチぬいに適しています。

※ プロフェッショナル上送り押さえ HP2 は、必ず付属のプロフェッショナル直線ぬい用針板（左針位置専用）と一緒にご使用ください。

※ 押さえの取り付けは、24 ページをごらんください。

※ プロフェッショナル直線ぬい用針板（左針位置専用）の取り付けは、53 ページをごらんください。

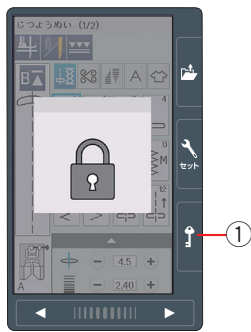
【ぬい方】

上送りぬい切りかえキー ① を押して、ぬいたい模様を選びます。

※ ぬい方は 51 ページをごらんください。

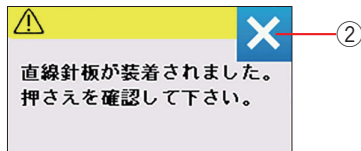
※ 模様選択画面にはプロフェッショナル直線ぬい用針板（左針位置専用）でぬうことができる模様のみが表示されます。

1



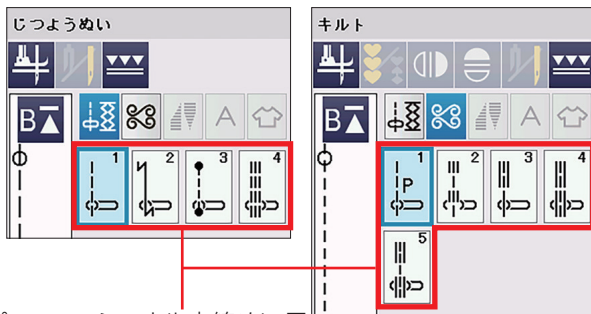
〔メッセージ画面〕

2



〔模様選択画面〕

3



プロフェッショナル直線ぬい用針板（左針位置専用）でぬうことができる模様のみが表示される

● プロフェッショナル直線押さえHP・プロフェッショナル直線ぬい用針板（左針位置専用）の使い方

プロフェッショナル直線押さえ HP は、付属のプロフェッショナル直線ぬい用針板（左針位置専用）と一緒に使います。針が布にささるときのぼたつきがおさえられ、ぬい目が美しく仕上がります。

また、薄地のぬい縮みの防止にも適しています。

メモ：

- 押さえの取り付けは、26 ページをごらんください。
- 使用できる模様は、ミシンの早見板の「プロフェッショナル直線針板（HP 針板）」の模様です。これらは、じつようぬいグループとキルトグループにある模様と同じ模様です。



- 1 ロックキー① を押し、ミシンをロックしてプロフェッショナル直線ぬい用針板（左針位置専用）に交換します。（28 ページ「針板の外し方、付け方」参照）

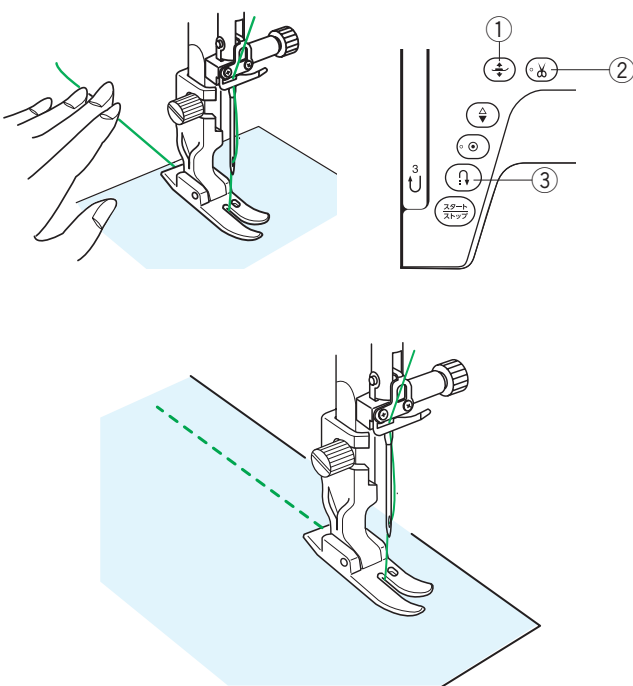
- 2 メッセージ画面が表示されます。正しい押さえが取り付けられているか確認し、メッセージ画面の閉じるキー② を押します。

- 3 再度ロックキー① を押し、ロックを解除すると模様選択画面にもどり、ぬうことができます。

※ プロフェッショナル直線ぬい用針板（左針位置専用）が取り付けられているあいだは、じつようぬいグループおよびキルトグループの模様しか選択できません。

※ 模様選択画面にはプロフェッショナル直線ぬい用針板（左針位置専用）で使用できる模様のみが表示されます。

1 2



【ぬい始め】

- 1 上糸を押さえの下から向こう側に引き出した状態で布を入れ、糸と布を左手で押さえ、はずみ車を手で手前にまわして最初のぬい位置に針をさします。

- 2 押さえ上下移動ボタン① で押さえをさげ、ミシンをスタートさせ、ぬいます。

※ 下糸（ボビン）をセットした直後および糸切りボタン② を使用して糸を切ったあとのぬい始めは、下糸を針板の上に引き出す必要はありませんが、上糸は必ず向こう側に引いて、押さえで押さえてください。

※ ぬい始めのほつれ止めは、返しぬいボタン③ を押しします。

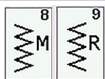
【ぬい終わり】

- 1 ぬい終わりの位置で返しぬいボタン③ を押して数針返しぬいを行い、ミシンを停止します。

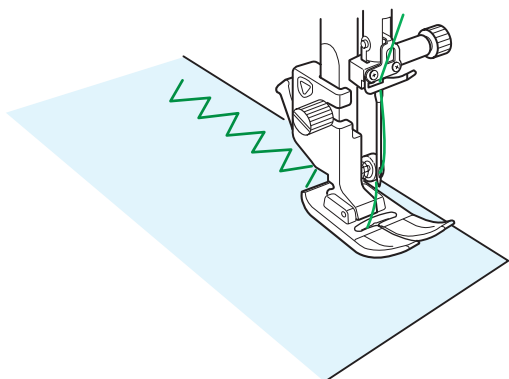
- 2 糸切りボタン② を押して糸を切ります。

※ 針と押さえがさがった状態のままでも、糸切りボタン② を押すと針と押さえは上の位置に移動します。

模様.....



押さえ 基本押さえ A



模様.....

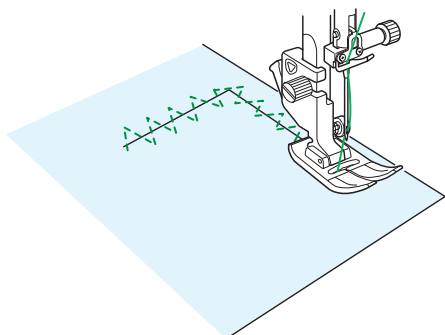


押さえ 基本押さえ A

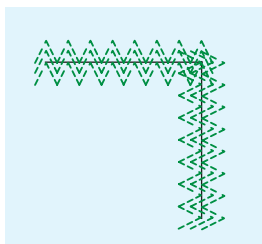


※ ぬい目のあらかさ調整キーでぬい目のあらかさを「0.3」～「0.5」に設定します。

①



②



● ジグザグぬい

★ じつようぬい 8、9：ジグザグぬい

たち目かがりなど、多目的に使えます。

ほとんどの布に使用できます。

ぬい目を細かくすればアップリケなどに使用できます。

★ じつようぬい 10：つくろいぬい

破れや、ほつれている部分をつくろうのに使用します。

ぬい方：

① ぬい目のあらかさを「0.3」～「0.5」に設定し、
(41 ページ参照) ほつれた部分の布端をつき合わせ
てぬいます。

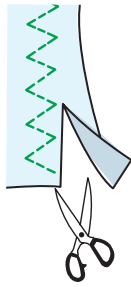
② 手順①でぬったぬい目をはさむように両側をぬいま
す。

※ ほつれ具合によって、裏側から別布をあててぬい
ます。

模様



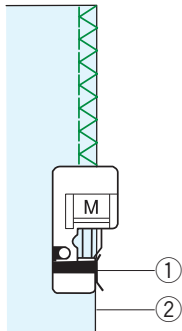
押さえ 基本押さえ A



模様



押さえ ふちかがり押さえ M

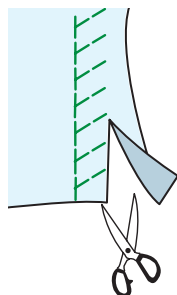
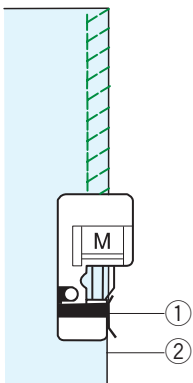


模様



押さえ ふちかがり押さえ M

..... 基本押さえ A



● ふちかがりぬい

★ じつようぬい 10：トリコットぬい

合成素材や、布のぬい縮みやひきつれがおきやすい伸縮性のある布の裁ち端の仕上げに使用します。

ぬいしろをすこし余分にとってぬいます。

ぬい終わったあとは、余分なところをぬい目の近くで切り落とします。

★ じつようぬい 13：かがりぬい 1

ブロード、シーチング、ローンなどの伸びない普通地や、平織り 2 枚に適しています。

地ぬいをかねたかがりぬいで、たち目のほつれ止めに使用します。

ぬいしろを割る必要がない場合に使用してください。

布端 ② を押さえのガイド ① にあててぬいます。

★ じつようぬい 14：ニットステッチ

ジャージー、ニット、トリコットなど伸びる布地の端をかがるのに使用します。

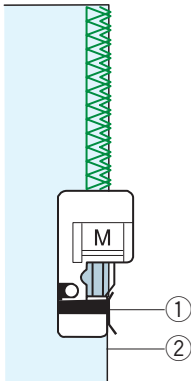
ふちかがり押さえ M を使用する場合、布端 ② を押さえのガイド ① にあててぬいます。

基本押さえ A を使用する場合、ぬいしろを少し多めにとってぬい、余分なところをぬい目近くで切り落とします。

模様.....



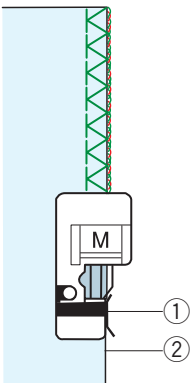
押さえ ふちかがり押さえ M



模様.....



押さえ ふちかがり押さえ M



★ じつようぬい 15 : かがりぬい 2

リネンやギャバジンなどの普通の布や厚い布および、布端がほつれやすい布のたち目のほつれ止めに使用します。ほつれを防ぐため、二重に布端をかがります。

布端 ② を押さえのガイド ① にあててぬいます。

★ じつようぬい 16 : かがりぬい 3

リネン、ローンなどの普通の布や、布端がほつれやすい布のたち目のほつれ止めに使用します。オーバーロックのぬい目に似ています。



布端 ② を押さえのガイド ① にあててぬいます。

● その他のじつようぬい

【じつようぬい 12：バック直線ぬい】

直線ぬいを通常の布の進む方向と逆方向にぬう（バックぬい）ときに使用します。

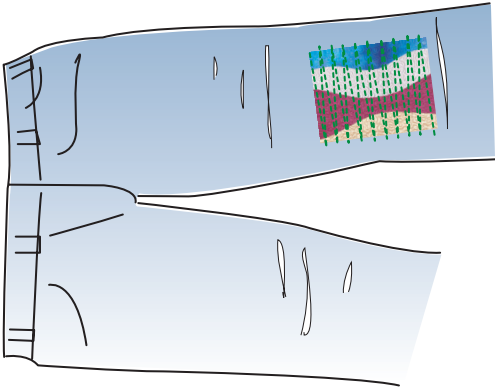
布を回転しにくいときの繰り返しの往復ぬいに便利です。返しぬいボタンを押さなくても、返しぬいができるので、両手で布を送ることができます。

模様  で必要なところまでぬい、模様  を選んで、もどる方向をぬいます。

模様



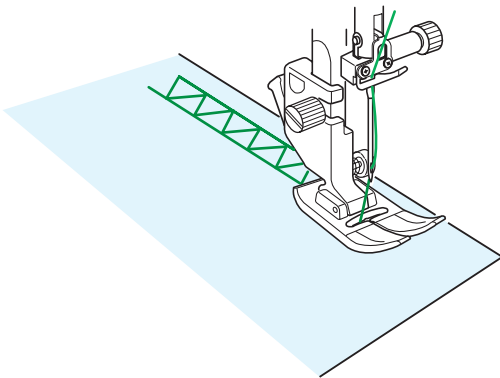
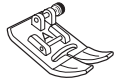
押さえ 基本押さえ A



模様



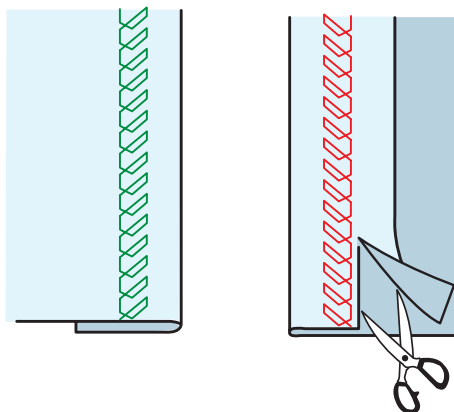
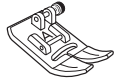
押さえ 基本押さえ A



模様



押さえ 基本押さえ A



【じつようぬい 17：ヘムステッチ】

ファゴティング（82 ページ参照）や飾りぬいに使用します。

【じつようぬい 18：ニットステッチ 2】

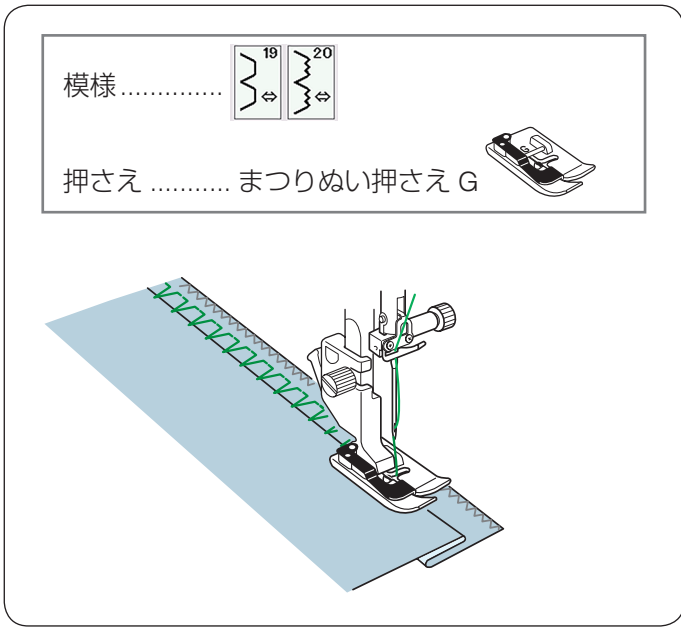
布を折り、布の表を上 にします。

折り目に沿ってお好みの距離でぬいます。

裏側の余った布をぬい目近くで切りそろえます。

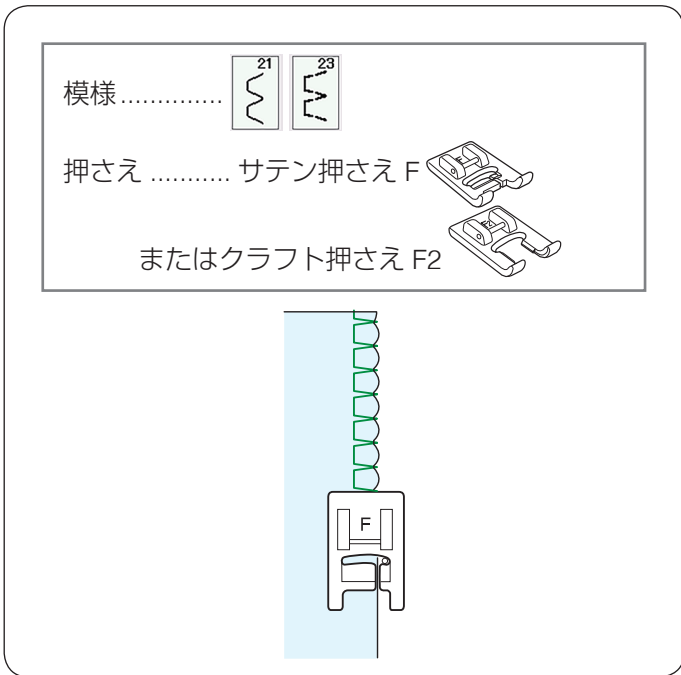
【じつようぬい 19、20：まつりぬい】

114 ページ「まつりぬい」をごらんください。



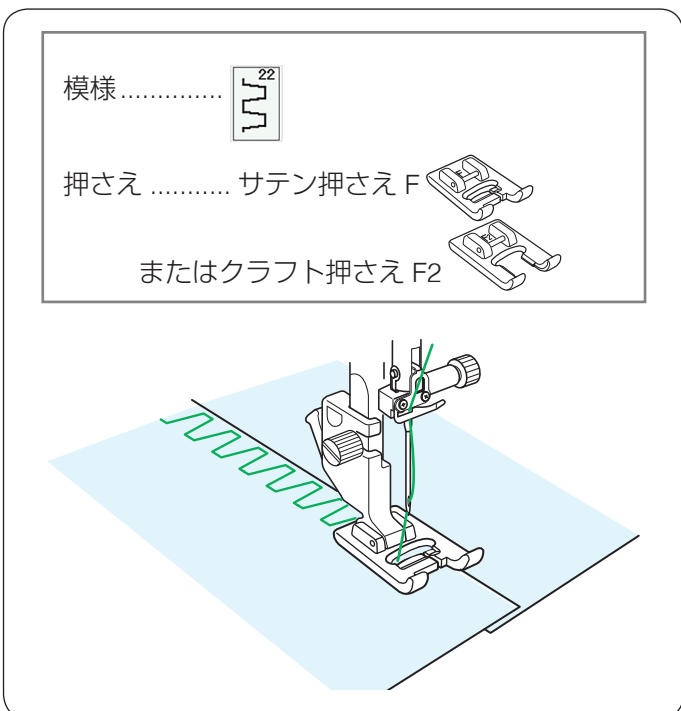
【じつようぬい 21、23：シェルタック】

116 ページをごらんください。

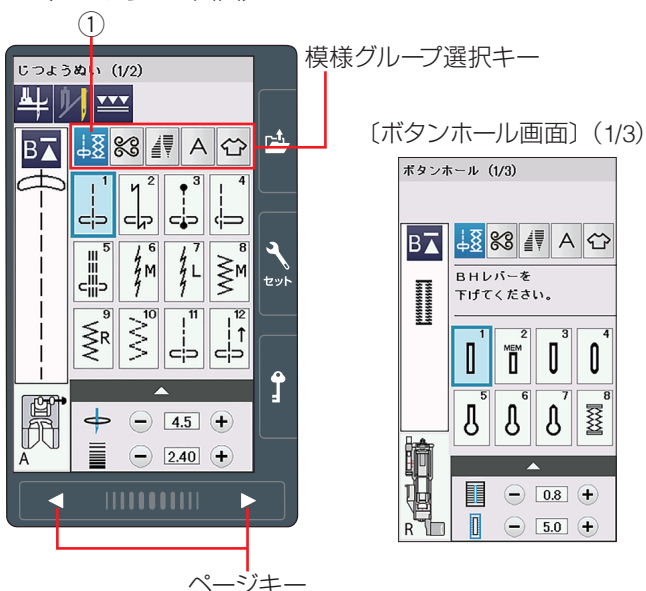


【じつようぬい 22】

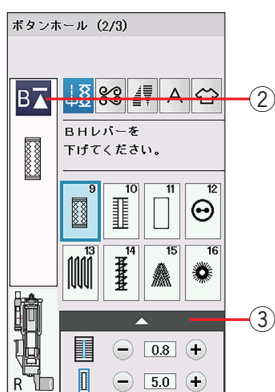
キルト芯やフェルトなど厚い生地のパラなつなぎ合わせやファゴティング（82 ページ参照）などに使用します。



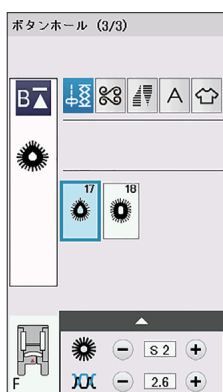
〔じつようぬい画面〕



〔ボタンホール画面〕 (2/3)



〔ボタンホール画面〕 (3/3)



◎ ボタンホール・特殊模様

● ボタンホール・特殊模様の画面


模様グループ選択キーで「じつようぬい、ボタンホールと特殊模様」①を選び、ページキーでボタンホールの画面を選びます。(3 ページ目)

じつようぬい、ボタンホールと特殊模様のグループは、じつようぬいの 23 個の模様が 2 つのページ (画面) に、ボタンホールと特殊模様の 18 個の模様が 3 つのページ (画面) の合計 5 ページ (画面) に分かれています。

※ ページキーで選択します。

ボタンホールおよび特殊模様グループの画面は、模様選択キーや調整キーなどのキーの他に、選ばれている模様に関するいくつかのぬい情報や設定状態が表示されています。

メモ：

- ぬい情報や設定状態の表示については、18 ~ 19 ページをごらんください。
- 調整キー③を押すと、調整画面になります。調整画面の基本的な使い方については、40 ~ 42 ページをごらんください。
- 特殊な使い方については、それぞれの模様の説明をごらんください。
- ボタンホールおよび特殊模様は、模様が完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。
- 模様頭出しキー②の使い方は、97 ページをごらんください。
- 模様  のぬい方は、124 ~ 126 ページをごらんください。

● ボタンホールの種類と用途

ボタンホール 1：スクエアボタンホール

普通の布から厚い布まで広く使われているボタンホールです。ボタンホールの長さは、ボタンホール押さえ R のボタン受け台に使用するボタンをはさみ込むと自動的に決まります。

ボタンホール 2：メモリーボタンホール (スクエアボタンホール)

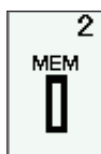
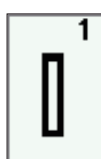
自分でボタンホールの長さを決めてぬうボタンホールです。2.5 cm 以上の長いボタンホールをぬえます。

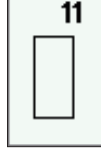
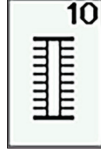
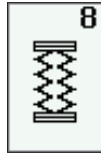
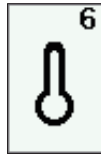
ボタンホール 3：片ラウンドボタンホール

薄い布から普通の布に使います。ブラウス、子供服でよく使われます。

ボタンホール 4：両ラウンドボタンホール

シルクのような薄い布に使います。





ボタンホール 5：キーホールボタンホール

普通の布から厚い布まで広く使われているボタンホールです。大きくて厚めのボタンに使います。

ボタンホール 6：ラウンドキーホールボタンホール

普通の布から厚い布まで広く使われているボタンホールです。大きくて厚めのボタンに使います。

ボタンホール 7：キーホールボタンホール (テーラーメイド)

ボタンホール 5、6 と同じキーホールボタンホールですが、片方の口を補強したボタンホールです。

ボタンホール 8：ニットボタンホール

伸縮性のある布に使います。飾りボタンホールとしても使います。

ボタンホール 9：ニットボタンホール

伸縮性のある布に使います。飾りボタンホールとしても使います。




ボタンホール 10：ニットボタンホール


ヘアールーム模様のようなボタンホールです。手ぬいのような見た目なので、飾りボタンホールとして最適です。薄い布用です。

ボタンホール 11：たまぶちボタンホール

たまぶちボタンホールを作る最初の工程になります。

メモ：

• 模様  ~  のぬいかたは模様  (スクエアボタンホール) と同様です。

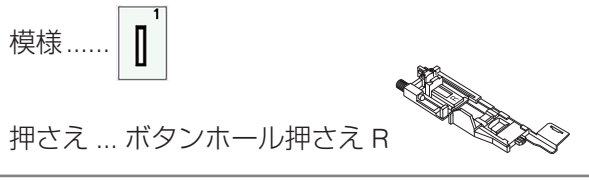
• 模様  (メモリーボタンホール) を除くボタンホールは、ボタンホール押さえ R にボタンをセットするだけで自動的に最適な長さのボタンホールをぬうことができます。(ボタンホールの長さは、使用するボタンをボタンホール押さえのボタン受け台にはさみ込むと自動的に決まります。)

• ボタンの直径が 1.0 ~ 2.5 cm までのボタンホールができます。

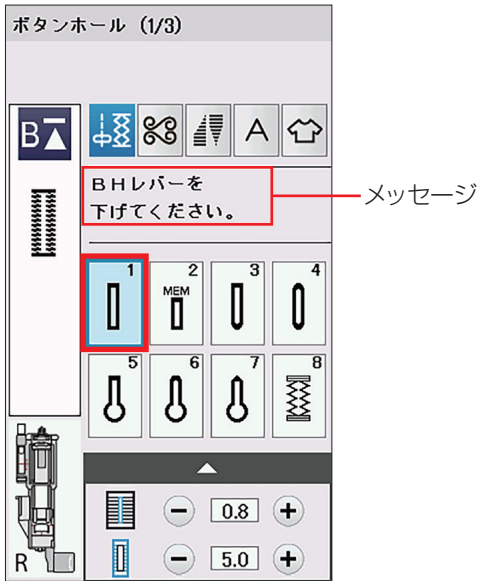
• ボタンホールは、模様が完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。)

ボタンホールの注意事項

- 伸縮性のある布は、伸びないように裏に芯地を貼ってください。
- 厚物の段差や安定して布送りできない布などをぬうときは、ボタンホール安定板を使用してください。
- 使用する布の切れ端などで試しぬいをして、正しくぬえることを確認してください。
- ボタンホールをぬう場所に、必ずマーク (しるし) を付けてください。



〔模様選択画面〕



● ボタンホール 1：スクエアボタンホール

ボタンホールの長さは、ボタンホール押さえ R のボタン受け台へ使用するボタンをはさみ込むと自動的に決まります。

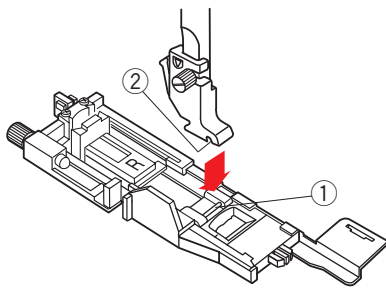
ボタンの直径が 1.0 ～ 2.5 cm までのボタンホールをぬうことができます。

ボタンホールを選択すると、ボタンホール切りかえレバーをおろすよう、画面（タッチパネル）にメッセージが表示されます。

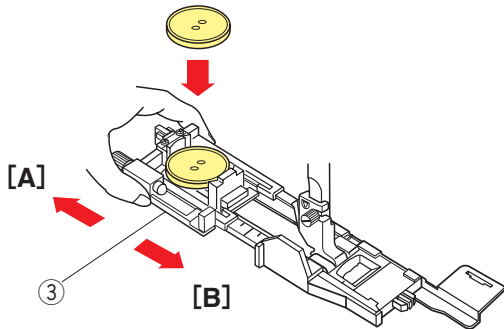
メモ：

- 厚い布、特定の布や糸を使用してボタンホールをぬうときなど、ボタンホールのサイズをかえる必要がある場合があります。使用する布の切れ端などで試しぬいをして、正しくぬえることを確認してください。
- 自動的に設定されるボタンホールの幅は一般的なボタン用です。
- 伸縮性のある布は、伸びないように裏に芯地を貼ってください。

1



2



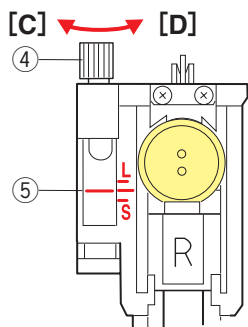
【ボタンホールのぬい方】

- 1 押さえのピン①を押さえホルダーのみぞ②に入れて、ボタンホール押さえ R を取り付けます。

ボタンホール押さえ R を取り付けるとき、押さえ上げを高くあげた位置まで持ちあげると便利です。

- 2 ボタンホール押さえ R のボタン受け台③を [A] の方向へ引き、ボタンをのせます。

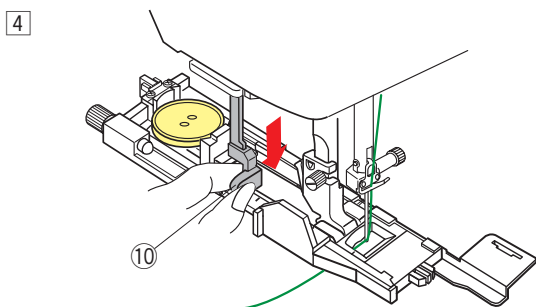
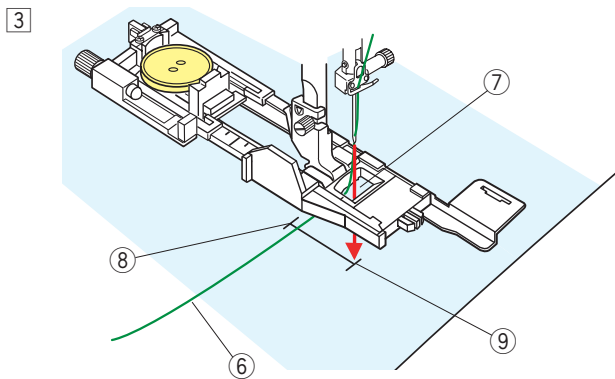
ボタン受け台③を [B] の方向にもどしてボタンをきつくはさみ込みます。



ボタンホール長さの微調整方法

ボタンの長さを測り、必要であればボタンホールの長さを調整してください。

- ボタンホールの長さを長くするには、調整ねじ④を [C] の方向にまわして指示線⑤を L 側にします。
- ボタンホールの長さを短くするには、調整ねじ④を [D] の方向にまわして指示線⑤を S 側にします。
- ぬい終わったら、ねじはもとの位置⑤（指示線を目盛りの中央の位置）にもどしてください。



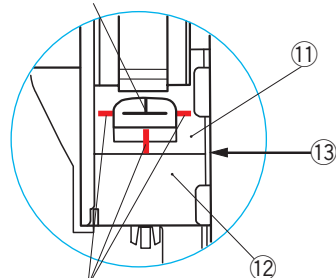
③ 押さえをあげて上糸⑥を押さえの穴⑦から下へ通し、横に引き出します。

上糸⑥を横に引き出した状態で布を入れ、布に付けたマーク⑧のぬい始めの位置⑨に針をさし、押さえをさげます。

※ 押さえをさげるとき、押さえ前部のストッパーを向こう側に軽く押しつけた状態でさげ、ストッパーと押さえスライダーにすきまがあかないように注意してください。
(下記「ぬい始める前の確認」参照)

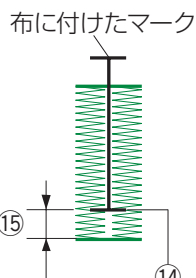
④ ボタンホール切りかえレバー (BH レバー) ⑩ を止まるまでいっぱい引きさげます。

布に付けたマーク

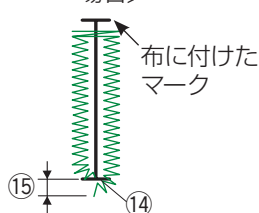


スタートマーク

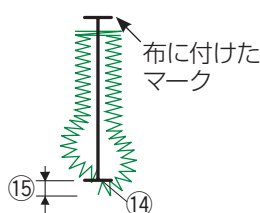
※ ぬい位置を合わせるための目安のマークです。



〔片ラウンドボタンホールの場合〕

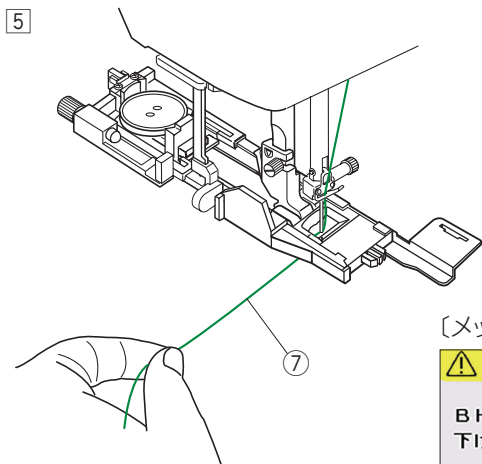


〔キーホールボタンホールの場合〕

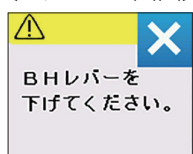


ぬい始める前の確認

押さえスライダー⑪とストッパー⑫のあいだにすきまがないこと⑬を確認してください。すきまがあるとぬい始めの位置⑭と、ぬい終りの位置がずれる⑮ことがあります。



〔メッセージ画面〕



⑤ 上糸⑦を左に軽く引いて持ち、ミシンをスタートさせます。ぬい始めから数針ぬったあと、糸から手をはなしてぬいます。

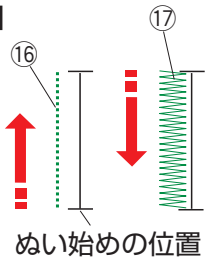
ボタンホールをぬい終わったところでほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

ボタンホール切りかえレバーをさげないでぬった場合

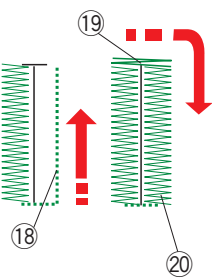
ボタンホール切りかえレバーをさげずにミシンをスタートさせると、何針かぬったのちミシンは停止し、画面にボタンホール切りかえレバーをさげるようにメッセージが表示されます。ボタンホール切りかえレバーを引き上げて、ミシンを再スタートさせてください。

6

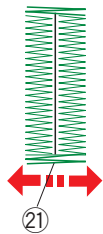
[1]



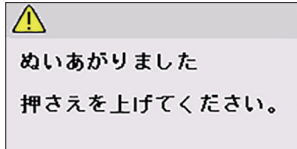
[2]



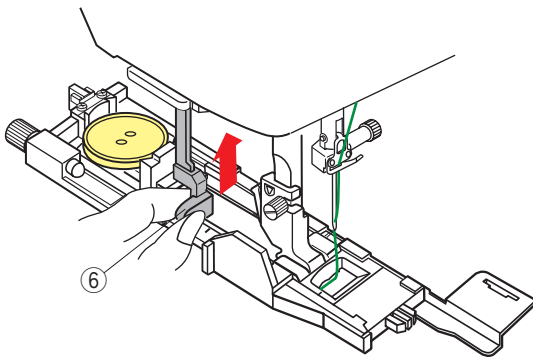
[3]



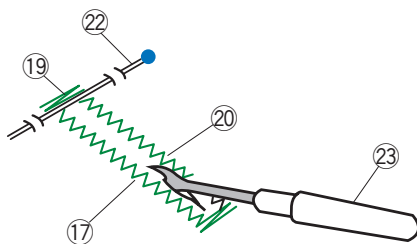
〔ぬい完了後のメッセージ画面〕



7



8



6 ボタンホールは下記の順番でぬいます。

[1] 下ぬい⑬をし、左側のラインタック⑭をぬいます。

[2] 下ぬい⑮をし、かんぬき⑯と右側のラインタック⑰をぬいます。

[3] かんぬき⑱と止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

ぬい終わるとメッセージが表示されます。

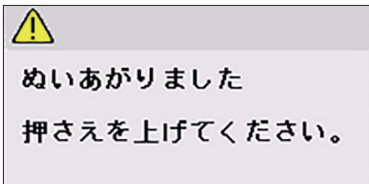
※ ボタンホールの重ねぬいをする場合、そのままミシンをスタートさせぬいます。

重ねぬいをしない場合、押さえ上下移動ボタンを押して押さえをあげます。(下記「ボタンホールの重ねぬい」参照)

7 ぬい終わったら、ボタンホール切りかえレバー⑥を止まるまでいっぱい押しあげてもどします。

8 かんぬき⑱の内側にまち針⑳をわたし、シームリッパー㉑で左右のラインタック⑭、⑰の糸を切らないよう、ボタン穴をあけます。

〔ぬい完了後のメッセージ画面〕



【ボタンホールの重ねぬい】

ボタンホールを重ねぬいすると、より頑丈なボタンホールができます。

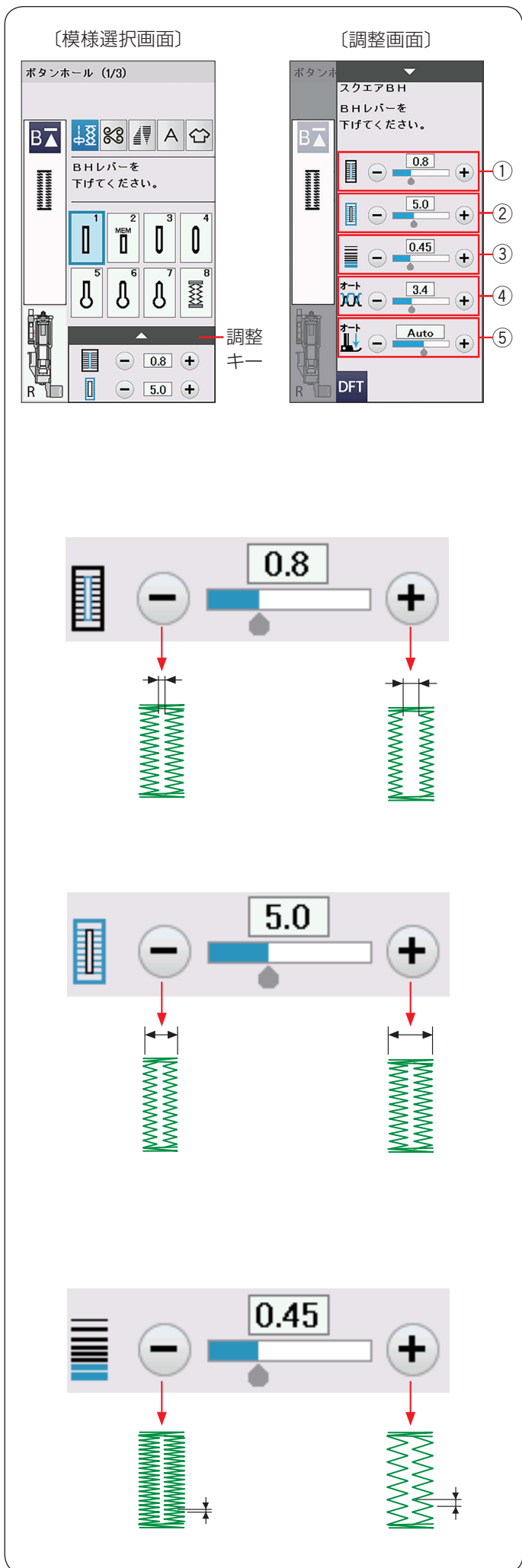
ボタンホールをぬい終わったあと、「押さえを上げてください。」とメッセージが表示されますが、押さえをあげたり、ボタンホール切りかえレバーをあげたりせず、再度ミシンをスタートさせます。

ボタンホールの重ねぬいができます。

※ ボタンホールの重ねぬいで送りがつまるときには、ぬい目のあらさを大きくしてぬってください。

メモ：

「通常ぬい設定」の「通常ぬいオートストップ時の糸切り」が「ON」に設定されている場合、糸切り後押さえがあがってしまい重ねぬいはできません。(150 ページ参照)



★ ボタンホールの調整画面

模様選択画面の調整キーを押すと、調整画面が表示されます。

① ボタン穴の幅調整キー

ボタン穴の幅（ボタンホールの中幅）をかえることができます。

② めい目の幅調整キー

ボタンホール全体の幅をかえることができます。

③ めい目のあらかさ調整キー

めい目のあらかさをかえることができます。

④ 糸調子調整キー

上糸と下糸の糸調子のバランスをかえることができます。

⑤ 押さえ圧調整キー

押さえ圧をかえることができます。

メモ：

調整画面の基本的な使い方は、40～42ページをごらんください。

① ボタン穴の幅をかえる

「+」を押すとボタン穴の幅が広がります。
「-」を押すとボタン穴の幅がせまく（細く）なります。

② めい目の幅（ボタンホールの幅）をかえる

「+」を押すとボタンホール全体の幅が広がります。
「-」を押すとボタンホール全体の幅がせまくなります。

③ めい目のあらかさをかえる

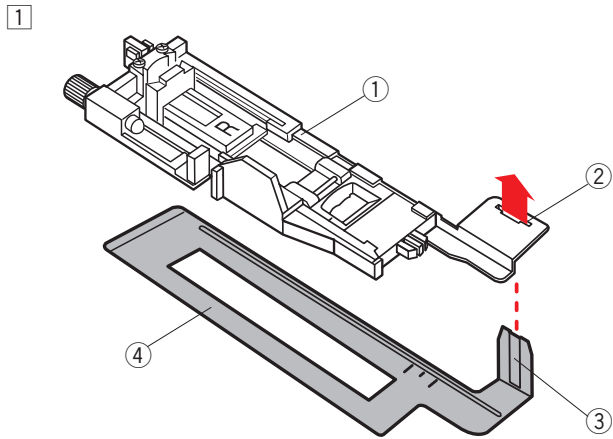
「+」を押すとボタンホールのめい目があらかくなります。
「-」を押すとボタンホールのめい目が細かくなります。

メモ：

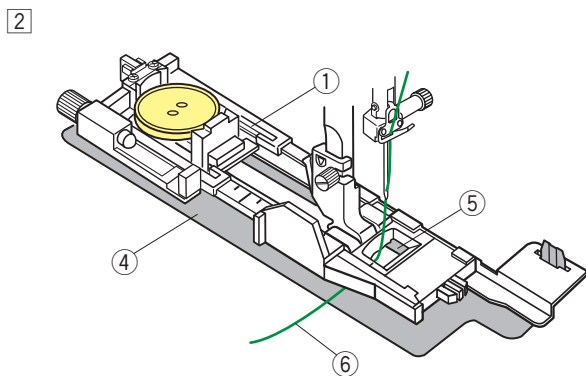
ボタンホールの穴の幅は0.2～2.0まで変更可能です。
ボタンホール幅は2.6～9.0まで変更可能です。
ボタンホールのめい目のあらかさは0.20～1.00まで変更可能です。

● ボタンホール安定板の使い方

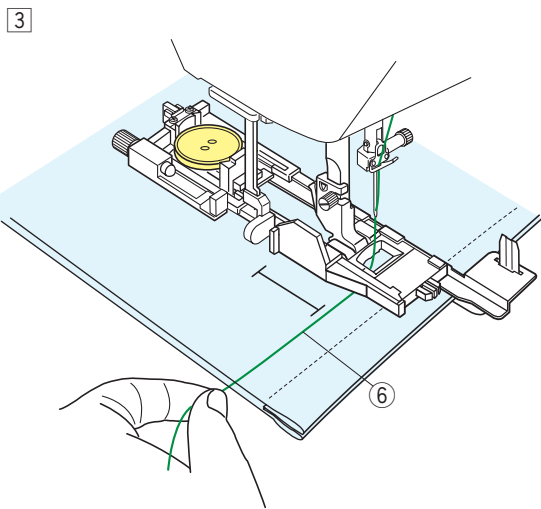
厚い布の段差や安定して布送りできない布などをぬう場合、ボタンホール安定板を使用すると、布をスムーズに送ることができます。



- ① ボタンホール押さえ R ① の取り付け穴 ② に、ボタンホール安定板 ④ のガイド ③ 部分を差し込みます。



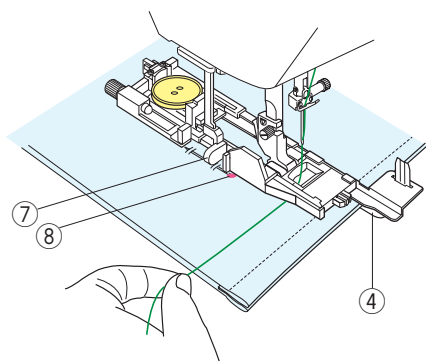
- ② ボタンをボタン受け台にのせます。
ボタンホール安定板 ④ を組み付けたボタンホール押さえ R ① を、ミシンに取り付けます。
押さえをあげ、上糸 ⑥ を押さえの穴 ⑤ から下へ通し、ボタンホール押さえとボタンホール安定板のあいだから横に引き出します。



- ③ 上糸 ⑥ を横に引き出した状態でボタンホール押さえとボタンホール安定板のあいだに布を入れます。
はずみ車をまわし、ぬい始めの位置に針をさします。

メモ：

ぬいの手順はボタンホール 1：スクエアボタンホールと同じです。(61～64 ページ参照)



布がボタンホール切りかえレバーに触れて、うまくぬえない場合

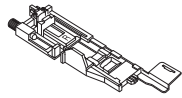
弾力性のある厚い布（フリースなど）をぬう場合、布を送るときに浮きあがった布がボタンホール切りかえレバー ⑦ に触れて誤操作を起こし、正しい形にぬえないことがあります。

このような場合、布を送るときに布が浮きあがらないようにまち針 ⑧ で固定し、ボタンホール安定板 ④ を使用してぬってください。

模様.....



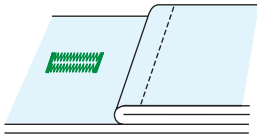
押さえ ... ボタンホール押さえ R



..... サテン押さえ F



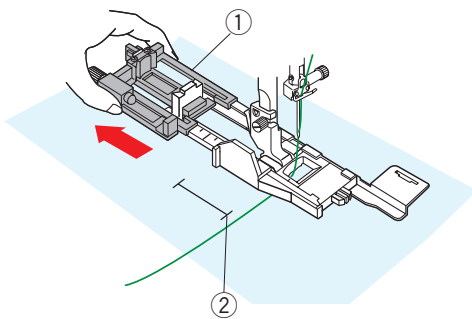
〔段差近くの場合〕



〔ぬい始める前の画面のメッセージ〕

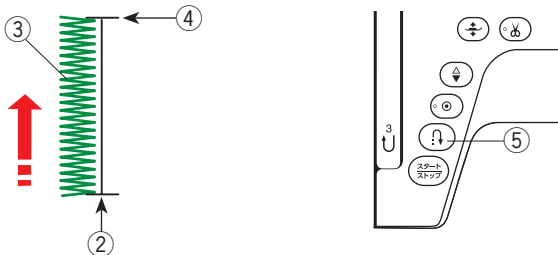


①



②

〔ぬい中の画面のメッセージ〕



● ボタンホール 2：メモリーボタンホール（スクエアボタンホール）

メモリーボタンホールは、ボタンホールの長さを自分で決めてぬうボタンホールです。

メモ：

- ボタンホール切りかえレバーは、さげないでぬいます。
- 2.5 cm 以上の長いボタンホールをぬう場合や、厚い布の段差近くをぬう場合など、ボタンホール押さえ R を使用できないときはサテン押さえ F を使用してください。
- ボタンホールの穴の幅は 0.2 ～ 2.0 まで変更できます。
- ボタンホール幅は 2.6 ～ 9.0 まで変更できます。
- ボタンホールのぬい目のあらかさは 0.20 ～ 1.00 まで変更できます。（64 ページ参照）

【ぬい方（ボタンホール押さえ R の例）】

- ① ボタン受け台（ボタンホルダー）① を向こう側にいっぱい引き出します。

ミシンにボタンホール押さえを取り付けます。

上糸を横に引き出した状態で布を入れ、布に付けたマークのぬい始めの位置②に針をさし、押さえをさげます。

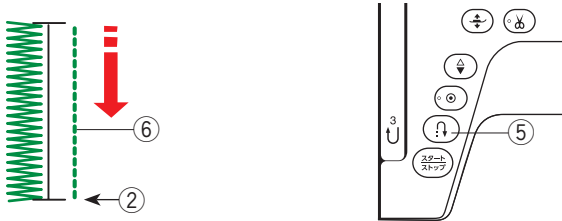
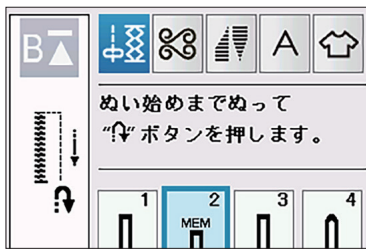
※ ぬい始める前の上糸と布のセット方法はスクエアボタンホールと同じです。「ボタンホール 1：スクエアボタンホール」の手順①③（61～62 ページ）をごらんください。（ボタンホール切りかえレバーはさげないでください。）

- ② 上糸を横に軽く引いて持ち、ミシンをスタートさせます。ぬい始めから数針ぬったあとは、糸から手をはなしてください。

左側のラインタック③を必要な長さ④までぬったらミシンを停止し、返しぬいボタン⑤を押します。

③

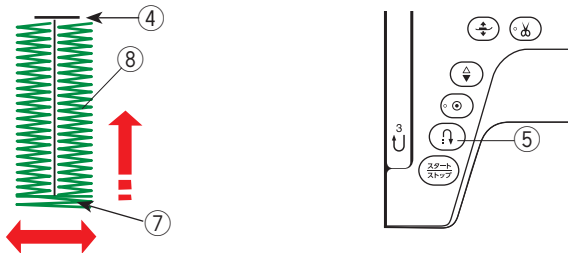
〔ぬい中の画面のメッセージ〕



- ③ ミシンをスタートさせると、下ぬい⑥を行います。
ぬい始めの位置②にもどったらミシンを停止し、返しぬいボタン⑤を押します。

④

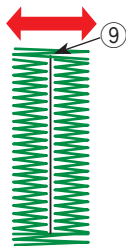
〔ぬい中の画面のメッセージ〕



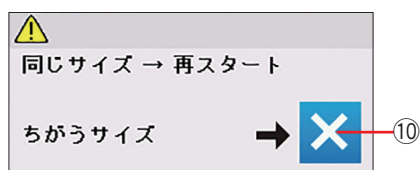
- ④ ミシンを再度スタートさせると、かんぬき⑦と右側のラインタック⑧がぬわれます。
必要な長さの位置④にもどったらミシンを止め、返しぬいボタン⑤を押します。

⑤

〔ぬい中の画面のメッセージ〕



〔ぬい完了後のメッセージ画面〕



- ⑤ ミシンを再度スタートさせると、かんぬき⑨をぬい、止めぬいをしてミシンは自動的に止まります。
ボタンホールぬいが終わると、画面にメッセージが表示されます。
ミシンは、手順②～④でぬったボタンホールのサイズを記憶しています。
- 別の場所に同じサイズのボタンホールをぬう場合、この画面の状態のまま布の位置をかえてミシンを再スタートさせます。
画面上のメッセージが消え、同じサイズのボタンホールが自動的にぬわれます。
 - 同じ長さのボタンホールをぬう必要がない場合、閉じるキー⑩を押してメッセージ画面を消すと、記憶しているボタンホールサイズは取り消されます。

メモ：

- ボタンホールの穴の開け方は 63 ページをごらんください。
- ボタンホールが完成する前に押さえ上げをあげたり、頭だしキーを押したりすると、記憶しているボタンホールサイズは取り消されます。

● その他のボタンホール

★ ボタンホール 3、4：片ラウンド、両ラウンドボタンホール

ぬい方はボタンホール 1：スクエアボタンホールと同じです。(61～64 ページ参照)

メモ：

ボタンホールの穴の幅は 0.2～2.0 まで変更可能です。
ボタンホール幅は 2.6～9.0 まで変更可能です。
ボタンホールのぬい目のあさは 0.20～1.00 まで変更可能です。(64 ページ参照)

★ ボタンホール 5～7：キーホールボタンホール

ぬい方はボタンホール 1：スクエアボタンホールと同じです。(61～64 ページ参照)

キーホールボタンホールの穴は、ポンチ（市販品）で丸穴を開けてからシームリッパーで切り開いてください。



メモ：

ボタンホールの穴の幅は 0.2～2.0 まで変更可能です。
ボタンホール幅は 5.6～9.0 まで変更可能です。
ボタンホールのぬい目のあさは 0.20～1.00 まで変更可能です。(64 ページ参照)

★ ボタンホール 8、10：ニットボタンホール

ぬい方はボタンホール 1：スクエアボタンホールと同じです。(61～64 ページ参照)

メモ：

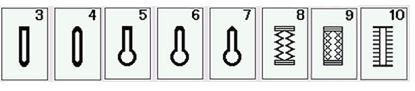
- ボタンホールの穴の幅は 0.2～2.0 まで変更可能です。ボタンホール幅は 2.6～9.0 まで変更可能です。
- ボタンホールのぬい目のあさは模様  が 0.50～1.00、模様  が 0.50～2.50 まで変更可能です。(64 ページ参照)
- 左右のぬい目のあさがそろわないときは、159 ページをごらんください。

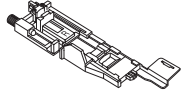
★ ボタンホール 9：ニットボタンホール



ぬい方はボタンホール 1：スクエアボタンホールと同じです。(61～64 ページ参照)

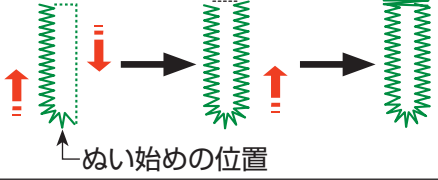
メモ：

- ボタンホールの穴の幅は 0.2～2.0 まで変更可能です。ボタンホール幅は 2.6～9.0 まで変更可能です。
- ボタンホールのぬい目のあさは 0.70～1.20 まで変更可能です。(64 ページ参照)
- 左右のぬい目のあさがそろわないときは、159 ページをごらんください。




模様..... 

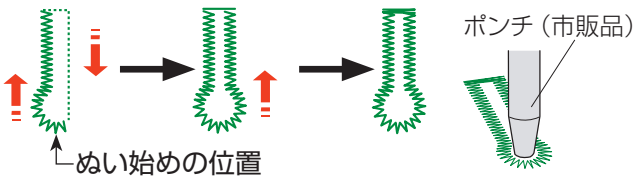
押さえ ... ボタンホール押さえ R 

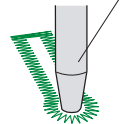
ぬい順序 (模様  の例)
※ 模様  も同じ順序です。




ぬい始めの位置

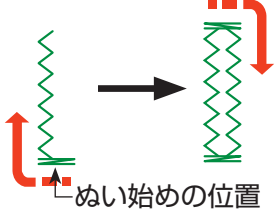
ぬい順序 (模様  の例)
※ 模様   も同じ順序です。




ポンチ (市販品) 

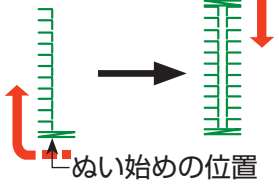
ぬい始めの位置

ぬい順序 (模様 )




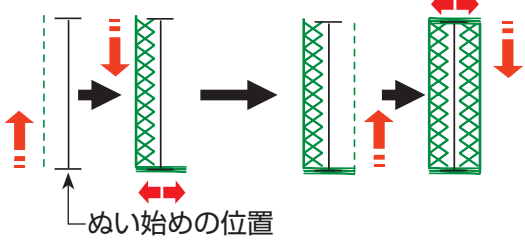
ぬい始めの位置

ぬい順序 (模様 )



ぬい始めの位置

ぬい順序 (模様 )

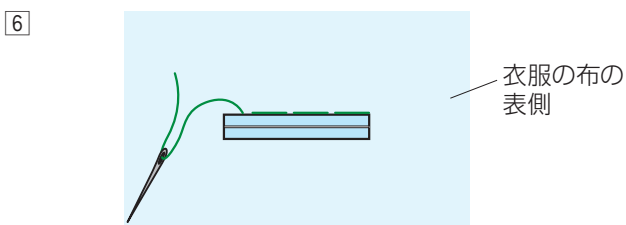
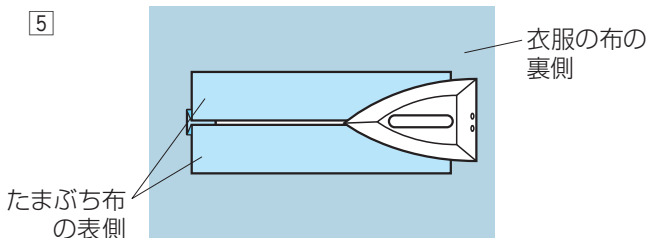
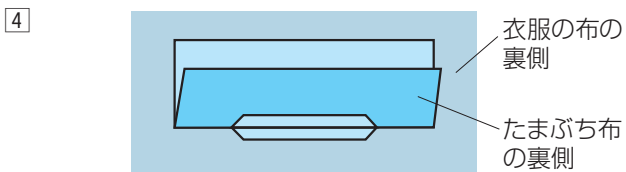
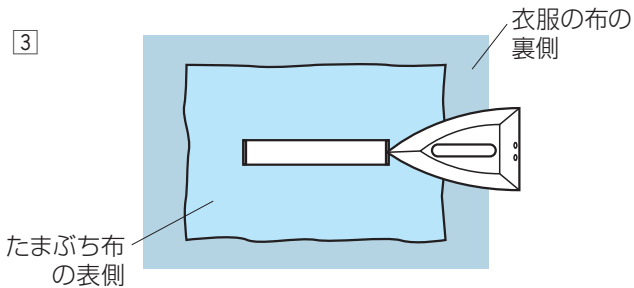
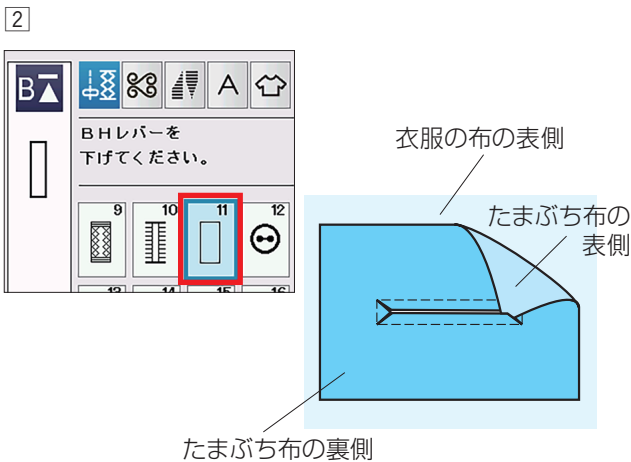
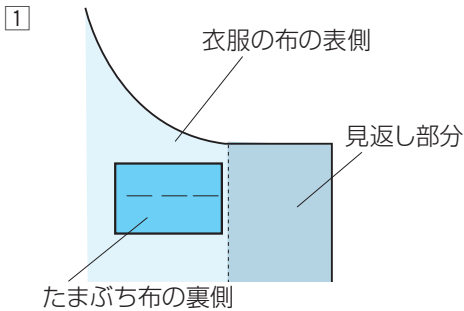
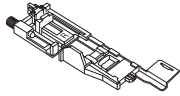


ぬい始めの位置

模様.....



押さえ ... ボタンホール押さえ R




● ボタンホール 11：たまぶちボタンホール

たまぶち布をぬいつけて、たまぶちボタンホールを作ります。

仕立ての衣服などに最適ですが、重ね合わせの部分が透けてしまうような薄くて繊細な布には向きません。

① バイヤス地のたまぶち布の表側と、衣服の布の表側を合わせ、しつけぬいで止めます。

② 模様  を選択します。

ボタンホール押さえのボタン受け台にボタンをはさみ、ボタンホール切りかえレバーをさげてぬいます。

※ ぬい方はボタンホール 1：スクエアボタンホールと同じです。(61～64 ページ参照)

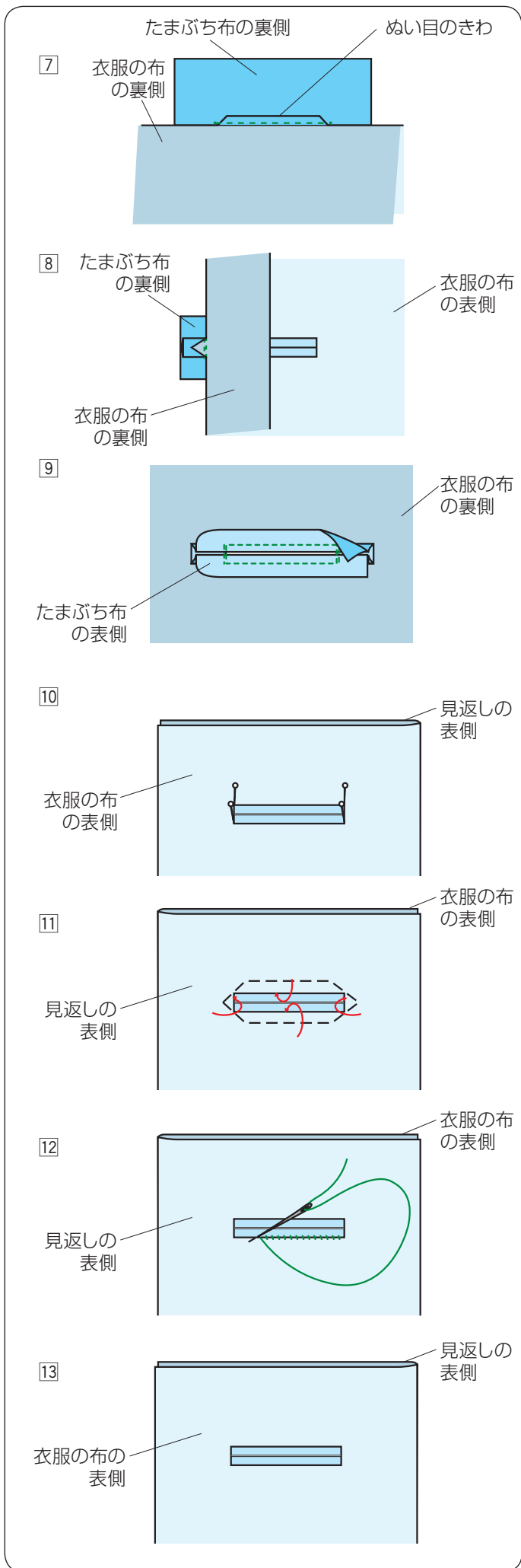
ぬい終わったら Y 字型に切り込みを入れ、たまぶち布を裏側に出します。

③ 衣服の布の裏側にたまぶち布の表側全体が見えるまでたまぶち布を引き出します。
アイロンの先で角を整えます。

④ ぬいしろを正しく割ります。

⑤ アイロンで幅を整えます。

⑥ ぬい目にしつけをします。



7 めい合わせためい目のきわをぬいます。

8 三角の布に三重にぬいます。

9 たまぶち布を穴から 1.0 ~ 1.5 cm にたち落とします。
角は丸くたち落とします。

10 見返しに、図のようにピンでたまぶち穴の形のしるしをつけます。

11 見返しの表から手順 2 のように Y 字型に切り込みを入れて、できあがりの幅に折ります。
切り込まれた布を見返しとたまぶち布のあいだに折り込みます。

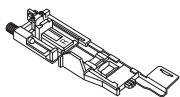
12 あきぐちのまわりを図のように細かくまつります。

13 たまぶちボタンホールの完成です。

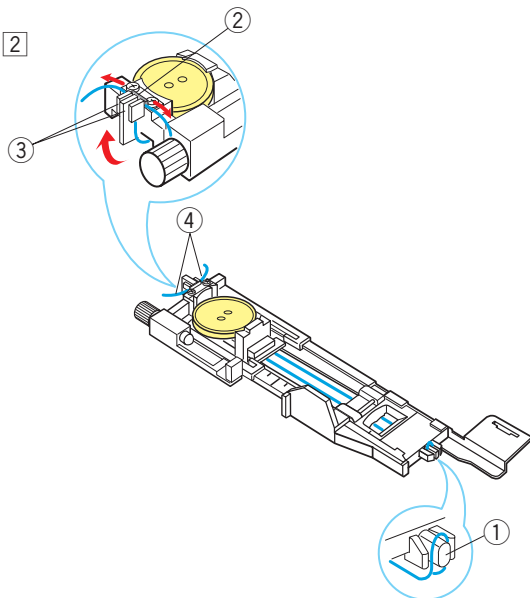
模様.....



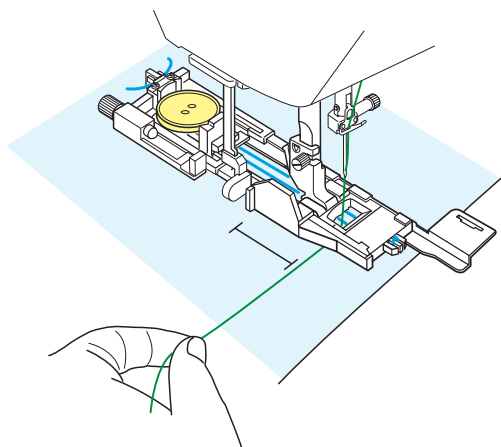
押さえ ... ボタンホール押さえ R



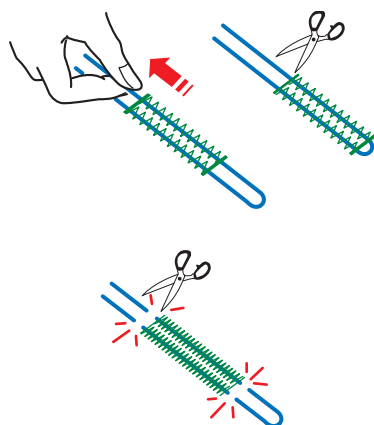
1 2



3



4




● 芯入りボタンホール

ぬい方はボタンホール 1：スクエアボタンホールと同じです。(61～64 ページ参照)

メモ：

- ボタンホール穴の幅は 0.8 以上に設定しないでください。
- 使用する芯糸の太さに合わせてぬい目の幅（ボタンホールの全体の幅）およびボタン穴の幅（ボタンホールの中幅）を調整してください。(64 ページ参照)
- ボタン穴の開け方は 63 ページをごらんください。
- 必要に応じて、安定板をボタンホール押さえに取り付けます。(65 ページ参照)

模様  を選択します。

- 1 ボタンホール押さえのボタン受け台にボタンをはさみ込みます。

芯糸 ④ の一方の端をボタンホール押さえ後部の左側の切り込み ③ に入れ、横に引いて金属の板 ② のあいだにはさみ込んで固定します。

芯糸は、押さえの下から前に引き、輪にして押さえ前部のつの ① にかけます。

- 2 つの ① にかけた芯糸を、押さえの下を通して押さえ後部の右側の切り込み ③ に入れ、横に引いて金属の板 ② のあいだにはさみ込んで固定します。

※ 芯糸 ④ は、たるみのないように強く張ってください。







- 3 ボタンホール 1：スクエアボタンホールと同じようにぬいます。(61～64 ページ参照)

- 4 ぬい終わったら芯糸を引いてたるみをなくし、余分な芯糸を切ります。


芯糸が引けない場合

左右どちらの芯糸も引けない場合、芯糸の両側を切ります。

● 特殊ぬい

模様 、、、、、 については
124 ~ 126、127、73、74 ページをごらんください。

★ ボタンホール 13：つくろいぬい（ダーニング）

模様  は、模様が完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。

- ① ボタンホール押さえ R を取り付け、ボタン受け台 ① をいっぱい引き出します。
- ② 上糸を押さえの穴 ② から下へ通し、横に引き出します。
- ③ ぬい始めの位置 ③ に針をさし、押さえ上下移動ボタン ④ を押して押さえをさげます。
- ④ ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいます。
 - ※ 自動的に停止するまでぬうと、最大約 2 cm の長さをぬうことができます。（幅は約 0.9 cm）
2 cm より短い長さでぬう場合、下記「2 cm より短い長さでぬう場合」をごらんください。
- ⑤ 布の向きをかえてぬいを繰り返します。


【2 cm より短い長さでつくろいぬいをする場合】

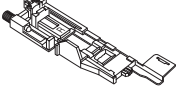
最初に必要な長さ ① までぬい、返しぬいボタン ② を押します。

押した位置から折り返しますので、自動的にミシンが停止するまでぬいます。

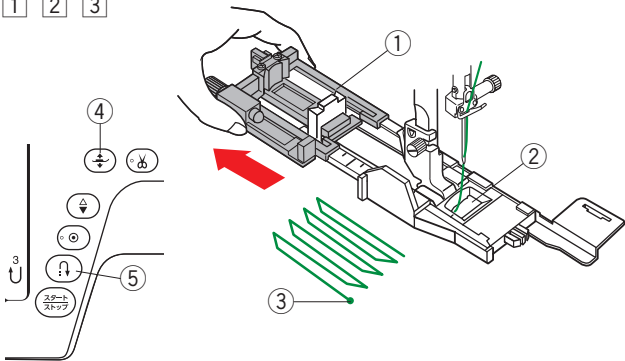
ぬい終わると、メッセージ画面が表示されます。ミシンはぬった長さ（サイズ）を記憶しています。

- 別の場所に同じ長さのものをぬう場合、この画面の状態のまま布の位置をかえてミシンをスタートさせます。返しぬいボタンを押さなくても同じ長さのものを自動的にぬってミシンは停止します。
- 同じ長さのものをぬう必要がない場合、閉じるキー ③ を押してメッセージ画面を消すと、記憶している長さは取り消されます。

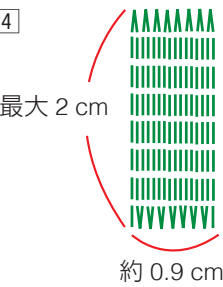
模様..... 

押さえ ... ボタンホール押さえ R 

① ② ③



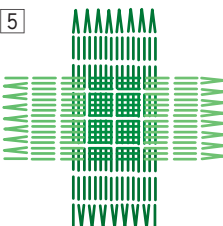
④



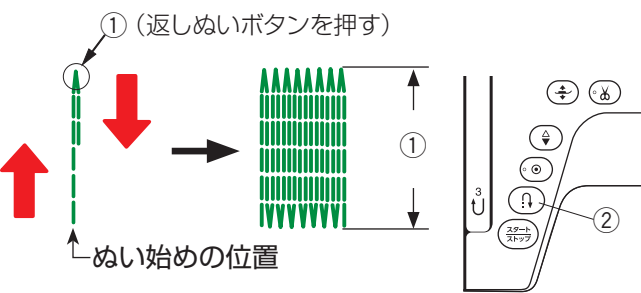
最大 2 cm

約 0.9 cm

⑤



① (返しぬいボタンを押す)





ぬい始めの位置

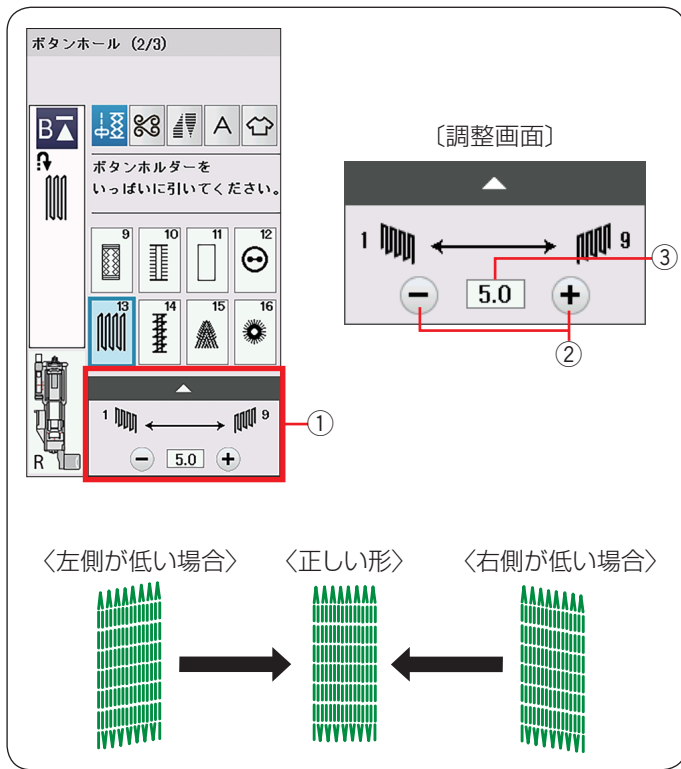
②

③

【ぬい完了後のメッセージ画面】

 同じサイズ → 再スタート

ちがうサイズ →  ③

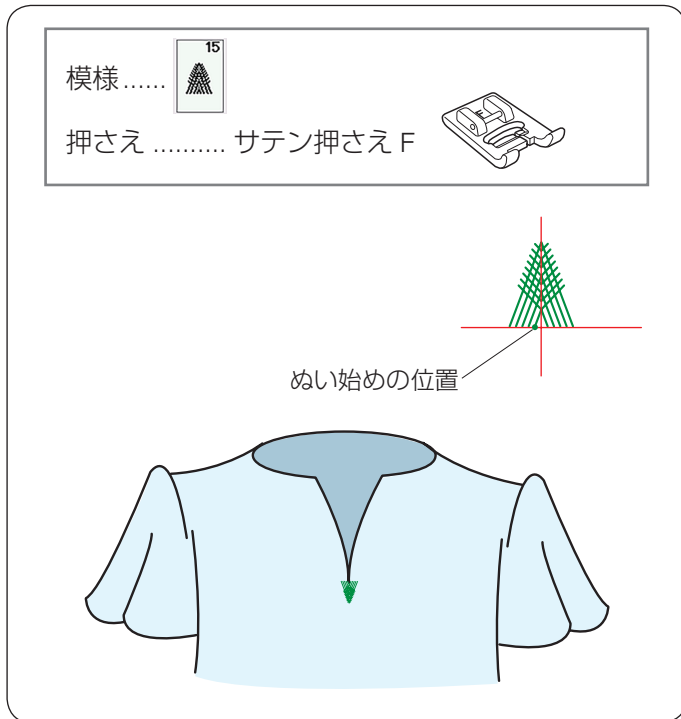


【形の整え方】

つくりぬい（ダーニング）のぬい始め（左側）とぬい
終わり（右側）の高さがそろわない場合、調整画面①の
高さ調整キー②（「-」、「+」）で調整値③を
変更します。

「1.0」～「9.0」の範囲で調整できます。（「5.0」はオート値）

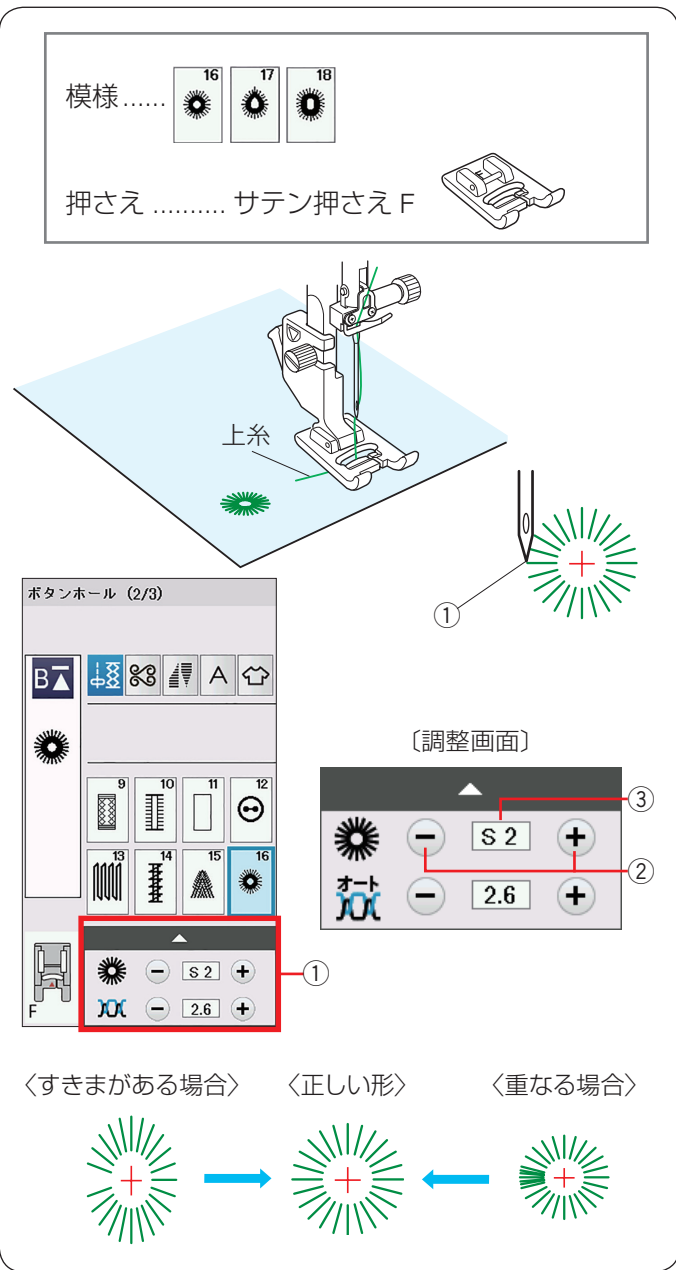
- 左側が右側より低い場合、「-」キーを押します。
（「1.0」～「4.0」）
- 右側が左側より低い場合、「+」キーを押します。
（「6.0」～「9.0」）



★ ボタンホール 15：フライステッチ（かんぬき止め）

あき止まりや、ポケット口の飾りをかねた補強ぬいに使
います。

自動的に止まるまでぬいます。



★ ボタンホール 16～18：アイレット

アイレットはベルトの穴などに使用します。

アイレット模様は、模様が完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。

【ぬい始め】

ぬい始めの上糸を押さえの下から横に引き出しておきます。

ぬい始めの位置①に針をさし、押さえ上下移動ボタンを押して、押さえをさげます。

ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいます。

メモ：

ぬい目の内側は、ポンチ（市販品）などで穴を開けま
す。ポンチの穴の大きさは、直径 0.25cm 以下のもの
を使用してください。

【形の整え方】

布によってアイレットの形がくずれる場合、調整画面①
の形状調整キー②（「-」、「+」）で調整値③を
変更します。

「S1」と「S3」で調整できます。（「S2」はオート値）

- ぬい目にすきまがある場合、「-」キーを押して「S1」にします。
- ぬい目が重なっている場合、「+」キーを押して「S3」にします。

◎飾りぬい

●飾りぬいの画面

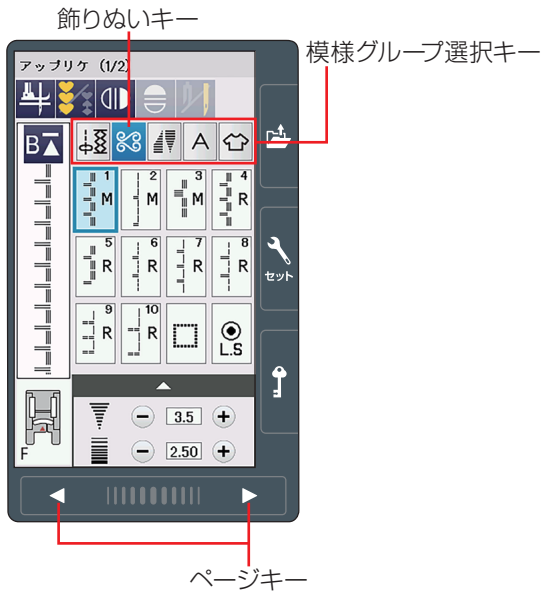
模様グループ選択キーの飾りぬいキーを押すと、飾りぬいの模様グループを選ぶ模様グループ選択画面になります。

飾りぬいの模様グループには、10個のグループ(①～⑩)があります。これらの模様で、組み合わせ模様をつくることができます。

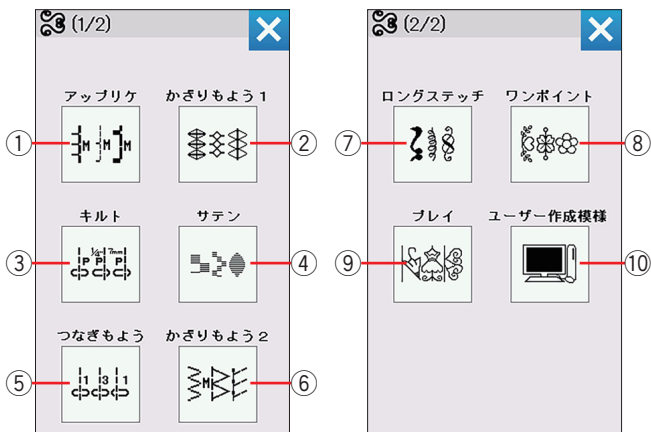
模様グループ選択画面で、グループを選択し、それぞれの模様選択画面を表示させます。

模様グループ選択画面は2つの画面(ページ)に分かれていて、ページキーで選択できます。

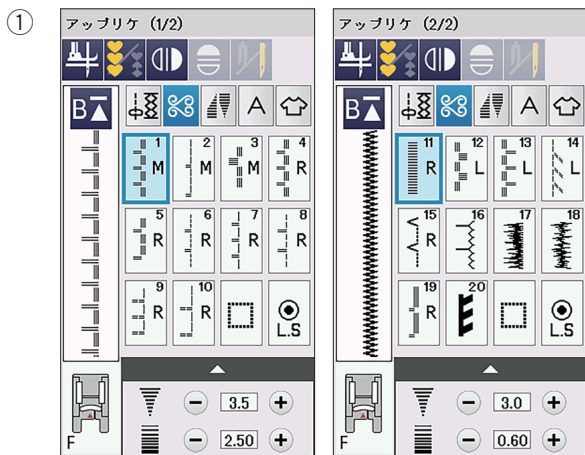
飾りぬいの模様グループの画面は、模様選択キーや調整キーなどのキーの他に、選ばれている模様に関するいくつかのぬい情報や設定状態が表示されています。(18～19ページ参照)



〔模様グループ選択画面〕



〔模様選択画面：アップリケ〕



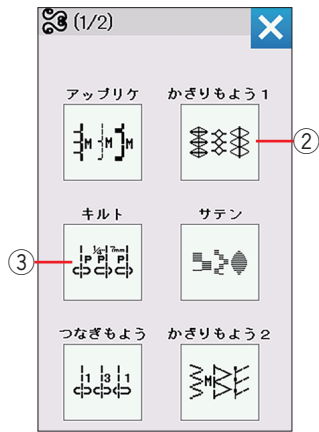
① アップリケグループ：2画面

アップリケなどに使用する模様のグループです。

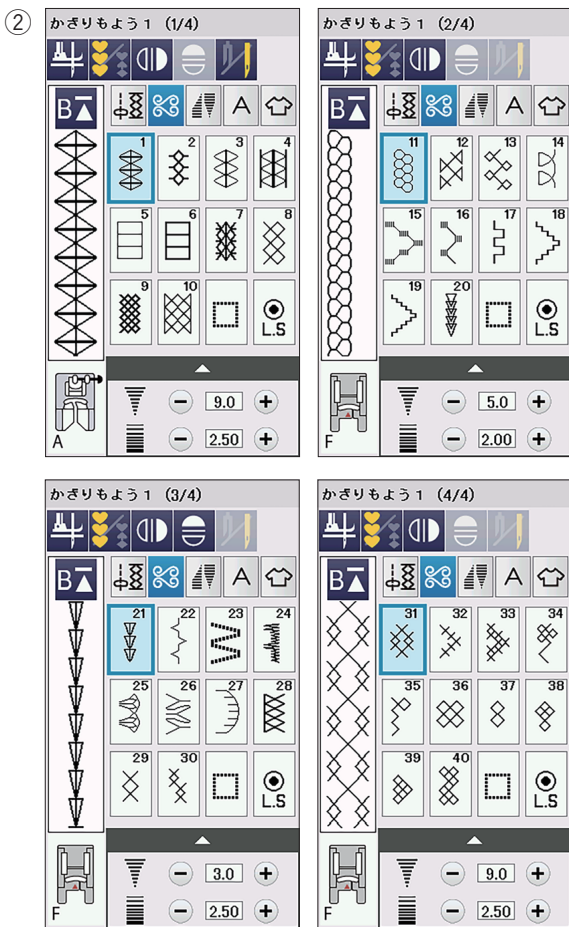
アップリケグループには、20個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

(128～129ページ参照)

〔模様グループ選択画面〕



〔模様選択画面：かざりもよう 1〕

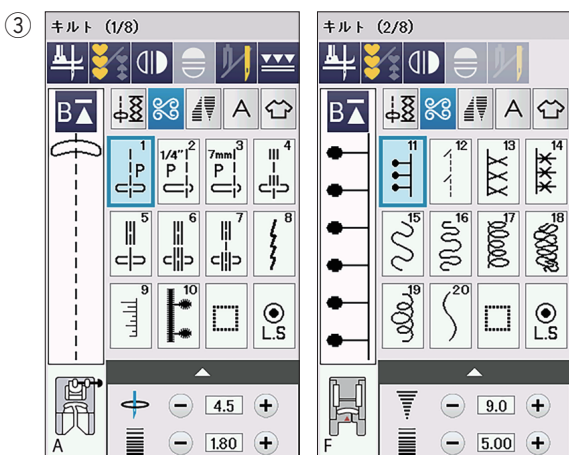


② かざりもよう 1 グループ：4 画面

伝統的な飾り模様のグループです。

かざりもよう 1 グループは、40 個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

〔模様選択画面：キルト〕



③ キルトグループ：8 画面

パッチワークやキルトなどに使用する模様のグループです。

キルトグループは、74 個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

(83、132～141 ページ参照)

〔模様選択画面：キルト〕

キルト (3/8)

キルト (4/8)

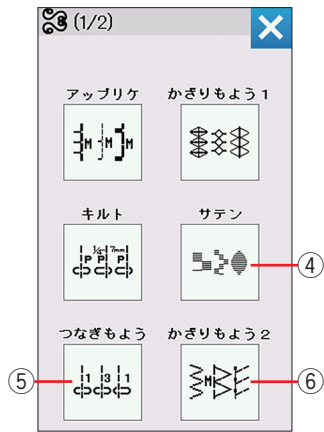
キルト (5/8)

キルト (6/8)

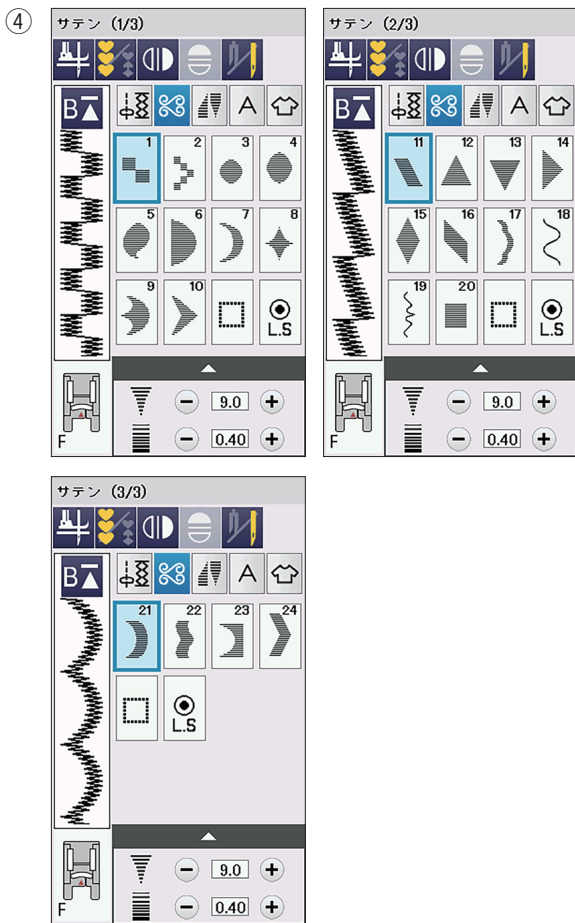
キルト (7/8)

キルト (8/8)

〔模様グループ選択画面〕



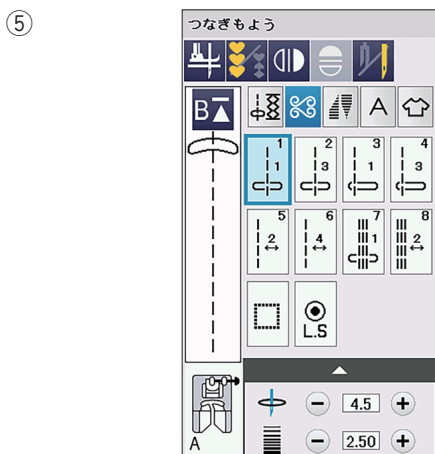
〔模様選択画面：サテン〕






④ サテングループ：3画面

サテン（ぬい目を密着させた）模様のグループです。サテングループは、24個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。サテングループの模様は模様の長さ調整機能（エロンゲーション機能）を使うと、ぬいのあらかはそのままで模様の長さを2～5倍にかえることができます。（84ページ参照）

〔模様選択画面：つなぎもよう〕

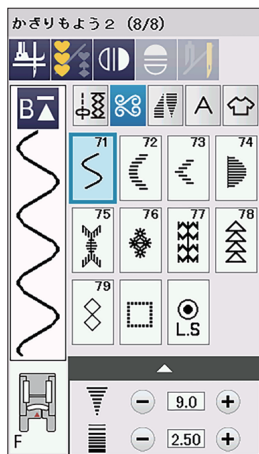
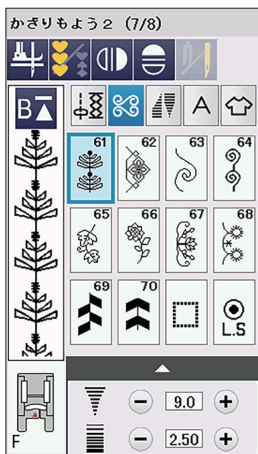
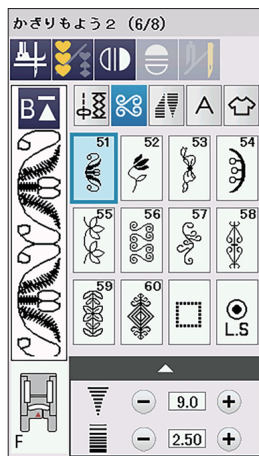
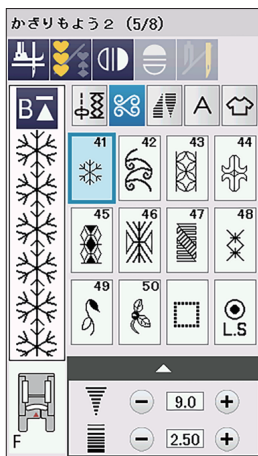
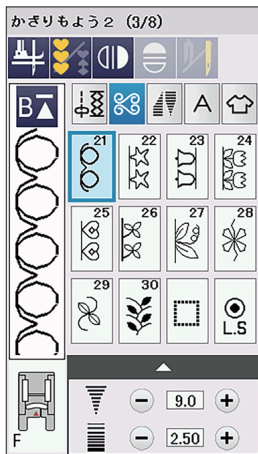
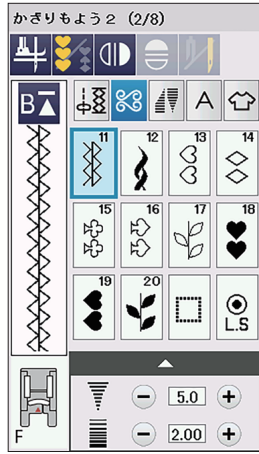
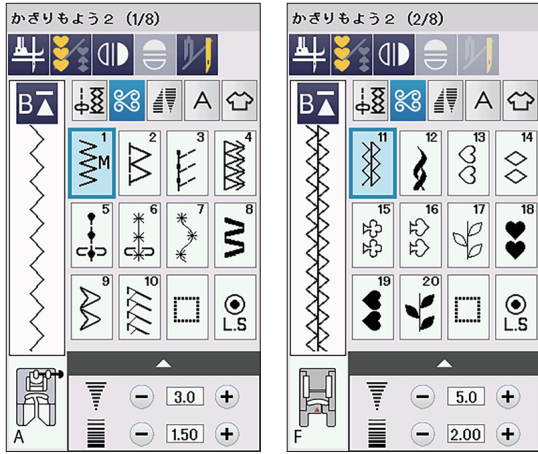


⑤ つなぎもようグループ：1画面

模様と模様を直線ぬいでつなぐ（間かくをあける）ためのぬいグループです。つなぎもようグループは、8個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。模様のとなりにある数字は、模様と模様をつなぐ直線ぬいの数です。模様    は組み合わせ模様するとき、前に入力した模様の基線とぬい目のあらかを引き継ぎます。（95ページ参照）

〔模様選択画面：かざりもよう2〕

⑥

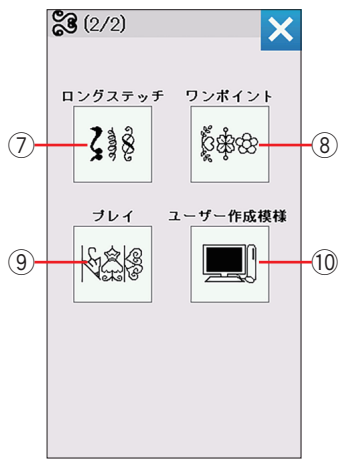


⑥ かざりもよう2グループ：8画面

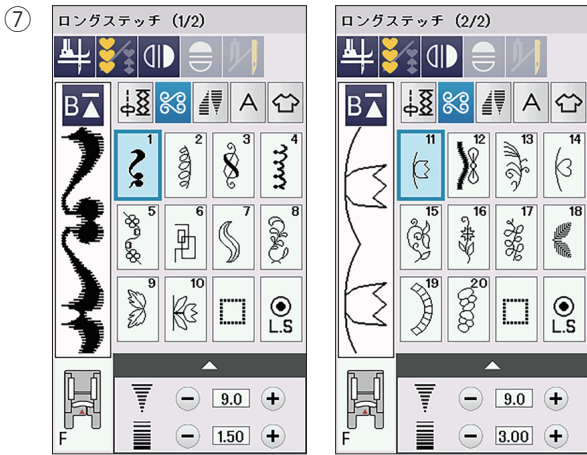
装飾的な飾り模様のグループです。

かざりもよう2グループは、79個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

〔模様グループ選択画面〕



〔模様選択画面：ロングステッチ〕



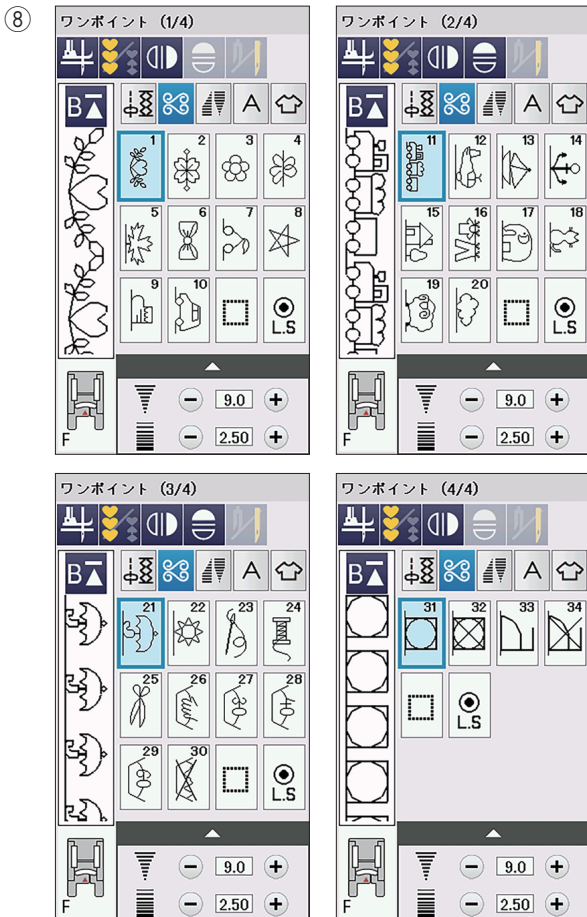
⑦ **ロングステッチグループ：2画面**

1つの模様の長さが長い装飾模様のグループです。

ロングステッチグループは、20個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

衣服の飾りやボーダー飾りに最適です。

〔模様選択画面：ワンポイント〕



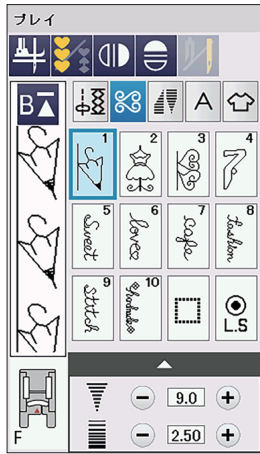
⑧ **ワンポイントグループ：4画面**

具象的な飾り（形がはっきりした）模様のグループです。

ワンポイントグループは、34個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

⑨

〔模様選択画面：プレイ〕



⑩

〔模様選択画面：ユーザー作成模様〕



⑨ プレイグループ：1画面

遊び心が入った飾り模様のグループです。

プレイグループは、10個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

⑩ ユーザー作成模様グループ

付属の「ステッチコンポーザー」(CD-ROM)で作成した模様を読み込まれると、「模様グループ選択画面」に



キーが表示され、模様を選択できます。

データの読み込みについては、90ページをごらんください。

※「ステッチコンポーザー」の使い方は、「ステッチコンポーザー」の画面にあるヘルプをごらんください。

● かざりもよう 1グループ

★ スカラップ

【模様  の例】

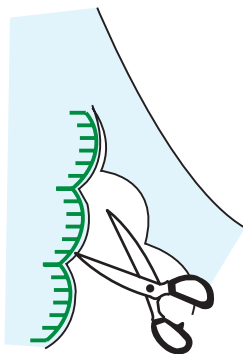
布の表から布端を1cmくらい残してぬいます。
糸を切らないように外側の布を切り落とします。

模様



(サテングループの模様  なども使えます。)

押さえ 基本押さえ A



★ スモッキング

【模様 8 の例】

① 上糸と下糸を押さえの下から向こう側に約 10 cm ほど引き出しておきます。

※ 下糸を針板の上に引き出す方法は、37 ページ「下糸を針板の上に引き出す場合」をごらんください。

② 直線模様を選び、糸調子を「1」、ぬい目のあさを「3.0」～「5.0」に設定し、1 cm の間かくで数本平行に直線ぬいをします。(41 ページ参照)

③ 上糸と下糸を布の片側で結び、反対側から下糸を引いてひだをよせ、上糸と下糸を結びます。

④ 模様 8 を選んで、直線ぬいと直線ぬいのあいだをぬいます。

模様をぬったあと直線ぬいの糸を抜き取ります。

★ ファゴティング

布端と布端の間かくをあけて、つなぎ合わせる場合に使用します。

【模様 12 の例】

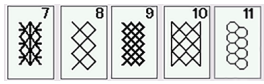
① 布端と布端の間かくを 0.3 ～ 0.4 cm ① あけて、下にあて紙 ② を置きます。

※ 間かくは、模様によって針が布から落ちないように調整してください。

② 布の表から、間かくの中央を中心にしてぬいます。

③ あて紙 ② を取ります。

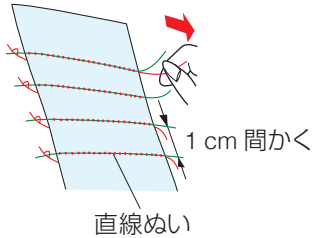
模様.....



押さえ サテン押さえ F

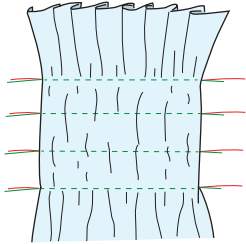


②

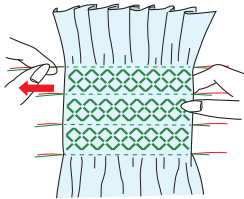


直線ぬい

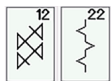
③



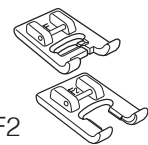
④



模様.....

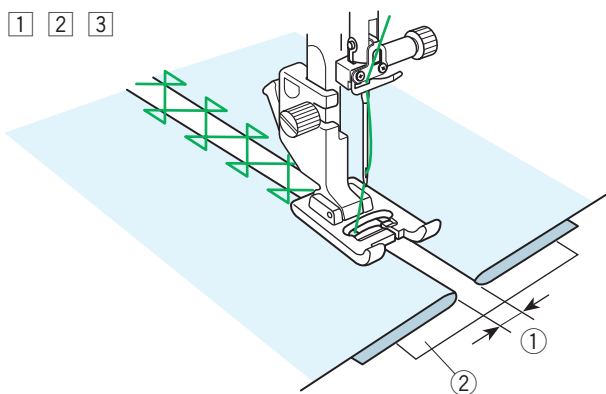


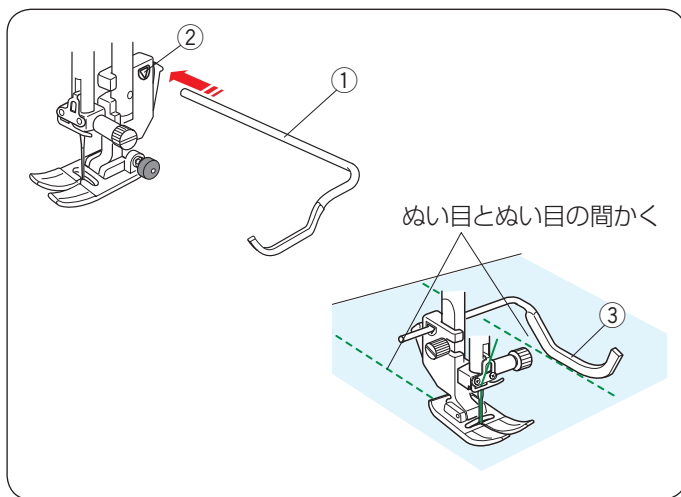
押さえ サテン押さえ F



またはクラフト押さえ F2

① ② ③





● キルトグループ

★ キルティングガイドの使い方

キルティングガイド①を使うと、前にぬったぬい目と平行に等間かくでぬうことができます。

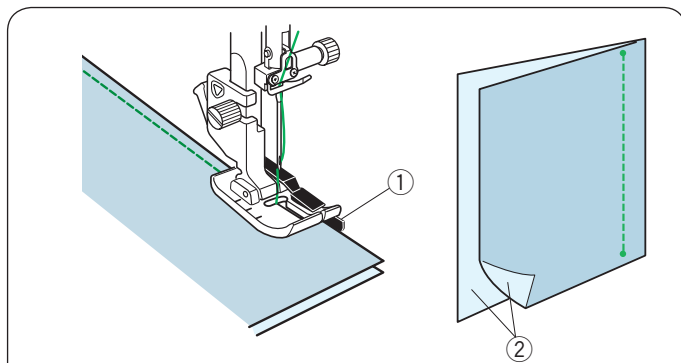
押さえホルダーのうしろの取り付け穴②にキルティングガイド①を差し込みます。

針位置とキルティングガイド①のガイド部分③までの距離がぬう間かくになります。

キルティングガイドをスライドさせて、お好みの距離に調整してください。

既にあるぬい目にキルティングガイド①に沿わせながら平行な直線をぬいます。

※ 上送り押さえ使用時のキルティングガイドの使い方は、132ページをごらんください。



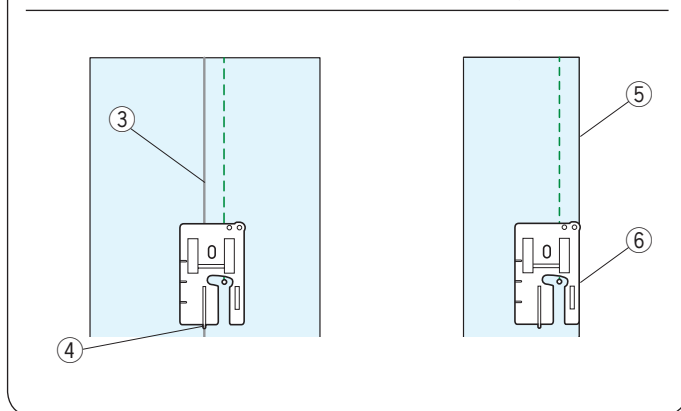
★ キルト模様 1 ~ 3

模様 はパッチワークの地ぬいに使用します。

模様 はそれぞれパッチワーク押さえ O を使用

すると、1/4 インチ (6.5 mm)、7 mm のぬいしろが正確にぬえます。

パッチワークに使用する布を中表②に合わせ、布端をガイド①に合わせてぬいます。



模様 は、パッチワーク押さえ O (ガイドなし) を

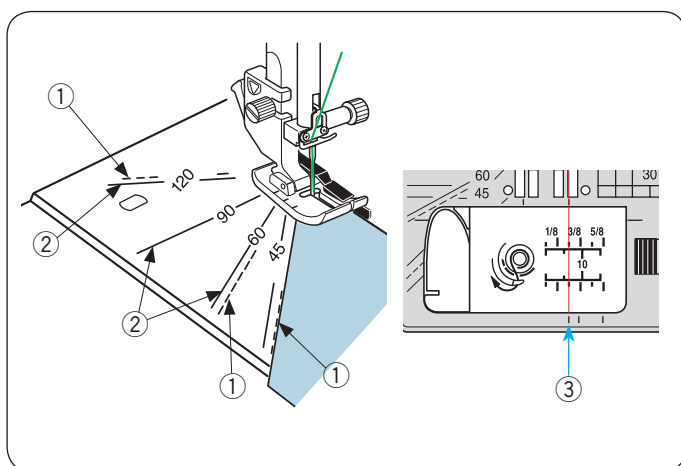
使用すると、ガイドライン③から 1/4 インチの位置を正確にぬえます。

ガイドライン③をパッチワーク押さえ O (ガイドなし) の 1/4 インチガイド④に合わせてぬいます。

模様 はそれぞれパッチワーク押さえ O (ガイ

ドなし) を使用すると、布の右端⑤から 1/4 インチ (6.5 mm)、7 mm のぬいしろが正確にぬえます。

押さえの右端⑥と布の端⑤を合わせてぬいます。



★ 針板角度目盛りの使い方

針板の角度目盛りを使うと、布に印をつけずにお好みの角度で簡単にぬえます。

針板の角度目盛りには、45、60、90、120 度の目盛りがついています。

パッチワーク押さえ O を使用する場合、図の様に点線①の角度目盛りに合わせてください。

メモ：

基本押さえ A を使用する場合、模様 を選びます。

布は実線②の角度目盛りに合わせ、布の端は針板の 1/4 インチガイドライン③に合わせます。



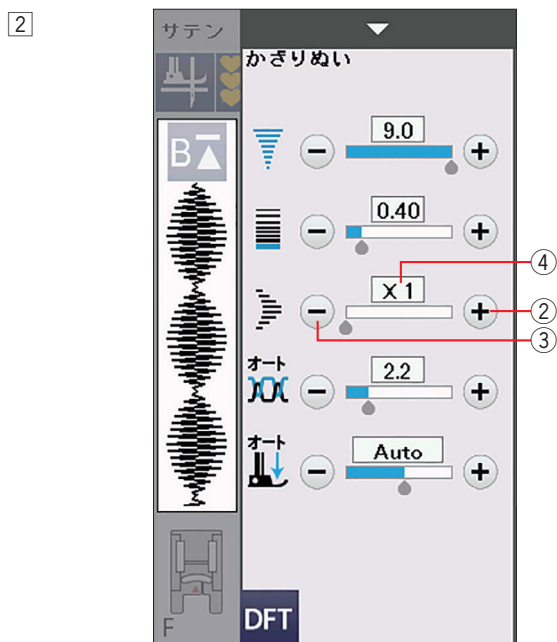
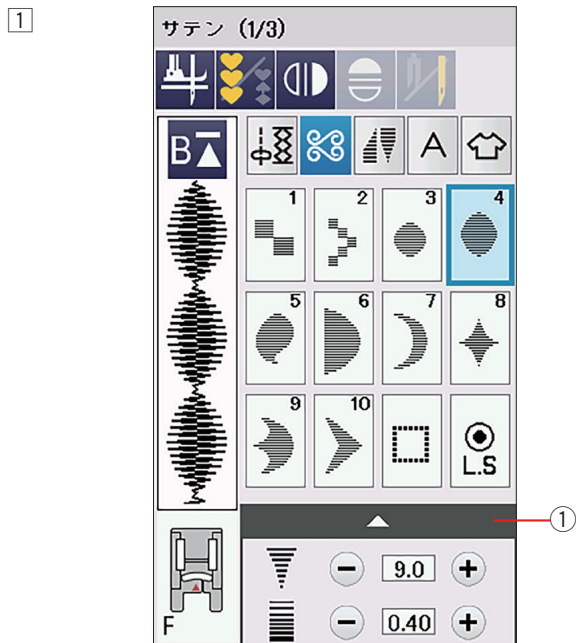
★ キルト模様 71 ~ 74：手ぬい風キルト

模様 は、手ぬい風のステッチ模様です。

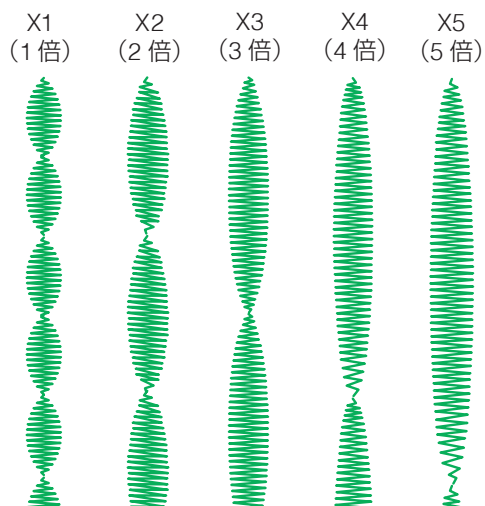
上糸に透明なナイロン糸、下糸に普通の糸を使用します。針は 14 ~ 16 番を使用します。

下糸が布の表に引き出され、手ぬい風のステッチになります。

〔模様選択画面：サテン (1/3)〕



倍率と模様の長さ



● サテングループ

★ 模様の長さ調整機能 (エロンゲーション)

サテングループの模様は他の飾りぬいの模様グループと異なり、ぬい目のあらさをかえずに模様の長さを2～5倍にかえることができます。

エロンゲーション機能は、通常モードおよび模様組み合わせモードのどちらでも使えます。

メモ：

サテングループの模様はぬい目の細かい飾り模様（密着模様）です。布が縮む場合、裏に芯地を貼ってください。

【模様の長さの調整例】

① サテングループの模様  を選びます。

調整キー ① を押し、調整画面を全体表示させます。

② 調整キー（「+」キー ②、「-」キー ③）で模様の長さをかえます。

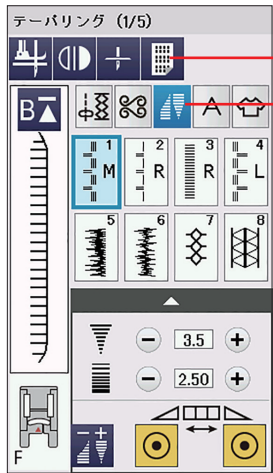
- 「+」キー ② を押し、模様を長くします。
- 「-」キー ③ を押し、模様を短くします。
- 模様の長さは元の長さの5倍までのばすことができます。
- 長さの倍率 ④ が表示されます。
- 模様の幅やぬい目のあらさも変更できます。

設定した倍率でぬうことができます。

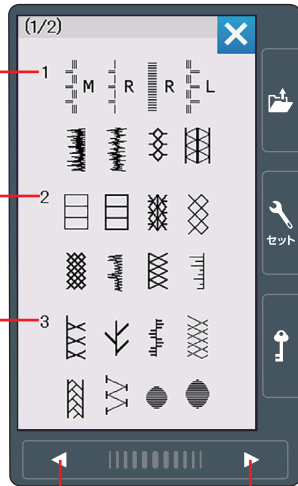
メモ：

- ぬい途中でミシンを止め、模様の長さを変更すると、模様は最初からぬい直されます。
- エロンゲーションとテーパリング（85ページ参照）は同時に設定できません。

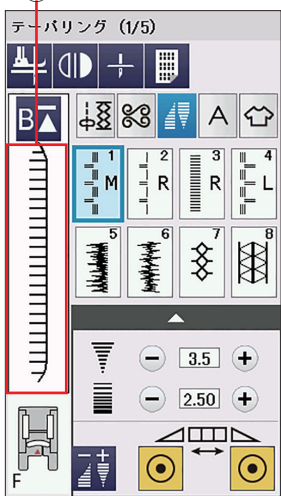
〔テーパリング画面 (1/5)〕



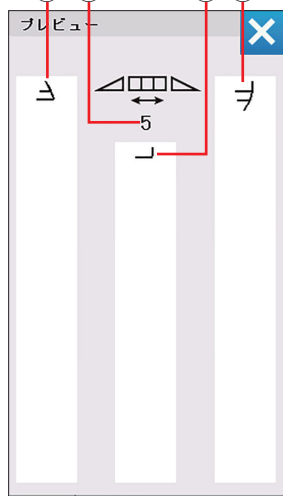
〔テーパリング模様一覧〕



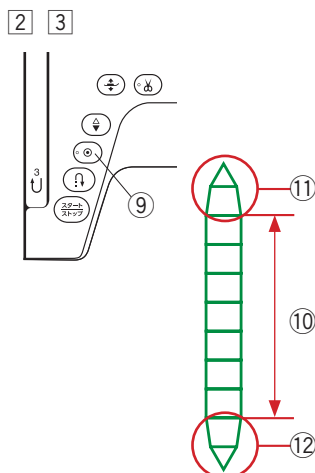
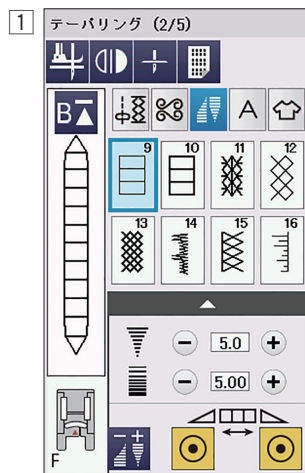
〔テーパリング画面 (1/5)〕



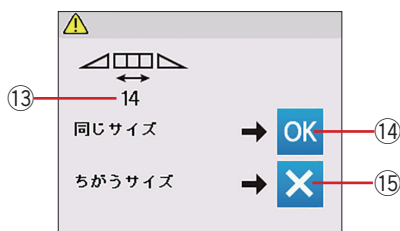
〔プレビュー画面〕



〔テーパリング画面 (2/5)〕



〔ぬい完了後のメッセージ画面〕



● 模様の先端を細くする (テーパリング)

飾りぬい模様の最初と最後を先細りにする機能です。模様の先端やコーナーを細くすることができます。模様グループ選択キーのテーパリングキー ① を押すと、テーパリングモードとなり、テーパリング画面が表示されます。

メモ：

- テーパリングは組み合わせ模様、2本針、上送り押さえ、直線針板使用時にはできません。
- テーパリングの長さは選択した模様や、テーパリングの形状によって異なります。余った布などで試しぬいをしてください。
- ぬい途中やミシンの停止中に、返しぬいボタンを押すとその場で止めぬいをして止まります。その場合、テーパリングの長さは記憶されません。
- ぬい途中でミシンを止め、ぬい目の幅や針位置、ぬいのあかさなどを変更すると、模様は最初からぬい直されます。

〔テーパリング模様一覧〕

テーパリング画面のテーパリング模様一覧表示キー ② を押すとテーパリング模様一覧表示画面になります。

- テーパリング模様一覧表示画面は2つの画面 (ページ) に分かれていて、ページキーで選択できます。
- テーパリング模様一覧表示画面の数字 ③ は、テーパリング画面のページ数です。
- テーパリング模様一覧表示画面で模様を直接押して選ぶことができます。

〔テーパリングのプレビュー機能〕

テーパリングモード時、編集画面 ④ を押すと、プレビュー画面にテーパリング模様の形状が表示されます。

- 画面左の欄にはぬい始めの形状が表示されます。⑤
- 画面中央には模様の形状が表示されます。⑥
- 画面右の欄にはぬい終わりの形状が表示されます。⑦
- テーパリング模様の長さを設定した場合、画面中央の欄の上に模様の数 ⑧ が表示されます。(87 ページ参照)

〔例：模様 ⑨ をテーパリングする〕

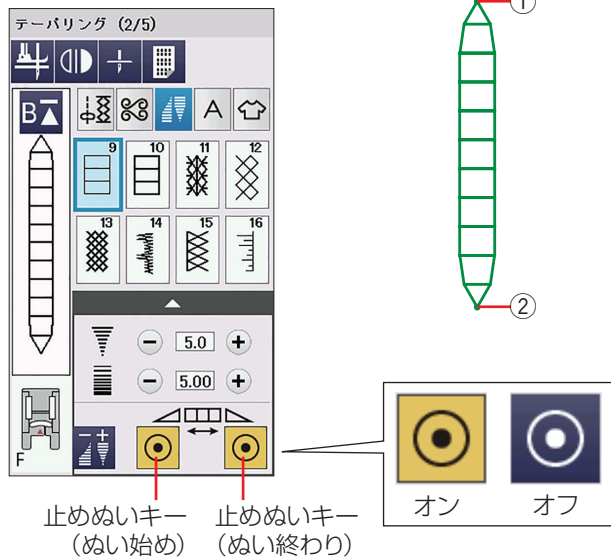
- ① テーパリングモードで、模様 ⑨ を選びます。
- ② ミシンをスタートさせると、ぬい始め ⑪ にテーパリングがかかります。
- ③ 必要な長さ ⑩ をぬい、止めぬいボタン ⑨ を押します。ぬい終わり ⑫ にテーパリングがかかり、止めぬいをしてミシンが止まります。

〔同じサイズのテーパリングぬい〕

ぬい終わると、画面にメッセージが表示されます。数字 ⑬ はぬった模様の数です。ぬったテーパリングの長さはミシンに記憶されています。OK キー ⑭ を押すと、同じ長さのテーパリング模様がぬえます。違う長さでぬう場合、閉じるキー ⑮ します。

※ テーパリング機能を解除する場合、同じ模様選択キー (例では模様 ⑨) を押します。

【テーパリング画面 (2/5)】

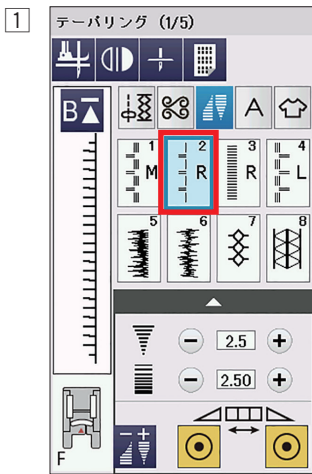


【テーパリングの自動止めぬい機能のオン・オフ】


テーパリングのぬい始め ① とぬい終わり ② に自動的に止めぬいが入るよう設定されます。


テーパリング画面の止めぬいキー（ぬい始めとぬい終わり）を押すと、止めぬい機能をオンまたはオフにすることができます。

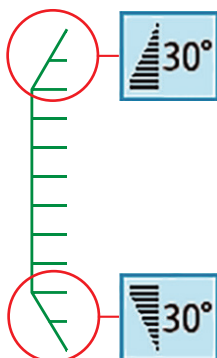
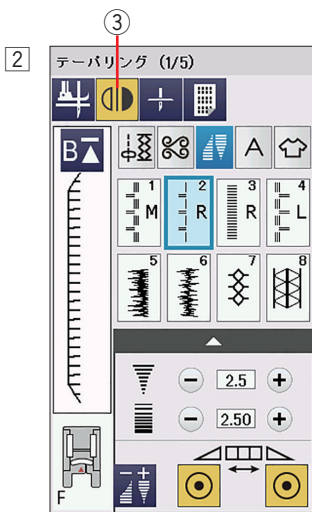
【テーパリング画面 (1/5)】






【テーパリング模様の左右反転 1】

例：模様  を左右反転する

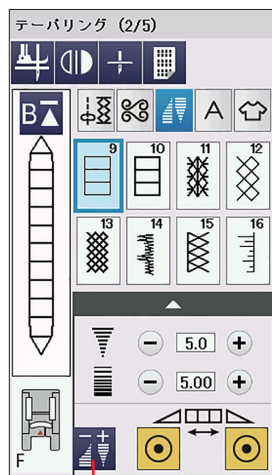
① テーパリングモードで、模様  を選びます。



② 左右反転キー ③ を押すと、テーパリング模様のぬい始めとぬい終わりの角度（例では  ）を変えず、模様を左右反転します。

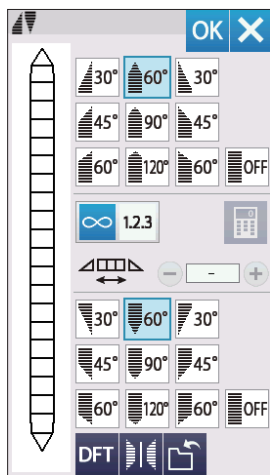
※ テーパリング模様のぬい始めとぬい終わりの角度を含めて、模様を左右反転したい場合は、テーパリング調整画面の  キーを使用します。（88 ページ参照）

〔テーパリング画面 (2/5)〕

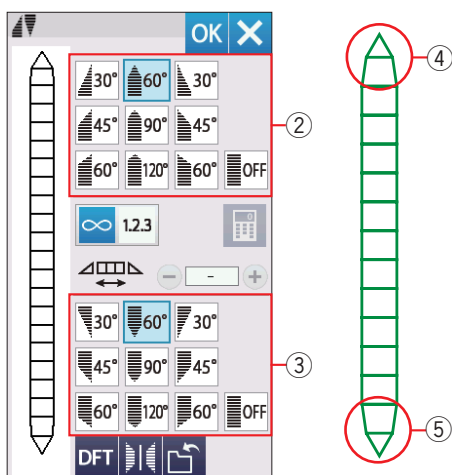


①

〔テーパリング調整画面〕



〔テーパリング調整画面〕



【テーパリング模様の調整画面】

テーパリング模様の形状を変更できます。

テーパリング調整キー①を押すと、調整画面が表示されます。

ぬい始めとぬい終わりの形状を変更する

テーパリング調整画面で模様のぬい始めとぬい終わりにかけるテーパリングの形を選べます。

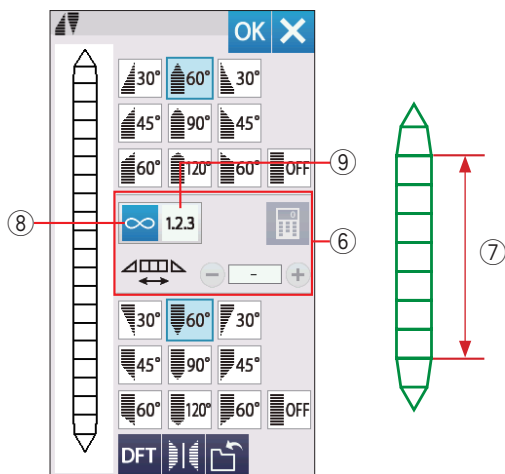
- 画面上半分のキー②は模様のぬい始め④の形を選ぶキーです。
- 画面下半分のキー③は模様のぬい終わり⑤の形を選ぶキーです。
- キーの数字は、テーパリングの角度を示します。
- テーパリングの基準を左、中央、右から選ぶことができます。
- 模様のぬい始めとぬい終わりに別々の形状のテーパリングをかけることができます。

模様の長さを設定する

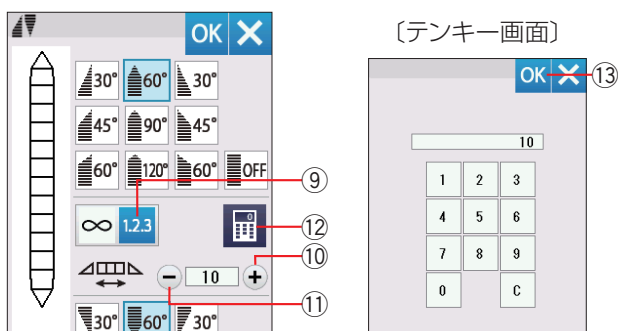
画面中央のキー⑥で模様の長さ（模様の数）を設定できます。

長さ自由設定キー⑧がオンになっている場合、自動止めぬいボタンを押すまで模様がぬわれます。模様の長さ設定キー⑨を押すと、模様の長さ（模様の数）⑦を設定できます。

〔テーパリング調整画面〕



〔テーパリング調整画面〕



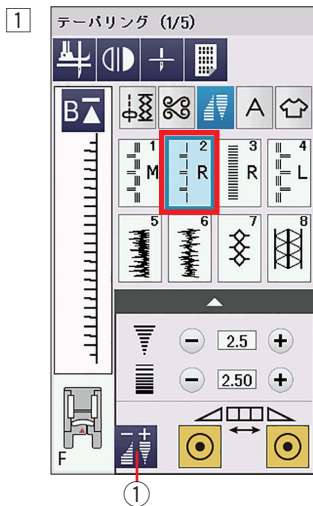
模様の長さ設定キー⑨を押します。

「+」キー⑩および「-」キー⑪で、模様の長さ（模様の数）を設定します。

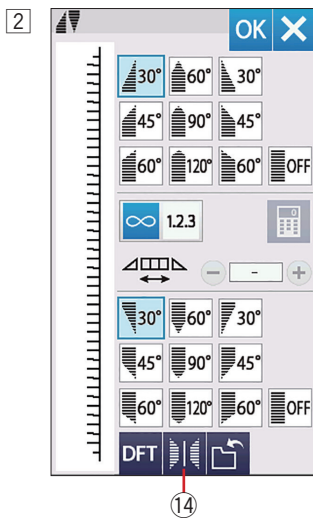
模様の長さは、テンキーで入力することもできます。

テンキー表示キー⑫を押し、テンキーで模様の長さ（模様の数）を入力し、OK キー⑬で数値を設定します。

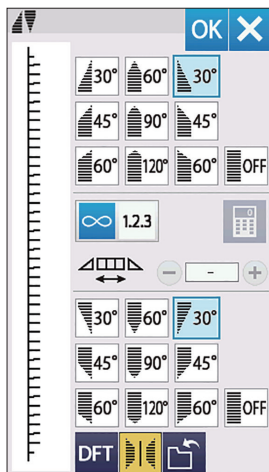
〔テーパリング画面 (1/5)〕



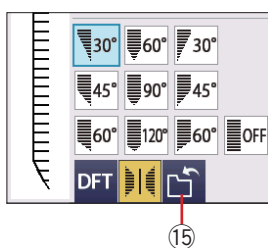
〔テーパリング調整画面〕




〔テーパリング調整画面〕




〔テーパリング調整画面〕






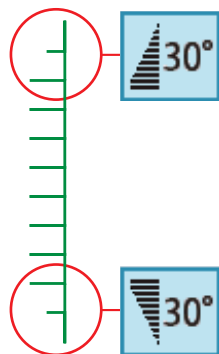
テーパリング模様の左右反転 2

例：模様  を左右反転する

① テーパリングモードで、模様  を選び、テーパリング調整キー ① を押して調整画面を表示させます。

② 左右反転キー ⑭ を押すと、テーパリング模様のぬい始めとぬい終わりの角度を含めて、模様が左右反転します。

※ テーパリング模様のぬい始めとぬい終わりの角度（例では  ）を変えずに模様を左右反転したい場合は、テーパリング画面の  キーを使用します。（86 ページ参照）



【テーパリング模様の保存】

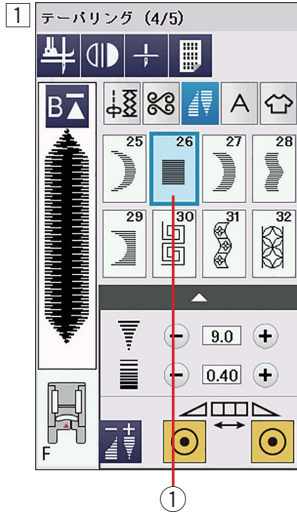
カスタマイズしたテーパリング模様を、マシンや USB メモリに保存できます。

テーパリング模様を調整したあと、保存キー ⑮ を押します。

テーパリング模様は*.JCSファイルとして保存されます。ファイルを保存または開くには、106 ~ 110 ページをご覧ください。

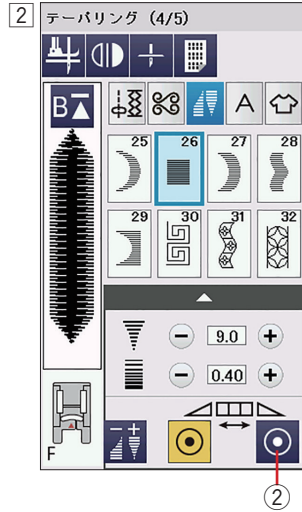
【例：模様  を使ってフレームの角を作成する】

〔テーパリング画面 (4/5)〕



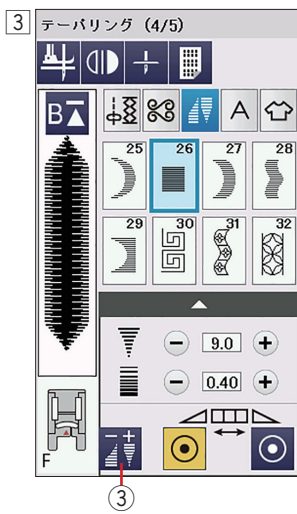
①

〔テーパリング画面 (4/5)〕



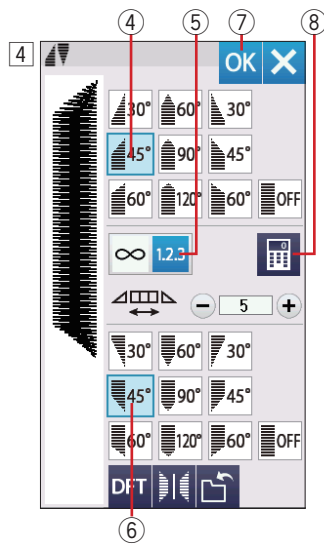
②

〔テーパリング画面 (4/5)〕



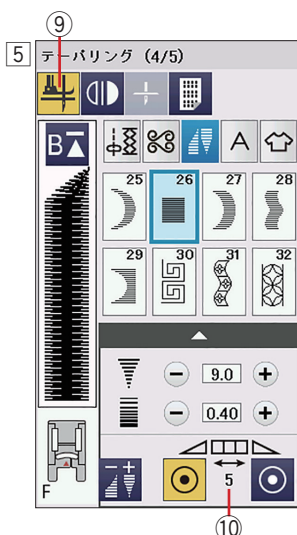
③

〔テーパリング調整画面〕



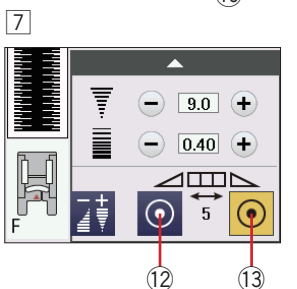
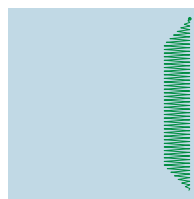
④

〔テーパリング画面 (4/5)〕



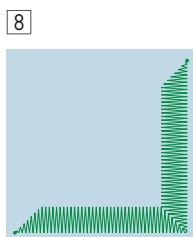
⑨

⑥



⑫

⑬



⑧

① テーパリングモードで模様  ① を選びます。

② 止めぬいキー（ぬい終わり）② を押し、ぬい終わりの自動止めぬいをオフにします。

③ テーパリング調整キー ③ を押します。

④ 模様のぬい始めの形を選びます。④ 模様のぬい終わりの形を選びます。⑥ 模様の長さ設定キー ⑤ を押します。「+」キーを4回押し模様の長さ（模様の数）を「5」に設定します。またはテンキー表示キー ⑧ を押し、テンキーで「5」を入力し、OK キーで数値を設定します。OK キー ⑦ を押します。

⑤ ピボットぬい設定キー ⑨ を押します。

※ 手順 ④ で設定した模様の長さ（模様の数）⑩ が画面の右下に表示されます。

⑥ ぬいたい位置に針をおろし、ミシンが自動的に止まるまでぬいます。ミシンが止まると、自動的に押さえがあがります。

⑦ 布を 90° 回転させます。押さえ上下移動ボタン ⑪ を押して押さえをさげます。止めぬいキー（ぬい始め）⑫ を押し、ぬい始めの自動止めぬいをオフにします。止めぬいキー（ぬい終わり）⑬ を押し、ぬい終わりの自動止めぬいをオンにします。ミシンをスタートさせます。

⑧ ミシンがフレームの角で止めぬいをして止まります。

● ユーザー作成模様グループ

付属の「ステッチコンポーザー」(CD-ROM)で作成した模様データをミシン本体に読み込むと、ユーザー作成模様グループに保存されます。

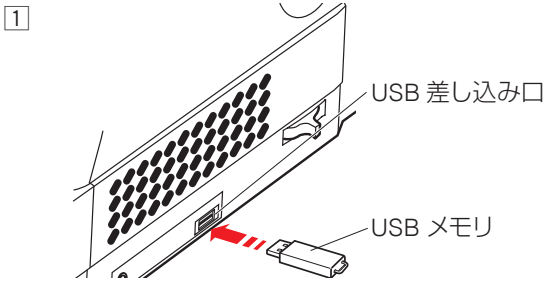
【ユーザー作成模様の読み込み】

① 下記どちらかの方法で作成した模様データをミシン本体に読み込みます。

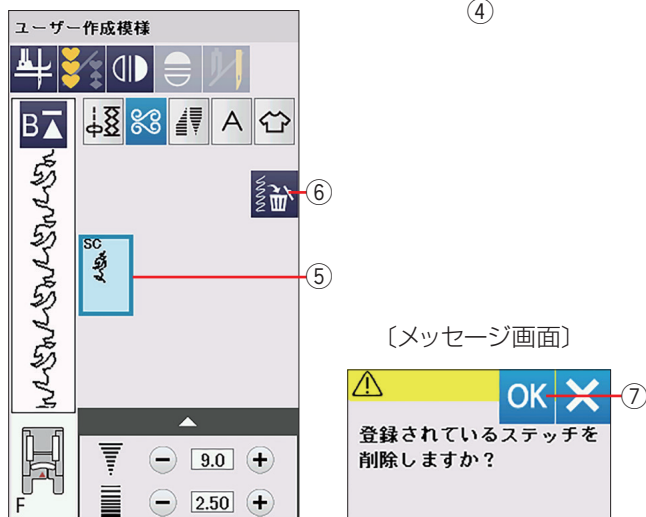
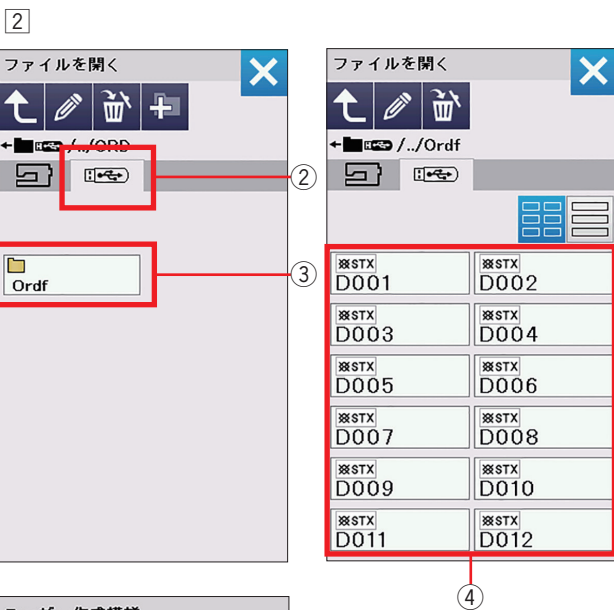
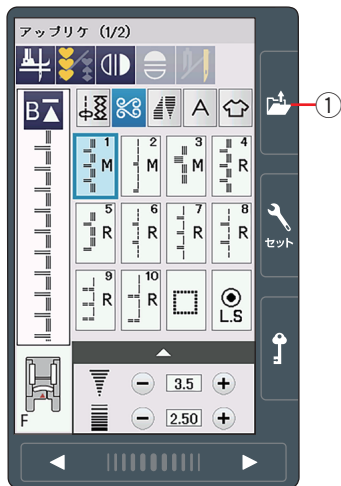
- 作成した模様を保存した USB メモリをミシン右側の USB 差し込み口に差し込み、ファイルオープンキー①を押します。

- 「ステッチコンポーザー」をインストールしたパソコンとミシンを USB ケーブルでつなぎ「ステッチコンポーザー」からの操作で読み込みます。「ステッチコンポーザー」からの操作で読み込んだ場合、ユーザー作成模様グループに模様が登録されます。手順②は必要ありません。

※ 詳しくは、付属のステッチコンポーザー (CD-ROM) のヘルプをごらんください。



〔模様選択画面〕



② 「ファイルを開く」画面の USB メモリ  ② を選びます。


接続した USB メモリのフォルダーのリストが表示されます。

作成した模様データが保存されている場所③ (例では「Ordf」フォルダー) を押すとファイルのリスト④が表示されます。

お好みのユーザー作成模様 (STX データ) を選択すると、ユーザー作成模様がミシンに登録され、模様選択キー⑤が作成されます。

他の内蔵模様と同様に、組み合わせ模様に組み込んだりぬったりできます。

※ 上の階層にもどる場合、 キーを押します。

※  各キーの使い方は、107～108 ページをごらんください。

メモ：

- ユーザー作成模様は 40 個まで保存できます。
- ユーザー作成模様は、2 本針ぬいには対応していません。

【ユーザー作成模様の削除】

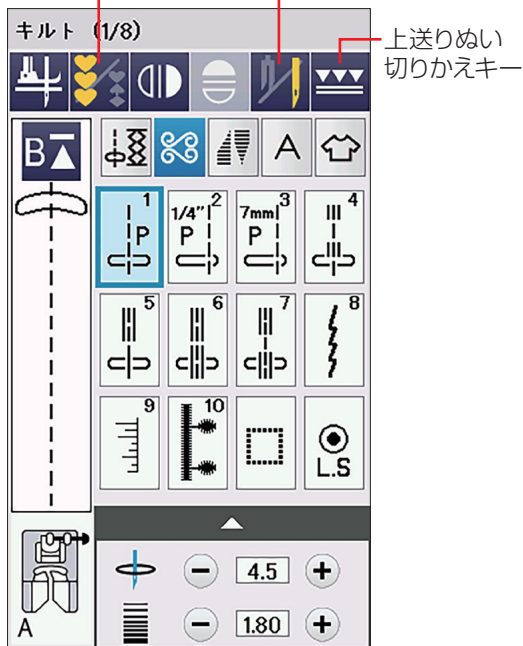
ユーザー作成模様を削除する場合、削除キー⑥を押して削除する模様を選びます。

メッセージ画面が表示されます。

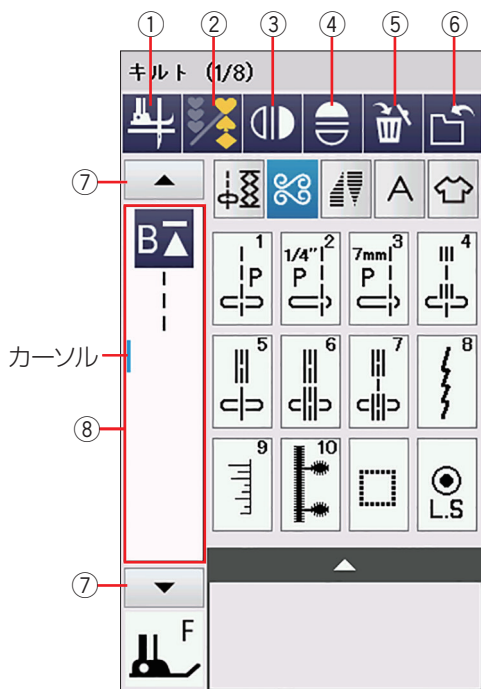
OK キー⑦を押して模様を削除します。

〔模様選択画面 / 通常モード〕

模様組み合わせキー 2本針ぬい切りかえキー



〔模様選択画面 / 模様組み合わせモード〕



◎ 模様組み合わせモード

飾りぬいと文字ぬいは模様を組み合わせでぬうことができます。

模様組み合わせキーを押すと、通常モードの模様選択画面から模様組み合わせモードの模様選択画面にかわります。

模様組み合わせモードに設定すると

- 通常モードでは選んだ模様 1 つだけを、繰り返し連続してぬいますが、模様組み合わせモードではお好みの模様を組み合わせでぬうことができます。
- 模様は最大 100 個まで組み合わせることができます。
- 組み合わせができる模様は、飾りぬいの模様グループと文字ぬいの模様グループです。
文字ぬいの模様グループは、101 ページをごらんください。
- 編集機能を使うと、組み合わせた模様の内容を変更できます。(96 ページ参照)
- 組み合わせた模様をミシンや USB メモリに保存できます。(106 ~ 107 ページ参照)

● 模様組み合わせモードの画面

通常モードから模様組み合わせモードに切りかえると、2本針ぬい切りかえキーと上送りぬい切りかえキーがなくなり、削除キー⑤、保存キー⑥および組み合わせた模様を確認・選択するためのカーソル移動キー⑦が画面上に追加されます。

※ 模様組み合わせモードでは、2本針ぬい、テーパリングぬい、上送りぬいはできません。

① ピボットぬい設定キー

ピボットぬいを行うときに設定します。(42 ページ参照)

② 模様組み合わせキー

通常モードと模様組み合わせモードを切りかえます。

③ 左右反転キー

選んだ模様の形を左右反転させます。

④ 上下反転キー

選んだ模様の形を上下反転させます。

⑤ 削除キー

カーソルの付いている模様を削除することができます。模様を組み合わせた状態でカーソルが最後の模様の下側にある場合、最後の模様を削除することができます。(96 ページ参照)

⑥ 保存キー

組み合わせた模様をミシンや USB メモリに保存できます。(106 ~ 107 ページ参照)

⑦ カーソル移動キー

カーソルを移動させて、組み合わせた模様の中から変更したい模様(場所)を選ぶことができます。(96 ページ参照)

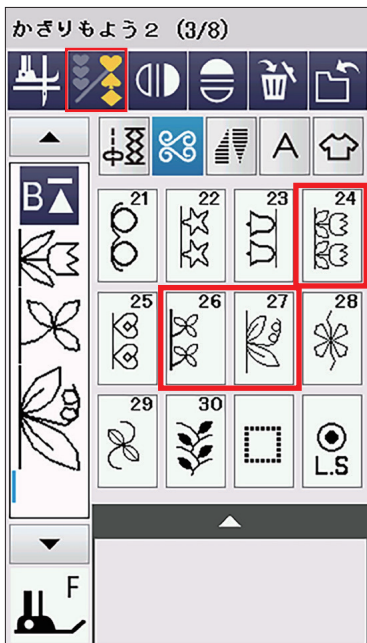
⑧ 編集画面

組み合わせた模様が表示されます。

模様のすべてを一覧表させたい場合、編集画面を押すとぬいイメージが全体表示されます。(98 ページ参照)

[模様選択画面 / 模様組み合わせモード]

1






2



● 模様組み合わせぬいの例

1 模様組み合わせモードの状態、模様を3つ選びます。


(例ではかざりもよう 2 の   )

2 ミシンをスタートさせると、3つの模様が繰り返しぬわれます。


ぬい終わりの模様の途中で止めぬいボタンを押すと、その模様を完成させたあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

※ 止めぬいボタンの使い方は 16 ページをごらんください。

模様 および模様 の使い方

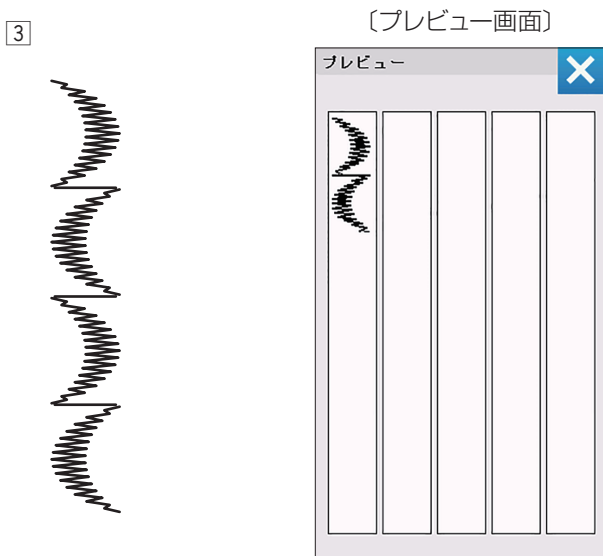
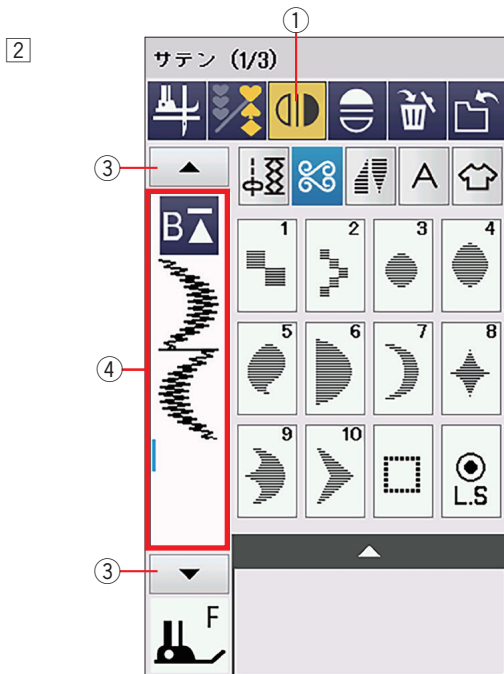
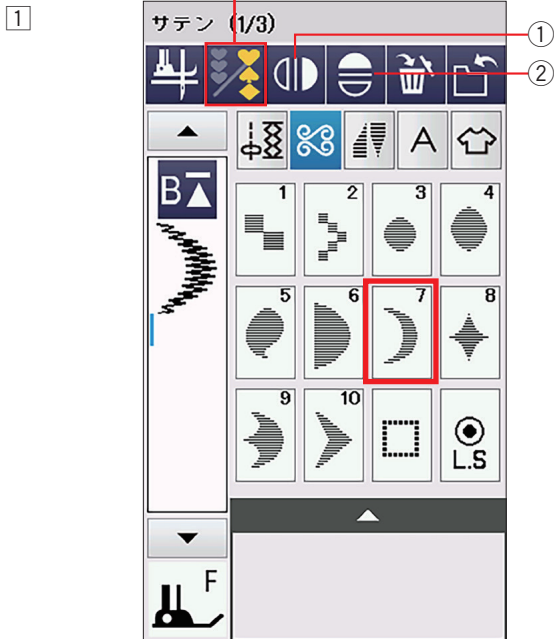
• 模様選択キー  は、スペース模様です。

1 個につき約 5 mm の間かくをあけることができます。間かくの値は、調整画面のぬい目のあかさ調整キーで小さくできます。
(左図は、各模様のあいだにスペース模様を 1 個組み合わせせた例です。)

• 模様選択キー  は、自動止めぬい模様です。

模様を 1 つだけまたは複数組み合わせた最後に自動止めぬい模様を組み合わせると、模様を 1 つだけまたは組み合わせた模様の数だけぬったあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

模様組み合わせキー
(模様組み合わせモードの状態)

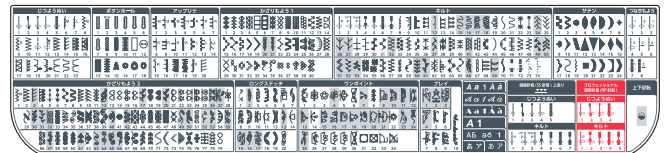


● 反転キーの使い方

左右反転キー①または上下反転キー②で、選んだ模様の形を左右または上下反転した形でぬうことができます。左右反転と上下反転を組み合わせることもできます。通常モードおよび模様組み合わせモードのどちらでも使用できます。


メモ：



上下反転できるのは、一部の模様のみです。ミシン天板の早見板で、薄いグレーがかかっている模様が上下反転可能な模様です。上下反転キーが押された状態で、反転できない模様を選ぶと、反転機能はキャンセルされ、上下反転キーの選択が解除されます。



通常モードで反転できない模様を選択した場合、左右反転キー①または上下反転キー②はグレーになり選択できません。

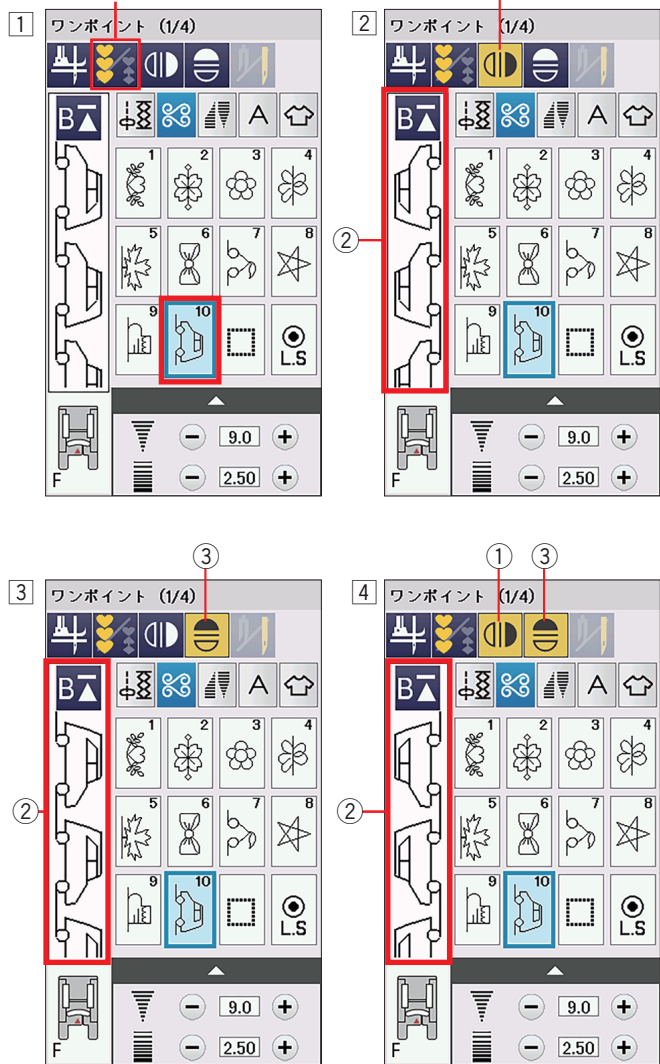
★ 左右・上下反転のぬい方（組み合わせモード時）

例：サテン模様  を、通常の形と左右反転の形で交互にぬう場合

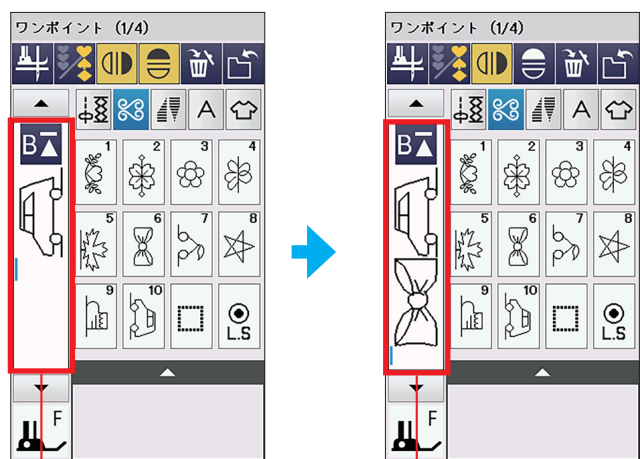
- ① 模様組み合わせモードの状態、サテン模様  を選びます。
- ② 左右反転キー①を押します。左右反転キー①が黄色になります。サテン模様  を選びます。
- ③ ミシンをスタートさせると、基本の形の模様と左右反転された模様を交互にくり返しぬいます。

- ※ ぬい終わりの模様の途中で止めぬいボタンを押すと、その模様を完成させたあとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。止めぬいボタンの使い方は 16 ページをごらんください。
- ※ 反転をキャンセルする場合、左右反転キー①をもう一度押します。
- ※ 組み合わせた模様の全体を見るには、カーソル移動キー③を押して組み合わせ模様をスクロールさせるか、編集画面④を押し、ぬいイメージを全体表示させ確認（プレビュー）できます。（98 ページ参照）

模様組み合わせキー
(通常モードの状態)




[組み合わせモードの例]



ぬいイメージ
(左右と上下が反転した形)

左右および上下反転が
設定された状態で、


模様  を選んだ状態

ぬいイメージ
(左右だけが反転した形)

上下反転できない模様

 を選ぶと、上下反転

機能が取り消され、

模様  は左右だけが

反転した形になる。

★ 左右・上下反転のぬい方 (通常モード時)

① 模様を選びます。(例ではワンポイント )

② 模様を左右反転した形でぬう場合、左右反転キー ① を押します。

左右反転キー ① が黄色で表示され、左右反転した形でぬうことができます。

ぬいイメージ画面 ② には左右反転されたぬいイメージが表示されます。

※ 左右反転キー ① をもう一度押すと選択が解除され、通常の形にもどります。

③ 模様を上下反転した形でぬう場合、上下反転キー ③ を押します。

上下反転キー ③ が黄色で表示され、上下反転した形でぬうことができます。

ぬいイメージ画面 ② には上下反転されたぬいイメージが表示されます。

※ 上下反転キー ③ をもう一度押すと選択が解除され、通常の形にもどります。

④ 左右反転と上下反転を組み合わせた形で模様をぬう場合、左右反転キー ① と上下反転キー ③ を押します。

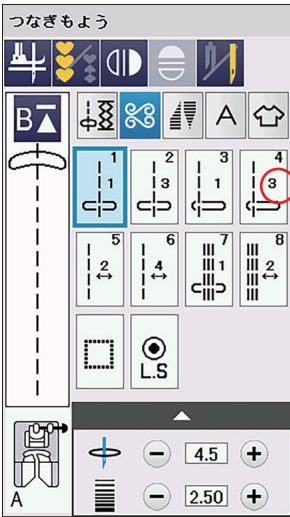
両方のキーが黄色表示され、左右および上下反転した形でぬうことができます。

ぬいイメージ画面 ② には左右と上下が反転されたぬいイメージが表示されます。

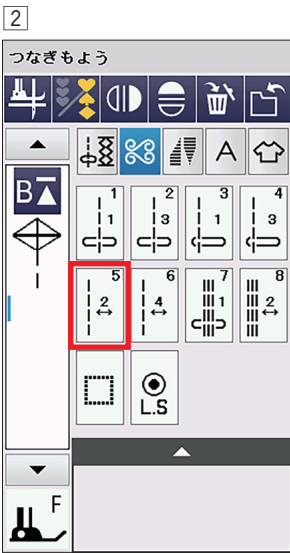
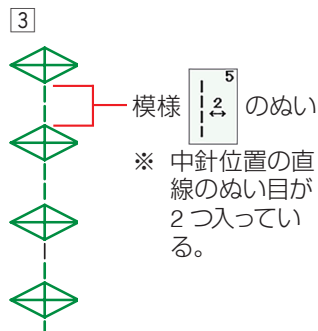
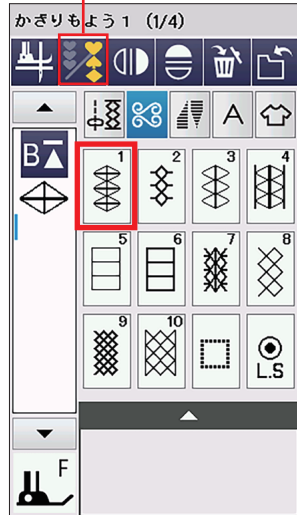
反転機能のご注意

- 通常モードおよび組み合わせモードで左右および上下反転キーを押すと、反転キーをもう一度押して反転を取り消すまで反転機能の設定は継続します。次の模様を選んでも反転した形になります。
- ただし、上下反転機能の場合、上下反転キーが押された状態で上下反転できない模様を選ぶと、上下反転機能が取り消されます。

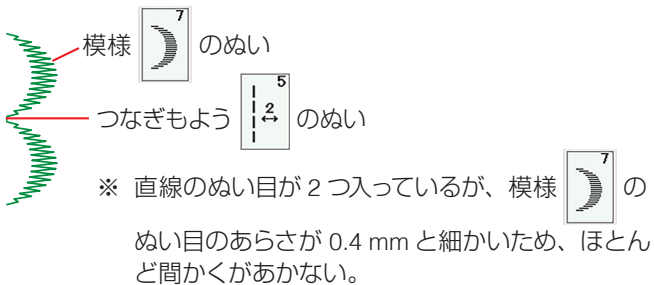
〔模様選択画面 / つなぎもようグループ〕



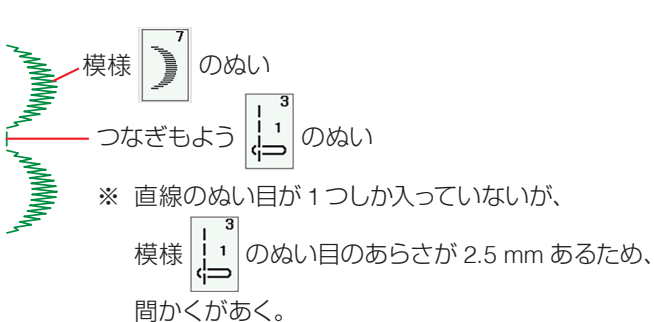
1 模様組み合わせキー
(模様組み合わせモードの状態)



(A)



(B)



● つなぎもようグループの使い方

つなぎもようグループの模様は、模様と模様の間かくを直線ぬいを使ってあけるときに使います。

つなぎもようグループの模様の右側の数字①(「1」、「2」、「3」、「4」)は、つなぎ模様を1つ組み合わせたときのぬい目の数を示します。

メモ：

● 模様 は、針位置やぬい目の

あらかさのオート値(電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値)が設定されていて、オート値はぬい目の幅調整キーとぬい目のあらかさ調整キーでかえることができます。

● 模様 は、針位置やぬい目のあらかさの

オート値が設定されていません。針位置やぬい目のあらかさはつなぎ模様の1つ前の模様と同じ値になり、ぬい目の幅調整キーとぬい目のあらかさ調整キーでかえることはできません。(針位置は、前の模様のぬい終わりの針位置になります。)

例：模様組み合わせモードで、かざりもよう1グループ

の模様 のあいだに、つなぎもようグループの模様 を組み合わせて、間かくをあける場合

1 模様組み合わせモードの状態で、かざりもよう1グループの模様 を選びます。

2 つなぎもようグループの模様 を選びます。

3 ミシンをスタートさせると、模様 の間かくがあいた状態でくり返しぬいます。

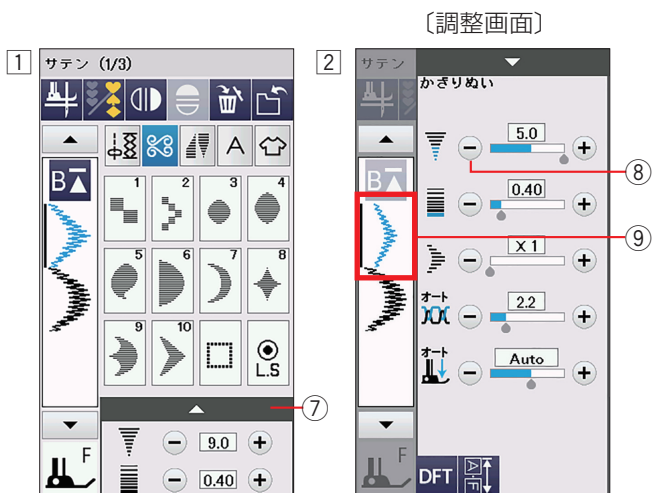
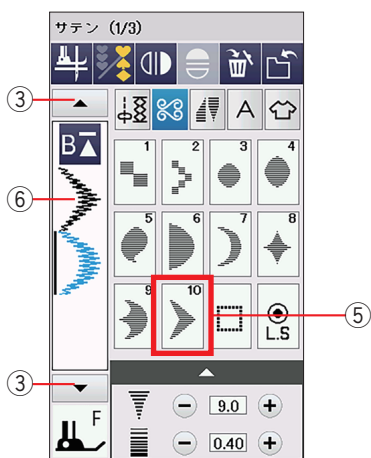
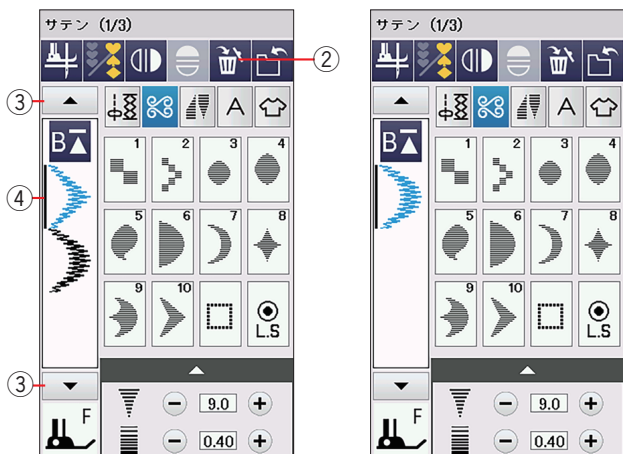
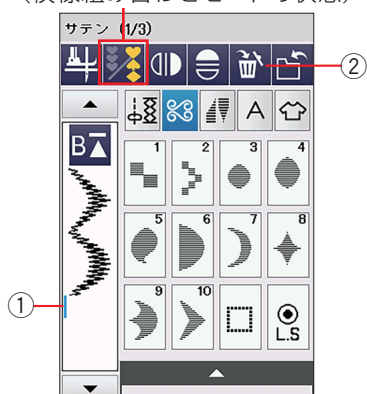
※ 模様と模様のあいだに、中針位置の直線のぬい目が2つ入ります。

ぬい目のあらかさが細かい模様につなぎ模様を使う場合

● 例えば、サテングループの模様 のように、ぬい目の細かい模様の次につなぎもよう を使うと、つなぎ模様のぬい目のあらかさは1つ前の模様のぬい目のあらかさと同じになるため、つなぎ模様のぬい目も細くなって、模様の間かくがほとんどあきません。(図 A)

● ぬい目のあらかさが細かい模様のあとにつなぎもようで間かくをあけたい場合、つなぎもよう を使用してください。(図 B)

模様組み合わせキー
(模様組み合わせモードの状態)



● 模様の編集機能

模様組み合わせモード設定中、編集機能を使うと、模様を組み合わせたあとでも、ぬったあとでも、組み合わせた模様の一部を削除したり、別の模様を追加したり、模様の形を反転させたり、模様のぬい目の幅やあかさなどの設定値を変更したりすることができます。

【模様の削除】

カーソル①の前の模様と、選択され青く表示されている模様は削除キー②を押して削除できます。

途中の模様を削除したい場合、カーソル移動キー③を押し、削除したい模様を選びます。

選択された模様④が青色にかわります。
削除キー②を押して削除します。

【模様の挿入】

カーソル移動キー③を押し、模様を挿入したい場所にカーソルを移動させます。

カーソルの付いている模様（青色の模様）の前に挿入したい模様⑤が追加⑥されます。

【模様のぬい目の幅やあかさなどを変更】

① 調整キー⑦を押し調整画面を全体表示させ、「-」キー⑧でぬい目の幅を「9.0」から「5.0」に変更します。

※ 調整画面の基本的な使い方は 40 ~ 42 ページをごらんください。

② 模様⑩のぬい目の幅が変更され、編集画面の表示⑨もかわります。

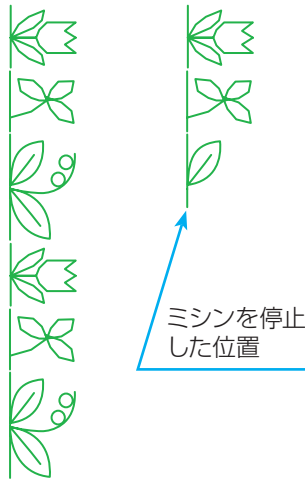
※ 模様の設定値の変更や模様の削除は、カーソルの付いている模様（青色の模様）に対してできます。

メモ：

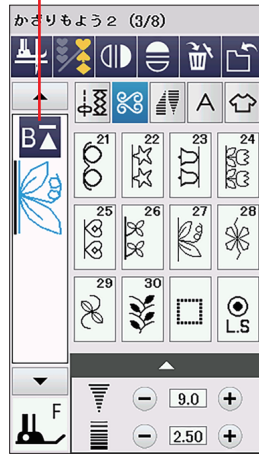
押さえ圧は組み合わせ模様のそれぞれの模様別に適用することはできません。
別々の押さえ圧をかけると、最後に設定した押さえ圧の数値が組み合わせ模様全体にかかります。

組み合わせた模様の
ぬいイメージ

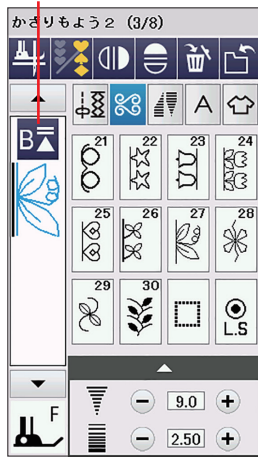
(ミシンを停止したときの画面)



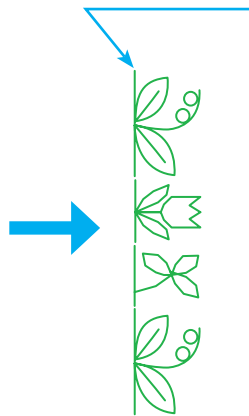
① 模様頭出しキー



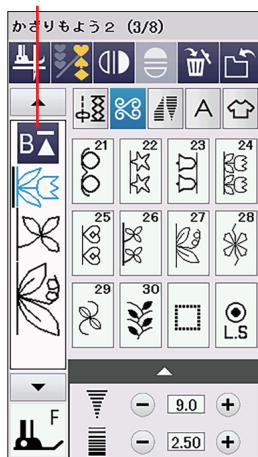
② 模様頭出しキー



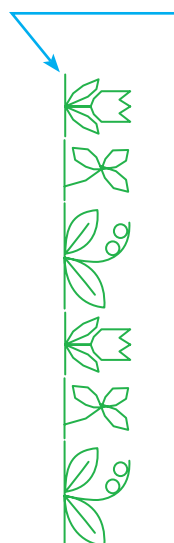
停止した模様の
最初からぬう



③ 模様頭出しキー



組み合わせた模様の
最初からぬう



● 模様頭出しキーの使い方

模様頭出しキーを使うと、模様をぬっている途中でミシンを止めた場合、次にぬうときにその模様の最初からぬうことができます。

通常モードおよび模様組み合わせモードどちらでも使用できます。

模様組み合わせモード設定中は、ぬいかけた模様の最初または組み合わせ模様の最初のどちらからでもぬうことができます。

【例】模様組み合わせモードでかざりもよう2の



【ぬいかけた模様を最初からぬう場合】

① 組み合わせ模様のうち、ミシンが現在ぬっている途中の模様をぬい直したい場合、模様頭出しキーを押します。

② 模様頭出しキーの表示が **B** (三角形の上のバー) にかわります。

ミシンをスタートさせると、途中で停止した模様(3番目の模様)の最初からぬい直します。

※ 模様頭出しキーの表示が **B** (三角形の上のバーが2本) の場合、ぬい途中の模様の最初からぬいます。

メモ：

組み合わせ模様の最初の模様でミシンを止めて模様頭出しキーを押すと、模様が一番最初からのぬい直しとなるため、三角形の上のバーの数はかわりません。

【組み合わせた模様の最初からぬう場合】

③ 上記の手順①で模様頭出しキーを押すと表示が **B** にかわるので、もう1回模様頭出しキーを押します。

※ 模様頭出しキーを2回続けて押すと表示が **B** にかわります。

④ ミシンをスタートさせると、組み合わせた模様の最初(1番目の模様)からぬいます。

※ 模様頭出しキーの表示が **B** (三角形の上のバーが1本) の場合、組み合わせ模様の最初の模様からぬい直します。

メモ：

自動糸切りをすると、ミシンは組み合わせ模様の最初の模様からぬい直します。

模様組み合わせキー
(模様組み合わせモードの状態)



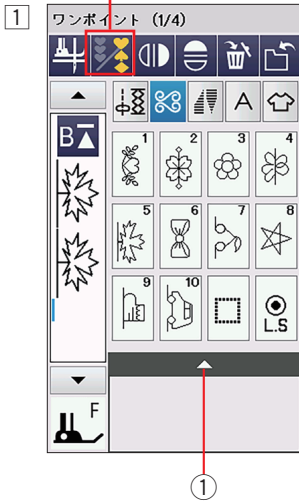
● プレビュー機能

組み合わせモード時、編集画面①を押すと、プレビュー画面が表示されます。

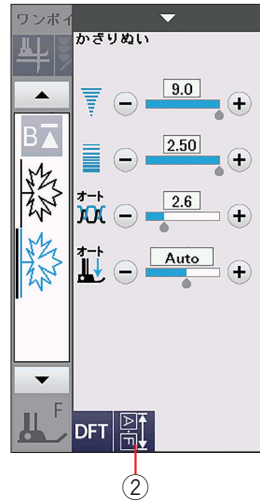
組み合わせた模様のぬいイメージの全体を確認（プレビュー）できます。

- ※ すべての模様が1ページ(1画面)で表示されない場合、次ページキー②を押して次のページ(画面)に切りかえます。
- ※ 確認が終わったら、閉じるキー③を押して模様選択画面にもどします。

模様組み合わせキー
(模様組み合わせモードの状態)



(調整画面)



● 組み合わせ模様の長さの確認

模様組み合わせモード中、模様を1つだけぬったときまたは組み合わせた模様をぬったときの全長(目安)を確認することができます。

模様をぬったときの全長は、布の種類や厚さ、ぬいの速度、および模様の種類などのぬい条件で異なります。

同じようなぬい条件で一度試しぬいをして表示の数値を補正しておく、次回確認するときに実際のぬい長さにより近い表示になります。


メモ：

一度補正すると、その補正値は、他の模様や他の組み合わせ模様(文字ぬいを含む)にも適用されます。

また、ミシンの電源スイッチを切っても記憶されています。

補正後、ぬい条件が大きく異なるぬいで模様の全長を知りたい場合、再度、同じような条件で試しぬいをして数値を補正し直してください。

【模様全長表示機能の使い方】

例：ワンポイント模様  を3つ組み合わせた場合

- ① 模様組み合わせモードの状態です調整キー①を押し、調整画面を全体表示させます。
調整画面の組み合わせ長さキー②を押します。

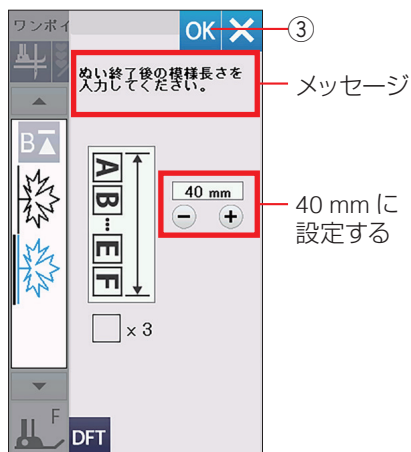
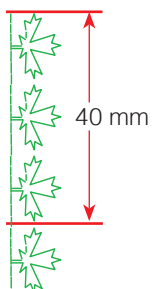
② (模様の全長表示画面)



- ② 模様の全長表示画面が表示されます。
この画面で3つの模様の全長の目安(例では51 mm)を確認することができます。

③

試しぬいの結果
3つの模様の実際の全長

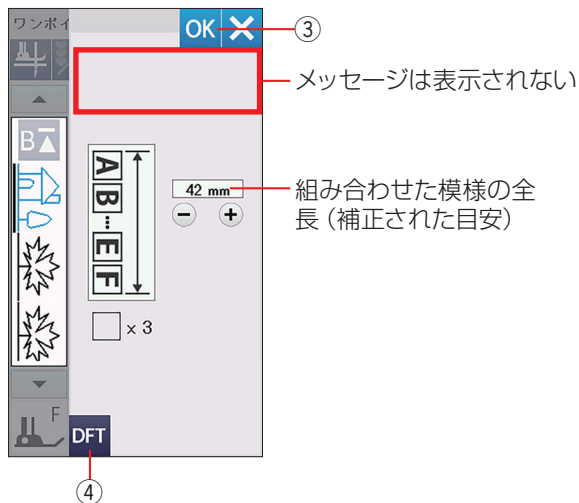


③ 画面のメッセージにしたがい、同じぬい条件で試しぬいをし、3つの模様の実際の全長（例では40 mm）を「+」または「-」キーで入力し、OK キー ③ を押して確定します。

※ 補正した値を登録すると、他の模様や他の組み合わせ模様（文字ぬいを含む）にも適用されます。

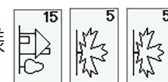
④

〔模様の実長表示画面（補正後）〕



④ 次回からは、同じ模様の場合でも、別の組み合わせ模様の場合でも、模様の実長表示画面を表示させると、実際の実長により近い全長（目安）が表示されます。このとき模様の実長表示画面は、補正されていることを示すためにメッセージの表示がありません。

（左の画面例は、別の組み合わせ模様
で全長表示画面を表示させた場合）



※ 補正前の初期の状態（購入時の設定状態）にもどす場合、初期化キー ④ を押して OK キー ③ を押します。

◎文字ぬい

●文字ぬいの画面

文字ぬいでは、文字やアルファベットを組み合わせてぬうことができます。

模様グループ選択キーの文字ぬいキーを押すと、書体選択画面になります。

以下の書体キーを押し、お好みの書体を選びます。

① 明朝体 (9 mm) キー

明朝体 (ひらがな・カタカナ、およびスペース模様 2 個) の模様選択画面が表示されます。

明朝体 (9 mm) グループは、3 つのページ (画面) に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ 文字のサイズ (高さ) は最大 9 mm です。

② まるもじ (9 mm) キー

まるもじ (ひらがな・カタカナ、およびスペース模様 2 個) の模様選択画面が表示されます。

まるもじ (9 mm) グループは、3 つのページ (画面) に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ 文字のサイズ (高さ) は最大 9 mm です。

③ ブロックキー

ブロック体 (英字・数字・記号・ヨーロッパ文字、およびスペース模様 3 個) の模様選択画面が表示されます。

ブロック体グループは、5 つのページ (画面) に分かれていて、ページキーで選択できます。



※ 文字構成全体の高さ (枠) が最大 9 mm で、個々の文字サイズ (高さ) は 9 mm より小さくなります。

④ スクリプトキー

スクリプト体 (英字・数字・記号・ヨーロッパ文字、およびスペース模様 3 個) の模様選択画面が表示されます。

スクリプト体グループは、5 つのページ (画面) に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ 文字構成全体の高さ (枠) が最大 9 mm で、個々の文字サイズ (高さ) は 9 mm より小さくなります。

(上記ブロック体グループと同じ)

⑤ ブロードウェイキー

ブロードウェイ体 (英字・数字・記号・ヨーロッパ文字、およびスペース模様 3 個) の模様選択画面が表示されます。

ブロードウェイ体グループは、5 つのページ (画面) に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ 文字構成全体の高さ (枠) が最大 9 mm で、個々の文字サイズ (高さ) は 9 mm より小さくなります。

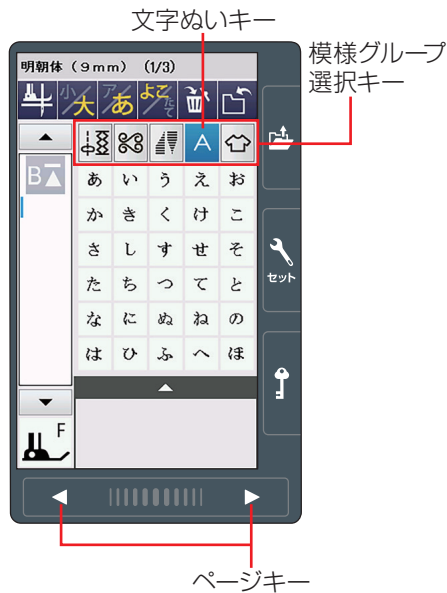
(上記ブロック体グループと同じ)

⑥ ブロック (9 mm) キー

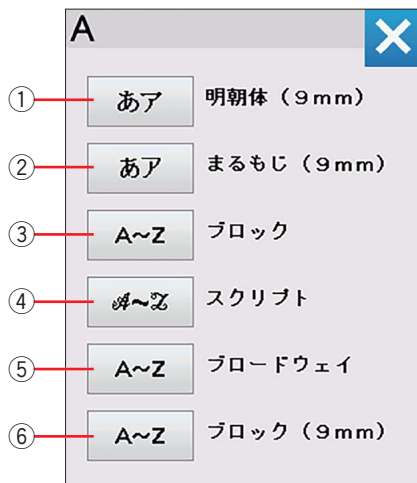
ブロック体 (英字の大文字・数字・記号、およびスペース模様 3 個) の模様選択画面が表示されます。

ブロック体 (9 mm) グループは、3 つのページ (画面) に分かれていて、ページキーで選択できます。

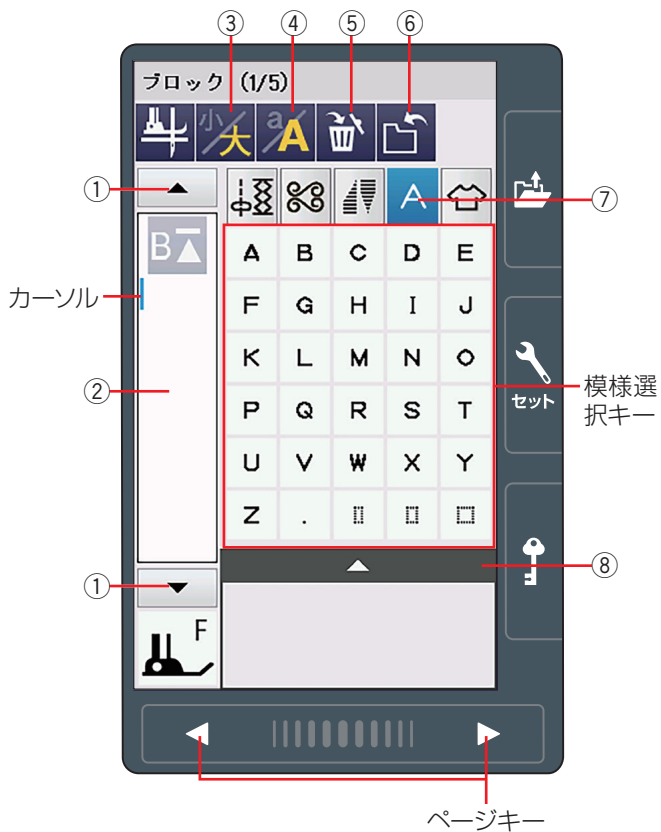
※ 文字のサイズ (高さ) は最大 9 mm です。



〔書体選択画面〕



〔模様選択画面 ブロック体〕(1/5 ページ)



〔模様選択画面 明朝体〕(1/3 ページ)



★ 模様選択画面

書体選択画面で書体を選ぶと、選んだ書体の模様選択画面になります。

模様選択画面が2つ以上のページ(画面)に分かれている場合、ページキーで選択できます。

模様選択画面は実用ぬい模様や飾りぬい模様の画面と同様、模様選択キー・設定キー・模様頭出しキーなどのキーと、選ばれている模様のぬい情報や設定状態が表示されています。

※ ぬい情報や設定状態の表示は、18～19ページをごらんください。

① カーソル移動キー

カーソルを上下へ動かします。

② 編集画面

編集画面を押すと、組み合わせた文字の全体が表示されます。

③ 文字高さ切りかえキー

文字の高さを約2/3にし、文字を小さく(低く)することができます。

④ 大文字・小文字切りかえキー

大文字と小文字を切りかえます。画面の模様選択キーの表示も同時に切りかわります。

※ 明朝体(9mm)、まるもじ(9mm)を選択した場合はアイコンの表示がかわり、ひらがなとカタカナを切りかえることができます。画面の模様選択キーの表示も同時に切りかわります。(④-2)

⑤ 削除キー

選択した文字やワンポイントを削除します。

⑥ 保存キー

組み合わせ文字を保存します。

⑦ 文字ぬいキー

書体選択画面を表示させます。

⑧ 調整キー

調整キーを押すと調整画面が全体表示されます。

※ 調整画面の基本的な使い方は、40～42ページ「じつようぬいの調整画面」をごらんください。

⑨ 横書き・縦書き切りかえキー

横書きと縦書きを切りかえます。

明朝体(9mm)、まるもじ(9mm)を選択した場合に表示されます。

※ 横書きと縦書きを組み合わせることはできません。

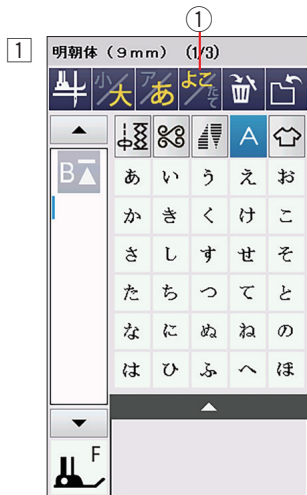
● 文字ぬいの例

- 文字ぬいは、飾りぬいの模様組み合わせモードと同様、お好みの模様を組み合わせることでぬうことができます。
- 模様は、最大 100 個まで組み合わせることができます。(組み合わせる模様で異なります。)
- 組み合わせができる模様は、文字ぬいの模様グループと飾りぬいの模様グループです。
 - ※ 飾りぬいの模様グループは、75 ページをごらんください。
- 文字を 1 つだけまたは複数の文字を組み合わせる場合、最後の文字をぬって自動的にミシンは停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。)ぬわれた文字のぬい始めとぬい終わりには、ほつれ止めの止めぬいが入っています。
 - ※ 文字と飾りぬい模様を組み合わせる場合、組み合わせた模様の最後が文字の場合、最後の文字をぬって自動的にミシンは停止します。組み合わせた模様の最後が文字以外の模様の場合、組み合わせた模様をくり返しぬいます。
- 編集機能を使うと、組み合わせた模様の内容を変更することができます。(96 ページ参照)
- 組み合わせた模様をミシンや USB メモリに保存することができます。(106 ~ 107 ページ参照)

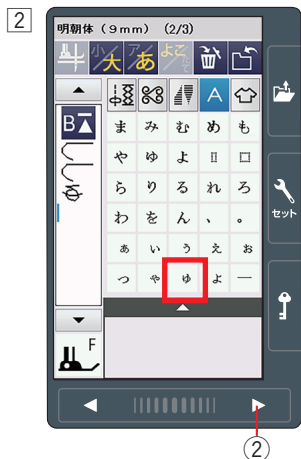
文字ぬいの注意事項

- 必ず同じ布地で試しぬいをしてください。
- 針は付属のブルー針（柄の部分が青色の針）、押さえはサテン押さえ F を使用してください。
- 伸びる布地、薄手の布地などにぬう場合、布の裏に市販の芯地を貼るか、トレーシングペーパーや薄い紙を布の下に敷いてぬってください。
- 文字や記号を組み合わせる場合、隣り合う模様によっては間かくがせまくなったり、広くなったりすることがあります。気になる場合はスペース模様で調整してください。(106 ページ参照)

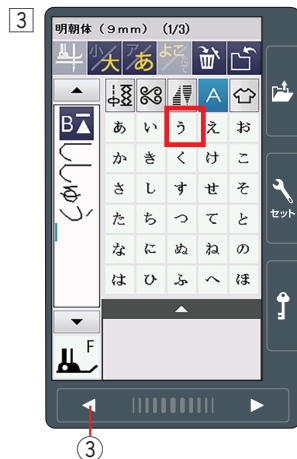
〔模様選択画面 明朝体〕 (1/3 ページ)



〔明朝体〕 (2/3 ページ)



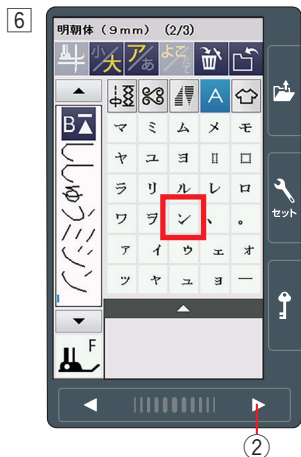
〔明朝体〕 (1/3 ページ)



〔明朝体〕 (2/3 ページ)



〔明朝体〕 (2/3 ページ)



【例】明朝体の横書きで文字「ししゅうミシン」をぬう

① 「明朝体 (9 mm)」キーを押して明朝体の模様選択画面を表示させ、横書き・縦書き切りかえキー①が横書きの状態 (よ) で、文字「し」を二度選びます。

※ 縦書きの場合、最初の文字を選ぶ前に、横書き・縦書き切りかえキー①を押して、キーの表示を (た) にします。

② 次ページキー②で2/3ページを表示させ、文字「ゆ」を選びます。

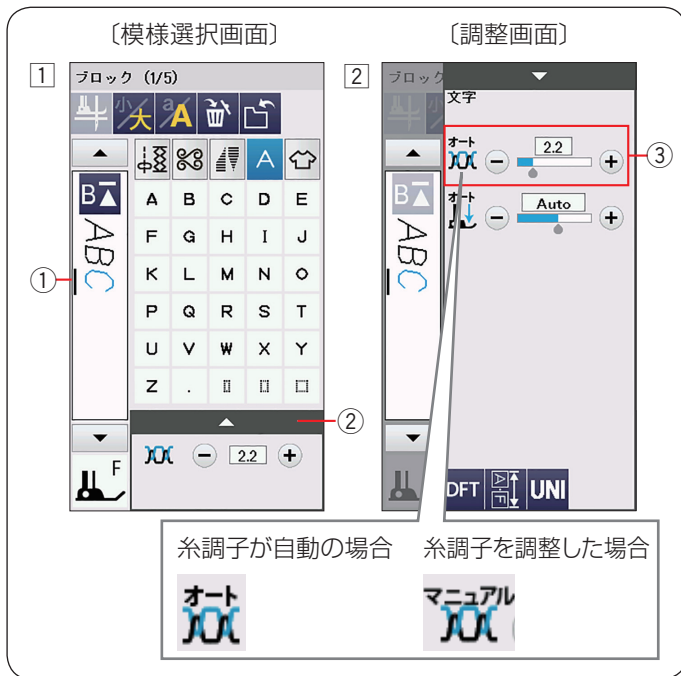
③ 前ページキー③で1/3ページを表示させ、文字「う」を選びます。

④ 次ページキー②で2/3ページを表示させ、ひらがな・カタカナ切りかえキー④を押し、キーの表示を あ から アにかえ、文字「ミ」を選びます。

※ ひらがな・カタカナ切りかえキー④を押すと、画面の模様選択キーの表示もカタカナに切りかわります。

⑤ 前ページキー③で1/3ページを表示させ、文字「シ」を選びます。

⑥ 次ページキー②で2/3ページを表示させ、文字「ン」を選びます。
ミシンをスタートさせると、「ししゅうミシン」をぬったあと自動的にミシンは停止します。



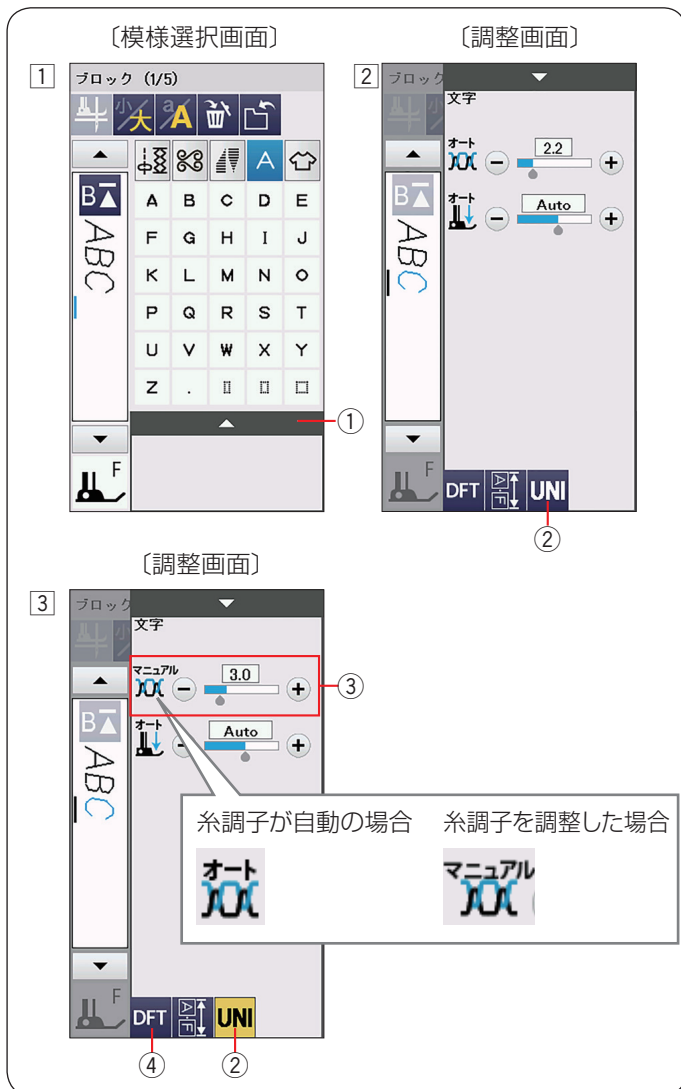
● 文字ぬい時の糸調子調整

糸調子は自動で調整されますが、ぬい条件によっては、手動で糸調子の調整をする必要がある場合があります。

★ 文字ごとに糸調子調整を行う

- ① それぞれの文字の糸調子を個別にかえたい場合、糸調子をかえたい文字をカーソル①で選択します。
調整キー②を押し、調整画面を全体表示させます。
- ② 糸調子調整③の「+」もしくは「-」キーを押し、各文字の糸調子を調整します。
※ 画面のアイコン表示が「オート」から「マニュアル」にかわります。

調整した糸調子の値は選択された各文字にそれぞれ適用されます。



★ 全ての文字に同じ糸調子の値を適応する (統一糸調子調整)

すべての組み合わせ模様の糸調子をオート値（電源を入れたとき、マシンに自動的に設定されている値）と異なる別の統一した値に設定したいとき、飾りぬいの場合は、調整画面の糸調子調整キーで模様ごとに設定する必要があります。

文字ぬいの場合、統一糸調子機能によって、組み合わせ模様（文字）ごとではなく、一括して統一した糸調子に設定することができます。

- ① 調整キー①を押し、調整画面を全体表示させます。
- ② 調整画面で統一糸調子キー②を押します。
統一糸調子キー②が黄色で表示されます。
- ③ 糸調子調整③の「+」もしくは「-」キーを押し、糸調子を調整します。（例では3.0に変更）

- 組み合わせた「ABC」すべての文字を糸調子「3.0」でぬうことができます。
- 画面のアイコン表示が「オート」から「マニュアル」にかわります。

※ 統一糸調子を解除する場合、調整画面で統一糸調子キー②を押します。統一糸調子機能の設定前の値にもどります。

メモ：

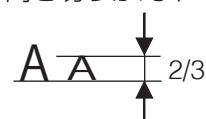
以下の場合も統一糸調子機能は解除されます。

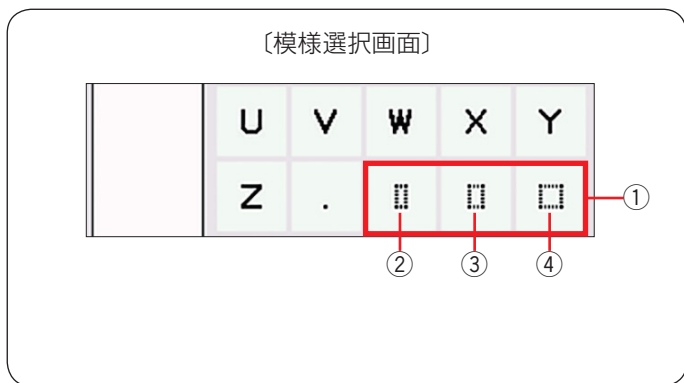
- 組み合わせた文字をすべて削除したとき
- 文字ぬい以外の模様グループの模様を選んだとき



● 文字高さの縮小

文字の高さを小さくする（約2/3のサイズ）には、文字を選択して文字高さ切りかえキー①を押します。



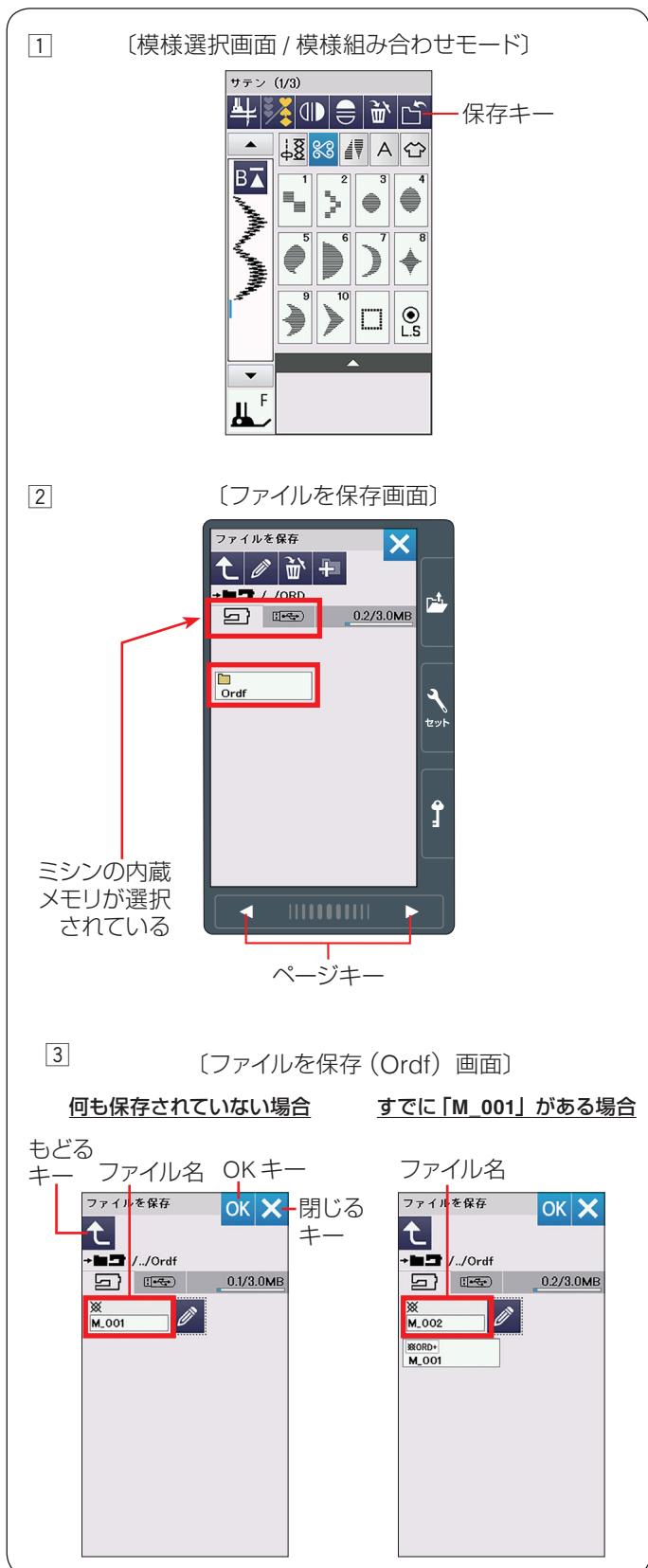


● スペース模様

文字ぬいでスペースを入力するには、模様選択画面のスペースキーから選びます。

- ① スペースキー
- ② 小サイズのスペース (約 2.5 mm)
- ③ 中サイズのスペース (約 3.5 mm)
- ④ 大サイズのスペース (約 5 mm)

※ 上記スペースのサイズは、電源投入時の値です。
調整画面のぬい目のあらか調整キーで設定値を変更すると、スペースのサイズはかわります。
(41 ページ参照)



◎ 模様データの保存・呼び出し

組み合わせた模様データをミシンや USB メモリに保存し、いつでも呼び出してぬうことができます。

● 模様データの保存

メモ：
問題が起きたときのため、常に外部メディアにデータを保存してください。



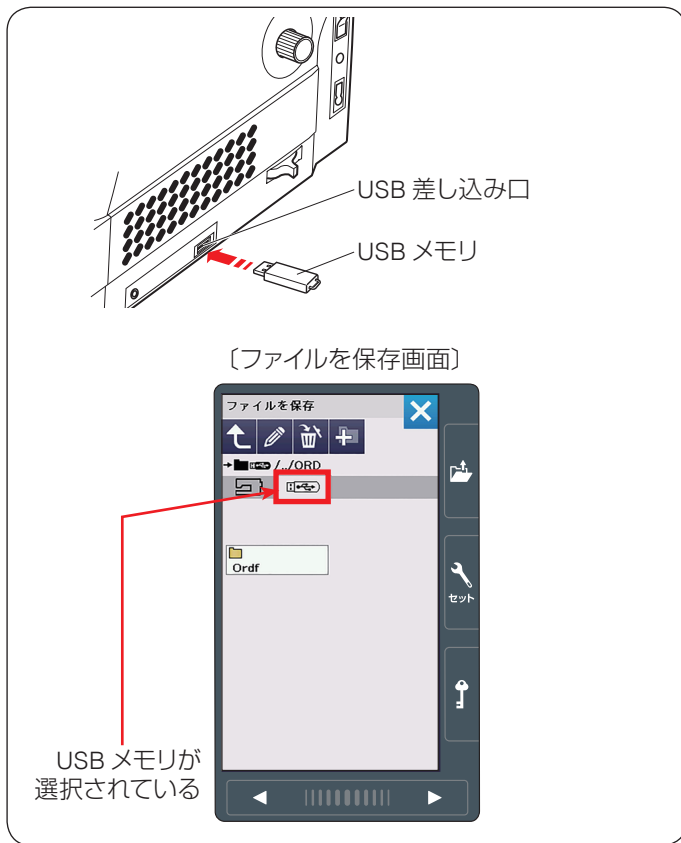
注意

ミシンの内蔵メモリや USB メモリに模様データを保存中 (転送中) に電源スイッチを切ったり、USB メモリを抜いたりしないでください。
データが破損するおそれがあります。


【ミシンの内蔵メモリに保存する】

- ① 模様組み合わせモードで保存キーを押すと、「ファイルを保存」画面が表示されます。
 - ② ミシンに用意されているフォルダーに保存する場合、「ファイルを保存」画面の **Ordf** を押します。
- ※ 新しいフォルダーを作成して保存する場合、107 ページ【新規フォルダーの作成】をごらんください。
- ※ 手順②や③の画面で、フォルダーやファイルが1画面に表示しきれない数だけ保存されている場合、ページキーで次のページ (画面) を確認できます。

- ③ ミシンに用意されているファイル名「M_001」で保存する場合、「Ordf」画面の OK キーを押します。模様データがミシンに保存され、模様選択画面にもどります。
- ※ すでに「M_001」名で保存されているデータがある場合、自動的に番号が繰り上がり、「M_002」が表示されます。(番号は M_001 ~ 順番に割り当てられます。)
- ※ テーパリング模様を保存する場合、ファイル名は「C_001」(番号は C_001 ~ 順番に割り当て) となります。(88 ページ参照)
- ※ お好みのファイル名で保存する場合、108 ページ【名称変更キーの使い方】をごらんください。
- ※ もどるキーを押すと1つ前の「ファイルを保存」画面に、閉じるキーを押すとデータは保存されず、模様選択画面にもどります。



USB メモリに保存する場合


USB メモリに保存する場合、ミシン右側の USB 差し込み口に USB メモリを差し込み、「ファイルを保存」画面で USB メモリ  を選びます。

※ データの保存方法は、106 ページ【ミシンの内蔵メモリに保存する】と同じです。



〔新規フォルダーの作成〕

ミシンに用意されているフォルダーを使わないでお好みのフォルダーを作成してデータを保存する場合、下記の手順で保存します。

- 106 ページ【ミシンの内蔵メモリに保存する】手順 2 の「ファイルを保存」画面で新規フォルダーキー  を押し、「新規名称」画面を表示させ、文字キーでお好みの名前（8 文字以内）をつけます。（例では、「SEW-1」と入力）

※ 文字の入力中に修正したい場合、カーソル移動キーで取り消したい文字にカーソルを合わせ、削除キーで取り消します。

OK キーを押し、再度「ファイルを保存」画面を表示させます。

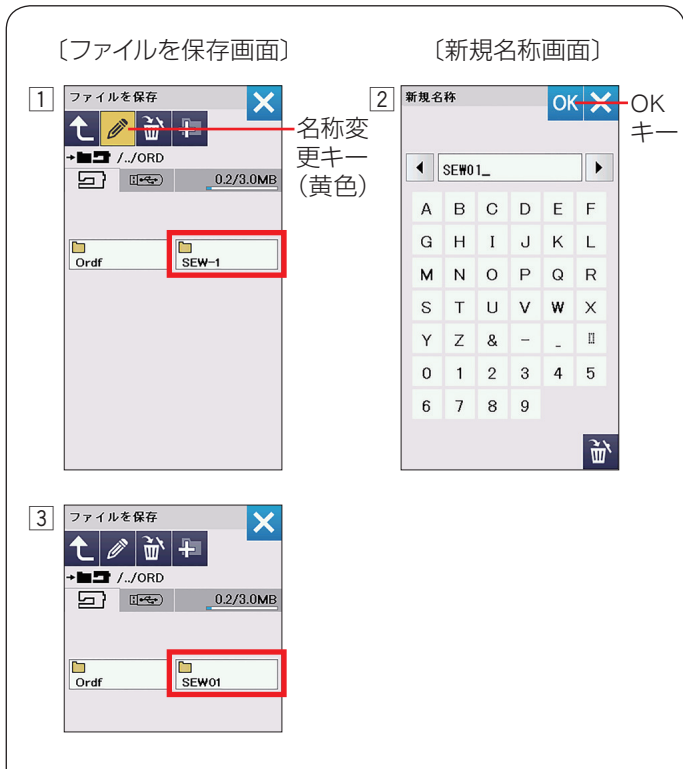
- 「ファイルを保存」画面に新規作成した「SEW-1」フォルダーが表示されます。「SEW-1」フォルダーを押し、「SEW-1」画面を表示させます。
- 「SEW-1」画面の OK キーを押すと、ファイル名「M_001」の様データが「SEW-1」のフォルダーに保存され、模様選択画面にもどります。



【ファイル・フォルダーの削除】

不要になったフォルダーを削除できます。

- 「ファイルを開く」画面で削除キーを押し、キーの表示を黄色にかえます。
※ キーの色が黄色の状態フォルダーを削除することができます。
削除したいフォルダーもしくはファイルを選びます。
(例では「SEW-1」フォルダー)
- メッセージ画面が表示されます。
OK キーを押して削除します。



【名称変更キーの使い方】

名称変更キーは、すでに作成されているフォルダーの名前の書きかえや、ミシンに用意されているファイル名「M_001」などを使わずに、お好みのファイル名を付けて保存するときに使います。

作成されているフォルダーの名前を変更する場合

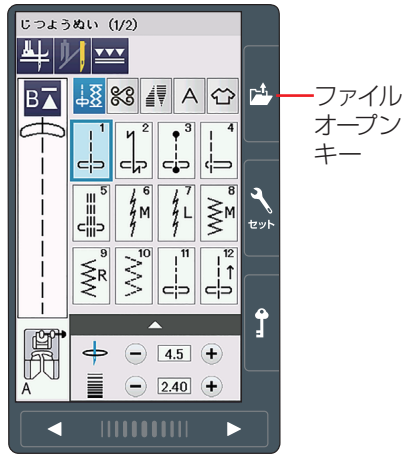
- 模様選択画面で保存キーを押すと、「ファイルを開く」画面が表示されます。
「ファイルを開く」画面で名称変更キーを押し、キーの表示を黄色にかえます。
名前を変更したいフォルダー（例では「SEW-1」）を選びます。
※ キーの色が黄色の状態フォルダーの名前をかえることができます。
- 「新規名称」画面が表示されます。
新しい名前を入力し、OK キーを押します。
(例では「SEW01」)
- 再度「ファイルを開く」画面が表示され、フォルダー名が「SEW01」に変更されています。
※ 名前の入力方法は、前ページ【新規フォルダーの作成】の手順 ① をごらんください。



ファイルにお好みの名前を付けて保存する場合

- 例えば、106 ページ【ミシンの内蔵メモリに保存する】の手順 ③ の「Ordf」画面のファイル名「M_001」をお好みのファイル名に書きかえる場合、「Ordf」画面の名称変更キーを押して「新規名称画面」を表示させます。
- 文字キーでお好みの名前（8 文字以内）を付けて OK キーを押します。(例では「ABC」)
※ 名前の入力方法は、前ページ【新規フォルダーの作成】の手順 ① をごらんください。
- 再度「Ordf」画面が表示され、ファイル名が「ABC」に書きかえられているので、OK キーを押すとファイル名「ABC」にデータを保存することができます。

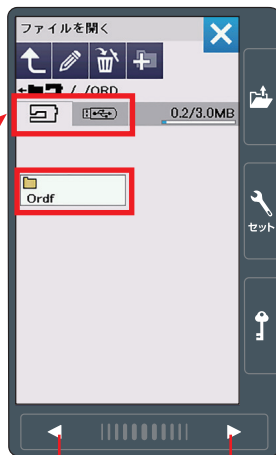
1



ファイル
オープン
キー

2

〔ファイルを開く画面〕



ミシンの内蔵メモリが
選択されている

ページキー

● 模様データの呼び出し

ミシンの内蔵メモリや USB メモリに保存した組み合わせ模様や文字を呼び出すことができます。



注意

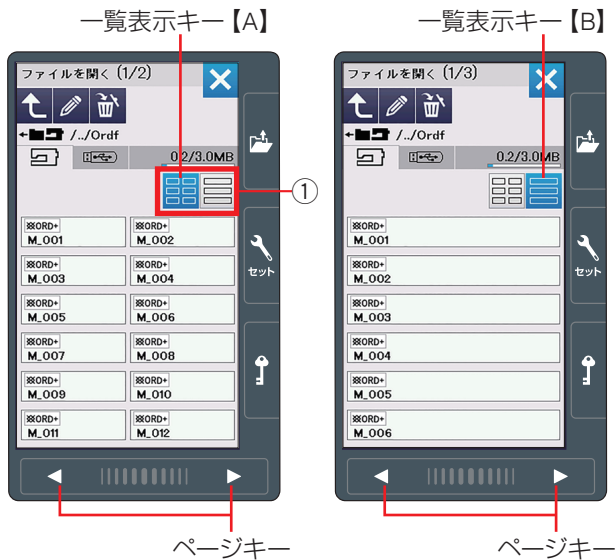
ミシンの内蔵メモリや USB メモリから模様データを呼び出し中（転送中）に電源スイッチを切ったり、USB メモリを抜いたりしないでください。データが破損するおそれがあります。

【ミシンの内蔵メモリから呼び出す】

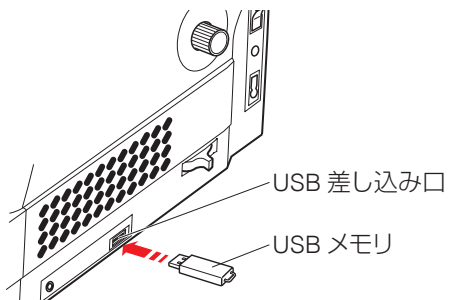
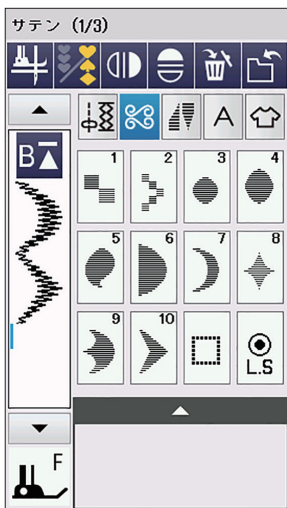
- ① 通常ぬいの状態でファイルオープンキーを押すと、「ファイルを開く」画面が表示されます。
 - ② 「ファイルを開く」画面のフォルダーの中から呼び出したいファイル（模様データ）が入っているフォルダーを押します。
(例では **Ordf**)
- ※ フォルダーやファイルが 1 画面に表示しきれない数だけ保存されている場合、ページキーで次のページ（画面）を確認できます。
 - ※ 「Ordf」フォルダー以外のフォルダーを作成した場合、作成したフォルダーも表示されます。
 - ※ 新規フォルダーの作成、ファイル・フォルダーの削除、フォルダー名の変更方法については、107～108 ページをごらんください。

③

〔ファイルを開く (Ordf) 画面〕



〔模様選択画面〕



USB メモリが
選択されている




③ 「Ordf」画面のファイルの中から呼び出したいファイル（模様データ）を押すと、模様データを保存したときと同じ状態の模様選択画面が表示され、ぬうことができます。

※ フォルダやファイルが 1 画面に表示しきれない数保存されている場合、ページキーで次のページ（画面）を確認できます。


一覧表示キー①で、ファイルのリストの一覧表示のレイアウトを変更できます。

※ 一覧表示キー【A】 が選択されている場合、ファイルが 2 列で表示され、1 ページに 12 個のファイルが表示できます。

※ 一覧表示キー【B】 が選択されている場合、ファイルが 1 列で表示され、1 ページに 6 個のファイルが表示できます。

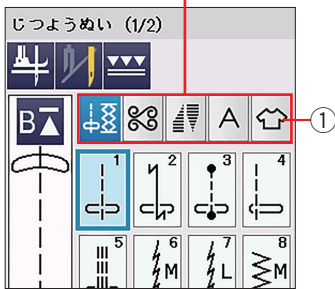
ファイル名が最大 2 行で表示されるので、パソコンなどで付けた長いファイル名を表示するときに便利です。

USB メモリから呼び出す場合

USB メモリに保存されている模様データを呼び出す場合、ミシン右側の USB 差し込み口に USB メモリを差し込み、「ファイルを開く」画面の USB メモリ  を選びます。

※ データの呼び出し方法は、109 ページ【ミシンの内蔵メモリから呼び出す】と同じです。

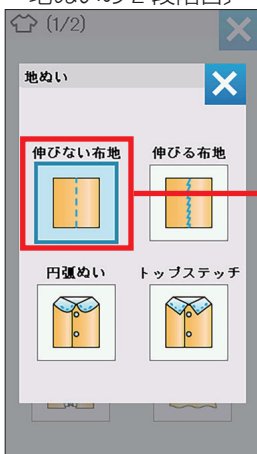
模様グループ選択キー



〔用途選択画面〕



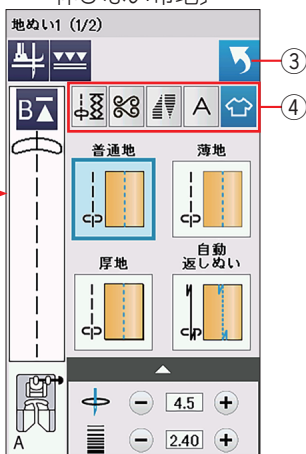
〔用途選択画面 / 地ぬいの2段階目〕



用途選択キー



〔模様選択画面 / 伸びない布地〕



◎用途ぬい

●用途ぬいの模様選択画面

模様グループ選択キーの用途ぬいキー①を押すと、ぬいの用途に適した模様が直接選べる用途選択画面になります。

用途選択画面は2ページ(画面)で構成されています。ページキー②でページを切りかえます。

「地ぬい」、「まつりぬい&シェルタック」、「ファスナー」、「キルティング」の項目は、2段階の用途選択画面で構成されています。

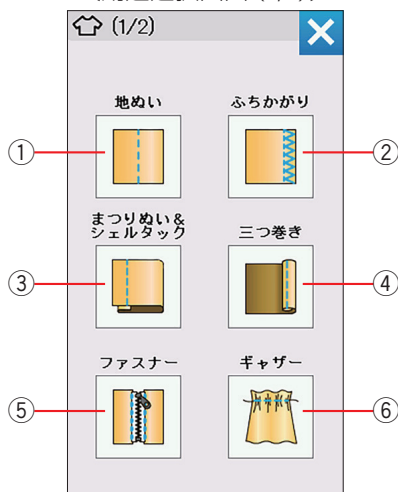
用途選択キーを2回押すと模様選択画面になります。

メモ：

- 模様選択画面のもどりキー③を押すと、1つ前の用途選択画面にもどります。
- 用途選択のぬいが終わって、他の模様グループを選ぶ場合、模様選択画面の模様グループ選択キー④で目的の模様グループを選んでください。

※ 用途選択によって選んだ模様を設定されている「ぬい目の幅・ぬい目のあかさ・糸調子」などの値は、ぬいの用途に適した値になっています。

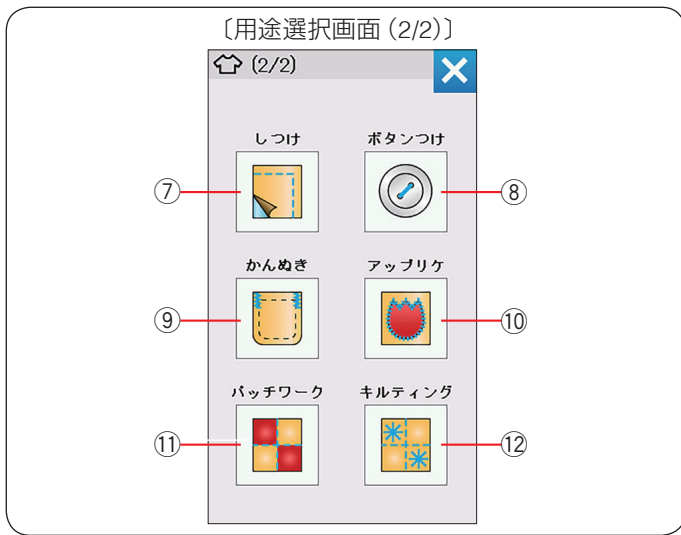
〔用途選択画面 (1/2)〕



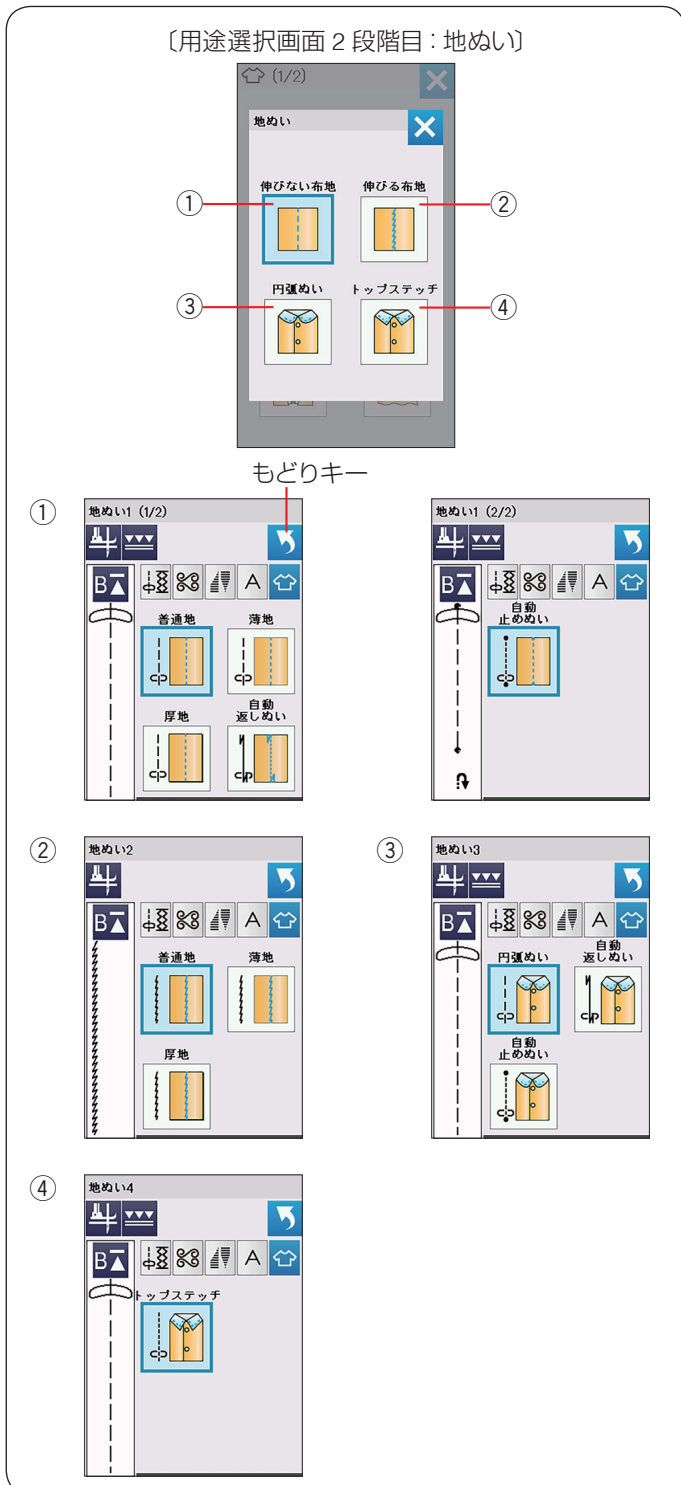
●用途ぬいの種類

以下12種類のぬいの用途に適した模様を選ぶことができます。


- ① 地ぬい
- ② ふちかがり
- ③ まつりぬい & シェルタック
- ④ 三つ巻き
- ⑤ ファスナー
- ⑥ ギャザー



- ⑦ しつけ
- ⑧ ボタンつけ
- ⑨ かんぬき
- ⑩ アプリケ
- ⑪ パッチワーク
- ⑫ キルティング



● 地ぬい

 キーを押すと、4種類の用途選択画面になります。

4種類の中から目的のキーを押すと、それぞれの用途に適した模様選択画面になります。

① 伸びない布地 (地ぬい1)

デニム、ブロード、シーチング、ローンなどの伸びない生地に適した5種類の模様が選べます。

もどりキーを押すと、1つ前の用途選択画面にもどります。

② 伸びる布地 (地ぬい2)

ジャージー、ニット、トリコットなど伸縮する布地に適した3種類の模様が選べます。

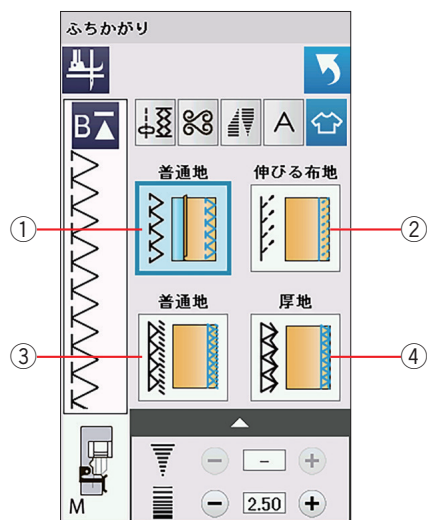
③ 円弧ぬい (地ぬい3)

円弧ぬい (曲線のぬい合わせ) に適した3種類の模様が選べます。

④ トップステッチ (地ぬい4)

トップステッチに適した模様が選べます。

〔模様選択画面：ふちかがり〕



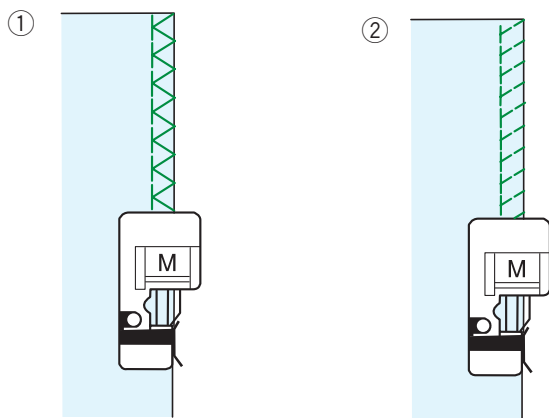
● ふちかがり

ふちかがり



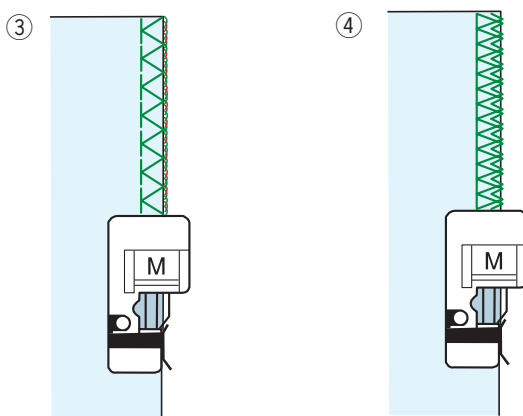
キーを押すと、以下4種類の模様が選択できます。

ぬい方は、55～56ページの「ふちかがりぬい」をごらんください。



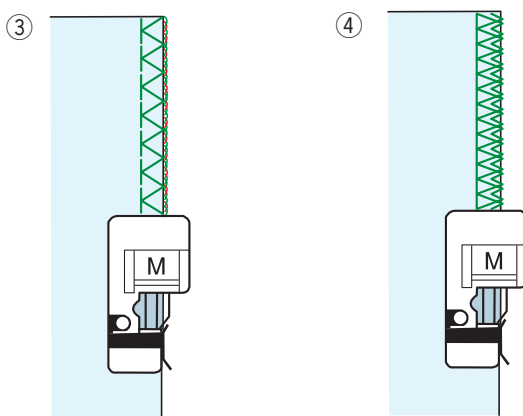
① 普通地

普通地、平織り2枚に適しています。
地ぬいをかねたかがりぬいで、たち目のほつれ止めに使用します。
ぬいしろを割る必要がない場合に使用してください。



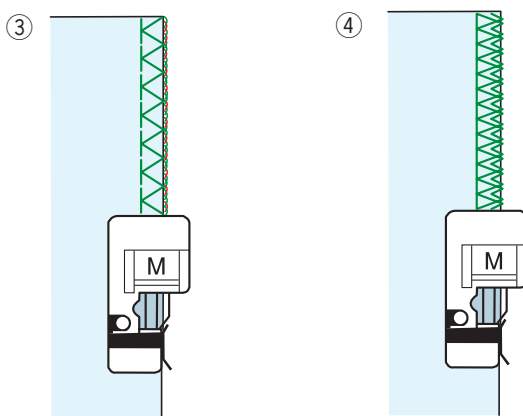
② 伸びる布地

伸縮性布地（ニット地など）のかがりぬいに使います。
基本押さえAを使用する場合、布から適切なぬいしろをとってぬったあと、切りそろえるとよりきれいに仕上がります。（55ページ参照）



③ 普通地

布端がほつれやすい布のたち目のほつれ止めに使用します。
オーバーロックのぬい目に似ています。



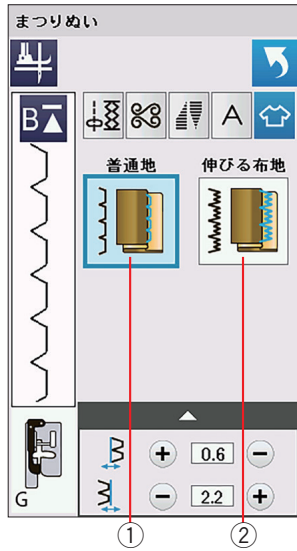
④ 厚地

普通の布や厚い布およびほつれやすい布のたち目のほつれ止めに使用します。

〔用途選択画面〕



〔模様選択画面：まつりぬい〕



● まつりぬい



キーを押し、「まつりぬい」キーを押すと2種類の用途選択画面になります。

以下の2種類のまつりぬいから選択できます。

① 普通地

デニム、ブロード、シーチング、ローンなどの伸びない普通布をまつります。

② 伸びる布地

ジャージー、ニット、トリコットなどの伸びる布地をまつります。

模様.....



押さえ ... まつりぬい押さえ G



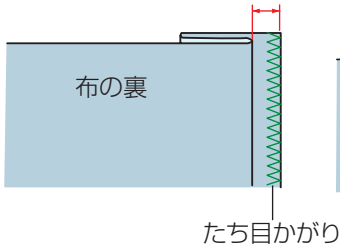
【ぬい方：模様  の例】

まつりぬい押さえ G を付けます。

①

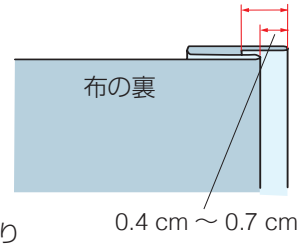
〈厚い布の場合〉

0.4 cm ~ 0.7 cm

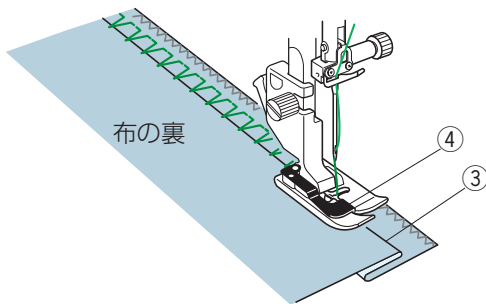


〈薄地～普通の布の場合〉

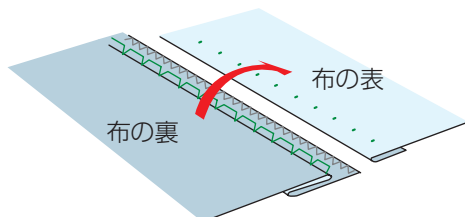
1 cm



②



③



① 図のように布を折ります。

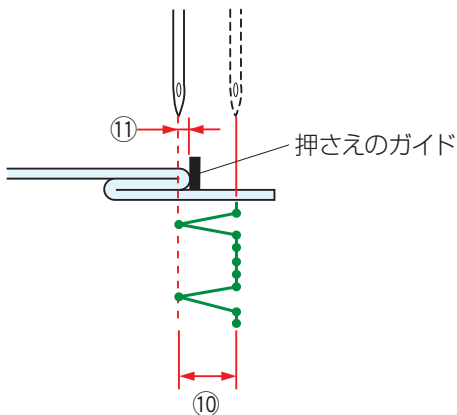
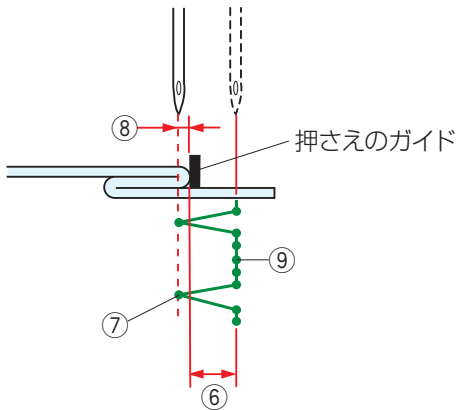
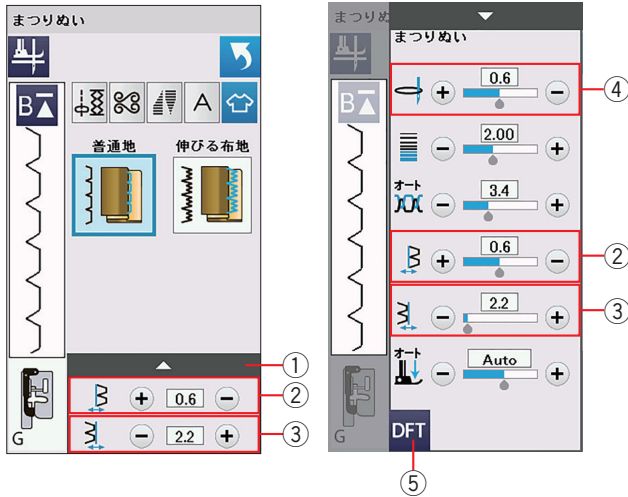
② 折り山③をガイド④に合わせてぬいます。

※ 針が折り山から外れない、また必要以上に針が折り山にかかりすぎないように、左針位置調整キーまたはぬい目の幅調整キーで左針位置（折り山側の針位置）を調整してください。
（115 ページ【針位置を調整する】参照）

③ ぬい終わったら布を表に広げます。

〔模様選択画面：まつりぬい〕

〔調整画面〕



【針位置を調整する】

左針位置調整キー②および右針位置調整キー③は、調整キー①を押して表示される調整画面にもあります。どちらを使用しても同じ設定ができます。調整画面の基本的な使い方は、40～42ページをご覧ください。

●左針位置の調整

- 左側の針位置（折り山側の針位置）⑦をかえます。右側の針位置は固定なので、左に模様の幅が変化します。
- 左針位置調整キー②の「+」キーを押すと左針位置が左へ移動、「-」キーを押すと右へ移動します。
- 画面の数値は、押さえのガイドから左針位置⑦までの距離⑧を表示しています。（単位：mm）

●右針位置の調整

- 右側の針位置⑨をかえます。左側の針位置は固定なので、右に模様の幅が変化します。
- 右針位置調整キー③の「+」キーを押すと右針位置が右へ移動、「-」キーを押すと左へ移動します。
- 画面の数値は、押さえのガイドから右針位置⑨までの距離⑥を表示しています。（単位：mm）

●模様の位置の調整（針位置調整）

- 模様の幅（2.8 mm）⑩をかえずに左側の針位置（折り山側の針位置）をかえます。
- 模様の位置調整キー④の「+」キーを押すと、針位置が左に移動します。（模様全体が左に移動）
- 模様の位置調整キー④の「-」キーを押すと、針位置が右に移動します。（模様全体が右に移動）
- 画面の数値は、押さえのガイドから左針位置までの距離⑪（折り山側の針位置）を表示しています。（単位：mm）

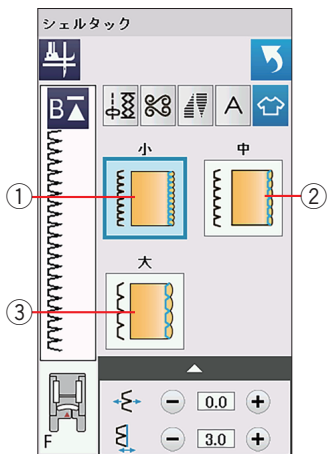
メモ：

変更した値をオート値（電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値）にもどす場合、調整画面の初期化キー⑤を押します。

〔用途選択画面〕



〔模様選択画面：シェルタック〕



● シェルタック



キーを押し、「シェルタック」キーを押すと、3種

類の用途選択画面になります。

以下の3種類のシェルタックから選択できます。

① 小

細いサイズのシェルタックです。

② 中

中くらいのサイズのシェルタックです。

③ 大

普通のサイズのシェルタックです。

【ぬい方：模様小の例】



トリコットなど、薄い布に使用します。

模様.....



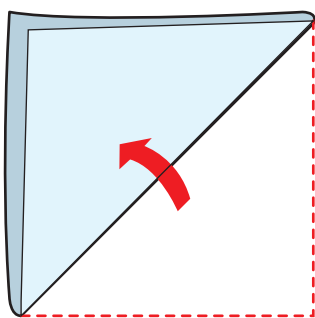
押さえ..... サテン押さえ F



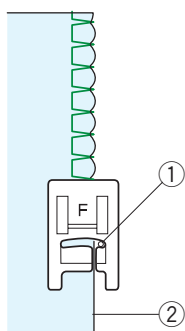
またはクラフト押さえ F2



①



②



① 布をバイヤスに2つ折りにします。

② 右の針位置①が布の折り山②のきわ（布の外側）に落ちるようにしてぬいます。

※ シェルタックをいくつか並べてぬう場合、最低 1.5 cm あいだをあけてください。

【シェルタックの位置を調整する】

模様位置調整キー②および右針位置調整キー③は、調整キー①を押して表示される調整画面にもあります。

どちらを使用しても同じ設定ができます。

調整画面の基本的な使い方は、40～42ページをご覧ください。

● 模様の位置の調整

模様の幅をかえず、模様のぬい位置を左右に移動させます。

● 模様位置調整キー②の「+」キーを押すとシェルタックが右へ移動、「-」キーを押すと左へ移動します。

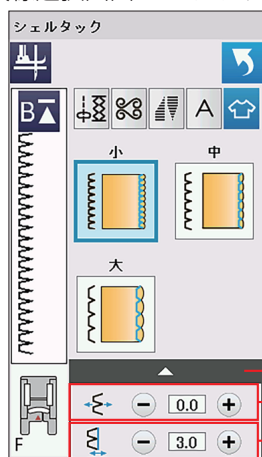
● 模様の幅の調整（右針位置調整）

右側の針位置をかえることができます。左側の針位置は固定なので、右に模様の幅が変化します。

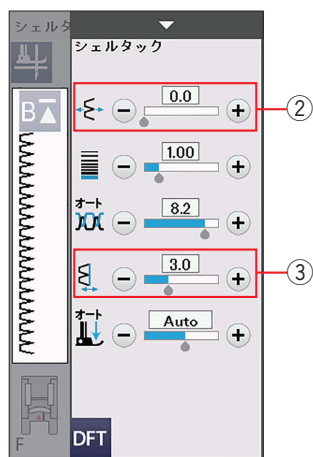
● 右針位置調整キー③の「+」キーを押すと右針位置が右へ移動し、シェルタックの幅が広くなります。

● 右針位置調整キー③の「-」キーを押すと左へ移動し、シェルタックの幅がせまくなります。

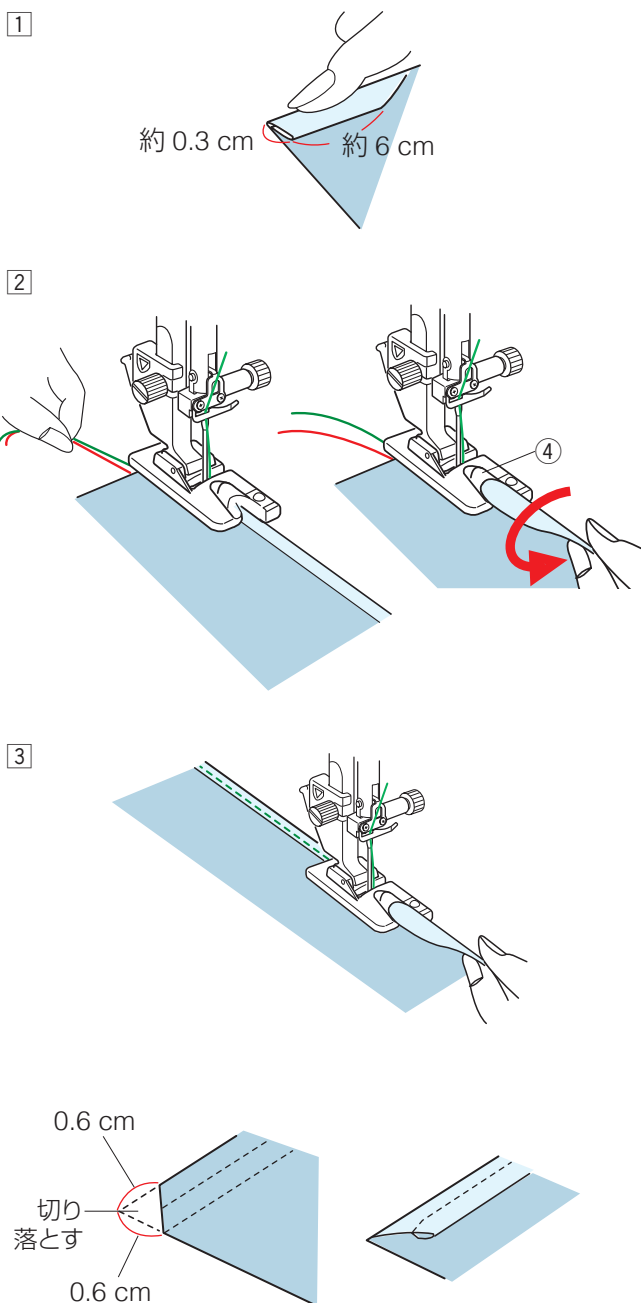
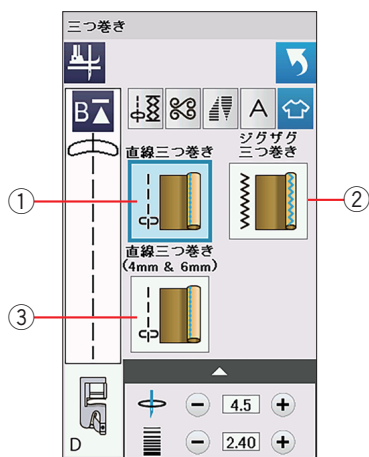
〔模様選択画面：シェルタック〕



〔調整画面〕



〔模様選択画面：三つ巻き〕



● 三つ巻きぬい



キーを押すと、以下の3種類の三つ巻きぬいから選択できます。

① 直線三つ巻き

直線で三つ巻きぬいをします。

② ジグザグ三つ巻き

細かいジグザグぬいで三つ巻きぬいをします。

③ 直線三つ巻き (4 mm & 6 mm)

別売り (オプション) の D1、D2 押さえを使用した三つ巻きぬいです。

【ぬい方：模様  の例】

① 三つ巻き押さえ D を付けます。

布端約 6 cm の長さを、約 0.3 cm の幅で三つ折りにします。

※ 折り目がつきにくい布は、アイロンで折り目をつけるとぬいやすくなります。

② ぬい始めの位置に針をおろし押さえをさげます。

上糸を向こう側に引っ張りながら 1～2 cm ぬってミシンを止めます。

針が布にささった状態で押さえをあげ、布の三つ折りの部分を開いて、布端を押さえのうず④の中に巻き込みます。

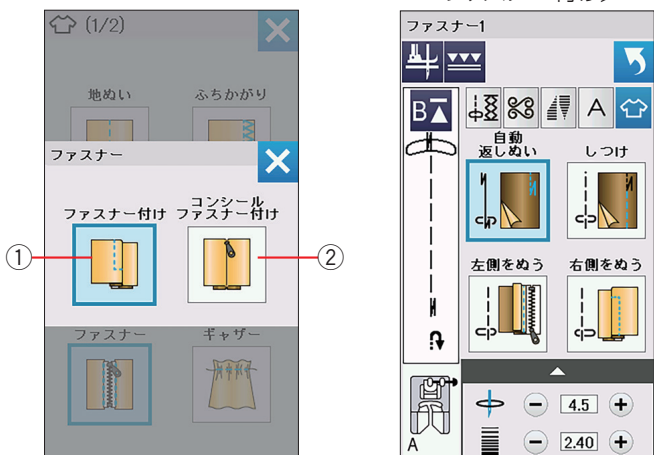
③ 押さえをさげ、布端を立てて、左寄りに引きぎみに持ちあげながらぬいます。

布端の始末

三つ巻きぬいの重なる角の部分は、厚みをうすくするため図のように布端を切り落として折り合わせます。

〔用途選択画面：ファスナー〕

〔模様選択画面 / ファスナー付け〕



● ファスナー付け

 キーを押すと、2種類の用途選択画面になります。

2種類の中から目的のキーを押すと、それぞれの用途に適した模様選択画面になります。

① ファスナー付け

ファスナー押さえ E を使用してファスナーを付けます。

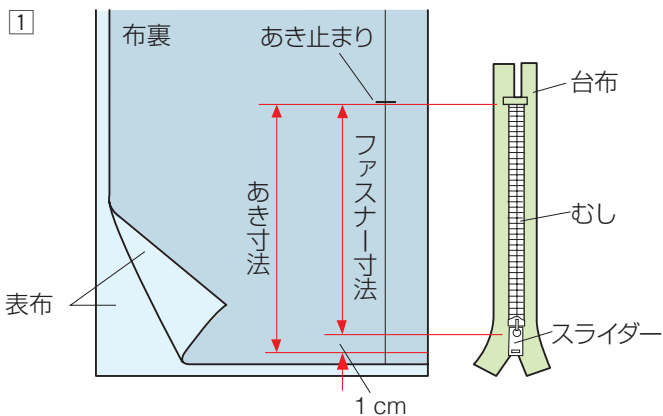
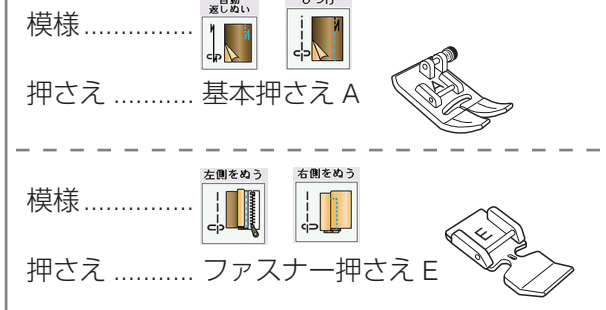
② コンシールファスナー付け

別売り（オプション）のコンシールファスナー押さえ Z を使用してファスナーを付けます。
(120 ~ 122 ページ参照)

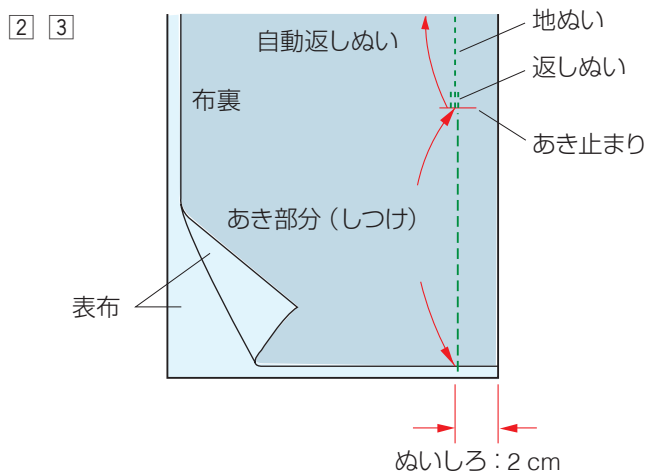
【ぬい方：左脇あきのぬい方例】


 キーを押して、模様選択画面を表示させます。


手順ごとにキーを押すと、手順に合わせて自動的にミシンの設定が変わります。




- ① ファスナーのあき寸法を確かめます。
あき寸法は、ファスナー寸法に 1 cm プラスした寸法です。



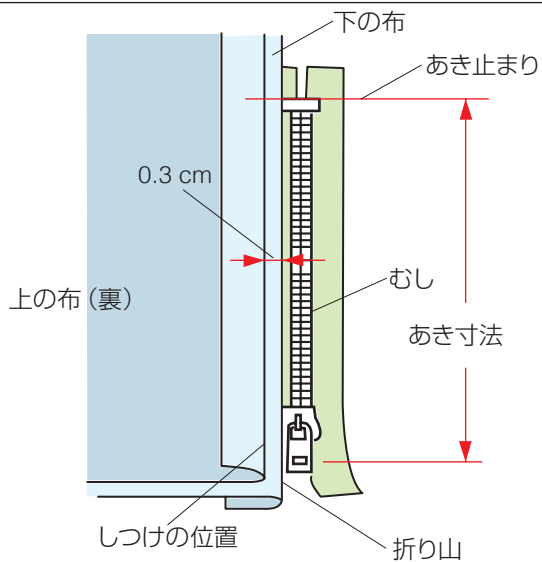
- ② 模様  を選び、基本押さえ A を付けます。布を中表に合わせ、2 cm のぬいしろであき止まりまで地ぬいをします。

※ 模様  は自動返しぬいです。

自動返しぬいのぬい方は、48 ページをごらんください。

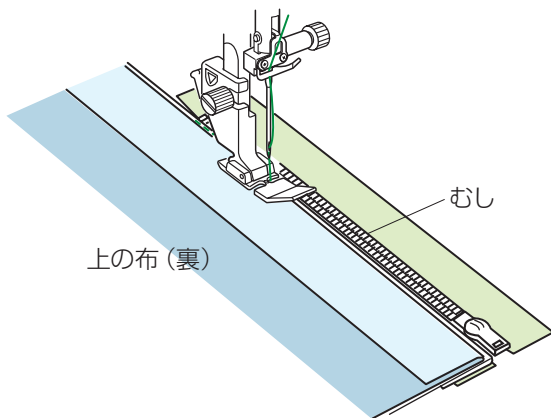
- ③ 模様  を選び、あき部分のしつけぬいをします。

4



4 めいしろを割り、下の布のめいしろを 0.3 cm 出してアイロンで折り目をつけ、折り山をむしのきわにあてます。

5

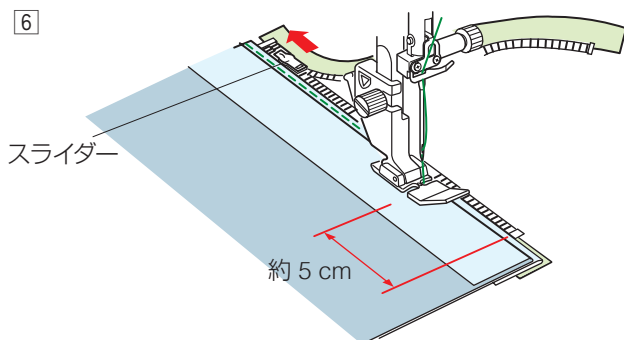


5 模様  を選び、ファスナー押さえ E を付けます。

むしのきわを押さえの右側面にあて、あき止まりからファスナーの左側をぬいます。

※ ぬい始めは数針返しぬいをします。

6

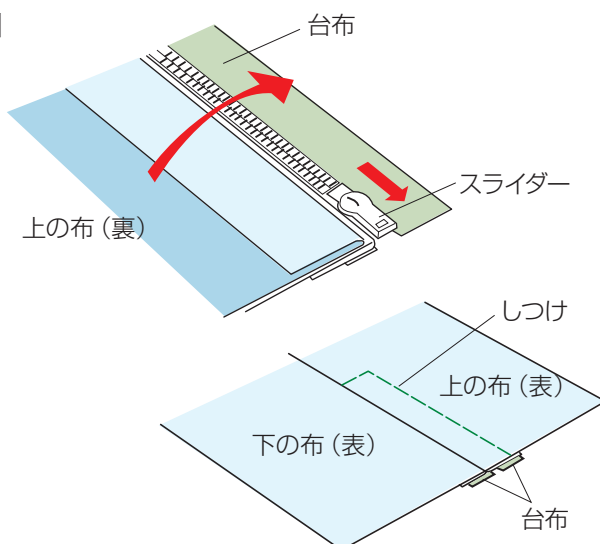


6 ファスナーの端から約 5 cm 手前でミシンを止めます。針を布にさした状態で押さえをあげ、スライダーを押さえの向こう側にずらしファスナーを開きます。

押さえをさげて残りの部分をぬいます。

※ ぬい終わりは数針返しぬいをします。

7

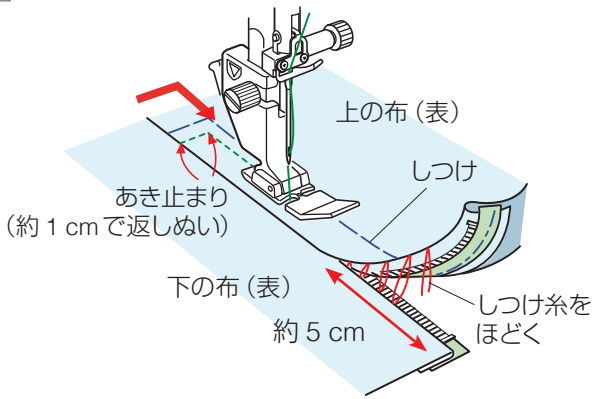


7 ファスナーを閉じ、スライダーを上になおし、上の布をファスナーの上にかぶせます。

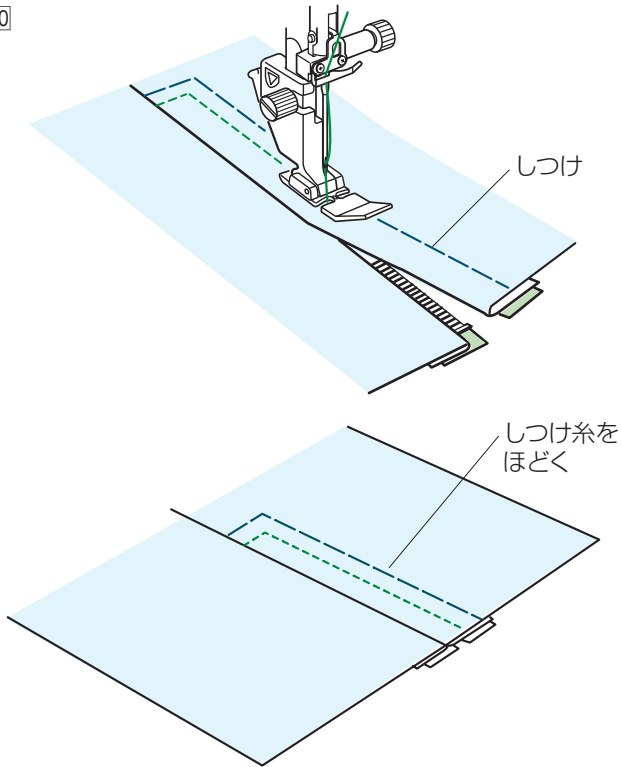
模様  を選び基本押さえ A を付けます。


かぶせた布と台布をしつけぬいで止めます。

8 9



10



8 模様  を選び、ファスナー押さえ E を付けます。

上の布のあき止まりを約 1 cm ほど返しぬいして、むしのきわを押さえの左側面にあて、ファスナーの右側をぬいます。

9 ファスナーの上側を 5 cm ほど残したところでミシンを止めます。

針を布にさした状態で押さえをあげ、手順 3 でぬったしつけぬいの糸をほどきます。

ファスナーを開き、スライダを押さえの向こうにずらします。

10 押さえをさげて残りの部分をぬいます。

ぬい終わったらしつけぬい糸をほどきます。

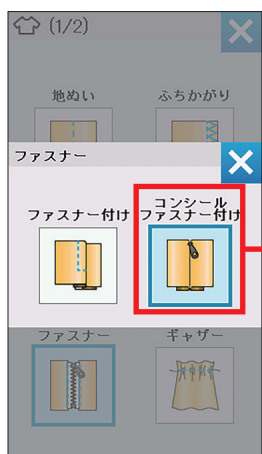
● コンシールファスナー付け (押さえオプション)



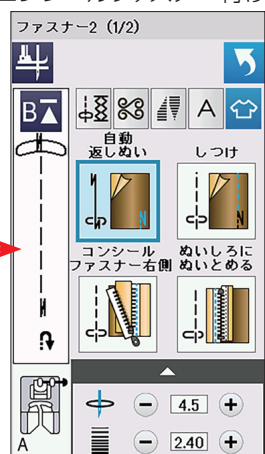
キーを押し、模様選択画面を表示させます。

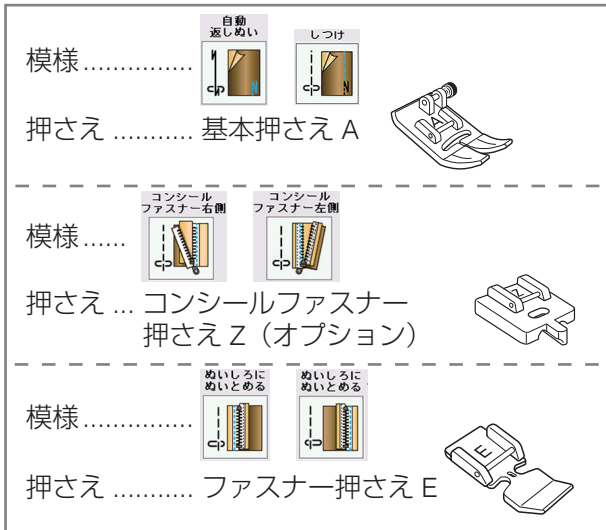
手順ごとにキーを押すと、手順に合わせて自動的にミシンの設定が変わります。

〔用途選択画面：ファスナー〕

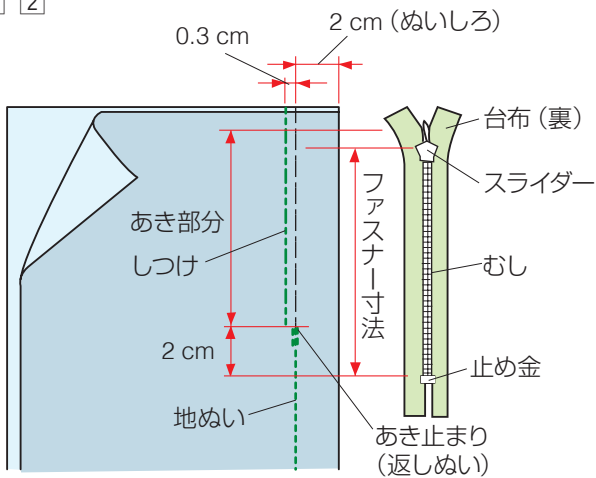


〔模様選択画面 / コンシールファスナー付け〕

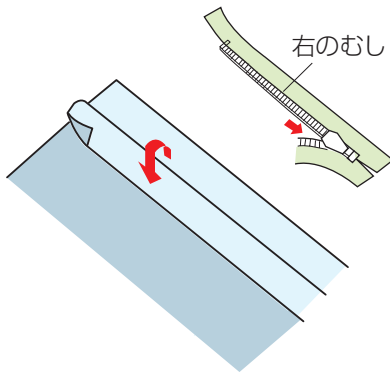




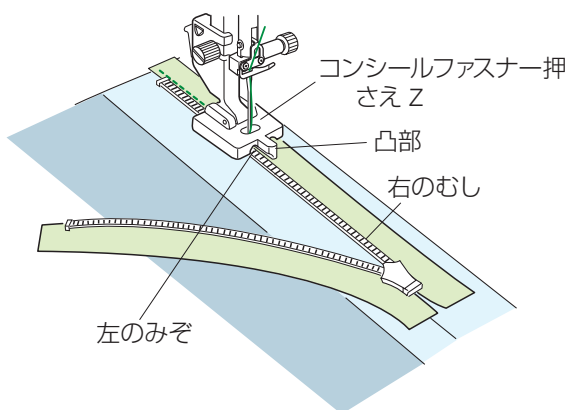
1 2



3




4




【ぬい方】


コンシールファスナーはあき寸法より 2 cm くらい長いものを準備します。

1 模様  を選び、基本押さえ A を付けます。


布を中表に合わせ 2 cm のめいしろで、あき止まり（返しぬい）まで地ぬいをします。

※ 模様  は自動返しぬいです。

自動返しぬいのぬい方は、48 ページをごらんください。

2 模様  を選び、あき部分を地ぬいから 0.3 cm 内側にしつけぬいをします。

3 めいしろの上側の布を身頃側へ折り返します。ファスナーを裏返しにセットし、ファスナーを開いて右のむしを折り山にあてておきます。

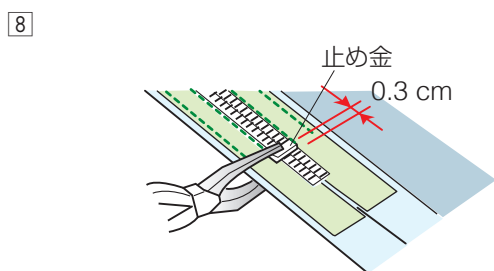
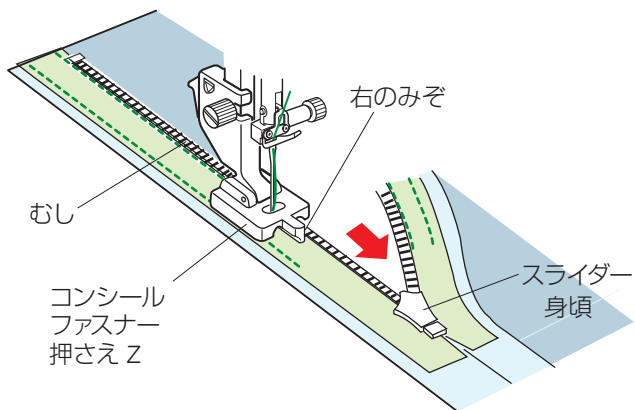
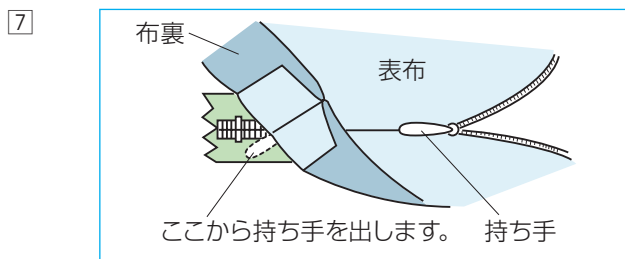
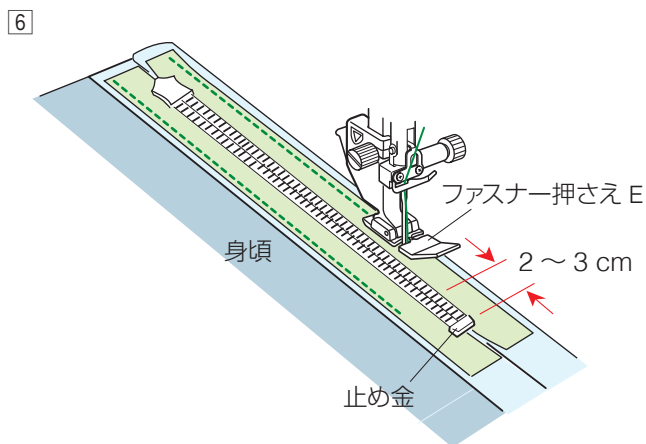
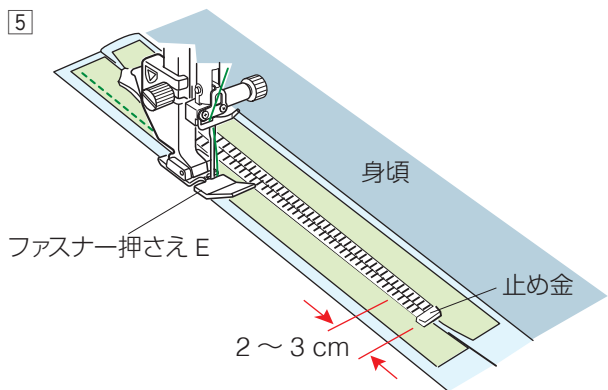
4 模様  を選び、コンシールファスナー押さえ Z

を付けます。


右のむしをたてて、押さえの左のみぞにむしが入るように押さえをさげます。

むしの部分を押さえの凸部にあてながら、あき止まりまでぬいます。

※ めい始め、めい終わりのほつれ止めは数針返しぬいをします。




⑤ 押さえをあげ、ファスナーを閉じます。

模様  を選び、コンシールファスナー押さえ Z

を外し、ファスナー押さえ E をセットします。

身頃を右側に折り返して、ぬいしろに左側の台布の端を止め金から 2～3 cm のところまでぬい付けます。

※ ぬい始め、ぬい終わりのほつれ止めは数針返しぬいをします。

⑥ 模様  を選び、身頃を左側に折り返して、ぬい

しろに右側の台布の端を止め金から 2～3 cm のところまでぬい付けます。

※ ぬい始め、ぬい終わりのほつれ止めは数針返しぬいをします。

⑦ 模様  を選び、コンシールファスナー押さえ Z

に付けかえます。

手順②でぬったしつけ糸をほどき、スライダーを止め金までおろします。

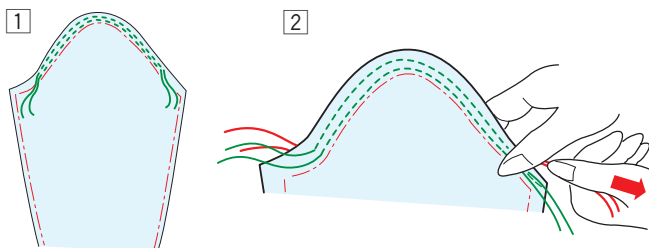
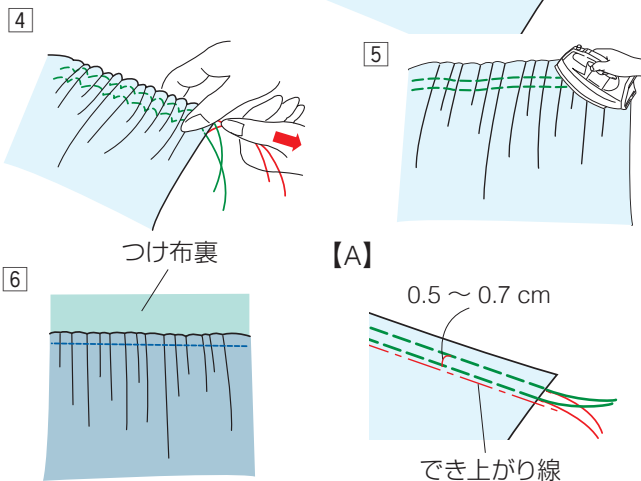
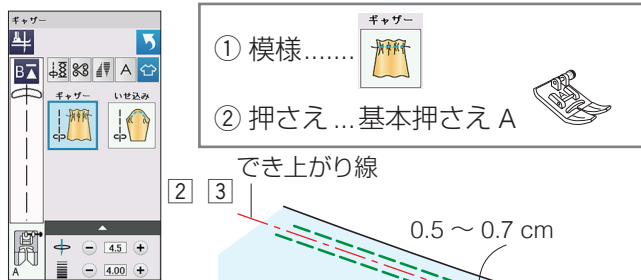
表から持ち手を布とファスナーのあいだに入れるとスライダーは止め金までさがります。

身頃を右側に折り返します。

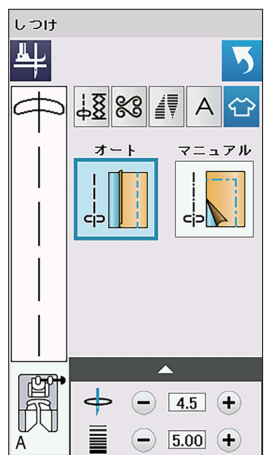
左のむしを立てて押さえの右のみぞに入れ、手順④と同じ方法でぬっていきます。

⑧ 止め金をファスナーのあき止まりの位置より 0.3 cm くらい上にペンチで固定します。

〔模様選択画面：ギャザー〕



〔模様選択画面：しつけ〕



● ギャザー



キーを押すと、ギャザーに適した2種類の模様が選択できます。

【ぬい方：ギャザー模様】の例

- ① 上糸と下糸を押さえの下から向こう側に約 10 cm ほど引き出しておきます。
※ 下糸を針板の上に引き出す方法は、37 ページ「下糸を針板の上に引き出す場合」をごらんください。
- ② 図のように、でき上がり線をはさんで、2 本平行にしつけをぬいます。
- ③ 押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸と下糸を 5 cm くらい残して切ります。
※ 糸切りボタンで切らないでください。
- ④ ぬい始めの糸を結んでから、ぬい終わりの下糸を 2 本一緒に引いて、布を縮め、糸を結びます。
- ⑤ ギャザーを整え、アイロンがけします。
- ⑥ ギャザーを布にぬい付けます。
じつようぬいの直線模様を選び、できあがり線をぬって、しつけを取ります。
※ しつけを取ったときの針穴が気になる場合は、でき上がり線の上側に 2 本しつけをして、ギャザーを寄せます。(左図【A】参照)

【ぬい方：模様】の例



上糸と下糸を押さえの下から向こう側に約 10 cm ほど引き出しておきます。

- ※ 下糸を針板の上に引き出す方法は、37 ページ「下糸を針板の上に引き出す場合」をごらんください。
- ① ぬいしろの部分に 0.5 ~ 0.7 cm の間かくで 2 本線を平行にぬいます。
 - ② 布を軽くつまみ、上糸をそのままにして下糸を両側から引き、まるみを付けます。
※ ひだがよらないように注意して糸を引いてください。

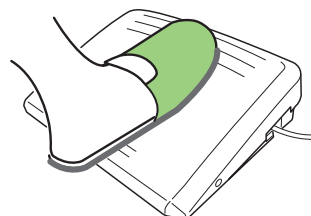
● しつけ

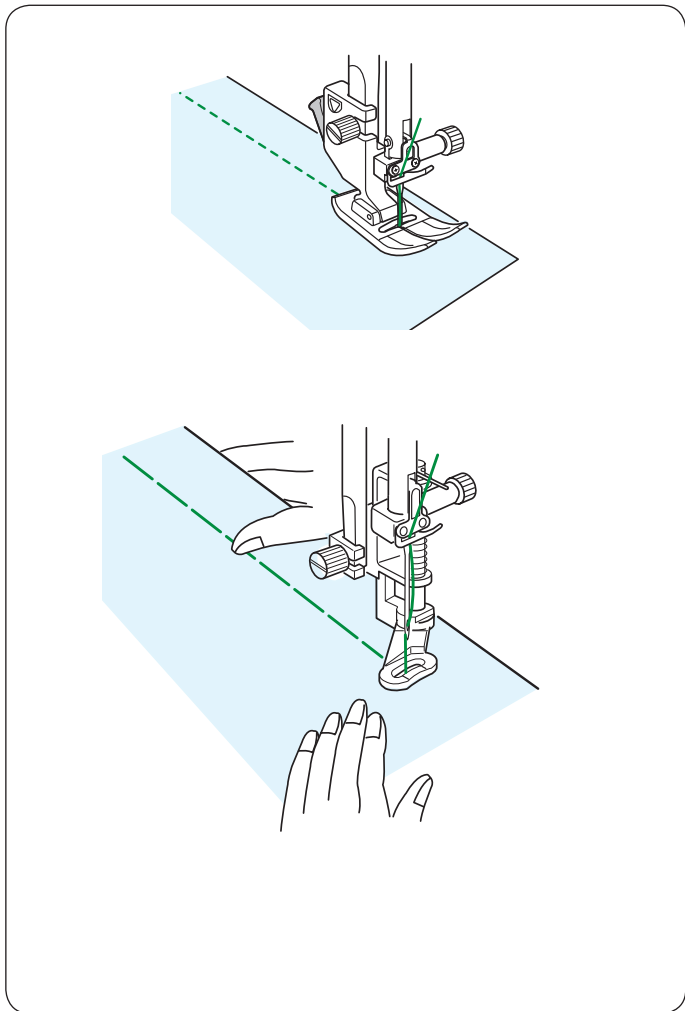


キーを押すと、しつけの模様選択画面になります。しつけに適した2種類の模様が選べます。

フットコントローラーの利用

しつけぬいは、フットコントローラーを使用すると両手が使えて便利です。
※ フットコントローラーは、モデルによってオプションになります。





オート

ファスナーの台布や衣服に使います。

ぬい目のあらかさが最大値（約 0.5 cm）の直線ぬいです。あとで糸をほどこきやすいように、糸調子が弱く設定されています。

マニュアル

ミシンをスタートさせても、布は送られずに 1 針ごとに停止します。1 針ずつ手で布を移動させてお好みの間かくでぬうことができます。

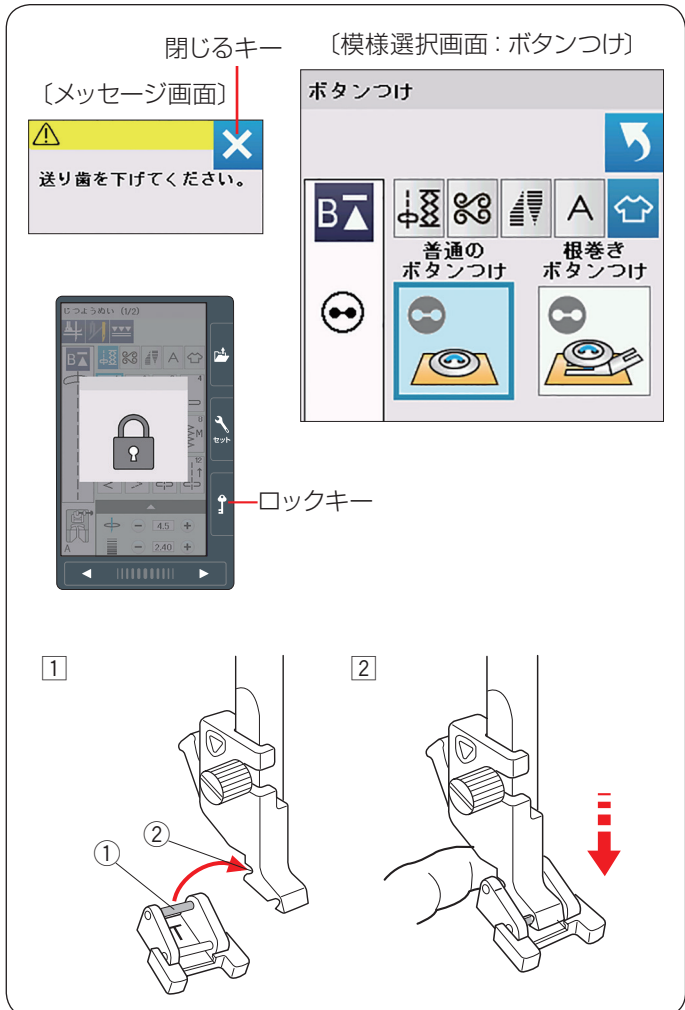
※ フットコントローラーを使用している場合も、踏み続けていても布は送られずに 1 針ごとに停止します。

【ぬい方】

フリーキルト押さえ PD-H またはフリーキルト押さえ PD-H（前あき）を取り付け（25 ページ参照）、送り歯をさげます。（31 ページ参照）

押さえ上下移動ボタンで押さえをさげ、布を前後にピンと張ってぬいます。

1 針ぬってミシンが停止したら、ぬい目をつまんで布を向こう側に必要な長さだけ引き出し、繰り返しぬいます。



● ボタンつけ



キーを押すと、ボタンつけの模様選択画面になります。

ボタンつけに適した 2 種類の模様が選択できます。

※ ボタンつけキーを押すと、「送り歯を下げてください。」のメッセージ画面が表示されます。送り歯をさげて、布送り機能がない状態でぬいます。（31 ページ参照）



注意

必ず針がボタンの左右の穴におりることを確認してください。ボタンに針があたると針が折れ、けがの原因となります。

【ボタンつけ押さえ T を取り付ける】

※ ロックキーを押してミシンをロックして押さえを交換します。

※ 押さえの交換方法は、22 ページをごらんください。

① 押さえのうしろのピン ① を、押さえホルダーのうしろのみぞ ② にかけます。

② 押さえのうしろを軽くささえながら押さえ上げをさげて取り付けます。

ロックキーを押し、ロックを解除します。

★ 普通のボタンつけのぬい方

模様.....



押さえ ボタンつけ押さえ T
 ※ 送り歯をさげる (31 ページ参照)

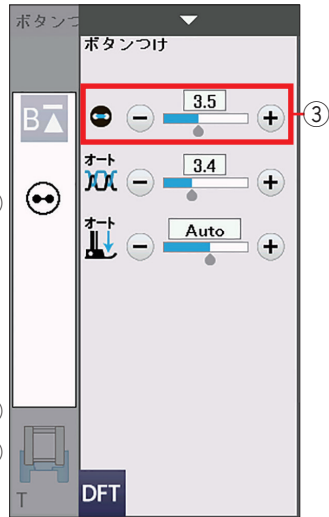


1 2

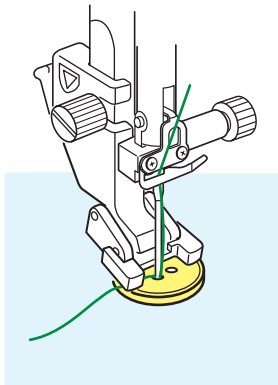
〔模様選択画面：ボタンつけ〕



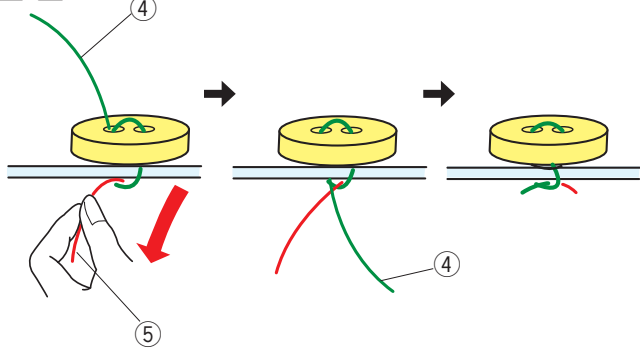
〔調整画面〕




3



4 5



模様  はぬいが終了すると自動的にミシンが停止し

ます。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。)

ボタンつけ押さえ T を取り付け (124 ページ参照)、送り歯をさげます。

1 「普通のボタンつけ」キー ① を押します。

2 ボタンの左右の穴の間かくをはかり、模様選択画面の間かく調整キー ③ で、画面の数値を間かくと同じ値に設定します。

最大 7.0 mm、0.5 mm 単位で調整できます。

※ 間かく調整キー ③ は、調整キー ② を押して表示される調整画面にもあります。どちらを使用しても同じ設定ができます。

3 ボタンを押さえの下へ置き、はずみ車を手で手前にまわしてボタンの左の穴に針をさします。

ボタンの左右の穴が真横になるようにして、押さえをさげます。

はずみ車を手で手前にまわし、針がボタンにあたらないうで、ボタンの右の穴に入ることを確認します。

※ 針がボタンにあたる場合、間かく調整キーで調整してください。(左側の針位置は固定で、右側の針位置が移動します。)

4 ミシンをスタートさせると、必要な針数をぬったあと自動的にミシンは停止します。

押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸と下糸を 10 ~ 20 cm 残して切ります。

※ 糸切りボタンで切らないでください。

5 ぬい始めの上糸と下糸をボタンのきわで、はさみで切ります。

ぬい終わりの上糸 ④ と下糸 ⑤ は、下糸 ⑤ を引いて上糸 ④ を布の裏側に引き出し、上糸と下糸を結んでから切ります。

模様.....



押さえ ボタンつけ押さえ T

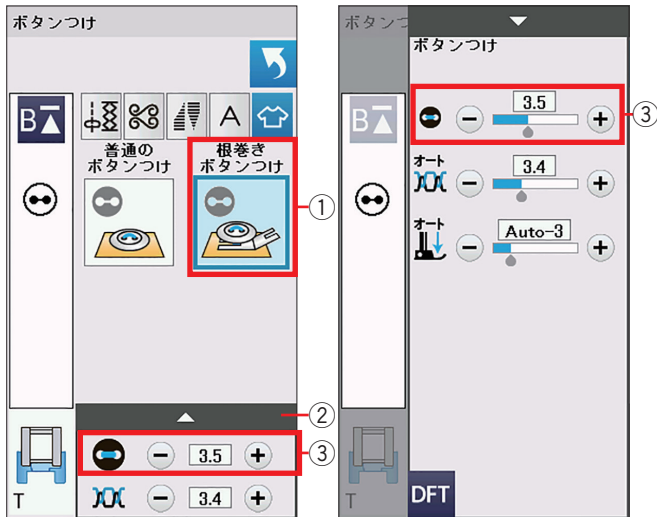
※ 送り歯をさげる (31 ページ参照)



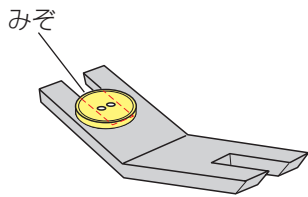
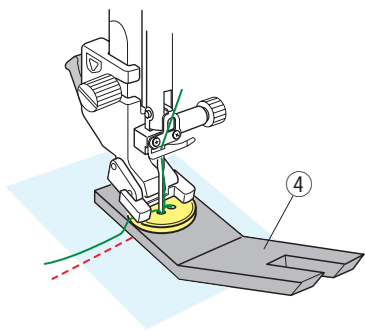
1 2

(模様選択画面：ボタンつけ)

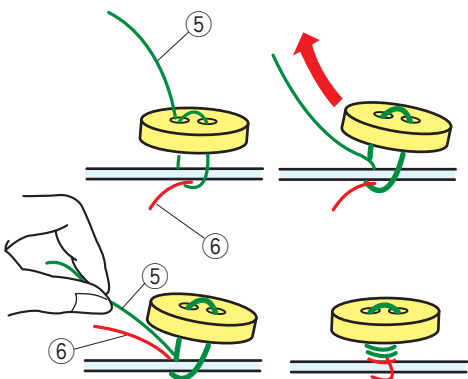
(調整画面)



3



4



★ 根巻きボタンつけのぬい方

根巻きボタンつけは、付属のボタンつけプレートを使用しています。

ボタンつけ押さえ T を取り付け (124 ページ参照)、送り歯をさげます。

1 「根巻きボタンつけ」キー ① を押します。

2 ボタンの左右の穴の間かくをはかり、模様選択画面の間かく調整キー ③ で、画面の数値を間かくと同じ値に設定します。

最大 7.0 mm、0.5 mm 単位で調整できます。

※ 間かく調整キー ③ は、調整キー ② を押して表示される調整画面にもあります。どちらを使用しても同じ設定ができます。

3 ボタンを押さえの下へ置き、はずみ車を手で手前にまわしてボタンの左の穴に針をさします。ボタンの下へボタンつけプレート ④ を差し込み、ボタンの左右の穴が真横になるようにして、押さえをさげます。

※ ボタンつけプレートはみぞの部分がボタン穴の下になるように差し込みます。

※ ボタンつけプレートは、厚い方が 4.5 mm、うすい方が 3 mm になっています。用途に合わせて選んでください。

はずみ車を手前にまわして針を右側に移動させます。間かく調整キー ③ (「+」もしくは「-」ボタン) で針がボタンの右穴に入るように調整します。

左側の針位置は固定で、右側の針位置が移動します。ボタンの左右の穴の間かくは最大 7.0 mm、0.5 mm 単位で調整できます。

ミシンが自動的に止まるまでぬいます。

押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸と下糸を 10 ~ 20 cm 残して切ります。

※ 糸切りボタンで切らないでください。

4 ぬい始めの上糸と下糸をボタンのきわで、はさみを使って切ります。

ぬい終わりの上糸 ⑤ と下糸 ⑥ は、上糸 ⑤ をボタンと布のあいだに引き出し、次にその上糸 ⑤ を引いて下糸 ⑥ をボタンと布のあいだに引き出します。

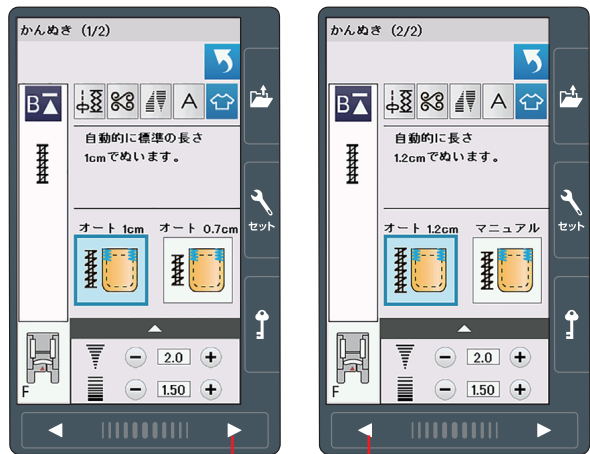
上糸と下糸を浮かせた足の部分にそれぞれ反対方向に数回巻き付けて結びます。

メモ：

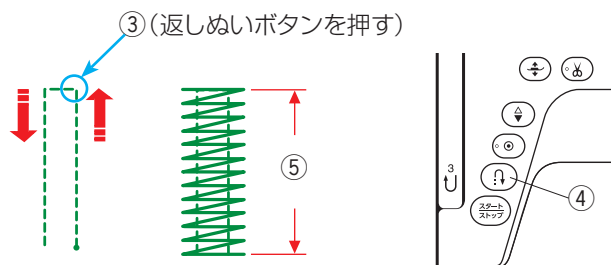
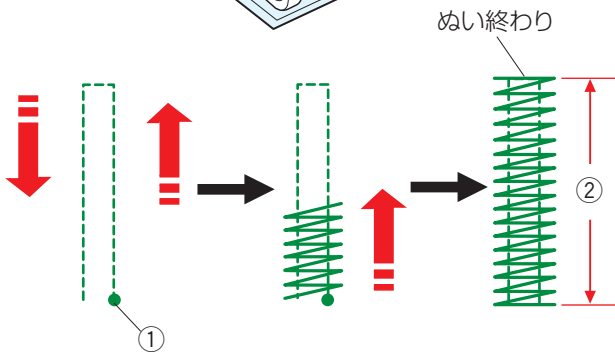
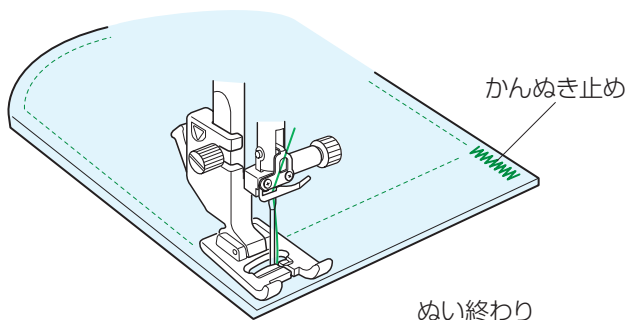
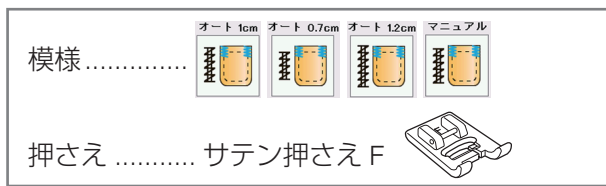
ボタンが厚すぎる場合、ボタンつけプレートは使用できません。

〔模様選択画面:かんぬき〕
(1/2 ページ)

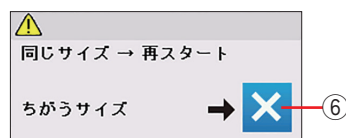
〔模様選択画面:かんぬき〕
(2/2 ページ)



ページキー



〔ぬい完了後のメッセージ画面〕



● かんぬき止め

かんぬき止めはポケットぐちなど、ぬい目に力がかかってほつれやすい部分などを補強します。

※ かんぬき止めは、模様が完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。
(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。)



キーを押すと、4種類(3種類のオートかんぬき止めとマニュアルかんぬき止め)の模様を選べます。ページキーで画面を切りかえ模様を選択します。

サテン押さえ F を取り付けます。

【自動かんぬき止め】

模様 は、かんぬき止めの長さがそれ

ぞれ 1 cm、0.7 cm、1.2 cm の固定値になっています。ぬい始めの位置 ① に針をおろし、ミシンをスタートさせます。

選択した長さ ② がぬわれ、終わると自動的に止まります。

【マニュアルかんぬき止め】

模様 は、お好みの長さ(最大 1.5 cm)のかんぬき止めができます。

ミシンをスタートさせ、必要な長さ ③ までぬい、返しぬいボタン ④ を押します。

これでかんぬき止めの長さ ⑤ が決まります。

ミシンが自動的に止まるまでぬいます。

メモ：

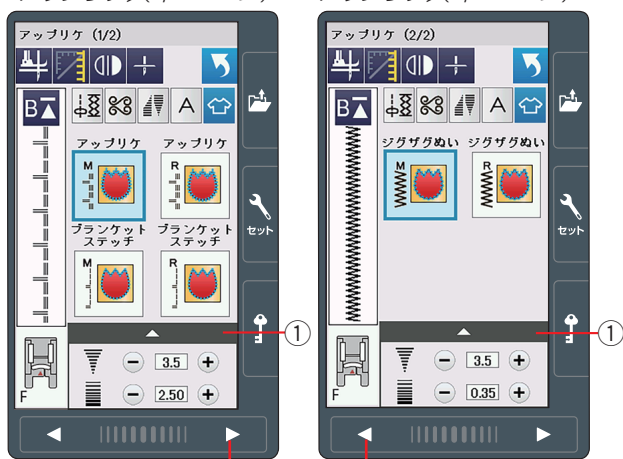
- マニュアルでぬえるかんぬき止めの長さは、最長 1.5 cm です。
- ぬい目の幅やあさは、調整画面のぬい目の幅調整キーとぬい目のあさ調整キーでかえることができます。(ぬい目のあさをかえると、自動でぬえる最大長さ「1.5 cm」もかわります。)

ぬい終わると、メッセージ画面が表示されます。ミシンはぬった長さ(サイズ)を記憶しています。

- 別の場所に同じ長さのかんぬきをぬう場合、この画面の状態のまま布の位置をかえてミシンをスタートさせます。返しぬいボタンを押さなくても同じ長さのかんぬきを自動的にぬってミシンは停止します。
- 違うサイズでぬう場合、閉じるキー ⑥ を押してメッセージ画面を消すと、記憶している長さは取り消されます。

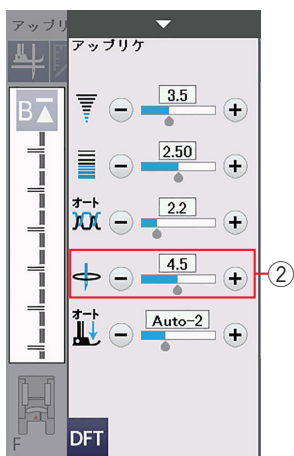
〔模様選択画面：
アップリケ〕(1/2 ページ)

〔模様選択画面：
アップリケ〕(2/2 ページ)



ページキー

〔調整画面〕



M

(中針位置基準)



針板の穴

R

(右針位置基準)



針板の穴

● アップリケ

アップリケ



キーを押すと、6種類の模様を選べます。

ページキーで画面を切りかえ模様を選択します。


アップリケの基準位置は、調整キー①を押して表示される調整画面の針位置調整キー②(「+」「-」キー)で調整できます。


ぬい幅は変わりません。


画面の模様選択キーに表示されている「M」、「R」は、ぬい目の幅をかえたときの基準位置です。

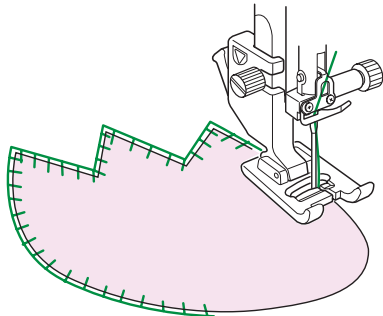
M: ぬい目の幅をかえたときに、中針位置(中央)を基準(固定)に左右に幅が変化します。

R: ぬい目の幅をかえたときに、右針位置を基準(固定)に左に幅が変化します。

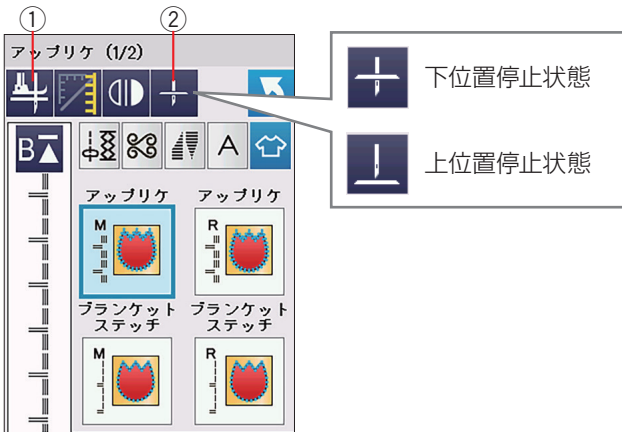
模様 

押さえ サテン押さえ F 

またはクラフト押さえ F2 

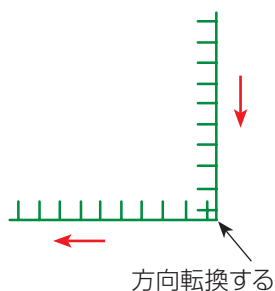
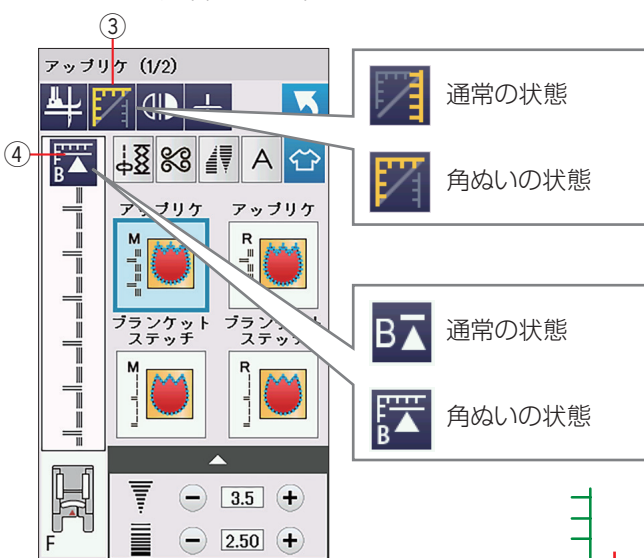


〔模様選択画面:
アップリケ〕 (1/2 ページ)



1 2 3

〔模様選択画面:
アップリケ〕 (1/2 ページ)



【ぬい方：模様 の例】

アップリケ布をのり付けするか、しつけで止めます。
模様の針位置が右のときに、アップリケ布の縁の外側に
針が落ちるようにぬいます。

アップリケのコーナーでの回転

カーブのところや方向転換するところでは、アップリケ
布の外側に針がささった位置でミシンを停止し、針をさ
したまま押さえをあげて方向をかえるときれいに仕上がり
ます。

※ ピボットぬい設定キー ① を押してピボットぬい設定
をオンにすると便利です。(42 ページ参照)

メモ：

アップリケの外側に針を落としたときにミシンを止め
てください。

【針停止位置切りかえキーの使い方】

セットキーによるミシンの設定で、針停止位置の設定が
「上位置停止」に設定されていても、用途選択の6種類の
アップリケ模様を選択すると、ミシンが停止したときの
針位置は下位置になります。

ミシンを停止したときの針位置を上にした場合、模様
選択画面の針停止位置切りかえキー ② を押して「上位置
停止」状態にしてください。

※ ミシン設定の「針停止位置」は 148 ページをごらん
ください。

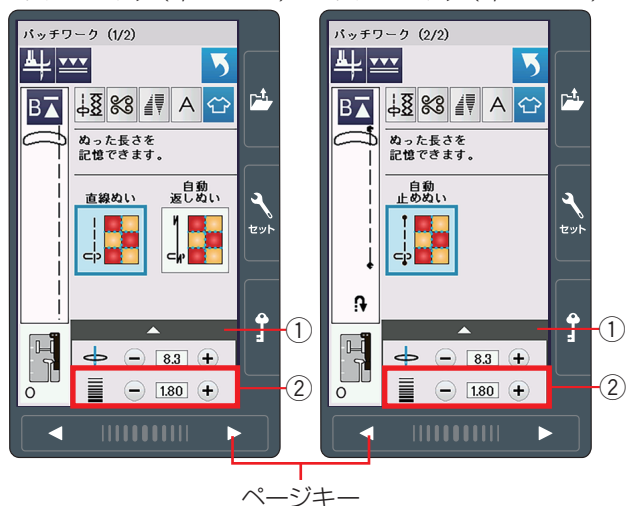
【角ぬいキーの使い方】

模様選択画面の角ぬいキー ③ を利用すると、角の部分で
方向転換してから模様頭出しキー ④ によって模様を最初
からぬっても、模様のぬい始めにほつれ止めの止めぬい
が入らないので、模様をきれいにぬうことができます。

※ 模様頭出しキーの使い方は 97 ページをごらんくだ
さい。

- ① 角ぬいキー ③ を押し、角ぬいの状態にします。
(角ぬいの状態にすると、模様頭出しキー ④ の表示も
角ぬい状態の表示にかわります。)
- ② 方向転換するところのアップリケ布の外側に針がさ
さった位置でミシンを停止します。
- ③ 針をさしたまま押さえをあげて布の方向をかえ、模様
頭出しキー ④ を押してからミシンをスタートさせま
す。

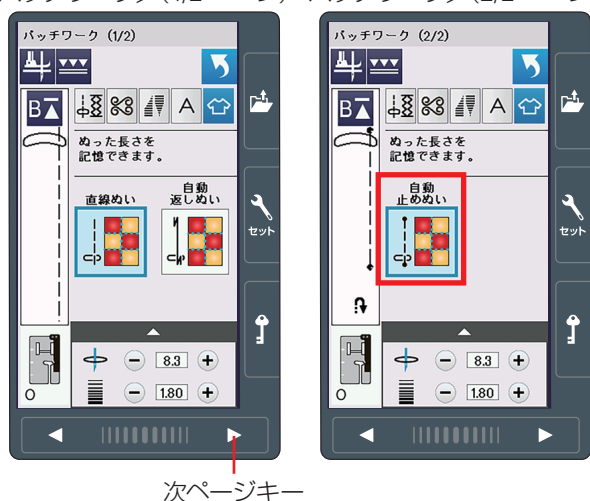
〔模様選択画面：パッチワーク〕 (1/2 ページ) 〔模様選択画面：パッチワーク〕 (2/2 ページ)



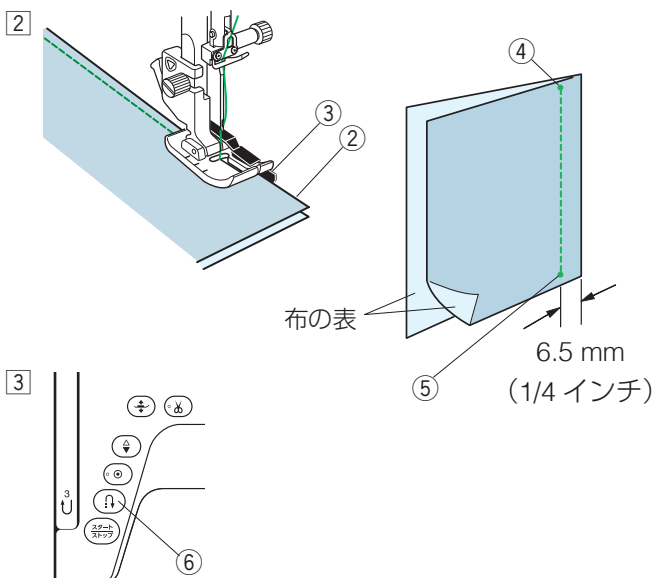
ページキー



① 〔模様選択画面：パッチワーク〕 (1/2 ページ) 〔模様選択画面：パッチワーク〕 (2/2 ページ)



次ページキー



● パッチワーク



パッチワークのピーシング (ぬい合わせ)

キーを押すと、パッチワーク (ピーシング) に適した 3 種類の模様が選べます。ページキーで画面を切りかえ模様を選択します。

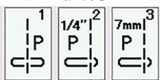
ぬい目のあらかさはパッチワークのぬい合わせに最適な 1.8 mm に設定されていますが、ぬい目のあらかさ調整キー② (「+」, 「-」キー) で変更できます。また調整キー①を押して表示される調整画面でも変更できます。どちらを使用しても同じ設定ができます。


メモ：


• 3 種類の模様は、パッチワーク押さえ O を使い、6.5 mm (1/4 インチ) のぬいしろを正確にぬうことができます。

• 、 の模様はぬい始めと終わりに返しめ

いおよび止めぬいを行います。(48 ページ参照)

• ピーシング用の模様は、キルトグループにもあります。(模様 )

• キルト模様  は、パッチワーク押さえ O を使うと、1/4 インチのぬいしろを正確にぬうことができます。

• キルト模様  は、パッチワーク押さえ O を使うと、7 mm のぬいしろを正確にぬうことができます。

• 直線ぬい用針板を使用すると、針が布にささるときのはたつきがおさえられ、ぬい目が美しく仕上がります。

【ぬい方：模様 の例】

パッチワーク押さえ O を付けます。

① パッチワークの模様選択画面をひらき、次ページキーで 2/2 ページを表示します。

「自動止めぬい」模様が選択されます。

② 布を中表に合わせ、布を押さえの下へ置き、布端②をガイド③に沿わせてぬいます。ぬい始めの位置④からミシンをスタートさせ、ぬい終わりの位置⑤でミシンを停止します。

③ 返しめいボタン⑥を一度押します。その位置でほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

4

〔ぬい完了後のメッセージ画面〕



5

〔ぬい完了後のメッセージ画面〕



4 ミシンを止めると、画面にメッセージが表示されます。OK キー ⑦ を押します。

ぬった長さ（サイズ）が記憶され、ミシンをスタートさせるだけで、返しぬいボタンを押さなくても同じ長さを自動的にぬってミシンは停止します。

違うサイズでぬう場合、閉じるキー ⑧ を押します。

5 記憶した長さでぬったあと、画面にメッセージが表示されます。

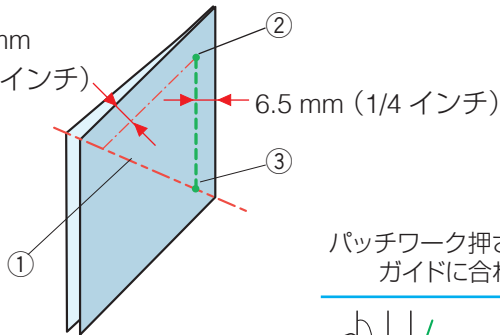
繰り返し同じ長さでぬう場合、ミシンをスタートさせます。

違うサイズでぬう場合、閉じるキー ⑨ を押します。

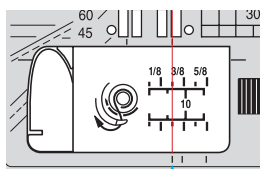
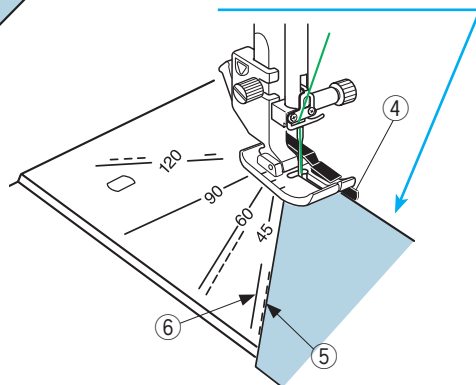
1 2 3

6.5 mm

(1/4 インチ)



パッチワーク押さえのガイドに合わせる




7

★ 針板角度目盛りの使い方

パッチワーク布（ピース）の角度と同じ角度目盛りに布端を合わせると、しるしなしで 6.5 mm（1/4 インチ）のぬい始めの位置を決めることができます。

例：レモンスター


パッチワーク押さえ 0 をセットし、用途選択のパッチワーク 3 種類の模様、またはキルトグループの模様  を選びます。

1 ピースの対角線 ① に折り目を付けます。

2 ぬい始め ② は、布端をパッチワーク押さえのガイド ④ および角度目盛り「45」度〈点線〉⑤ に合わせて布を置きます。

3 ぬい終わり ③ は対角線までぬいます。

メモ：

パッチワーク押さえ 0 を使わず基本押さえ A などを使用する場合、キルトグループの模様 （中針位置の直線）を選び、布端を針板の 1/4 インチガイドライン ⑦ および角度目盛り「45」度〈実線〉⑥ に合わせて布を置きます。

● キルティング

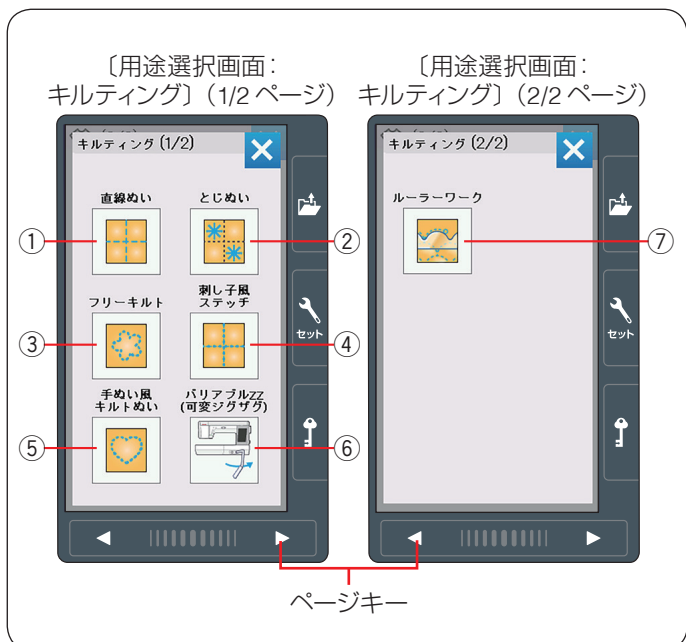
キルティング



キーを押すと、7種類の模様を選べます。

ページキーで画面を切り替え、模様を選びます。

- ① 直線ぬい
- ② とじぬい
- ③ フリーキルト
- ④ 刺し子風ステッチ
- ⑤ 手ぬい風キルトぬい
- ⑥ バリアブルZZ (可変ジグザグ)
- ⑦ ルーラーワーク



★ 直線ぬい (上送り押さえ使用)

ここで説明する直線ぬいは、上送り押さえを使用して、キルトをぬい合わせるのに適しています。

上送り押さえの取り付けは 24 ページ、基本押さえ A でキルティングガイドを使う場合は 83 ページをごらんください。

【上送り押さえ使用時のキルティングガイドの使い方】

キルティングガイドを使うと、前にぬったぬい目と平行に等間かくでぬうことができます。

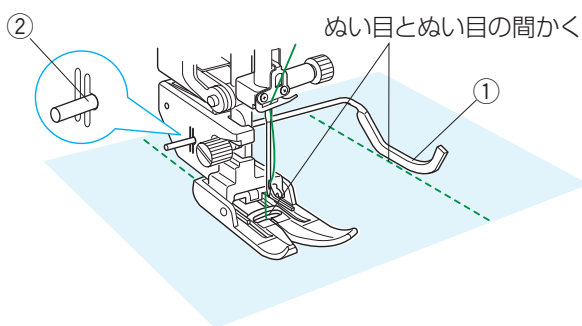
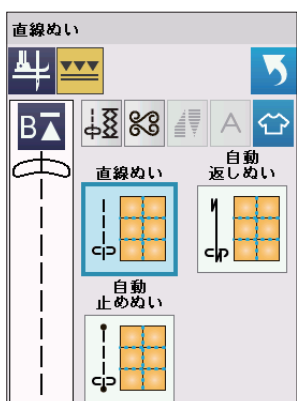
上送り押さえホルダーのうしろの取り付け穴 ② にキルティングガイド ① を差し込みます。

針位置とキルティングガイド ① のガイド部分までの距離がぬう間かくになります。

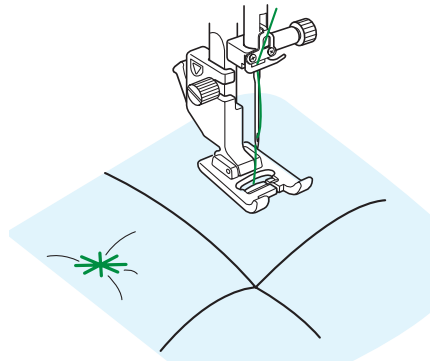
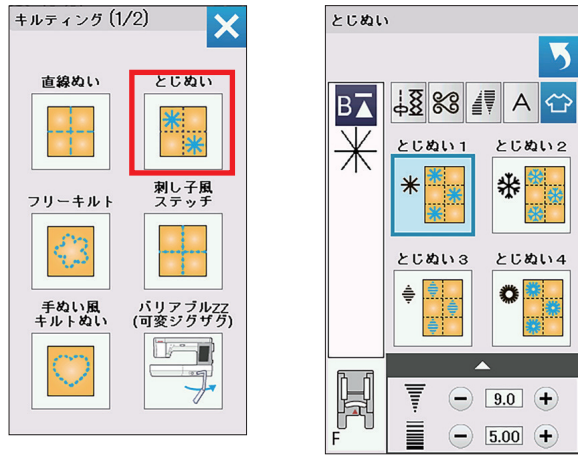
キルティングガイド ① をスライドさせて、お好みの距離に調整してください。

既にあるぬい目にキルティングガイドを沿わせながら平行な直線をぬいます。

〔模様選択画面：直線ぬい〕



〔用途選択画面：キルティング〕 〔模様選択画面：とじぬい〕



★ とじぬい

キルティングの用途選択画面の  キーを押すと、

4種類のとじぬい模様が選べます。

厚みのあるキルト綿をとじるときに使用します。

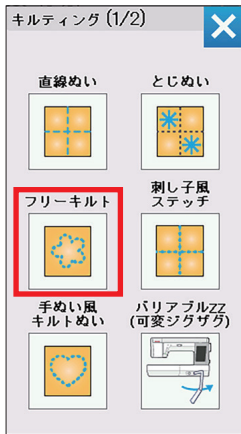
※ とじぬい模様は1つの模様が完成すると、ほつれ止めの止めぬいをしてミシンが自動的に停止します。

サテン押さえ F を使用します。

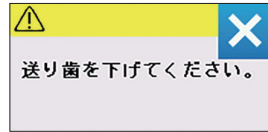
【ぬい方：模様 の例】

ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいます。

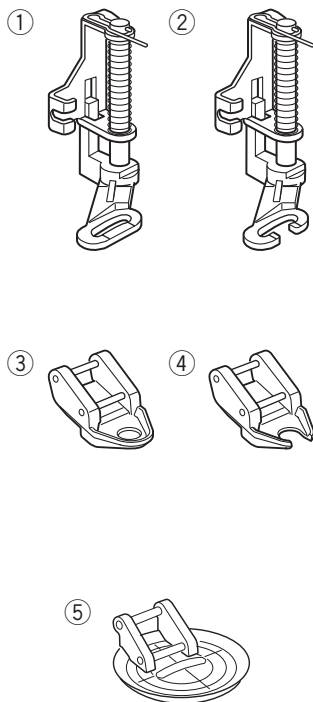
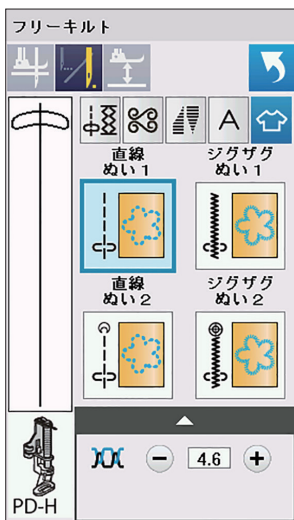
〔用途選択画面：フリーキルト〕




〔メッセージ画面〕




〔模様選択画面：フリーキルト〕






★ フリーキルト

キルティングの用途選択画面の  キーを押すと、4種類のフリーキルティング模様が選べます。

※ フリーキルトを選択すると、送り歯があがっている場合、メッセージ画面が表示されます。送り歯ドロップつまみで送り歯をさげてください。（31 ページ参照）

通常もしくは厚手のキルトの場合、模様  または

 を選択し、フリーキルト押さえ PD-H またはフリーキルト押さえ PD-H（前あき）を使用します。

平らなところをぬうキルトでは模様  または  を選択し、フリーキルト押さえ（QC、QO、QV）のいずれかを使用します。

メモ：

- フリーモーションでキルトをぬうときは目とびを防ぐため、パープル針を使用してください。
- フリーキルト押さえを使用するときは、布を前後に強く引っ張らないでください。針折れ、けが、故障の原因となります。

★ 各種フリーキルト押さえの特長

① フリーキルト押さえ PD-H

② フリーキルト押さえ PD-H（前あき）

直線模様、ジグザグ模様を使用します。普通地や厚手のキルトに使用する基本的な押さえです。

③ フリーキルト押さえ QC（丸穴）

④ フリーキルト押さえ QO（前あき）

直線模様を使用します。

フリーキルトの基本的な押さえです。

押さえ高さの調整ができ（138 ページ参照）、一定の高さでぬう押さえです。

⑤ フリーキルト押さえ QV（透明）

ジグザグ模様を使用します。

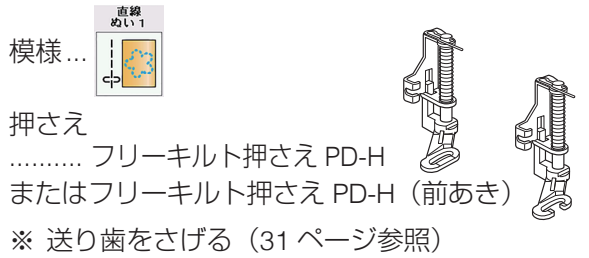
押さえ高さの調整ができ（138 ページ参照）、一定の高さでぬう押さえです。

手元が見やすく、安定して布を押さえるので、段差のある作品にも適しています。

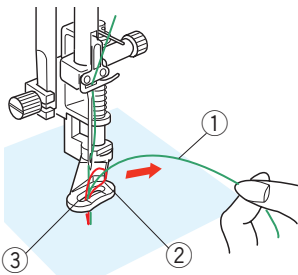
また、ガイド線があるので先にぬったラインにガイド線を合わせて、次のラインを均等にぬうことができます。

メモ：

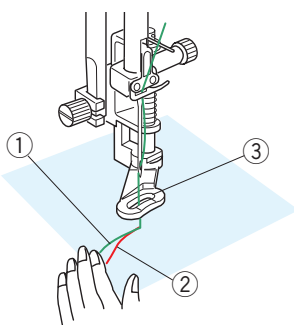
前あきの押さえは、手元が見えやすいので細かな作業に適しています。前あきではない押さえは、布のばたつきが押さえられ、安定してぬうことができます。



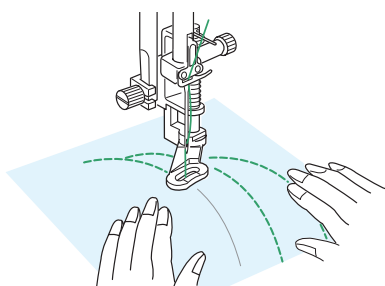
1 2 3



4



5



★ フリーキルト「直線ぬい1」のぬい方

両手で布を案内しながら中くらいのスピードでぬいます。
1 針あたり 3 mm 以上布を動かさないでください。
※ フリーキルト押さえ PD-H またはフリーキルト押さえ PD-H (前あき) の取り付けは、25 ページをごらんください。

- 1 布をセットし、上糸①の端を針から離れたところで持ちます。
上糸①は押さえの穴③に入れしないでください。
- 2 ミシンをスタートさせます。
ミシンは1針ぬって停止します。
- 3 上糸①を上へ引いて、下糸②を引き出します。
※ 下糸②を布の裏側でぬい込まないために、布の上へ下糸②を引き出します。
- 4 引き出した上糸①と下糸②を押さえの穴③から下へ通します。
布の上のぬい込まない位置に手で押さえます。

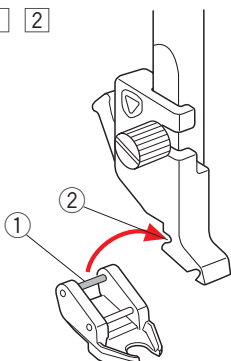
- 5 もう一度ミシンをスタートさせてぬい始めます。
図案に沿って両手で布を案内しながらキルティングします。

メモ：

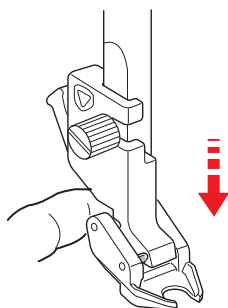
- フリーモーションでキルトをぬうときは目とびを防ぐため、パープル針を使用してください。
- フリーキルト押さえを使用するときは、布を前後に強く引っばらないでください。針折れ、けが、故障の原因となります。

フリーキルト押さえ QO (前あき) の例

1 2



3



★ フリーキルト押さえ QC (丸穴) / フリーキルト押さえ QO (前あき) / フリーキルト押さえ QV (透明) の取り付け方

※ イラストはフリーキルト押さえ QO (前あき) の例



注意

フリーキルト押さえの取り外し・取り付けは、必ずロックキーを押してミシンをロックして行ってください。
けがの原因となります。

- 1 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタンを押して針をあげます。
※ ロックキーを押してミシンをロックして押さえを交換します。
※ 押さえの交換方法は、22 ページをごらんください。
- 2 押さえのうしろのピン①を、押さえホルダーのうしろのみぞ②にかけます。
- 3 押さえのうしろを軽くささえながら押さえあげをさげて取り付けます。ロックキーを押し、ロックを解除します。
※ 取り外すときはミシンをロックし、押さえホルダーのレバーを押して、押さえを外します。

模様..



押さえ

..... フリーキルト押さえ QC (丸穴)

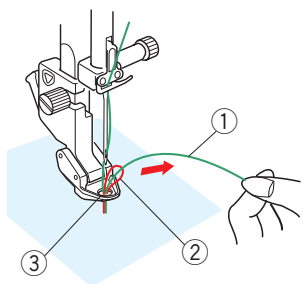


..... フリーキルト押さえ QO (前あき)

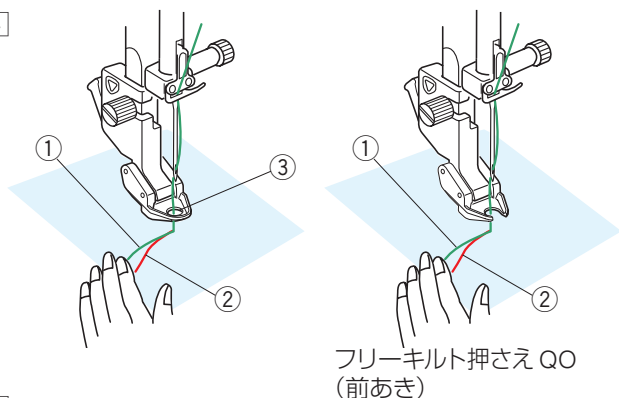


※ 送り歯をさげる (31 ページ参照)

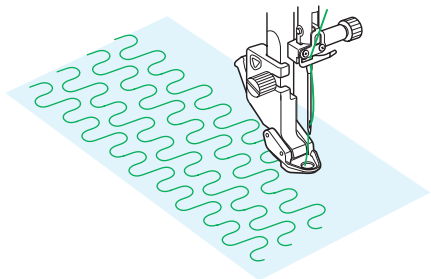
① ② ③



④



⑤



★ フリーキルト「直線ぬい2」のぬい方

両手で布を案内しながら中くらいのスピードでぬいます。

1 針あたり 3 mm 以上布を動かさないでください。

※ フリーキルト押さえ QC (丸穴) / フリーキルト押さえ QO (前あき) の取り付けは、135 ページをごらんください。

※ 布の種類や厚さによってはすきまがあいたり、強く押さえすぎたりすることがあります。その場合は押さえ高さの調整をしてください。(138 ページ参照)

① 布をセットし、上糸①の端を針から離れたところで持ちます。

上糸①は押さえの穴③に入れないでください。

② ミシンをスタートさせます。
ミシンは1針ぬって停止します。

③ 上糸①を上へ引いて、下糸②を引き出します。
※ 下糸②を布の裏側でぬい込まないために、布の上へ下糸②を引き出します。

④ 引き出した上糸①と下糸②を押さえの穴③から下へ通します。

布の上のぬい込まない位置に手で押さえます。

※ フリーキルト押さえ QO (前あき) は押さえの穴がないので、引き出した上糸と下糸を横にして、押さえおきます。

⑤ もう一度ミシンをスタートさせてぬい始めます。
図案に沿って両手で布を案内しながらキルティングします。

メモ：

- フリーモーションでキルトをぬうときは目とびを防ぐため、パープル針を使用してください。
- フリーキルト押さえを使用するときは、布を前後に強く引っばらないでください。針折れ、けが、故障の原因となります。

模様....



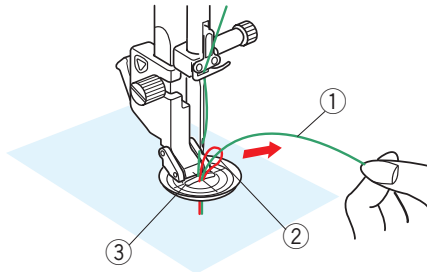
押さえ

.....フリーキルト押さえ QV (透明)

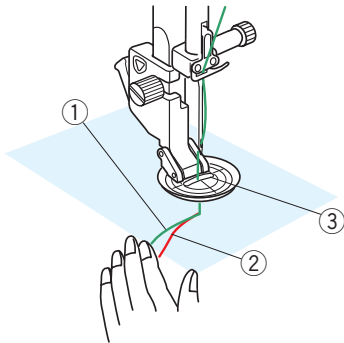


※ 送り歯をさげる (31 ページ参照)

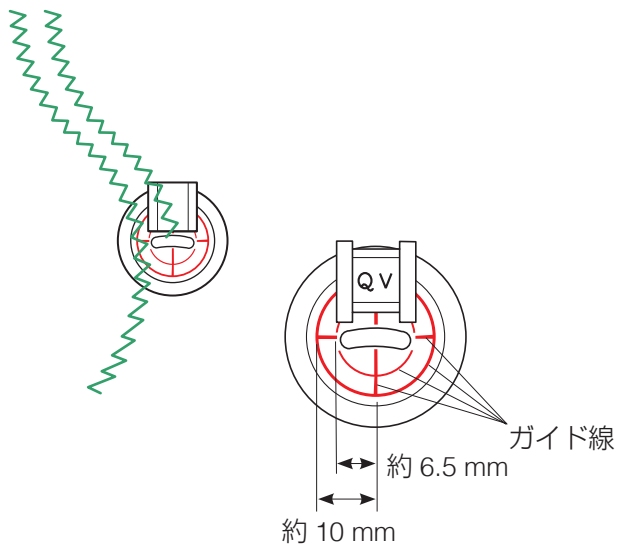
1 2 3



4



5



★ フリーキルト「ジグザグぬい2」のぬい方

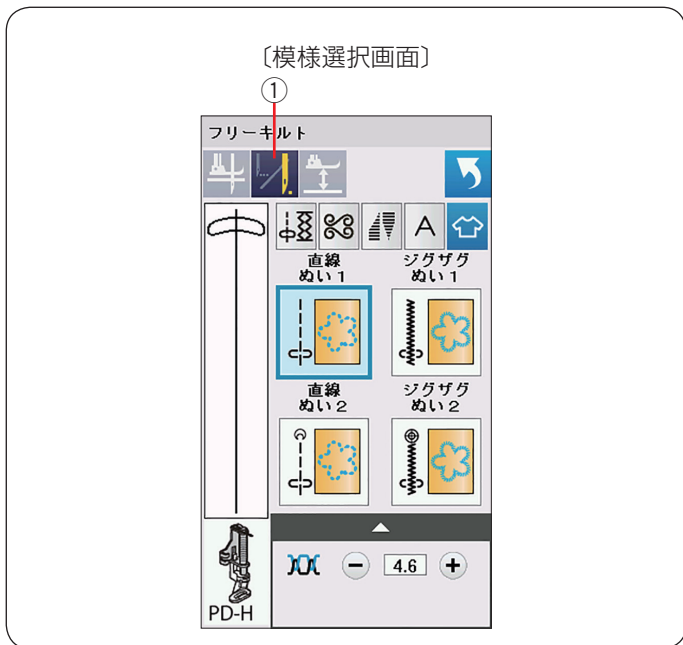
両手で布を案内しながら中くらいのスピードでぬいます。
1 針あたり 3 mm 以上布を動かさないでください。

- ※ フリーキルト押さえ QV (透明) の取り付けは、135 ページをごらんください。
- ※ 布の種類や厚さによってはすきまがあいたり、強く押さえすぎたりすることがあります。その場合は押さえ高さの調整をしてください。(138 ページ参照)


- 1 布をセットし、上糸①の端を針から離れたところで持ちます。
上糸①は押さえの穴③に入れしないでください。
- 2 ミシンをスタートさせます。
ミシンは1針ぬって停止します。
- 3 上糸①を上へ引いて、下糸②を引き出します。
※ 下糸②を布の裏側でぬい込まないために、布の上へ下糸②を引き出します。
- 4 引き出した上糸①と下糸②を押さえの穴③から下へ通します。
布の上のぬい込まない位置に手で押さえます。
- 5 もう一度ミシンをスタートさせてぬい始めます。
図案に沿って両手で布を案内しながら、ガイド線に合わせて等間かくにキルティングします。


メモ：

- フリーモーションでキルトをぬうときは目とびを防ぐため、パープル針を使用してください。
- フリーキルト押さえを使用するときは、布を前後に強く引っばらないでください。針折れ、けが、故障の原因となります。





★ 1針停止ぬい

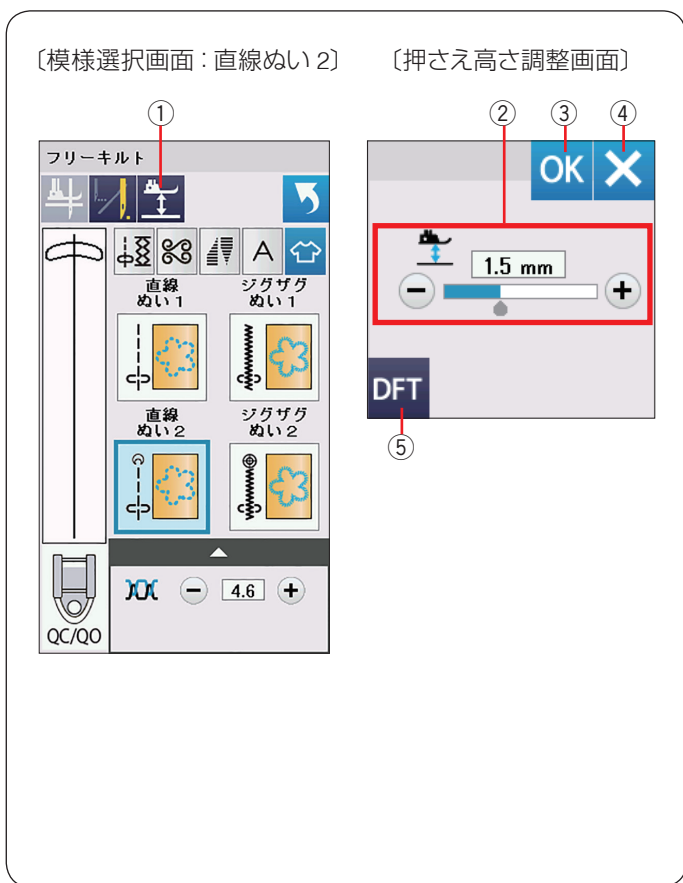
フリーキルティング模様を選んだ直後、模様選択画面の1針停止キーの表示はになっています。

ミシンは1針ぬって停止し、キーの表示がにかわります。

この表示の状態でミシンを再スタートさせると連続してぬいます。

最初から連続してぬいたい場合、1針停止キー①を押してキーの表示をにかえてください。

1針停止キーは、押すごとに2つの表示が切りかわります。フリーキルト模様をぬったあと、そのまま同じ模様を別の場所にぬう場合、ミシンをスタートさせてから自動的に1針ぬって停止したいときは、1針停止キーを押してキーの表示をにかえてください。



★ フリーキルト押さえ高さの調整

フリーキルト押さえ PD-H またはフリーキルト押さえ PD-H (前あき) は、ぬい中最適な押さえ高さ (押さえの下面が布に軽く触れる位置) に自動セットされます。

ただし、フリーキルト押さえ QC (丸穴)、フリーキルト押さえ QO (前あき)、フリーキルト押さえ QV (透明) は、布の種類や厚さによってはすきまがあいたり、強く押さえすぎたりすることがあります。その場合は押さえ高さの調整をしてください。

※ ぬっているときに布が弾む場合、押さえの高さをさげます。押さえが布に引っかかる場合、押さえの高さをあげます。

① 押さえの下に布をしき、押さえをさげます。

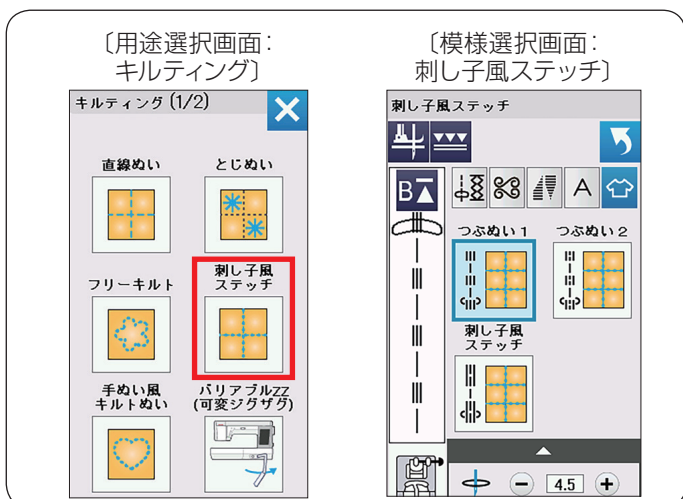
② 押さえ高さ調整キー①を押すと、押さえ高さ調整画面が表示されます。

※ 高さのオート値 (電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値) は、1.5 mm です。

③ 「+」もしくは「-」キー②を押し、OK キー③を押して設定を登録します。

メモ：

- 閉じるキー④を押すと設定は変更されず、前の画面にもどります。
- 変更した値をオート値にもどす場合、初期化キー⑤を押して、OK キーを押します。



★ 刺し子風ステッチ

キルティングの用途選択画面のキーを押すと、

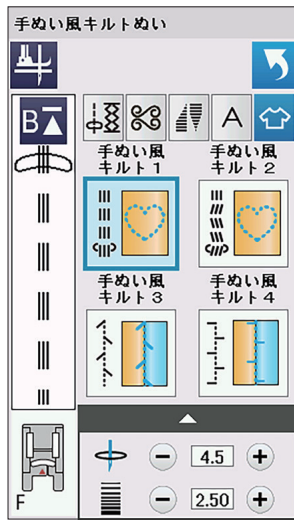
3種類の刺し子風ステッチの模様が選べます。

アウトラインを目立たせる為のステッチで、手ぬい風のキルトになります。

〔用途選択画面：
キルティング〕



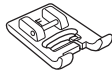
〔模様選択画面：
手ぬい風キルトぬい〕



模様.....



押さえ サテン押さえ F



★ 手ぬい風キルトぬい

キルティングの用途選択画面の  キーを押すと、

4種類の手ぬい風キルトぬいの模様が選べます。

※ 手ぬい風キルトぬいの模様は、キルトグループにもあ

ります。(模様 ) (77 ページ参照)

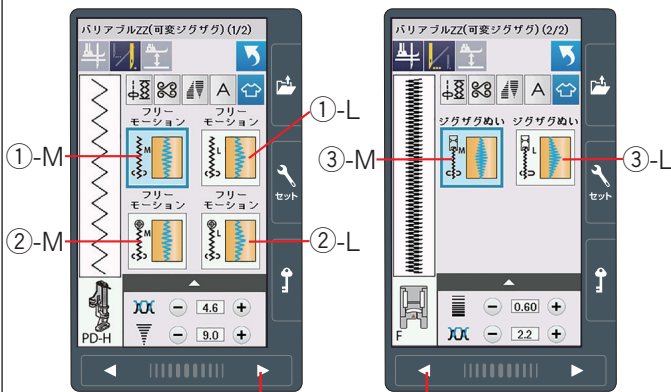
【ぬい方：模様 の例】

上糸に透明なナイロン糸を使用し、下糸には通常の糸を使用します。針は 14 ~ 16 番を使用します。

下糸が布表に引き出されて手ぬいのようなぬいになります。

〔模様選択画面：バリエブル ZZ〕 (1/2 ページ)

〔模様選択画面：バリエブル ZZ〕 (2/2 ページ)



ページキー

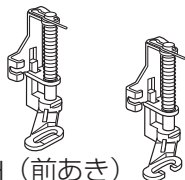
模様....



押さえ

..... フリーキルト押さえ PD-H
またはフリーキルト押さえ PD-H (前あき)

※ 送り歯をさげる (31 ページ参照)



★ バリエブル ZZ (可変ジグザグ)

キルティングの用途選択画面の  キーを押すと、

6種類の可変ジグザグぬいの模様が選べます。

ページキーで画面を切り替え模様を選択します。

【ぬい方：模様 の例】

ニーリフトを使用して、ひざでぬい目の幅を自由にかえることができるので両手が使えて便利です。ぬいながらニーリフトを右側に押すほどぬい目の幅が大きくなります。

フリーキルト押さえ PD-H またはフリーキルト押さえ PD-H (前あき) でぬう場合、①-M または ①-L の模様を選びます。

送り歯をさげ、布を両手で案内してぬいます。

フリーキルト押さえ QV (透明) またはバリエブルジグザク押さえ QZ (前あき) で、平らなキルトをぬう場合、②-M または ②-L の模様を選びます。

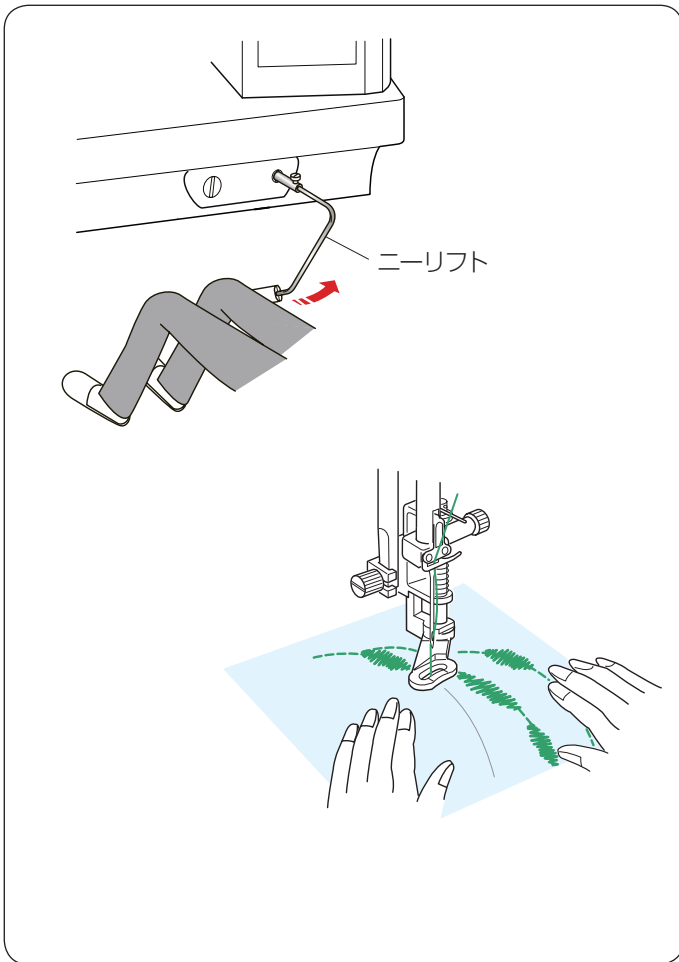
送り歯をさげ、布を両手で案内してぬいます。

サテン押さえ F でぬう場合、③-M または ③-L の模様を選びます。







布は送り歯で送られ、ニーリフトでジグザクのぬい幅を調整できます。

必要であれば、芯地を布の裏にあてます。

布を両手で案内し、ひざでジグザグのぬい幅を調整しながら低～中速でぬいます。



メモ：

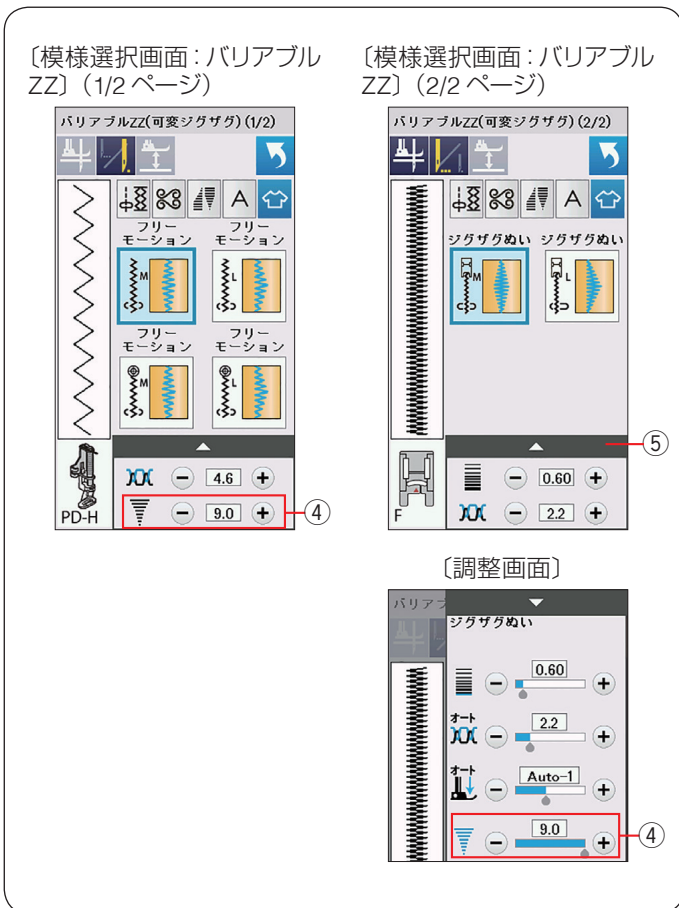
- 模様    は、ぬい目の幅が中央を基準に左右に変化します。
- 模様    は、ぬい目の幅が左側を基準に右に変化します。
- 選んだ模様によって使用する押さえが異なります。正しい押さえを使用してください。フリーキルト押さえ PD-H またはフリーキルト押さえ PD-H (前あき) の取り付けは 25 ページ、フリーキルト押さえ QV (透明) の取り付けは 135 ページをごらんください。
- ぬい方は、135 ~ 137 ページと同じです。
- 1 針停止キーの使い方は、138 ページをごらんください。
- ミシンが停止しているとき、ニーリフトで押さえをあげることができます。(30 ページ参照)
- ニーリフトの移動量に対する針の振る量 (ぬい目の幅) をかえることができます。(149 ページ「バリエブル ZZ (可変ジグザグ) 感度調整」参照)
- フリーモーションでキルトをぬうときは目とびを防ぐため、パープル針を使用してください。

★ ジグザグのぬい幅の上限を設定

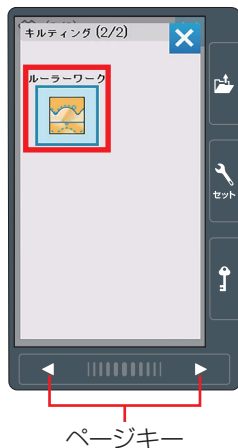
ジグザグぬいのぬい幅の上限を設定できます。

ぬい目の幅調整キー④の「+」か「-」キーを押してぬい目の最大幅を変更します。

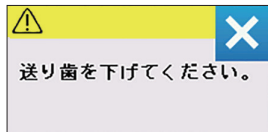
サテン押さえ F を使用時、調整キー⑤を押し調整画面を全体表示させます。



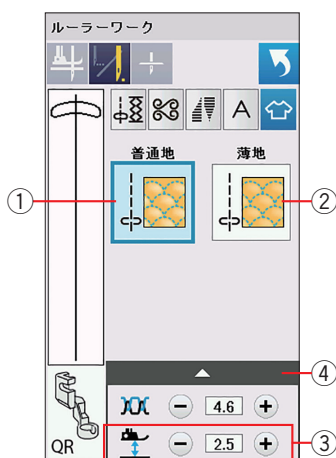
〔用途選択画面：
キルティング (2/2)〕



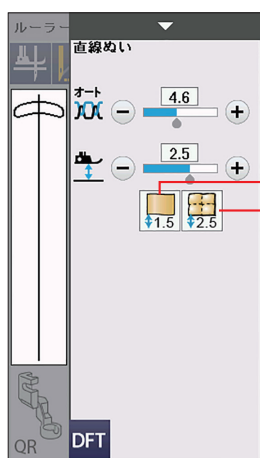
〔メッセージ画面〕



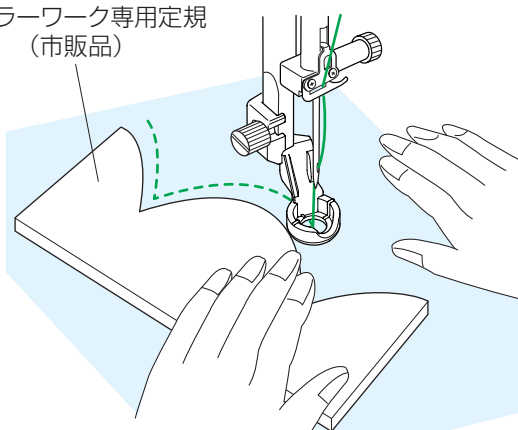
〔模様選択画面：ルーラーワーク〕



〔調整画面〕




ルーラーワーク専用定規
(市販品)



★ ルーラーワーク

ルーラーワーク専用定規（市販品）に沿って押さえをガイドし、パターンを作成します。

キルティングの用途選択画面 2 ページ目で  キーを押すと、2 種類のルーラーワークの様子が選べます。

※ ルーラーワークを選択すると、送り歯があがっている場合、メッセージ画面が表示されます。送り歯ドロップつまみで送り歯をさげてください。（31 ページ参照）

※ ルーラーワークには、ルーラーワーク専用定規（市販品）が必要です。（厚さ 4.5 mm ～ 6.35 mm）

図のようにルーラーワークの様式選択画面が表示されたら、ルーラーワーク押さえ QR を取り付けます。

（27 ページ参照）



布をルーラーワーク押さえ QR の下に置きます。

【ぬい方】

① 押えの高さをキルトの厚さに合わせて調整します。一般的な厚さのキルトの場合、「普通地」①を、薄いキルトの場合、「薄地」②を選択します。

※ 押さえ高さ調整キー③の「+」か「-」を押して、押えの高さを微調整することができます。

※ 押さえ高さ調整キーは、調整キー④を押して表示される調整画面にもあります。どちらを使用しても同じ設定ができます。

調整画面の  ⑤（薄地）または  ⑥（普通地）を押して、押えの高さを設定することもできます。

② ルーラーワーク押さえ QR の端にルーラーワーク専用定規をあてます。

ルーラーワーク専用定規に沿って押さえをあてながら布をガイドし、ぬいます。

◎ 2本針ぬい



- 針を交換する場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。
- 付属の2本針以外は使わないでください。故障の原因となります。

付属の2本針を使用して2本針ぬいを行うと、きれいな飾りぬいができます。

メモ：

- 2本針ぬいは、じつようぬいグループおよび飾りぬいの模様グループができます。(模様によってはできない模様があります。)
- ボタンホールグループ、飾りぬい模様の模様組み合わせモード、文字ぬいおよび用途選択の模様はできません。
- 2本針ぬいには、付属の2本針を使用してください。針の取りかえ方は、29ページをごらんください。
- ぬい終わりの上糸と下糸はミシンの面板に付いている糸切りで切ってください。糸切りボタンを使用しないでください。(45ページ参照)
- 2本針ぬいは、試しぬいをして確認してください。

【上糸のかけ方】

メモ：

- 基本押さえAもしくはサテン押さえFを使用します。
- 60番以下の細い糸を使用します。
- ぬう方向をかえる場合、布から針をぬき、押さえをあげてから布の向きをかえてください。2本針ぬいするとき、ピボットぬい設定は無効です。

※ 2本針ぬいを行うときは、補助糸立て棒を使います。補助糸立て棒を、補助糸立て棒取り付け穴に差し込みます。補助糸立て棒に糸こまを差し込み、糸こま押さえで固定します。

(32ページ「補助糸立て棒の使い方」参照)

2つの糸こまから引き出した2本の糸は、途中でよじれないように①～⑦の手順で正しくかけてください。

①～④

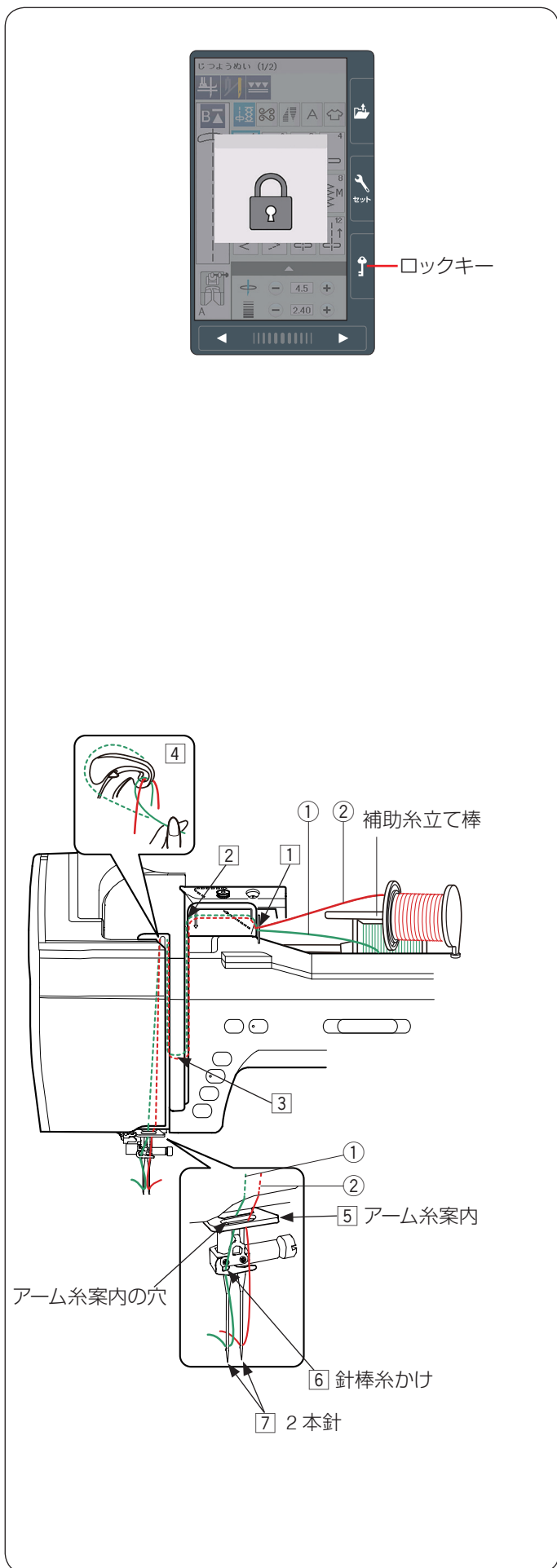
糸のかけ方は、針が1本のときの通常の上糸かけの手順①～④と同じです。(35ページ参照)

- ⑤ ①の糸はアーム糸案内に右からかけます。
②の糸はアーム糸案内の穴に通します。

- ⑥ ①の糸は針棒糸かけに右からかけます。
②の糸は針棒糸かけにかけません。

- ⑦ 2本針に左右に分けて糸を通します。

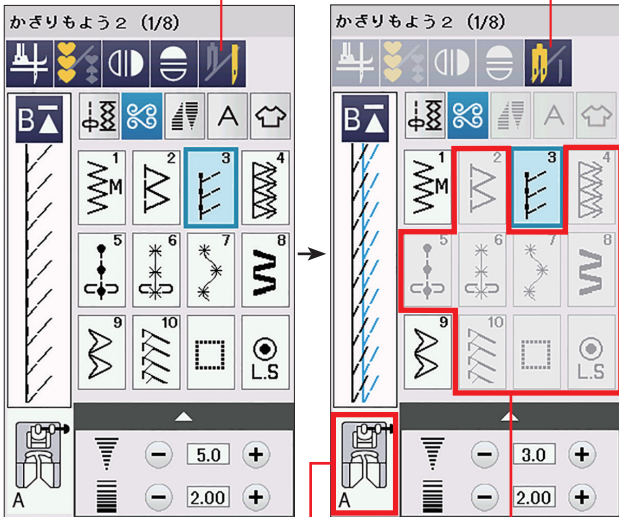
※ 2本針は糸通しが使用できません。糸を通すときは、手で針の手前から向こう側に通してください。



1 2

〔模様選択画面〕
1本ぬい設定状態

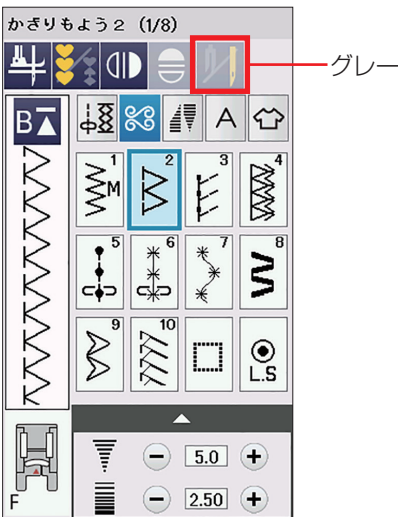
〔模様選択画面〕
2本ぬい設定状態



押さえ表示 2本ぬいに適さない模様はグレーになります。

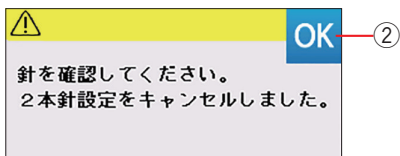
〔画面【A】〕

2本ぬいに適さない模様が選ばれている場合の画面




4

〔メッセージ画面〕



【ぬい方】

(かざりもよう2の模様  の例)

① 模様選択画面の2本針ぬい切りかえキー①を押して2本針ぬい設定にします。



: 1本針ぬい設定状態



: 2本針ぬい設定状態

- ※ ぬい目の幅が最大3.0 mmに制限されます。直線状模様の場合、針位置が3.0～6.0の範囲に制限されます。2本針ぬいを行うときは、安全のために、必ず2本針ぬい切りかえキー①を押して2本針ぬい設定状態にしてください。
- ※ 2本針ぬい設定状態にすると、2本針ぬいに適さない模様はグレーになり、選択できません。1本針ぬい設定状態で2本針ぬいに適さない模様が選ばれているときは、2本針ぬい切りかえキー①がグレーになり、押しても受け付けられません。(左図、画面【A】参照)2本針ぬいに設定する場合、2本針ぬいに適した模様を選び、2本針ぬい設定状態にしてください。

② ぬう模様に適した押さえに交換します。

- ※ 2本針ぬいに使用する押さえは、基本押さえAまたはサテン押さえFです。画面の押さえ表示にしたがい、押さえを交換します。

③ 使用する押さえによって下記のように上糸を引き出し、押さえ上げをさげてぬい始めます。

- 基本押さえA：
押さえの下から向こう側に引き出す
- サテン押さえF：
押さえの下から横に引き出す
- ※ ぬい方向をかえるときは、針をあげてから布の方向をかえます。

④ 2本針ぬいが終了したら通常の針に交換します。

- ※ 2本針を取り付けた状態で通常のぬいを行うと、針が押さえや針板にあたる場合があります。
- ※ 2本針ぬい設定を解除する場合、再度2本針ぬい切りかえキー①を押すか、電源スイッチを切り、再度電源スイッチを入れます。2本針ぬい切りかえキー①を押した場合、針交換確認のメッセージ画面が表示されます。OKキー②を押すとメッセージ画面が消えます。



◎ ミシンの設定

● ミシン設定モード

セットキー①を押し、ミシンの設定を変更します。
ミシンを初期状態（購入時の設定状態）からお好みの状態に設定することができます。

ミシン設定のモードを下記3つのキーから選びます。

② 共通設定キー

共通の設定画面を表示させます。

③ 通常ぬい設定キー

通常ぬいのミシン設定画面を表示させます。
(148 ~ 150 ページ参照)

④ 言語設定キー

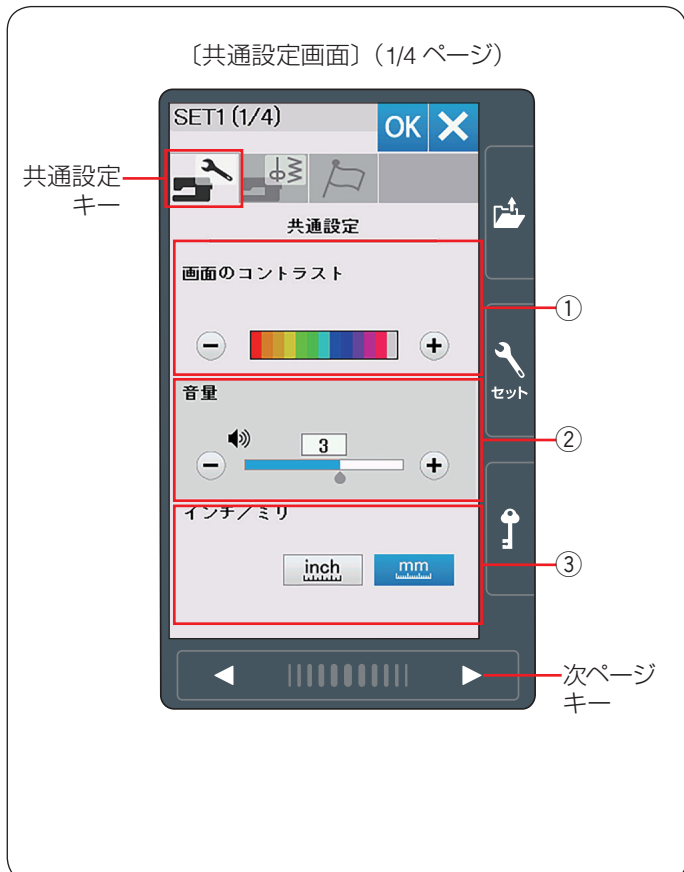
言語設定画面を表示させます。
画面に表示される言語を設定します。(151 ページ参照)

各設定画面でページを移るには、次ページキー⑤か、前ページキー⑥を押します。

【設定の登録】

設定を変更した場合、OK キー⑦を押し新しい設定を適用します。

閉じるキー⑧を押すと、変更がキャンセルとなり、設定画面が終了します。



● 共通設定

① 画面のコントラスト

画面のコントラストを「+」、「-」キーで調整します。

② 音量

キーを操作したときに鳴るブザーの音量を「+」、「-」キーで調整します。

〈0（消音）～5の6段階、初期値：3〉

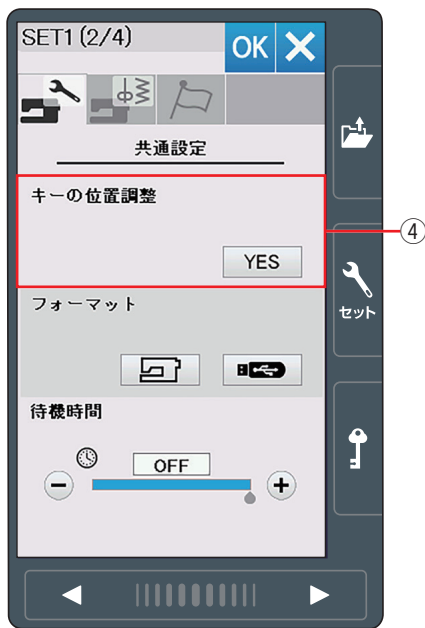
※ 静音モードをONにした場合（147 ページ参照）、音量は「1」（設定が「0」のときは「0」のまま）となります。

③ インチ/ミリ

画面に表示される数値の単位（インチ/ミリ）を切りかえます。ただし、調整画面のぬい目の幅やあらかさの数値はわかりません。〈初期設定：ミリ〉

次ページキーを押し、次のメニューに移動します。

〔共通設定画面〕(2/4 ページ)

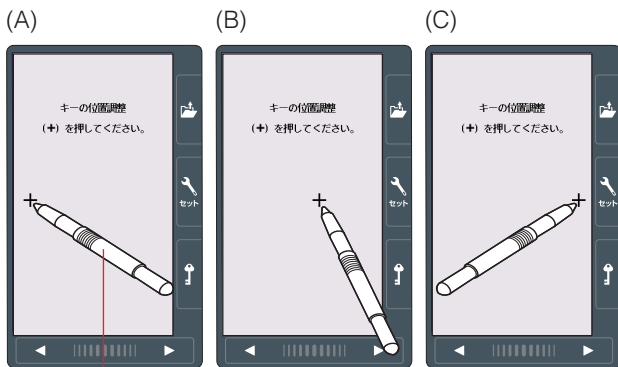


④ キーの位置調整

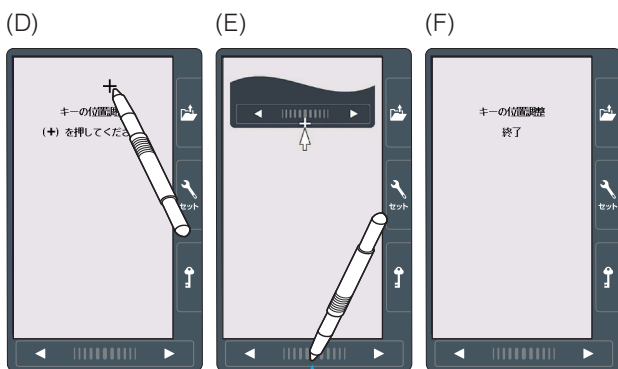
画面上のキー表示の位置と実際のキーの位置がずれていて、押しても反応しない場合などに調整します。

調整する場合、画面の YES キーを押し調整モードに入ります。

〔キーの位置調整画面〕



タッチペン



タッチバーの中央を押す

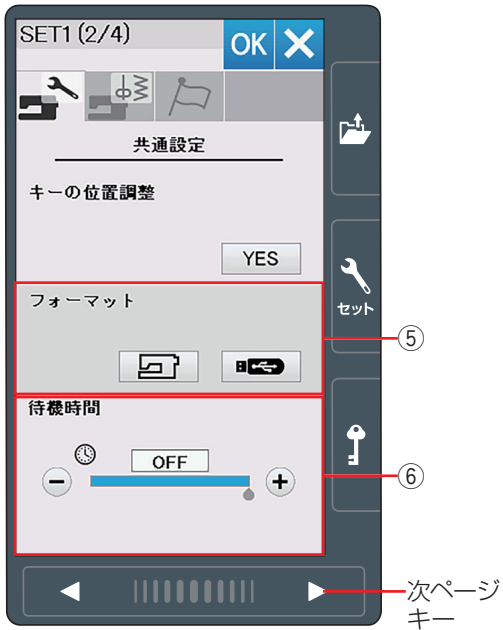
付属のタッチペンで「+」の中心を押します。

押すと、次の画面に切りかわるので、順番に (A) ~ (D) の画面の「+」の中心を押します。

(E) の画面ではタッチバーの中央を押します。

(E) の画面が終了すると (F) の画面が数秒表示され、共通設定画面にもどります。

〔共通設定画面〕 (2/4 ページ)



⑤ フォーマット

ミシンの内蔵メモリおよび USB メモリをフォーマットします。

内蔵メモリをフォーマットする場合はミシンのアイコン、USB メモリフォーマットする場合は USB メモリアイコンを押し、フォーマット画面を表示させます。

「OK」キーを押しフォーマットします。

※ フォーマットすると、現在保存されている模様データがすべて消えます。

⚠ 注意

画面に警告メッセージが出ているあいだ、電源を切ったり、USB メモリを抜いたりしないでください。データが消えるなど、損傷する恐れがあります。

⑥ 待機時間

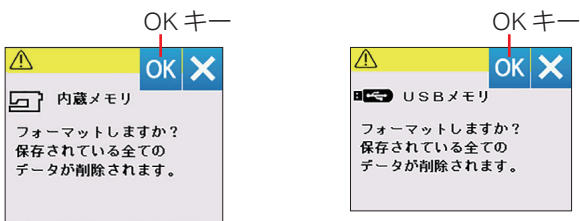
電源を入れたままミシンを使用しない状態が続いた場合、一定時間が経過するとミシンのライトが消え、ミシンは省エネモードとなります。省エネモードに入るまでの時間を設定します。

〈1～30分および OFF (なし)、初期値：OFF〉

省エネモード中、画面や操作ボタンにさわると元の画面にもどり、ミシンのライトも点灯します。

次ページキーを押し、次のメニューに移動します。

〔内蔵メモリフォーマット画面〕 〔USB メモリフォーマット画面〕



〔共通設定画面〕 (3/4 ページ)



⑦ 上糸切れ検知

ぬい途中に上糸が切れた場合、切れたことを知らせてミシンを停止する上糸切れ検知機能の設定をします。

上糸切れ検知あり (「ON」)、なし (「OFF」) を設定します。上糸無しでミシンを動かしたいときは「OFF」に設定してください。

〈初期設定：ON〉

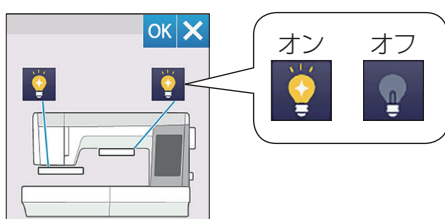
※ 通常は、「ON」に設定してください。途中で上糸が切れてしまったあとの無駄なぬいを防ぎます。

⑧ ライト

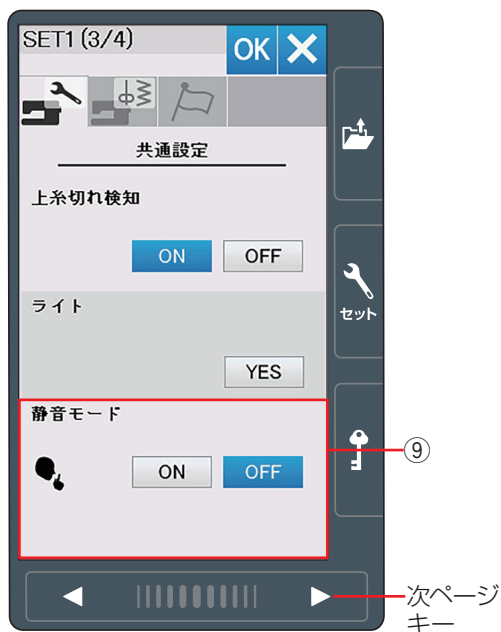
「YES」キーを押すと、ライト設定画面が表示されます。

2カ所のライトのキー  を押し、オンとオフを設定できます。〈初期設定：2カ所ともオン〉

〔ライト設定画面〕



〔共通設定画面〕 (3/4 ページ)



⑨ 静音モード

ミシンの動作音を静かにしたい場合、静音モードでミシンの動作音をおさえることができます。

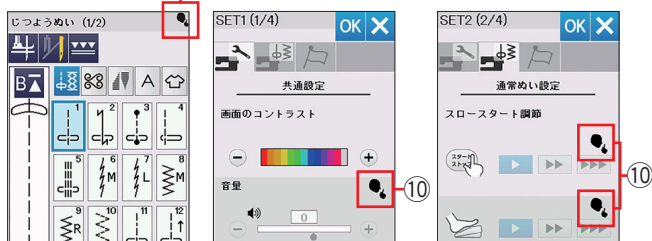
静音モードをオンにした場合、音量は「1」（設定が「0」のときは「0」のまま）、通常ぬい設定のスロースタート調節は （遅い）になります。（148 ページ参照）

〈初期設定：OFF〉

※ 静音モードの設定は、「音量」および「スロースタート調節」の設定よりも優先されます。

次ページキーを押し、次のメニューに移動します。

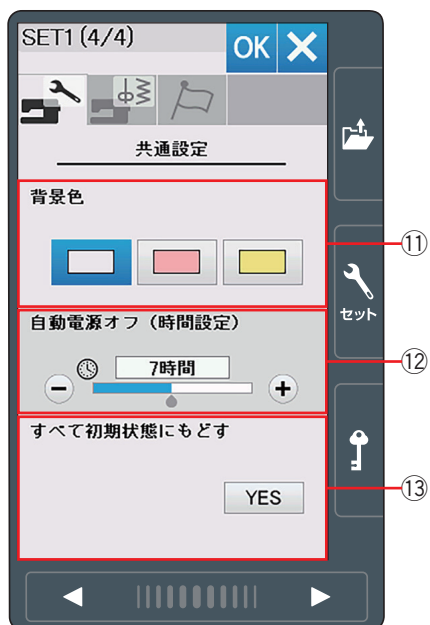
〔模様選択画面〕 ⑩ 〔共通設定画面〕 〔通常ぬい設定画面〕



メモ：

静音モードがオンの場合、画面に静音モードアイコン ⑩ が表示されます。
共通設定の「音量」、通常ぬい設定の「スロースタート調節」の画面にも静音モードアイコン ⑩ が表示されます。

〔共通設定画面〕 (5/5 ページ)



⑪ 背景色

画面の背景色を3つのパターンから設定します。

〈初期設定：グレー〉

⑫ 自動電源オフ (時間設定)

設定した時間以上ミシンを使用しないと、ミシンの電源が自動的に切れます。

「OFF」に設定したい場合、画面に「OFF」が表示されるまで「+」キーを押します。

電源を再投入するには、電源スイッチをオンにします。
〈1～12時間（1時間単位）、初期設定：7時間〉

⑬ すべて初期状態にもどす

「YES」キーを押し、設定したすべての内容を初期の状態（購入時の設定状態）にもどすことができます。

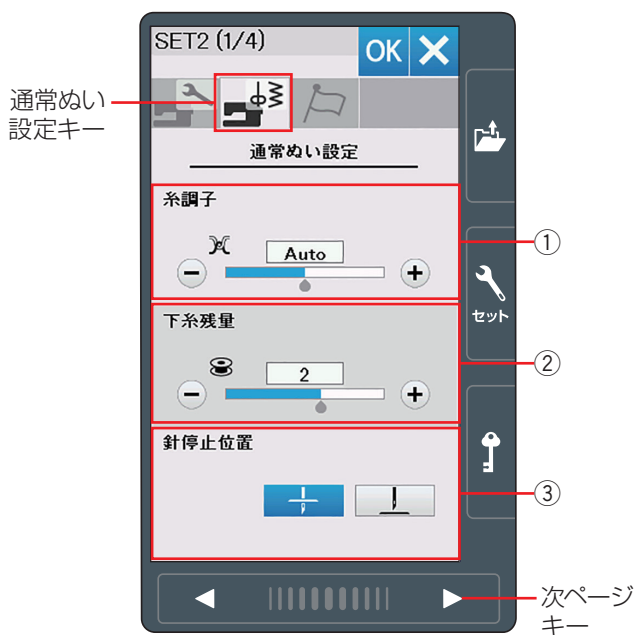
ただし、言語設定（151 ページ参照）はもどりません。

〔共通設定画面〕 (4/4 ページ)



設定変更後は、共通設定画面の OK キーを押して変更した設定を適用します。

〔通常ぬい設定画面〕 (1/4 ページ)



● 通常ぬい設定

① 糸調子

模様を選ぶと、標準的な条件において最適な糸調子になるよう自動で設定されますが、自動で設定される値（オート値）をすべての模様に対して全体的に強くしたり（+）、弱くしたり（-）できます。

〈Auto - 5 ~ Auto + 5 の 11 段階、初期値：Auto〉

② 下系残量

下糸の残量が少なくなった場合に検出して知らせる機能です。数値が大きいほど、早め（下糸残量が多いとき）に検出されます。「+」/「-」キーで設定します。

〈OFF（なし）、0.5、1 ~ 4 の 6 段階、初期値：2〉

「OFF」に設定したい場合、画面に「OFF」が表示されるまで「-」キーを押します。

③ 針停止位置

ミシンを止めたときに、針を上位置で停止させるか下の位置（布にささった位置）で停止させるかを設定します。ボタンホール、特殊ぬい、文字ぬいなどを除き、針は下位置で止まりますが、針停止位置を上位置に変更できます。

〈初期設定：下位置停止〉

メモ：

ピボットぬい設定をオンにしていると、「針停止位置」を上停止位置に設定しても針は下位置で止まります。（42 ページ参照）

次ページキーを押し、次のメニューに移動します。

〔通常ぬい設定画面〕 (2/4 ページ)



④ スロースタート調節

ミシンをスタートさせたとき、ぬい始めの速度はゆっくり動きはじめてから、徐々にスピードコントロールつまみで設定した速さになります。

ぬい始めの速度を （遅い）、（普通）、（速い）の 3 段階にかえることができます。

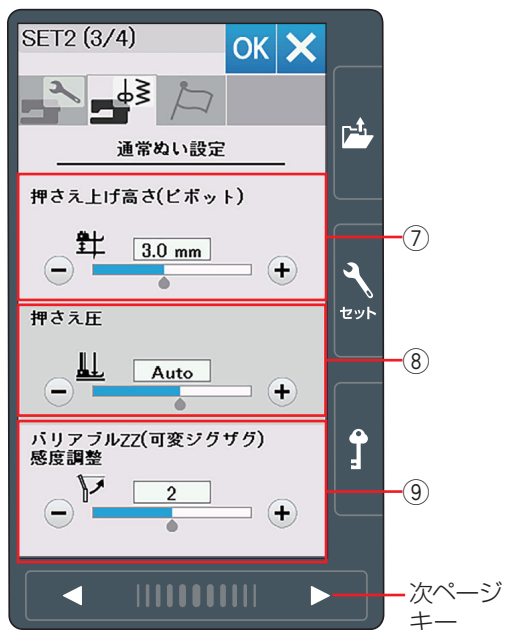
上段はスタート/ストップボタン使用時、下段はフットコントローラー使用時の調節ができます。

〈初期設定：普通〉

※ 静音モードを ON に設定した場合（147 ページ参照）、ぬい始めの速度は （遅い）に固定されます。

次ページキーを押し、次のメニューに移動します。

〔通常ぬい設定画面〕 (3/4 ページ)



⑦ 押さえ上げ高さ (ピボット)

ぬいを止めたとき、押さえが自動であがる高さを調整することができます。(42 ページ参照)
数値が大きいくほど、押さえ上げの高さが高くなります。
「+」か「-」キーで設定します。
〈0.5 ~ 6.0 mm (0.5mm 単位) 12 段階、初期値 : 3.0 mm〉

⑧ 押さえ圧

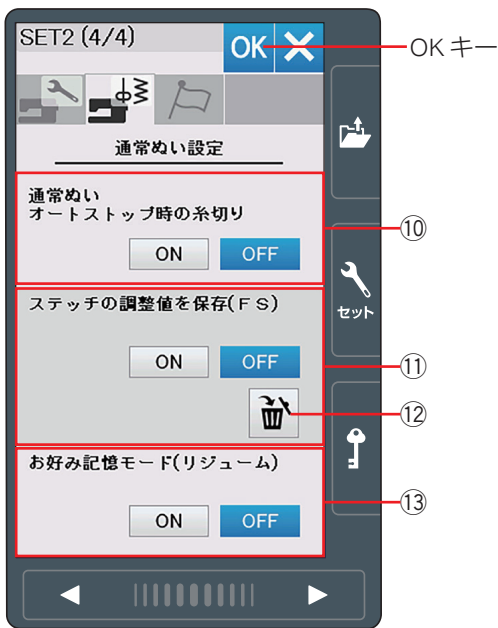
押さえ圧は適切になるよう自動で調整 (オート) されますが、「+」、「-」キーで好みの押さえ圧に調整できます。
〈Auto - 5 ~ Auto + 4 の 10 段階、初期値 : Auto〉

⑨ バリアブル ZZ (可変ジグザグ) 感度調整

バリアブル ZZ (可変ジグザグ) をぬうとき、ニーリフトで動く量を調整できます。
「1」に設定すると、ニーリフトを小さく動かすだけで、針棒は動く設定になります。
「3」に設定すると、ニーリフトを大きく動かすと、針棒が動く設定になります。
「-」キーを押して感度をあげます。
「+」キーを押して感度を下げます。
〈1 ~ 3 の 3 段階、初期値 : 2〉

次ページキーを押し、次のメニューに移動します。

〔通常ぬい設定画面〕 (4/4 ページ)



⑩ 通常ぬいオートストップ時の糸切り

「ON」に設定すると、ぬい終わったあと糸切りボタンを押さなくても自動で糸を切ることができます。

〈初期設定：OFF〉

※「ON」に設定すると、ボタンホールグループの模様および文字ぬいなど、模様の最後にほつれ止めの止めぬいが入っていて、ぬい終わると自動的にミシンが停止する模様は、ミシンが停止すると同時に自動的に糸を切ります。

その他の模様も、止めぬいボタンまたは返しぬいボタンでぬい終わりに止めぬいを入れてミシンを停止した場合、ミシンが停止すると同時に自動的に糸を切ります。

⑪ ステッチの調整値を保存 (FS)

模様を選ぶと、模様のぬい目の幅やあらかさ、糸調子などはオート値（電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値）に設定されますが、本項目を「ON」に設定すると、オート値を模様ごとにお好みの値に変更して保存できます。（43 ページ参照）

オート値をお好みの値に変更し保存すると、その模様を選ぶだけで、設定した値でぬうことができます。

本項目を「OFF」に設定すると、変更した全模様のオート値は初期の状態（購入時の設定状態）に戻ります。

ただし、変更したオート値は記憶されているので、再度本項目を「ON」に設定すると、変更したオート値に戻すことができます。

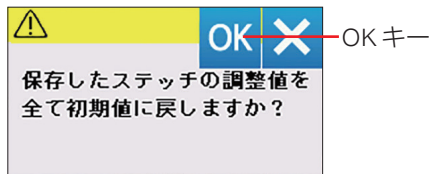
削除キー ⑫ を押すとメッセージ画面が表示されます。OK キーを押すと全模様のステッチ調整値は削除されます。

〈初期設定：OFF〉

メモ：

本項目は、文字ぬい、ユーザー作成模様以外の通常ぬいに適用されます。

〔ステッチの調整値を削除時のメッセージ画面〕



⑬ お好み記憶モード (リジューム)

「ON」に設定すると、電源スイッチを入れたとき、前回最後にぬっていた模様の画面が表示され、ぬい目の幅やあらかさ、糸調子などの設定値も前回と同じ条件でぬうことができます。

「ON」に設定し電源スイッチを入れると、メッセージ画面が表示されます。

メッセージ画面の OK キーを押すと前回最後にぬっていた模様の画面になります。

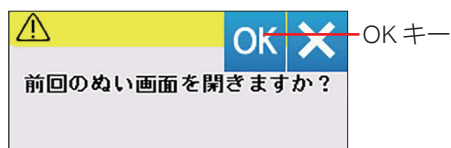
〈初期設定：OFF〉

メモ：

以下の条件では、最後にぬった模様の記憶が削除されます。

- ユーザー作成模様を読み込みキーで読み込んだとき。
- ユーザー作成模様を削除キーで削除したとき。
- ユーザー作成模様を「ステッチコンポーザー」で削除、読み込み、名前を変更したとき。
- 内蔵メモリをフォーマットしたとき。

〔お好み記憶モード (リジューム) オン時のメッセージ画面〕



〔通常ぬい設定画面〕 (4/4 ページ)



設定変更後は、通常ぬい設定画面の OK キーを押して変更した設定を適用します。

〔言語設定画面〕



● 言語設定

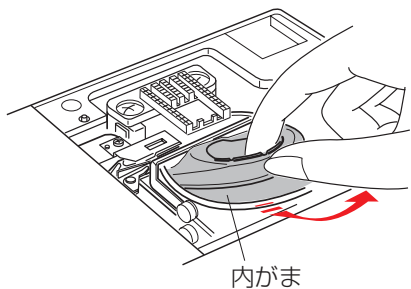
画面に表示されている言語を 13 カ国の中から設定することができます。

お好みの言語を選択して、OK キーを押します。

選択した言語でメッセージが表示されます。

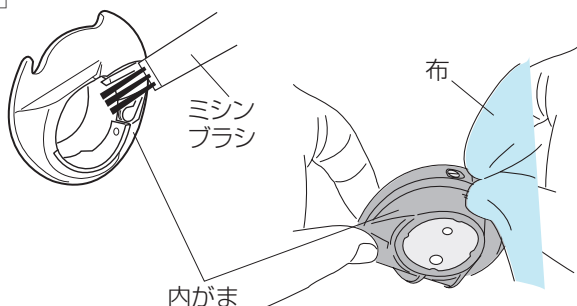
〈初期設定：日本語〉

1



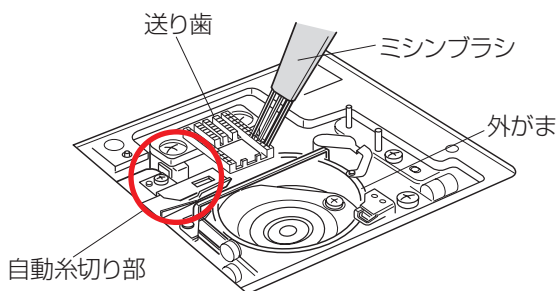
内がま

2



内がま

3



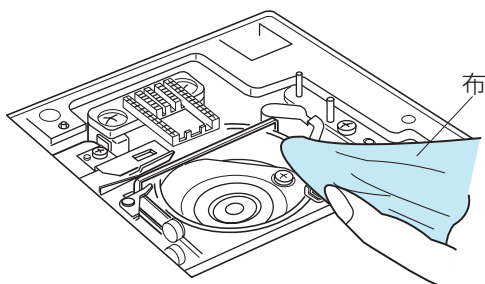
送り歯

ミシンブラシ

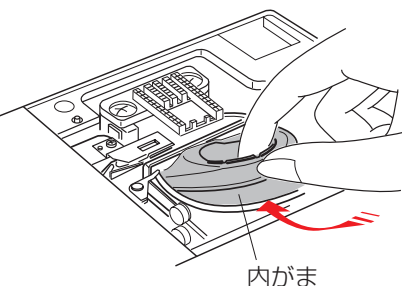
外がま

自動糸切り部

4



布



内がま

三角マーク

回転止め

内がまの
凸部

◎ ミシンのお手入れ

● かまと送り歯、糸切り部の掃除

最低月に一度はかまの掃除をしてください。



注意

- お手入れのときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 説明されている場所以外は、分解しないでください。感電・火災・けがの原因となります。

針と押さえを取り外します。針板を外し（28 ページ参照）、ボビンを取り出します。

1 内がまの手前を上へ引きながら外します。

2 内がまを付属のミシンブラシで掃除します。内がま全体をやわらかい布で軽くふきます。

3 送り歯と自動糸切り部をミシンブラシで掃除し、さらに外がまを掃除します。

※ ミシンブラシで掃除しにくい乾いた糸くずやほこりは、掃除機などで吸い取ってください。

4 外がまのまわりや内部全体を、やわらかい布で軽くふきます。

【内がまの組み付け】

内がまを取り付けます。

内がまの三角マークと回転止めの三角マークを合わせ、内がまの凸部が、回転止めの左側にくるように取り付けます。

針板、押さえ、針を取り付けます。

お願い

ミシンの使用頻度が高い場合、上記お手入れでは取りのぞけない部分に糸くずやほこりがたまり、ぬい不良の原因となります。

ミシンの使用頻度が高い場合、定期的にミシン内部の掃除をすることをおすすめします。

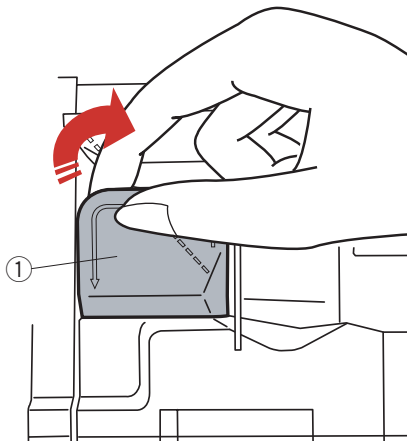
お買い上げの販売店にご相談ください。

● 糸ガイド内側の掃除

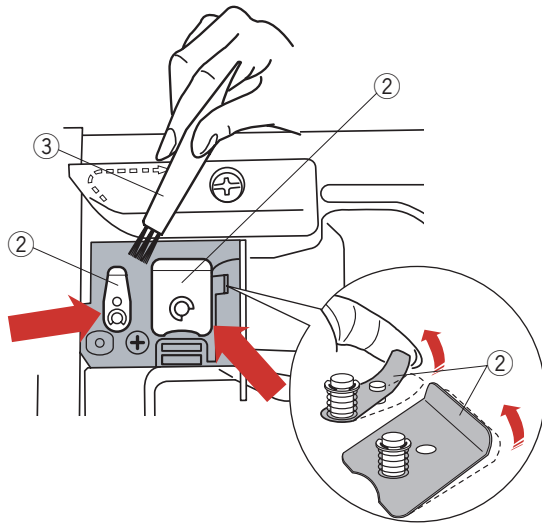
天板内の糸案内カバー①の内側を月に一度、掃除してください。

- ① 天板を開け、上糸を外します。
糸案内カバー①を上へ引いてミシンから外します。

①



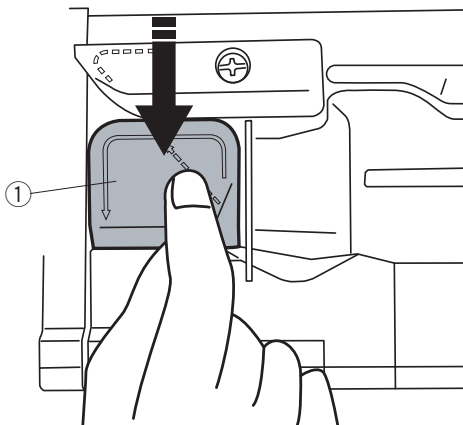
②



- ② プリテンション板②の下とまわりを付属のミシンブラシ③などで掃除します。

※ プリテンション板②の先端を軽く持ち上げて、内側も掃除してください。

③



- ③ 糸案内カバー①をパチンと音がするまで押しつけ、ミシンに取り付けます。

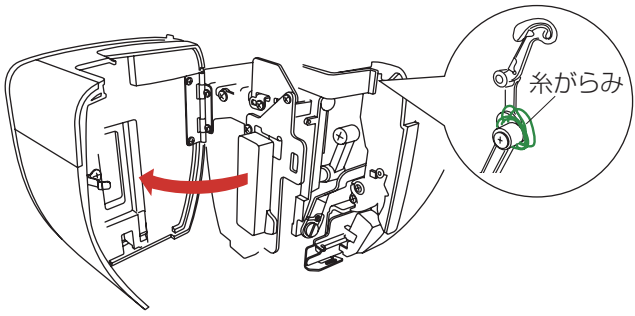
◎メッセージ画面一覧

警告音とともに画面（タッチパネル）に表示が出た場合、下記の解決法に従ってください。

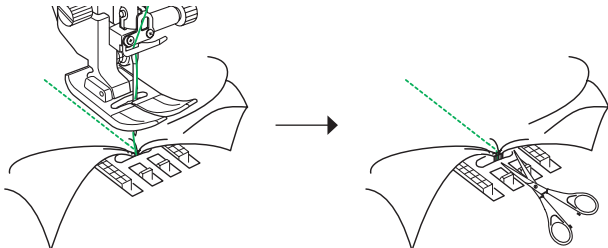
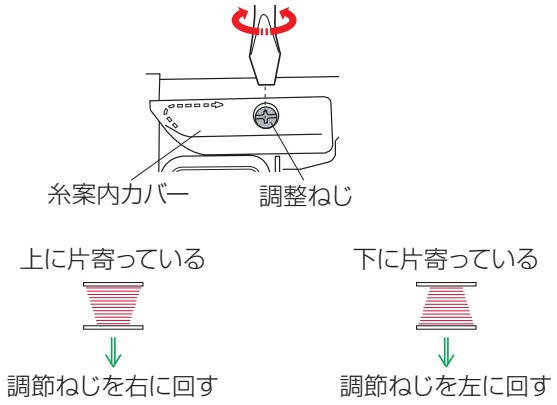
メッセージ画面	原因	解決法
	フットコントローラーが接続された状態で、スタート/ストップボタンを使用したときに表示されます。	フットコントローラーを外し、スタート/ストップボタンを使用してください。
	フットコントローラーが故障しているときに表示されます。	お客様相談窓口（巻末に記載）もしくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
	糸巻き軸が右にセットされている場合に表示されます。	糸巻きが終わったら、糸巻き軸を左にセットしてください。
	ボタンホール切りかえレバー（BHレバー）をさげずにミシンをスタートさせると、少しだけぬってミシンが停止し、表示されます。	ボタンホール切りかえレバーをさげ、ミシンを再スタートさせてください。
	2本針設定から1本針設定に変更したときに表示されます。	2本針を1本針に付けかえてあることを確認し、OKキーを押してください。
	送り歯をさげないとぬえない模様るとき、送り歯をさげずにミシンをスタートさせると表示されます。	送り歯をさげてください。
	送り歯がさがった状態でぬい始めたときに表示されます。	送り歯をさげてぬいたい場合以外のときは、送り歯をあげてください。
	針板が外れているときに表示されます。	針板を取り付け、このメッセージ画面が消えることを確認してください。 消えない場合、もう一度取り付け直してください。
	ミシンのモーターに高い負荷がかかったときに表示されます。	15秒程待ち、その後、天びん、外がま、糸切り部などからみついている糸くずを取り除きます。
	ミシンが故障しているときに表示されます。	お客様相談窓口（巻末に記載）もしくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

◎ミシンの調子が悪いときの直し方

調子が悪い場合	その原因	直し方
音がうるさい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 外がまや内がまに糸くずがたまっている。 2. 糸が外がまにからまっている。 3. 電源投入時、制御モーターからわずかな共鳴音がでる。 4. 送り歯にごみがたまっている。 	<p>152 ページ参照</p> <p>152 ページ参照</p> <p>異常ではありません</p> <p>152 ページ参照</p>
上糸が切れる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸のかけ方がまちがっているか、糸が必要以外のところからみついている。 2. 上糸調子が強すぎる。 3. 針が曲がっているか、針先がつぶれている。 4. 針の付け方がまちがっている。 5. 針に対して糸が太すぎるか、細すぎる。 6. 糸がかまなどからまっている。 7. 糸こまに上糸が引っかかっている。 8. めい始めに上糸を引き出して、押さえで押さえていない。 9. フリーモーションキルトで、布を動かすのが速すぎる。 	<p>35 ページ参照</p> <p>42 ページ参照</p> <p>29 ページ参照</p> <p>29 ページ参照</p> <p>29 ページ参照</p> <p>152 ページ参照</p> <p>糸こま押さえを付ける</p> <p>44 ページ参照</p> <p>布をゆっくり案内する</p>
下糸が切れる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 下糸の通し方がまちがっている。 2. 内がまの中にごみがたまっている。 3. ボビンにきずがあり回転がなめらかでない。 4. 下糸の巻き方がゆるい。 	<p>34 ページ参照</p> <p>152 ページ参照</p> <p>ボビンを交換する</p> <p>巻く速度を速くする</p>
針が折れる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 針の付け方がまちがっている。 2. 針が曲がっているか、針先がつぶれている。 3. 針止めねじのしめつけがゆるんでいる。 4. 上糸調子が強すぎる。 5. 布に対して針が細すぎる。 6. めい終わったとき布を手前に引いている。 7. 模様合った押さえを使用していない。 8. フリーキルト押さえ (QV、PD-H、QO) を使用している場合に布を手前に引っ張っている。 	<p>29 ページ参照</p> <p>29 ページ参照</p> <p>29 ページ参照</p> <p>42 ページ参照</p> <p>29 ページ参照</p> <p>布を向こう側に出す</p> <p>模様合った押さえに交換する</p> <p>134 ページ参照</p>
めい目がとぶ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 針の付け方がまちがっている。 2. 針が曲がっているか、針先がつぶれている。 3. 布に対して針と糸が合っていない。 4. 伸縮性のある布や薄い生地など、めい目がとぶようなときに、付属のブルー針やパープル針を使っていない。 5. 上糸のかけ方がまちがっている。 6. 押さえ圧が弱い。 7. 伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。 8. 針が不良品である。(針穴や針先の錆びや、バリがある。) 9. 厚い布をぬうのにパープル針を使用していない。 	<p>29 ページ参照</p> <p>29 ページ参照</p> <p>29 ページ参照</p> <p>29 ページ参照</p> <p>35 ページ参照</p> <p>42 ページ参照</p> <p>芯地を貼る</p> <p>針を交換する</p> <p>29 ページ参照</p>
めい目がしわになる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸調子が合っていない。 2. 下糸・上糸のかけ方がまちがっているか、糸が必要以外のところからみついている。 3. 布に対して針が太すぎる。 4. 布に対してめい目があらずすぎる。 5. めい幅が大きすぎる。 6. 押さえ圧が合っていない。 7. 薄い布や伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。 	<p>42 ページ参照</p> <p>34、35 ページ参照</p> <p>29 ページ参照</p> <p>めい目を細かくする</p> <p>めい幅を小さくする</p> <p>42 ページ参照</p> <p>芯地を貼る</p>

調子が悪い場合	その原因	直し方
送りがずべる	1. 滑りやすい素材をぬうのに上送り押さえを使用していない。	上送り押さえを使う
布送りがうまくいかない	1. 送り歯に糸くずがたまっている。 2. 滑りやすい素材をぬうのに上送り押さえを使用していない。 3. ぬい目が細かすぎる。 4. 押さえ圧が弱い。 5. 厚手の布のぬい始めに布が送れない。 6. 送り歯があがっていない。	152 ページ参照 上送り押さえを使う ぬい目をあらくする 42 ページ参照 44 ページ参照 31 ページ参照
布地の裏がタオル地のようになる	1. 上糸調子が弱すぎる。 2. 上糸のかけ方がまちがっている。	42 ページ参照 35 ページ参照
ミシンが動かない	1. 電源のつなぎ方がまちがっている。 2. かまに糸やごみがたまっている。 3. 上糸が外れ、ボビンにからまっている。(ガチャガチャ音がする) 4. 押さえ上げがさがっていない。 5. 上糸が天秤から外れ、他の部品にからまっている。  6. フットコントローラーが故障している。 7. フットコントローラーが接続された状態で、スタート/ストップボタンを使用している。	13 ページ参照 152 ページ参照 上糸かけを確認する (35 ページ参照) 30 ページ参照 電源を切り、からまっている糸を取る [からまっている糸の取り方] ① 電源スイッチを切る ② 面板をあける ③ からまっている糸を取る ④ 上糸をかけ直す (35 ページ参照) ⑤ 面板をしめる フットコントローラーを外し、お買い上げの販売店にお問い合わせください 13 ページ参照
フットコントローラーを踏んでも動かない	1. フットコントローラーを踏んだ状態で電源スイッチを入れた。	電源スイッチを入れてからフットコントローラーをふむ
模様がきれいにぬえない	1. ボビンのセットがまちがっている。(ボビンの入れる方向・下糸が内がまのばねに入っていない) 2. 上糸調子が強すぎる 3. ぬい目があらずすぎる 4. 指定の押さえを使用していない。 5. 布の種類や厚さ、ぬい速度などに対してミシンの送り調整が合っていない。 6. 薄い布や伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。	34 ページ参照 42 ページ参照 41 ページ参照 指定の押さえを使用する 159 ページ参照 芯地を貼る

調子が悪い場合	その原因	直し方
ボタンホールがうまくぬえない	1. 布に対してぬい目のあらかさが合っていない。 2. 送り調整ねじが正しく調整されていない。 3. 伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。 4. ボタンホール切りかえレバーがさがっていない。	64 ページ参照 159 ページ参照 芯地を貼る 62 ページ参照
自動糸切りがうまくできない	1. 糸が太すぎる。 2. 糸が自動糸切り部にかからまっている。	17 ページ参照 152 ページ参照
模様選択キーが反応しない	1. キーの位置が正しく調整されていない。	145 ページ参照
ぬい目の幅が7.0より大きく設定されているときに、上糸が布裏にでてしまう	1. 糸調子が合っていない。	42 ページ参照
画面（タッチパネル）が見にくい	1. 画面のコントラストが合っていない。	144 ページ参照
画面（タッチパネル）がふくらむ	1. ミシンが高温多湿の場所に置かれている。	ミシンを涼しく乾いた場所に保管する
USB メモリが機能しない	1. USB メモリのデータが壊れている。 2. 対応していないUSB メモリを使っている。	フォーマットをする (146 ページ参照) USB メモリを交換する
うすい布、伸縮性の布が食い込む	1. 布に対して針と糸が合っていない。 2. 左針位置でぬっていない。	29 ページ参照 左針位置でぬう
上糸が抜ける	1. 上糸のかけ方がまちがっている。 2. ぬい始めに上糸を押さえで押さえしていない。	35 ページ参照 44 ページ参照
かまに糸がからまる	1. 上糸のかけ方がまちがっている。 2. かまにキズがある。 3. 内がまの入れ方がまちがっている。	35 ページ参照 かまを交換する 152 ページ参照
音がして糸がからまる	1. 上糸のかけ方がまちがっている。 2. 天びんの糸穴に糸が入っていない。	35 ページ参照 35 ページ参照
糸通しができない	1. 針が上にあがっていない 2. 糸が糸通しのみぞに入っていない。 3. 針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。	36 ページ参照 36 ページ参照 29 ページ参照
ぬい終わりに下糸が二重に出る	1. 針が上まであがっていない。	上下停針ボタンを押して針をあげる
ぬい目に下糸がでる	1. ボビンのセットがまちがっている。 2. 糸こまのセットがまちがっている。 3. 上糸のかけ方がまちがっている。 4. 上糸調子が強すぎる。 5. ジャノメのボビンを使用していない。	34 ページ参照 32 ページ参照 35 ページ参照 42 ページ参照 32 ページ参照
ぬい始めの糸がらみ	1. 上糸のかけ方がまちがっている 2. ぬい始めに上糸を押さえで押さえしていない。	35 ページ参照 44 ページ参照

調子が悪い場合	その原因	直し方
布裏で糸がからまる	1. 上糸のかけ方がまちがっている。	<p>35 ページ参照</p> <p>[からまっている糸の取り方]</p> <p>① 電源スイッチを切る</p> <p>② 押さえ上げと針をあげ、ハサミで布裏の糸を切る</p>  <p>③ 針板を外す (28 ページ参照)</p> <p>④ ボビン、内がまを外し、からまっている糸を取る (152 ページ参照)</p> <p>⑤ 内がま、ボビンをセットし、針板を取り付ける (28、34、152 ページ参照)</p> <p>⑥ 上糸をかけ直す (35 ページ参照)</p>
ボビンにうまく下糸が巻けない	1. 下糸のかけ方がまちがっている。 2. ボビンの上または、下に巻きが片寄っている。	<p>34 ページ参照</p> <p>調整ねじをまわす</p> <p>注意： 調整ねじをまわす範囲は 1 回転までにしてください。 部品が外れます。</p>  <p>糸案内カバー 調整ねじ</p> <p>上に片寄っている 調節ねじを右に回す</p> <p>下に片寄っている 調節ねじを左に回す</p>

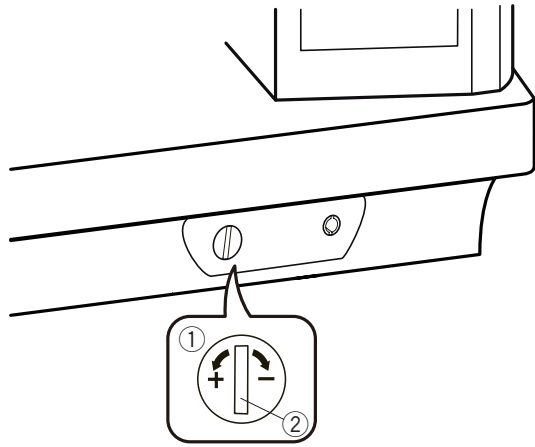
※ 静かな部屋で使うと「ウィーン」という小さな音がする場合があります。内部の制御モーターから発生しているもので、ぬい作業上はとくに問題はありません。

※ 長時間使うと操作ボタンやタッチパネル付近の温度が少し高くなります。内部の制御部の発熱によるもので、ぬい作業上はとくに問題はありません。

● 模様形の調整（送り調整ねじ）

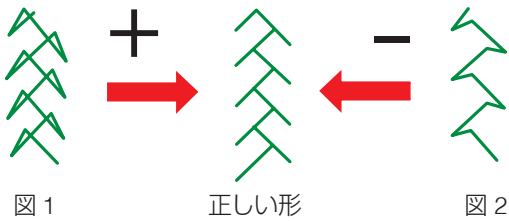
布の種類や厚さなど、ぬいの条件によって模様形がくずれる場合があります。

ぬうときと同じ条件で試しぬいをし、模様形がくずれる場合は送り調整ねじ①で調整します。



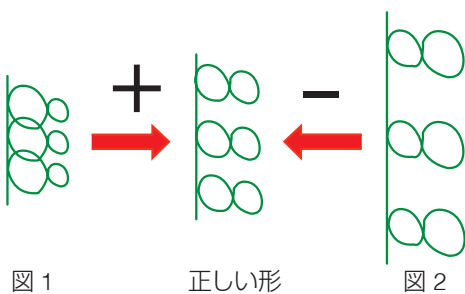
メモ：

- 左図のように指示線②を垂直にした位置が、標準的な条件での模様を正しくぬえる目安の位置です。
- 送り調整ねじの位置をかえた場合、ぬい終わったあと標準位置（指示線②が垂直位置）にもどしてください。



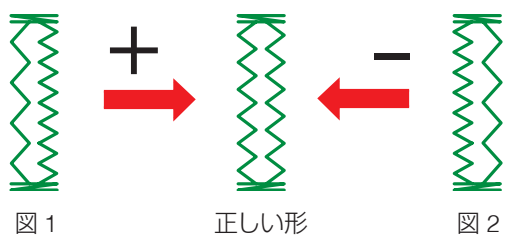
【模様形の整え方】（キルトグループ；模様 の例）

- 図1のように模様がつまっているときは、送り調整ねじを「+」方向にまわします。
- 図2のように模様が伸びているときは、送り調整ねじを「-」方向にまわします。



【文字や数字の形の整え方】（数字「8」の例）

- 図1のように数字がつまっているときは、送り調整ねじを「+」方向にまわします。
- 図2のように数字が伸びているときは、送り調整ねじを「-」方向にまわします。



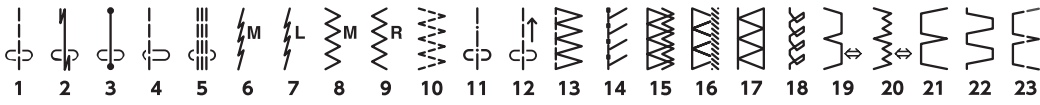
【ニットボタンホール の左右のぬい目のあらし

の整え方】（模様 の例）

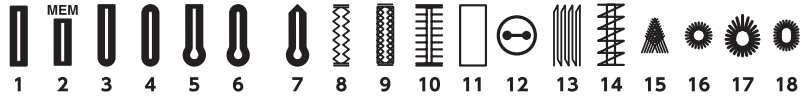
- 図1のように左側があらいときは、送り調整ねじを「+」方向にまわします。
- 図2のように右側があらいときは、送り調整ねじを「-」方向にまわします。

◎模様一覧表

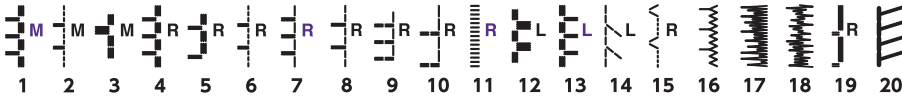
じつようぬい



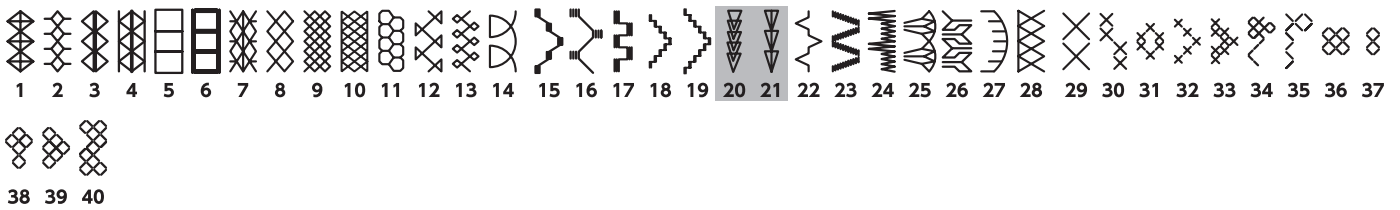
ボタンホール



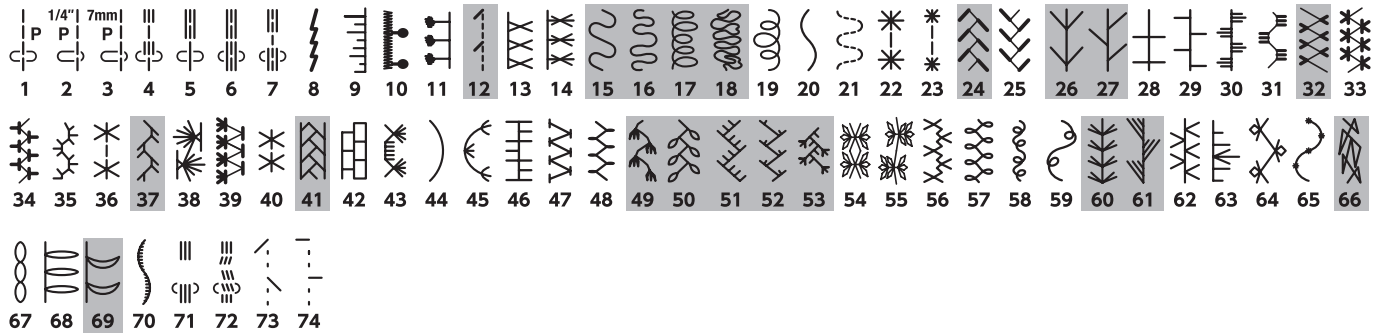
アップリケ



かざりもよう 1



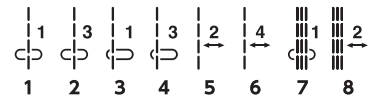
キルト



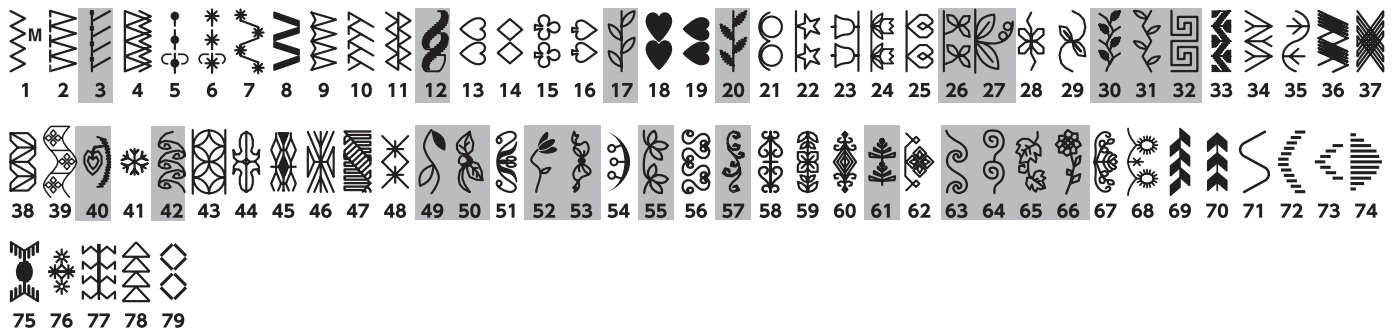
サテン



つなぎもよう



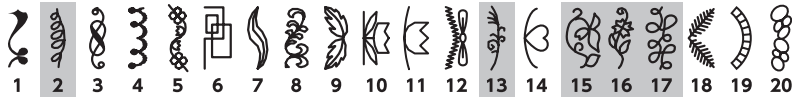
かざりもよう 2



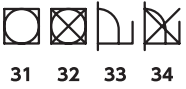
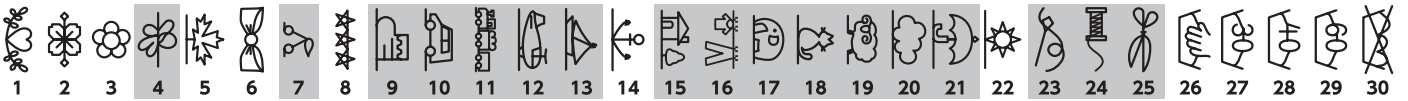
※ グレーに塗って表示している模様は、上下反転ができます。

◎模様一覧表

ロングステッチ



ワンポイント



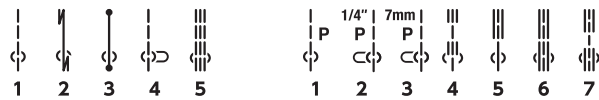
プレイ



直線針板 (SS 針板) 上送り

じつようぬい

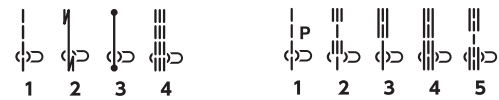
キルト



プロフェッショナル直線針板 (HP 針板)

じつようぬい

キルト



※ グレーに塗って表示している模様は、上下反転ができます。

◎模様一覧表

●文字ぬい

明朝体 (9 mm)

あ い う え お か き く け こ さ し す せ そ
 た ち つ て と な に ぬ ね の は ひ ふ へ ほ
 ま み む め も や ゆ よ ら り る れ ろ わ を
 ん 、 。 あ い う え お つ や ゆ よ ー ㊦ ㊧
 が ぎ ぐ げ ご ざ じ ず ぜ ぞ だ ぢ づ で ど
 ば び ぶ べ ぼ ぱ ぴ ぷ ぽ ぼう
 ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ
 タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ
 マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ラ
 ン 、 。 ア イ ウ エ オ ツ ヤ ユ ヨ ー ㊦ ㊧
 ガ ギ グ ゲ ゴ ザ ジ ズ ゼ ゾ ダ チ ツ デ ド
 バ ビ ブ ベ ボ パ ピ プ ペ ポ ヴ

まるもじ (9 mm)

あ い う え お か き く け こ さ し す せ そ
 た ち つ て と な に ぬ ね の は ひ ふ へ ほ
 ま み む め も や ゆ よ ら り る れ ろ わ を
 ん 、 。 あ い う え お つ や ゆ よ ー ㊦ ㊧
 が ぎ ぐ げ ご ざ じ ず ぜ ぞ だ ぢ づ で ど
 ば び ぶ べ ぼ ぱ ぴ ぷ ぽ ぼう
 ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ
 タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ
 マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ラ
 ン 、 。 ア イ ウ エ オ ツ ヤ ユ ヨ ー ㊦ ㊧
 ガ ギ グ ゲ ゴ ザ ジ ズ ゼ ゾ ダ チ ツ デ ド
 バ ビ ブ ベ ボ パ ピ プ ペ ポ ヴ

ブロック

A B C D E F G H I J K L M N
 O P Q R S T U V W X Y Z . ㊦ ㊧ ㊨
 a b c d e f g h i j k l m n
 o p q r s t u v w x y z . ㊦ ㊧ ㊨
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & - \$ @ . ' ~ :
 , ? ! ' ' < > () - + = / // % ~ :
 À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï Ñ
 Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü ß À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï Ñ
 Ł ł Ń ń Œ œ Ś ś Ÿ Ź ź Ż ż
 à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï ñ
 ò ó ô õ ö ø ù ú û ü ß à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï ñ
 ł ł ń ń œ œ ś ś Ÿ Ź ź Ż ż

◎模様一覧表

●文字ぬい

スク립ト



ブロードウェイ



ブロック (9 mm)



♥ MEMO ♥

仕 様	
使用電圧	100 V 50 Hz / 60 Hz
消費電力	55 W
外形寸法	幅 52.8 cm ×奥行 24.3 cm ×高さ 32.1 cm
質 量	13.2 kg
使用針	家庭用 HA X 1
最高ぬい速度	毎分 1060 針

仕様および外観は改良のため
予告なく変更することがあり
ますのでご了承ください。

修理サービスのご案内

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 無料修理保証期間内およびそれ以降の修理につきましても、お買い上げの販売店が承りますのでお申し付けください。

修理用部品の保有期間

- 当社は動力伝達部品、および縫製機能部品を原則として製造打ち切り後 8 年間の基準として保有し、必要に応じて販売店に供給できる体制を整えています。

無料修理保証期間経過後の修理サービス

- 取扱説明書にしたがって、正しいご使用とお手入れがなされていれば、無料修理保証期間を経過したあとも、修理用部品の保有期間内はお買い上げの販売店が有料で修理サービスをします。
ただし、次のような場合は修理できない場合があります。
 1. 保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき。
 2. 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
 3. お買い上げ後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
 4. お買い上げ店または当社の指定した販売店以外で修理、分解、改造をしたために不調、故障または損傷したとき。
 5. 職業用等過度なご使用により不調、故障または損傷したとき。
- 長期間にわたってご使用された場合の精度の劣化は、修理によっても元通りにならないことがあります。
- 有料修理サービスの場合の費用は必要部品代、交通費、およびお買い上げ店が別に定める技術料の合計になります。

お客様の相談窓口

修理サービスについてのお問い合わせやご不審のある場合は下記にお申しつけください。

蛇の目ミシン工業株式会社

〒 193-0941 東京都八王子市狭間町 1463 番地

お客様相談室 TEL. 0120-026-557 (フリーダイヤル)
042-661-2600

受付 平日 9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

メールでのお問い合わせは、ホームページ <https://www.janome.co.jp>
問合せフォームをご利用ください。

